

令和 7 年度 岩沼西小学校校舎長寿命化外部改修工事 (第Ⅱ期)

建　　築									電　　気　　設　　備			機　　械　　設　　備		
図面番号	名　　称	縮尺(A1)	図面番号	名　　称	縮尺(A1)	図面番号	名　　称	縮尺(A1)	図面番号	名　　称	縮尺(A1)	図面番号	名　　称	縮尺(A1)
A－００１	表紙、図面リスト	N・S	A－０３１	【改修後】3階平面図1（南校舎1）	1/100	A－０６１	【改修前後】天井伏図6（中央ﾌﾗｽ、図書室棟）	1/100	E－００１	電気設備改修工事特記仕様書	N・S	M－００１	機械設備改修工事特記仕様書	N・S
A－００２	建築改修工事特記仕様書1	N・S	A－０３２	【改修前後】3階平面図2（南校舎2・3）	1/100	A－０６２	【改修前後】屋上詳細図1（南校舎1・2）	1/20	E－００２	【改修前後】配置図	1/400	M－００２	【改修前後】配置図	1/300
A－００３	建築改修工事特記仕様書2	N・S	A－０３３	【改修前】屋上平面図1（南校舎1）	1/100	A－０６３	【改修前後】屋上詳細図2 （南校舎3、渡り廊下1）	1/20	E－００３	【改修前後】 1階平面図	1/150	M－００３	【改修前後】1階平面図（南校舎1・2）	1/100
A－００４	建築改修工事特記仕様書3	N・S	A－０３４	【改修後】屋上平面図1（南校舎1）	1/100	A－０６４	【改修前後】屋根詳細図1（南校舎1）	1/20	E－００４	【改修前後】 2階平面図	1/150	M－００４	【改修前後】2階平面図（南校舎1・2）	1/100
A－００５	建築改修工事特記仕様書4	N・S	A－０３５	【改修前後】屋上平面図2（南校舎2・3）	1/100	A－０６５	【改修前後】ﾌﾗｽ・ﾊﾞﾙｺﾆｰ詳細図1（南校舎1）	1/50	E－００５	【改修前後】 3階・屋上平面図	1/150	M－００５	【改修前後】3階平面図（南校舎1・2）	1/100
A－００６	建築改修工事特記仕様書5	N・S	A－０３６	【改修前】渡り廊下1 平面図	1/100	A－０６６	【改修前後】ﾌﾗｽ・ﾊﾞﾙｺﾆｰ詳細図2（南校舎2・3）	1/50				M－００６	【改修前後】1～3階平面図（南校舎3）	1/100
A－００７	建築改修工事特記仕様書6	N・S	A－０３７	【改修後】渡り廊下1 平面図	1/100	A－０６７	【改修前後】ｶﾞｰﾏ詳細図（南校舎1）	1/50				M－００７	【改修前後】1階平面図（図書室棟）	1/100
A－００８	建築改修工事特記仕様書7	N・S	A－０３８	【改修前後】中央ﾌﾗｽ 1階平面図	1/100	A－０６８	【改修前】中央ﾌﾗｽ平面詳細図	1/50						
A－００９	建築改修工事特記仕様書8	N・S	A－０３９	【改修前後】中央ﾌﾗｽ 屋根伏図	1/100	A－０６９	【改修後】中央ﾌﾗｽ平面詳細図	1/50						
A－０１０	建築改修工事特記仕様書9	N・S	A－０４０	【改修前後】図書室棟 1階平面図・屋根伏図	1/100	A－０７０	【改修前後】中央ﾌﾗｽ矩計図・屋根詳細図	1/20・50						
A－０１１	中性化抑制工法 特記仕様書	N・S	A－０４１	【改修前】南立面図	1/100	A－０７１	【改修前後】中央ﾌﾗｽ雑詳細図	1/20						
A－０１２	案内図・配置図	1/400	A－０４２	【改修後】南立面図	1/100	A－０７２	EXP.ｼｬﾊﾞｰ 改修詳細図	図示						
A－０１３	全体仮設計画面図(参考図)	1/400	A－０４３	【改修前】西立面図	1/100	A－０７３	【改修前後】図書室棟詳細図	図示						
A－０１４	内部仮設計画面図(参考図)	1/300	A－０４４	【改修後】西立面図	1/100	A－０７４	【改修前】建具ｷｰﾌﾟﾗﾝ	1/300						
A－０１５	仕上表1	N・S	A－０４５	【改修前】北立面図	1/100	A－０７５	【改修前】建具表	1/100						
A－０１６	仕上表2	N・S	A－０４６	【改修後】北立面図	1/100	A－０７６	【改修後】建具ｷｰﾌﾟﾗﾝ	1/300						
A－０１７	全体1階平面図	1/200	A－０４７	【改修前】東立面図	1/100	A－０７７	【改修後】建具表	1/100						
A－０１８	全体2階平面図	1/200	A－０４８	【改修後】東立面図	1/100	A－０７８	【改修前後】建具詳細図1	1/5						
A－０１９	全体3階平面図	1/200	A－０４９	【改修前後】中央ﾌﾗｽ 立面図	1/100	A－０７９	【改修前後】建具詳細図2	1/5						
A－０２０	全体屋上平面図	1/200	A－０５０	【改修前後】図書室棟 立面図	1/100	A－０８０	【改修前後】躯体改修詳細図	1/50						
A－０２１	全体立面図1	1/200	A－０５１	【改修前後】矩計図1（南校舎1）	1/50	A－０８１	鉄骨構造図(参考図)	1/100						
A－０２２	全体立面図2	1/200	A－０５２	【改修前後】矩計図2（南校舎1）	1/50	A－０８２	雑詳細図	図示						
A－０２３	断面図	1/200	A－０５３	【改修前後】矩計図3（南校舎2）	1/50	A－０８３	南校舎1・渡り廊下1 既存建具ｷｰﾌﾟﾗﾝ（参考図）	1/200						
A－０２４	【改修前】1階平面図1（南校舎1）	1/100	A－０５４	【改修前後】矩計図4（南校舎3）	1/50	A－０８４	南校舎1・渡り廊下1 既存建具表1（参考図）	1/50						
A－０２５	【改修後】1階平面図1（南校舎1）	1/100	A－０５５	【改修前後】矩計図5（渡り廊下1）	1/50	A－０８５	南校舎1・渡り廊下1 既存建具表2（参考図）	1/50						
A－０２６	【改修前後】1階平面図2（南校舎2・3）	1/100	A－０５６	【改修前後】天井伏図1（南校舎1）	1/100	A－０８６	南校舎2 既存建具ｷｰﾌﾟﾗﾝ、建具表（参考図）	1/50						
A－０２７	【改修前】2階平面図1（南校舎1）	1/100	A－０５７	【改修前後】天井伏図2（南校舎1）	1/100	A－０８７	南校舎3 既存建具ｷｰﾌﾟﾗﾝ、建具表（参考図）	1/50						
A－０２８	【改修後】2階平面図1（南校舎1）	1/100	A－０５８	【改修前後】天井伏図3（南校舎1）	1/100									
A－０２９	【改修前後】2階平面図2（南校舎2・3）	1/100	A－０５９	【改修前後】天井伏図4（南校舎2・3）	1/100									
A－０３０	【改修前】3階平面図1（南校舎1）	1/100	A－０６０	【改修前後】天井伏図5 （南校舎2・3、渡り廊下1）	1/100									

3

防水改修工事

②

既存防水の処理

③

既存下地の処理

④

アスファルト防水

※改修標準仕様書3.1.3(5)～(9)による
・

既存保護層の撤去
・行う（範囲・図示による）
・行わない
既存防水層の撤去
・行う（範囲・図示による）
・行わない
露出防水層表面の仕上げ塗装除去
・行う（M4AS M4ASI M4C M4DI L4X）
・行わない

補修箇所の形状、長さ、数量等
※図示による

POS工法及びP0SI工法（機械的固定方法）の既存保護層を撤去し防水層を非撤去とした立上り部等の処置
※改修標準仕様書3.2.6(4)(g)①～③による

設備機器架台、配管受部、バラベット、貫通パイプ回り、手すり・丸環の取付け部、塔屋出入口部等の欠損部及び防水層末端部の納まり部の処理
※監督職員と協議する
・図示による

屋根保護防水（既存）
新設防水層の種類

改修工法	新設種別	施工箇所	絶縁用シート	断熱材
・P2A	・A-1 ・A-2 ・A-3		※ポリエステルフィルム 厚さ0.15mm以上 又はフラットヤンクス 70g/m程度	/
・PIB	・B-1 ・B-2			
・P2AI	・AI-1 ・AI-2 ・AI-3		※フラットヤンクス 70g/m程度	※JISA9521に基づく押出法 ポリスチレンフォーム断熱材3種bA (ｽﾎﾟﾝﾌｫｰﾑ付)
・PIBI	・BI-1 ・BI-2			厚さ

改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ
※改修標準仕様書表3.3.3及び表3.3.9による
・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分
材料による区分 ※R種
厚さ（ ）mm以上
部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ
※改修標準仕様書表3.3.3及び表3.3.9による
・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分
材料による区分 ※R種
厚さ（ ）mm以上
平場の保護コンクリートの厚さ
こて仕上げ ※水下 80mm以上
床タイル張り ※水下 60mm以上

立上り部の保護方法
・乾式保護材（品質・性能、試験方法は別表による）
窓業系パネルⅠ類（厚さ（mm）幅（mm））
・れんが押え（※JIS R 1250）
・コンクリート押え
・モルタル押え（屋内）

屋根露出防水（既存）
新設防水層の種類

改修工法	新設種別	施工箇所	仕上塗料	断熱材	備考
			種類	使用量	
・M4C	・C-1 ・C-2 ・C-3 ・C-4		・製造所の仕様 ・	・製造所の仕様 ・	/
・M3D ・POD	・D-1 ・D-2 ・D-3 ・D-4	屋上 屋根	・製造所の仕様 ・	・製造所の仕様 ・	脱気装置 ・有 ・無 改修用ドレン ・有 ・無
・POD1 ・M3D1 ・M4D1	・D1-1 ・D1-2		・製造所の仕様 ・	・製造所の仕様 ・	※3.3.2(9) 種類 厚さ 脱気装置 ・有 ・無 改修用ドレン ・有 ・無

改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ
※改修標準仕様書表3.3.9による
・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分
材料による区分 ※R種
厚さ（ ）mm以上
部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ
※改修標準仕様書表3.3.8及び表3.3.9による
・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分
材料による区分 ※R種
厚さ（ ）mm以上
絶縁断熱工法のルーフトレンドレン回り及び立上り部周辺の断熱材の張りじまい位置
※図示による
絶縁工法及び絶縁断熱工法の脱気装置の種類及び設置数量
種類 ※アスファルトルーフィング類の製造所の指定
設置数量 ※アスファルトルーフィング類の製造所の指定
（個）

5.

改質アスファルトシート防水

屋根防水
防水層の種類

改修工法	種別	施工箇所
・PIE ・P2E	・E-1 ・E-2	

保護層
・設ける（※図示による）
・設けない
E-1の工程3を行う部位
※貯水槽、浴室等常時水に接する部位
・
立上り部の押え金物の材質、形状及び寸法
※アルミニウム製 L=30×15×2.0mm程度
・
屋上排水溝
※図示による

屋根露出防水（既存）
新設防水層の種類

改修工法	新設種別	施工箇所	仕上塗料	断熱材	備考
			種類	使用量	
・M4AS	・AS-T1 ・AS-T2 ・AS-J2		・製造所の仕様 ・	・製造所の仕様 ・	/
・M3AS	・AS-T3 ・AS-T4 ・AS-J1		・製造所の仕様 ・	・製造所の仕様 ・	脱気装置 ・有 ・無 改修用ドレン ・有 ・無
・POAS	・AS-T3 ・AS-T4 ・AS-J1 ・AS-J3		・製造所の仕様 ・	・製造所の仕様 ・	脱気装置 ・有 ・無 改修用ドレン ・有 ・無
・M3ASI ・M4ASI ・POASI	・ASI-T1 ・ASI-J1		・製造所の仕様 ・	・製造所の仕様 ・	3.4.2(3) 種類 厚さ 脱気装置 ・有 ・無 改修用ドレン ・有 ・無 防湿層 ・有 ・無

改質アスファルトシートの種類及び厚さ
※改修標準仕様書表3.4.1から表3.4.3による
・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分
材料による区分 ※R種
厚さ（ ）mm以上
粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ
※改修標準仕様書表3.4.1から表3.4.3による
・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分
材料による区分 ※R種
厚さ（ ）mm以上
部分粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ
※改修標準仕様書表3.4.1から表3.4.3による
・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分
材料による区分 ※R種
厚さ（ ）mm以上
立上り部の押え金物の材質、形状及び寸法
※アルミニウム製 L=30×15×2.0mm程度
・
絶縁工法及び絶縁断熱工法の脱気装置の種類及び設置数量
種類 ※アスファルトルーフィング類の製造所の指定
設置数量 ※アスファルトルーフィング類の製造所の指定
（個）

絶縁断熱工法の防湿用シート
・設置する
・設置しない

⑦

塗膜防水

S-F1、S-M1、S-F2、S-M2の仕様

※非歩行仕様
・軽歩行仕様
SI-M1及びSI-M2における防湿用フィルム
・設置する
・設置しない

屋内防水
防水層の種類

種別	種別	施工箇所	保護層
・PTIS	・S-C1		平場の保護モルタル塗厚 立上り部の保護モルタル塗厚 ※7mm以下

平場の保護モルタル床塗りにおける目地の目地割及び種類
目地割
※目地割2m程度、最大目地間隔3m程度
・
目地の種類
※押し目地
・
合成高分子系ルーフィングシートの種類及び厚さ
※改修標準仕様書表3.5.1から表3.5.3による
・JIS A 6008に基づく種類及び厚さ
種類
厚さ mm以上
絶縁用シートの材質
※発泡ポリエチレンシート
・
固定金具の材質、形状及び寸法
※厚さ0.4mm以上の防錆処理した鋼板、ステンレス鋼板又はそれらの鋼板の片面若しくは両面に樹脂を積層加工したもの
・
接着工法の場合の脱気装置の種類及び設置数量
種類
※ルーフィングシートの製造所の仕様
・
設置数量
※ルーフィングシートの製造所の仕様
・（ ）個
接着工法の場合のプレキャストコンクリート部材下地の目地処理
・行う（図示による）
プレキャストコンクリート部材の入隅部の増張り（種別S-F1、SI-F1の場合）
・行う（図示による）
・行わない

⑧

シーリング

S-F1、S-M1、S-F2、S-M2の仕様

※非歩行仕様
・軽歩行仕様
SI-M1及びSI-M2における防湿用フィルム
・設置する
・設置しない

屋内防水
防水層の種類

種別	種別	施工箇所	保護層
・PTIS	・S-C1		平場の保護モルタル塗厚 立上り部の保護モルタル塗厚 ※7mm以下

平場の保護モルタル床塗りにおける目地の目地割及び種類
目地割
※目地割2m程度、最大目地間隔3m程度
・
目地の種類
※押し目地
・
合成高分子系ルーフィングシートの種類及び厚さ
※改修標準仕様書表3.5.1から表3.5.3による
・JIS A 6008に基づく種類及び厚さ
種類
厚さ mm以上
絶縁用シートの材質
※発泡ポリエチレンシート
・
固定金具の材質、形状及び寸法
※厚さ0.4mm以上の防錆処理した鋼板、ステンレス鋼板又はそれらの鋼板の片面若しくは両面に樹脂を積層加工したもの
・
接着工法の場合の脱気装置の種類及び設置数量
種類
※ルーフィングシートの製造所の仕様
・
設置数量
※ルーフィングシートの製造所の仕様
・（ ）個
接着工法の場合のプレキャストコンクリート部材下地の目地処理
・行う（図示による）
プレキャストコンクリート部材の入隅部の増張り（種別S-F1、SI-F1の場合）
・行う（図示による）
・行わない

⑨

とい

その他の材料種
・配管用銅管（既存）
・硬質ポリ塩化ビニル管
・ルーフトレンドレン
・表面処理鋼板（表面及び裏面の塗膜の種類）
・
とい受金物
材種
※改修標準仕様書3.8.2による（溶融亜鉛めっきを行ったもの）
・ステンレス
形状
※市販品（とい径100以下）
※25×4.5以上（とい径100を超えるもの）
・図示
取付け間隔
※改修標準仕様書3.8.2による
・
足金物
材種
※改修標準仕様書3.8.2による（溶融亜鉛めっきを行ったもの）
・ステンレス
形状
※市販品
・図示
取付け間隔
※改修標準仕様書3.8.2による
・
多雪地域
・適用する
○適用しない
防露材のホルムアルデヒド放散量
※☆☆☆☆
既存のといその他の撤去及び降雨等に対する

[illegible]

[illegible]

15. 自閉式上吊り引戸装置	車椅子使用者用便房スイッチの種類 ・大形押しボタンスイッチ ・非接触スイッチ 凍結防止措置 ・行う ※行わない 性能値等 ※改修標準仕様書表5. 10. 1 ・以下による 手動開き力 () 手動閉じ力 () 閉じ速度の調整 () 制動区間 () 開閉繰返し () 耐衝撃性 () シャッターの種類 ・管理用シャッター ・外壁用防火シャッター ・屋内用防火シャッター ・防煙シャッター 外壁開口部に設ける重量シャッターの耐風圧強度 () Pa 開閉方式の種類 ※電動式（手動併用） ・手動式 安全装置 電動式シャッターの急降下制動装置、急降下停止装置（設置箇所 ・建具表による） 電動式シャッターの障害物感知装置（設置箇所 ・建具表による） 屋内用防火シャッター若しくは防煙シャッターの危害防止装置（設置箇所 ・建具表による） 管理用シャッターのシャッターケース ※設ける ・設けない スラット及びシャッターケース用銅板 銅板の種類 ※JIS G 3302（溶融亜鉛めっき銅板及び銅帯） ・JIS G 3312（塗装溶融亜鉛めっき銅板銅帯） めっきの付着量 ※Z12又はF12 ・ ガイドレール、まぐさ、雨掛りに用いる座板及び座板のカバー、雨掛りに用いるスイッチボックス類のふたの材質 ステンレス銅板 ※SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1 ・	<5. 10. 3>	5. 建具改修工事	① 複層ガラス 材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに複層ガラスの厚さ ・建具表による ・ 断熱性による区分 ・T1 ・T2 ・T3 ①T4 ・T5 ・T6 日射取得性、日射遮蔽性による区分 ①G ・S 乾燥気体の種類 ①空気 ・アルゴン ・ ・熱線反射ガラス 材料板ガラスの種類及び厚さによる種類 ・建具表による ・ 日射熱遮へい性による区分 ・1種 ・2種 ・3種 耐久性による区分（日射熱遮へい性が2種の場合） ・A類 ・B類 ・倍強度ガラス 材料板ガラスの種類及び厚さによる種類 ・建具表による ・ ガラスの留め材及び溝の大きさ 建具の種類 ガラス留め材 ガラス溝の大きさ(mm) アルミニウム製 ①シーリング材 ・グレイジングチャンネル ※建具の製造所の仕様による ・ 鋼製及び鋼製軽量 ・シーリング材 ※建具の製造所の仕様による ・ ステンレス製 ・シーリング材 ※建具の製造所の仕様による ・ 樹脂製 ・グレイジングガasket ※建具の製造所の仕様による ・ 呼び寸法 (mm) 厚さ (mm) 色調 目地幅 (mm) 伸縮調整目地位置 (mm) 防火性能 ・160×160 ・95 ・ ・195×195 ・95 グリ7 10 — ・ 壁用金属枠及び補強材 ※図示による ・ 力骨 材質 ※ステンレス鋼 (SUS304) ・ 寸法 ※径5. 5mm ・ 形状 ※はしご形状複筋及び単筋 ・ 化粧目地モルタルの色（ ・白 ・グレー） シーリングの種類（ ・SR-1 ・PS-1） 金属製化粧カバー 材質 ・ステンレス製 ・アルミニウム製 寸法 ※図示による ・ 形状 ※図示による ・ 目地部の横力骨の納まり ※ガラスブロック製造所の仕様による ・ 図示による ・ 種類 記号 その他性能等 ・日射調整フィルム ・SG-1 ・SG-2 ・低放射フィルム ・LE ・衝撃破壊対応ガラス飛散防止フィルム ・GI-1 ・GI-2 ・相関変位破壊対応ガラス飛散防止フィルム ・GD-1 ・GD-1 ・ガラス貫通防止フィルム ・SF 品質は、JIS A 5759による。	6. 内装改修工事	① 改修範囲 ② 既存床の撤去及び下地補修 ③ 既存壁の撤去及び下地補修 ④ 施工一般 5. 製材	<6. 1. 3> 既存間仕切壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井、壁及び床の改修範囲 ※壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ・図示による 天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井の改修範囲 ※壁面より両側 600mm 程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ・図示による 既存天井の撤去に伴う取合部の壁面の改修 ※既存のまま ・図示による <6. 2. 2> ビニル床シート等の除去 ※仕上材のみ（接着剤とも） ・下地モルタルとも（ ・図示による ・除去範囲全て） 合成樹脂塗床材の除去工法 ・機械的除去工法 ・目荒し工法 既存のコンクリート又はモルタル面の下地処理に用いるポリマーセメントモルタル及びエポキシ樹脂モルタルは、4章外壁改修工事による。 改修後の床の清掃範囲 ※図示による ① 当該室全体 <6. 3. 2> 間仕切壁撤去に伴う他の構造体の補修 ※改修標準仕様書4. 3. 10によるモルタル塗り（全塗厚が25mmを超える場合の処置 ※図示による） ・ <6. 5. 2> 材料のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆又は改修標準仕様書6. 5. 2 (1) (㊦) (b) による <6. 5. 2> ・JAS 1083-5 製材 - 第5部に基づく下地用製材 施工箇所 寸法 (mm) 等級 含水率 保存処理 ※2級 ・ ※A種 ・ B種 ・ ※2級 ・ ※A種 ・ B種 ・ ・JAS 1083-2 製材-第2部に基づく造作用製材 施工箇所 寸法 (mm) 等級 含水率 保存処理 見え掛り面 ※上小節 ・ ※A種 ・ B種 ・ 見え掛り面以外 ※小節以上 ・ ※A種 ・ B種 ・ ・JAS 1083-6 製材-第6部に基づく広葉樹製材 施工箇所 寸法 (mm) 等級 含水率 保存処理 ※1等 ・ ※10%以下 ・ A種 ・ B種 ※1等 ・ ※10%以下 ・ A種 ・ B種 ・JAS 1083（製材）以外の製材 施工箇所 寸法 (mm) 材面の品質 防虫処理 含水率 （ ・ ） ・造作材の場合（※A種 ・ B種） ・適用する ・B種 （ ・ ） ・造作材の場合（※A種 ・ B種） ・適用しない ・B種 ・ ・「集成材の日本農林規格」による造作用集成材 <6. 5. 2> 施工箇所 品名 樹種名 寸法 (mm) 見付け材面 見付け材面の品質 ※1等 ・ 2等 ※1等 ・ 2等 ・「集成材の日本農林規格」による化粧ばり造作用集成材 施工箇所 品名 材種名 寸法 (mm) 化粧薄板の厚さ (mm) 見付け材面 見付け材面の品質 化粧薄板： ※1等 芯材： ・ 2等 化粧薄板： ※1等 芯材： ・ 2等 ・「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材 施工箇所 材種名 寸法 (mm) 見付け材面の品質 含水率 ※15%以下 ※15%以下 ・ ・「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり造作用集成材 施工箇所 材種名 寸法 (mm) 化粧薄板の厚さ (mm) 見付け材面の品質 含水率 化粧薄板： ※15%以下 芯材： ・ 化粧薄板： ※15%以下 芯材： ・ ・「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材 施工箇所 材種名 寸法 (mm) 見付け材面の品質 含水率 ※15%以下 ※15%以下 ・	7. 造作用単板積層材 8. 合板等	<6. 5. 2> ・JAS 0701 に基づく造作用単板積層材 施工箇所 品名 寸法 (mm) 表面の品質 防虫処理 ・適用する ・適用しない ・適用する ・適用しない ・JAS 0701 以外の造作用単板積層材 施工箇所 寸法 (mm) 表面の品質 含水率 防虫処理 ※14%以下 ・ ※14%以下 ・ ・適用する ・適用しない ・JAS 3079 に基づく直交集成板 施工箇所 品名 強度等級 種別 接着性能 (使用環境) 樹種名 寸法 (mm) ・「合板の日本農林規格」による普通合板 <6. 5. 2> 施工箇所 厚さ (mm) 単板の樹種名 接着の程度 板面の品質 防虫処理 広葉樹 ※2等以上 ・1等 針葉樹 ※C-D以上 ・ ・適用する ・適用しない ・「合板の日本農林規格」による構造用合板 施工箇所 等級 単板の樹種名 接着の程度 板面の品質 厚さ (mm) 防虫処理 強度等級 ※2級以上 ・1級 ※1類 ・特類 ※C-D以上 ・ ※12 ・ ・適用する ・適用しない ・適用しない ・「合板の日本農林規格」による化粧ばり構造用合板 施工箇所 厚さ (mm) 単板の樹種名 接着の程度 防虫処理 ・1類 ・特類 ・適用する ・適用しない ・「合板の日本農林規格」による天然木化粧合板 施工箇所 化粧板に使用する単板の樹種名 厚さ (mm) 接着の程度 防虫処理 ・1類 ・2類 ・適用する ・適用しない ・「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板 施工箇所 厚さ (mm) 接着の程度 単板の樹種名 化粧加工の方法 防虫処理 ・1類 ・2類 ・適用する ・適用しない ・パーティクルボード 施工箇所 表裏面の状態による区分 曲げ強さによる区分 耐水性による区分 難燃性による区分 厚さ (mm) ※13タイプ ・ ※P又はM ・ ※15 ・ ・JAS 0360 に基づく構造用パネル 施工箇所 寸法 (mm) ・MDF 施工箇所 厚さ (mm) 表表面の状態による区分 曲げ強さによる区分 接着剤による区分 難燃性による区分 造作材の化粧面の釘打ち ※隠し釘打ち ・釘頭埋め木 ・つぶし頭釘打ち ・釘頭現し 諸金物 ※かすがい、座金、箱金物、短冊金物（改修標準仕様書表6. 5. 3～5に示す程度の市販品 表8. 20. 1のF種程度） ・（形状： 寸法： 材質： ） 接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ ・ ・薬剤の加圧注入による防腐・防蟻処理 <6. 5. 5> 適用部材 保存処理性能区分 ・ K2 ・ K3 ・ K4 ・ K2 ・ K3 ・ K4 ・ K2 ・ K3 ・ K4
16. 重量シャッター	シャッターの種類 ・管理用シャッター ・外壁用防火シャッター ・屋内用防火シャッター ・防煙シャッター 外壁開口部に設ける重量シャッターの耐風圧強度 () Pa 開閉方式の種類 ※電動式（手動併用） ・手動式 安全装置 電動式シャッターの急降下制動装置、急降下停止装置（設置箇所 ・建具表による） 電動式シャッターの障害物感知装置（設置箇所 ・建具表による） 屋内用防火シャッター若しくは防煙シャッターの危害防止装置（設置箇所 ・建具表による） 管理用シャッターのシャッターケース ※設ける ・設けない スラット及びシャッターケース用銅板 銅板の種類 ※JIS G 3302（溶融亜鉛めっき銅板及び銅帯） ・JIS G 3312（塗装溶融亜鉛めっき銅板銅帯） めっきの付着量 ※Z12又はF12 ・ ガイドレール、まぐさ、雨掛りに用いる座板及び座板のカバー、雨掛りに用いるスイッチボックス類のふたの材質 ステンレス銅板 ※SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1 ・	<5. 11. 2.、3>	20. ガラスブロック積み	<5. 14. 5> 呼び寸法 (mm) 厚さ (mm) 色調 目地幅 (mm) 伸縮調整目地位置 (mm) 防火性能 ・160×160 ・95 ・ ・195×195 ・95 グリ7 10 — ・ 壁用金属枠及び補強材 ※図示による ・ 力骨 材質 ※ステンレス鋼 (SUS304) ・ 寸法 ※径5. 5mm ・ 形状 ※はしご形状複筋及び単筋 ・ 化粧目地モルタルの色（ ・白 ・グレー） シーリングの種類（ ・SR-1 ・PS-1） 金属製化粧カバー 材質 ・ステンレス製 ・アルミニウム製 寸法 ※図示による ・ 形状 ※図示による ・ 目地部の横力骨の納まり ※ガラスブロック製造所の仕様による ・ 図示による ・ 種類 記号 その他性能等 ・日射調整フィルム ・SG-1 ・SG-2 ・低放射フィルム ・LE ・衝撃破壊対応ガラス飛散防止フィルム ・GI-1 ・GI-2 ・相関変位破壊対応ガラス飛散防止フィルム ・GD-1 ・GD-1 ・ガラス貫通防止フィルム ・SF 品質は、JIS A 5759による。	6. 内装改修工事	① 改修範囲 ② 既存床の撤去及び下地補修 ③ 既存壁の撤去及び下地補修 ④ 施工一般 5. 製材	<6. 1. 3> 既存間仕切壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井、壁及び床の改修範囲 ※壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ・図示による 天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井の改修範囲 ※壁面より両側 600mm 程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ・図示による 既存天井の撤去に伴う取合部の壁面の改修 ※既存のまま ・図示による <6. 2. 2> ビニル床シート等の除去 ※仕上材のみ（接着剤とも） ・下地モルタルとも（ ・図示による ・除去範囲全て） 合成樹脂塗床材の除去工法 ・機械的除去工法 ・目荒し工法 既存のコンクリート又はモルタル面の下地処理に用いるポリマーセメントモルタル及びエポキシ樹脂モルタルは、4章外壁改修工事による。 改修後の床の清掃範囲 ※図示による ① 当該室全体 <6. 3. 2> 間仕切壁撤去に伴う他の構造体の補修 ※改修標準仕様書4. 3. 10によるモルタル塗り（全塗厚が25mmを超える場合の処置 ※図示による） ・ <6. 5. 2> 材料のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆又は改修標準仕様書6. 5. 2 (1) (㊦) (b) による <6. 5. 2> ・JAS 1083-5 製材 - 第5部に基づく下地用製材 施工箇所 寸法 (mm) 等級 含水率 保存処理 ※2級 ・ ※A種 ・ B種 ・ ※2級 ・ ※A種 ・ B種 ・ ・JAS 1083-2 製材-第2部に基づく造作用製材 施工箇所 寸法 (mm) 等級 含水率 保存処理 見え掛り面 ※上小節 ・ ※A種 ・ B種 ・ 見え掛り面以外 ※小節以上 ・ ※A種 ・ B種 ・ ・JAS 1083-6 製材-第6部に基づく広葉樹製材 施工箇所 寸法 (mm) 等級 含水率 保存処理 ※1等 ・ ※10%以下 ・ A種 ・ B種 ※1等 ・ ※10%以下 ・ A種 ・ B種 ・JAS 1083（製材）以外の製材 施工箇所 寸法 (mm) 材面の品質 防虫処理 含水率 （ ・ ） ・造作材の場合（※A種 ・ B種） ・適用する ・B種 （ ・ ） ・造作材の場合（※A種 ・ B種） ・適用しない ・B種 ・ ・「集成材の日本農林規格」による造作用集成材 <6. 5. 2> 施工箇所 品名 樹種名 寸法 (mm) 見付け材面 見付け材面の品質 ※1等 ・ 2等 ※1等 ・ 2等 ・「集成材の日本農林規格」による化粧ばり造作用集成材 施工箇所 品名 材種名 寸法 (mm) 化粧薄板の厚さ (mm) 見付け材面 見付け材面の品質 化粧薄板： ※1等 芯材： ・ 2等 化粧薄板： ※1等 芯材： ・ 2等 ・「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材 施工箇所 材種名 寸法 (mm) 見付け材面の品質 含水率 ※15%以下 ※15%以下 ・ ・「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり造作用集成材 施工箇所 材種名 寸法 (mm) 化粧薄板の厚さ (mm) 見付け材面の品質 含水率 化粧薄板： ※15%以下 芯材： ・ 化粧薄板： ※15%以下 芯材： ・ ・「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材 施工箇所 材種名 寸法 (mm) 見付け材面の品質 含水率 ※15%以下 ※15%以下 ・	7. 造作用単板積層材 8. 合板等	<6. 5. 2> ・JAS 0701 に基づく造作用単板積層材 施工箇所 品名 寸法 (mm) 表面の品質 防虫処理 ・適用する ・適用しない ・適用する ・適用しない ・JAS 0701 以外の造作用単板積層材 施工箇所 寸法 (mm) 表面の品質 含水率 防虫処理 ※14%以下 ・ ※14%以下 ・ ・適用する ・適用しない ・JAS 3079 に基づく直交集成板 施工箇所 品名 強度等級 種別 接着性能 (使用環境) 樹種名 寸法 (mm) ・「合板の日本農林規格」による普通合板 <6. 5. 2> 施工箇所 厚さ (mm) 単板の樹種名 接着の程度 板面の品質 防虫処理 広葉樹 ※2等以上 ・1等 針葉樹 ※C-D以上 ・ ・適用する ・適用しない ・「合板の日本農林規格」による構造用合板 施工箇所 等級 単板の樹種名 接着の程度 板面の品質 厚さ (mm) 防虫処理 強度等級 ※2級以上 ・1級 ※1類 ・特類 ※C-D以上 ・ ※12 ・ ・適用する ・適用しない ・適用しない ・「合板の日本農林規格」による化粧ばり構造用合板 施工箇所 厚さ (mm) 単板の樹種名 接着の程度 防虫処理 ・1類 ・特類 ・適用する ・適用しない ・「合板の日本農林規格」による天然木化粧合板 施工箇所 化粧板に使用する単板の樹種名 厚さ (mm) 接着の程度 防虫処理 ・1類 ・2類 ・適用する ・適用しない ・「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板 施工箇所 厚さ (mm) 接着の程度 単板の樹種名 化粧加工の方法 防虫処理 ・1類 ・2類 ・適用する ・適用しない ・パーティクルボード 施工箇所 表裏面の状態による区分 曲げ強さによる区分 耐水性による区分 難燃性による区分 厚さ (mm) ※13タイプ ・ ※P又はM ・ ※15 ・ ・JAS 0360 に基づく構造用パネル 施工箇所 寸法 (mm) ・MDF 施工箇所 厚さ (mm) 表表面の状態による区分 曲げ強さによる区分 接着剤による区分 難燃性による区分 造作材の化粧面の釘打ち ※隠し釘打ち ・釘頭埋め木 ・つぶし頭釘打ち ・釘頭現し 諸金物 ※かすがい、座金、箱金物、短冊金物（改修標準仕様書表6. 5. 3～5に示す程度の市販品 表8. 20. 1のF種程度） ・（形状： 寸法： 材質： ） 接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ ・ ・薬剤の加圧注入による防腐・防蟻処理 <6. 5. 5> 適用部材 保存処理性能区分 ・ K2 ・ K3 ・ K4 ・ K2 ・ K3 ・ K4 ・ K2 ・ K3 ・ K4
17. 軽量シャッター	開閉方式の種類 ※手動式 ・電動式（手動併用） 耐風圧強度 () Pa 安全装置 電動シャッターの障害物感知装置（設置箇所 ・建具表による） スラットの材質の種類 ※JIS G 3312（塗装溶融亜鉛めっき銅板及び銅帯） めっきの付着量（※Z06又はF06 ・ ・JIS G 3322（塗装溶融55%アルミニウム－亜鉛合金めっき銅板及び銅帯） めっきの付着量（※AZ90 ・ スラットの形状 ・インターロッキング形 ・オーバーラッピング形	<5. 12. 2～4>	21. ガラス用フィルム	<5. 13. 2.、3> セクション材料による区分 耐風圧性能区分 開閉方式による区分 収納形式による区分 ※スチールタイプ ・50 ※バランス式 ※スタンダード形 ・アルミニウムタイプ ・75 ・チェーン式 ・ローヘッド形 ・ファイバーグラスタイプ ・100 ・電動式 ・ハイリフト形 ・パーチカル形 ガイドレールの材料 ※溶融亜鉛めっき銅板 ・ステンレス銅板 電動式オーバーヘッドアの障害物感知装置（設置箇所 ・建具表による） ・ ・フロート板ガラスの品種及び厚さの呼びによる種類 <3. 7><5. 14. 2～4> ※建具表による ・ ・型板ガラスの厚さによる種類 ※建具表による ・ ・網入板又は網入板ガラスの網又は線の形状、板の表面の状態及び厚さの呼びによる種類 ※建具表による ・ ・合わせガラス 材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに合わせガラスの合計厚さ ※建具表による ・ 落球衝撃はく離特性並びにショットバック衝撃特性による種類 ・Ⅰ類 ・Ⅱ-1類 ・Ⅱ-2類 ・Ⅲ類 ①強化ガラス 形状による種類、材料板ガラスの種類による名称 ※建具表による ・ 破片の状態及びショットバック衝撃特性による種類 ①Ⅰ類 ・Ⅲ類 ・熱線吸収板ガラス 板ガラスによる種類、厚さによる種類 ※建具表による ・ 性能による種類 ・1種 ・2種	6. 内装改修工事	① 改修範囲 ② 既存床の撤去及び下地補修 ③ 既存壁の撤去及び下地補修 ④ 施工一般 5. 製材	<6. 1. 3> 既存間仕切壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井、壁及び床の改修範囲 ※壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ・図示による 天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井の改修範囲 ※壁面より両側 600mm 程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ・図示による 既存天井の撤去に伴う取合部の壁面の改修 ※既存のまま ・図示による <6. 2. 2> ビニル床シート等の除去 ※仕上材のみ（接着剤とも） ・下地モルタルとも（ ・図示による ・除去範囲全て） 合成樹脂塗床材の除去工法 ・機械的除去工法 ・目荒し工法 既存のコンクリート又はモルタル面の下地処理に用いるポリマーセメントモルタル及びエポキシ樹脂モルタルは、4章外壁改修工事による。 改修後の床の清掃範囲 ※図示による ① 当該室全体 <6. 3. 2> 間仕切壁撤去に伴う他の構造体の補修 ※改修標準仕様書4. 3. 10によるモルタル塗り（全塗厚が25mmを超える場合の処置 ※図示による） ・ <6. 5. 2> 材料のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆又は改修標準仕様書6. 5. 2 (1) (㊦) (b) による <6. 5. 2> ・JAS 1083-5 製材 - 第5部に基づく下地用製材 施工箇所 寸法 (mm) 等級 含水率 保存処理 ※2級 ・ ※A種 ・ B種 ・ ※2級 ・ ※A種 ・ B種 ・ ・JAS 1083-2 製材-第2部に基づく造作用製材 施工箇所 寸法 (mm) 等級 含水率 保存処理 見え掛り面 ※上小節 ・ ※A種 ・ B種 ・ 見え掛り面以外 ※小節以上 ・ ※A種 ・ B種 ・ ・JAS 1083-6 製材-第6部に基づく広葉樹製材 施工箇所 寸法 (mm) 等級 含水率 保存処理 ※1等 ・ ※10%以下 ・ A種 ・ B種 ※1等 ・ ※10%以下 ・ A種 ・ B種 ・JAS 1083（製材）以外の製材 施工箇所 寸法 (mm) 材面の品質 防虫処理 含水率 （ ・ ） ・造作材の場合（※A種 ・ B種） ・適用する ・B種 （ ・ ） ・造作材の場合（※A種 ・ B種） ・適用しない ・B種 ・ ・「集成材の日本農林規格」による造作用集成材 <6. 5. 2> 施工箇所 品名 樹種名 寸法 (mm) 見付け材面 見付け材面の品質 ※1等 ・ 2等 ※1等 ・ 2等 ・「集成材の日本農林規格」による化粧ばり造作用集成材 施工箇所 品名 材種名 寸法 (mm) 化粧薄板の厚さ (mm) 見付け材面 見付け材面の品質 化粧薄板： ※1等 芯材： ・ 2等 化粧薄板： ※1等 芯材： ・ 2等 ・「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材 施工箇所 材種名 寸法 (mm) 見付け材面の品質 含水率 ※15%以下 ※15%以下 ・ ・「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり造作用集成材 施工箇所 材種名 寸法 (mm) 化粧薄板の厚さ (mm) 見付け材面の品質 含水率 化粧薄板： ※15%以下 芯材： ・ 化粧薄板： ※15%以下 芯材： ・ ・「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材 施工箇所 材種名 寸法 (mm) 見付け材面の品質 含水率 ※15%以下 ※15%以下 ・	7. 造作用単板積層材 8. 合板等	<6. 5. 2> ・JAS 0701 に基づく造作用単板積層材 施工箇所 品名 寸法 (mm) 表面の品質 防虫処理 ・適用する ・適用しない ・適用する ・適用しない ・JAS 0701 以外の造作用単板積層材 施工箇所 寸法 (mm) 表面の品質 含水率 防虫処理 ※14%以下 ・ ※14%以下 ・ ・適用する ・適用しない ・JAS 3079 に基づく直交集成板 施工箇所 品名 強度等級 種別 接着性能 (使用環境) 樹種名 寸法 (mm) ・「合板の日本農林規格」による普通合板 <6. 5. 2> 施工箇所 厚さ (mm) 単板の樹種名 接着の程度 板面の品質 防虫処理 広葉樹 ※2等以上 ・1等 針葉樹 ※C-D以上 ・ ・適用する ・適用しない ・「合板の日本農林規格」による構造用合板 施工箇所 等級 単板の樹種名 接着の程度 板面の品質 厚さ (mm) 防虫処理 強度等級 ※2級以上 ・1級 ※1類 ・特類 ※C-D以上 ・ ※12 ・ ・適用する ・適用しない ・適用しない ・「合板の日本農林規格」による化粧ばり構造用合板 施工箇所 厚さ (mm) 単板の樹種名 接着の程度 防虫処理 ・1類 ・特類 ・適用する ・適用しない ・「合板の日本農林規格」による天然木化粧合板 施工箇所 化粧板に使用する単板の樹種名 厚さ (mm) 接着の程度 防虫処理 ・1類 ・2類 ・適用する ・適用しない ・「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板 施工箇所 厚さ (mm) 接着の程度 単板の樹種名 化粧加工の方法 防虫処理 ・1類 ・2類 ・適用する ・適用しない ・パーティクルボード 施工箇所 表裏面の状態による区分 曲げ強さによる区分 耐水性による区分 難燃性による区分 厚さ (mm) ※13タイプ ・ ※P又はM ・ ※15 ・ ・JAS 0360 に基づく構造用パネル 施工箇所 寸法 (mm) ・MDF 施工箇所 厚さ (mm) 表表面の状態による区分 曲げ強さによる区分 接着剤による区分 難燃性による区分 造作材の化粧面の釘打ち ※隠し釘打ち ・釘頭埋め木 ・つぶし頭釘打ち ・釘頭現し 諸金物 ※かすがい、座金、箱金物、短冊金物（改修標準仕様書表6. 5. 3～5に示す程度の市販品 表8. 20. 1のF種程度） ・（形状： 寸法： 材質： ） 接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ ・ ・薬剤の加圧注入による防腐・防蟻処理 <6. 5. 5> 適用部材 保存処理性能区分 ・ K2 ・ K3 ・ K4 ・ K2 ・ K3 ・ K4 ・ K2 ・ K3 ・ K4
18. オーバーヘッドドア	セクション材料による区分 耐風圧性能区分 開閉方式による区分 収納形式による区分 ※スチールタイプ ・50 ※バランス式 ※スタンダード形 ・アルミニウムタイプ ・75 ・チェーン式 ・ローヘッド形 ・ファイバーグラスタイプ ・100 ・電動式 ・ハイリフト形 ・パーチカル形 ガイドレールの材料 ※溶融亜鉛めっき銅板 ・ステンレス銅板 電動式オーバーヘッドアの障害物感知装置（設置箇所 ・建具表による） ・ ・フロート板ガラスの品種及び厚さの呼びによる種類 <3. 7><5. 14. 2～4> ※建具表による ・ ・型板ガラスの厚さによる種類 ※建具表による ・ ・網入板又は網入板ガラスの網又は線の形状、板の表面の状態及び厚さの呼びによる種類 ※建具表による ・ ・合わせガラス 材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに合わせガラスの合計厚さ ※建具表による ・ 落球衝撃はく離特性並びにショットバック衝撃特性による種類 ・Ⅰ類 ・Ⅱ-1類 ・Ⅱ-2類 ・Ⅲ類 ①強化ガラス 形状による種類、材料板ガラスの種類による名称 ※建具表による ・ 破片の状態及びショットバック衝撃特性による種類 ①Ⅰ類 ・Ⅲ類 ・熱線吸収板ガラス 板ガラスによる種類、厚さによる種類 ※建具表による ・ 性能による種類 ・1種 ・2種	<5. 13. 2.、3>	21. ガラス用フィルム	<5. 14. 5> 呼び寸法 (mm) 厚さ (mm) 色調 目地幅 (mm) 伸縮調整目地位置 (mm) 防火性能 ・160×160 ・95 ・ ・195×195 ・95 グリ7 10 — ・ 壁用金属枠及び補強材 ※図示による ・ 力骨 材質 ※ステンレス鋼 (SUS304) ・ 寸法 ※径5. 5mm ・ 形状 ※はしご形状複筋及び単筋 ・ 化粧目地モルタルの色（ ・白 ・グレー） シーリングの種類（ ・SR-1 ・PS-1） 金属製化粧カバー 材質 ・ステンレス製 ・アルミニウム製 寸法 ※図示による ・ 形状 ※図示による ・ 目地部の横力骨の納まり ※ガラスブロック製造所の仕様による ・ 図示による ・ 種類 記号 その他性能等 ・日射調整フィルム ・SG-1 ・SG-2 ・低放射フィルム ・LE ・衝撃破壊対応ガラス飛散防止フィルム ・GI-1 ・GI-2 ・相関変位破壊対応ガラス飛散防止フィルム ・GD-1 ・GD-1 ・ガラス貫通防止フィルム ・SF 品質は、JIS A 5759による。	6. 内装改修工事	① 改修範囲 ② 既存床の撤去及び下地補修 ③ 既存壁の撤去及び下地補修 ④ 施工一般 5. 製材	<6. 1. 3> 既存間仕切壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井、壁及び床の改修範囲 ※壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ・図示による 天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井の改修範囲 ※壁面より両側 600mm 程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ・図示による 既存天井の撤去に伴う取合部の壁面の改修 ※既存のまま ・図示による <6. 2. 2> ビニル床シート等の除去 ※仕上材のみ（接着剤とも） ・下地モルタルとも（ ・図示による ・除去範囲全て） 合成樹脂塗床材の除去工法 ・機械的除去工法 ・目荒し工法 既存のコンクリート又はモルタル面の下地処理に用いるポリマーセメントモルタル及びエポキシ樹脂モルタルは、4章外壁改修工事による。 改修後の床の清掃範囲 ※図示による ① 当該室全体 <6. 3. 2> 間仕切壁撤去に伴う他の構造体の補修 ※改修標準仕様書4. 3. 10によるモルタル塗り（全塗厚が25mmを超える場合の処置 ※図示による） ・ <6. 5. 2> 材料のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆又は改修標準仕様書6. 5. 2 (1) (㊦) (b) による <6. 5. 2> ・JAS 1083-5 製材 - 第5部に基づく下地用製材 施工箇所 寸法 (mm) 等級 含水率 保存処理 ※2級 ・ ※A種 ・ B種 ・ ※2級 ・ ※A種 ・ B種 ・ ・JAS 1083-2 製材-第2部に基づく造作用製材 施工箇所 寸法 (mm) 等級 含水率 保存処理 見え掛り面 ※上小節 ・ ※A種 ・ B種 ・ 見え掛り面以外 ※小節以上 ・ ※A種 ・ B種 ・ ・JAS 1083-6 製材-第6部に基づく広葉樹製材 施工箇所 寸法 (mm) 等級 含水率 保存処理 ※1等 ・ ※10%以下 ・ A種 ・ B種 ※1等 ・ ※10%以下 ・ A種 ・ B種 ・JAS 1083（製材）以外の製材 施工箇所 寸法 (mm) 材面の品質 防虫処理 含水率 （ ・ ） ・造作材の場合（※A種 ・ B種） ・適用する ・B種 （ ・ ） ・造作材の場合（※A種 ・ B種） ・適用しない ・B種 ・ ・「集成材の日本農林規格」による造作用集成材 <6. 5. 2> 施工箇所 品名 樹種名 寸法 (mm) 見付け材面 見付け材面の品質 ※1等 ・ 2等 ※1等 ・ 2等 ・「集成材の日本農林規格」による化粧ばり造作用集成材 施工箇所 品名 材種名 寸法 (mm) 化粧薄板の厚さ (mm) 見付け材面 見付け材面の品質 化粧薄板： ※1等 芯材： ・ 2等 化粧薄板： ※1等 芯材： ・ 2等 ・「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材 施工箇所 材種名 寸法 (mm) 見付け材面の品質 含水率 ※15%以下 ※15%以下 ・ ・「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり造作用集成材 施工箇所 材種名 寸法 (mm) 化粧薄板の厚さ (mm) 見付け材面の品質 含水率 化粧薄板： ※15%以下 芯材： ・ 化粧薄板： ※15%以下 芯材： ・ ・「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材 施工箇所 材種名 寸法 (mm) 見付け材面の品質 含水率 ※15%以下 ※15%以下 ・	7. 造作用単板積層材 8. 合板等	<6. 5. 2> ・JAS 0701 に基づく造作用単板積層材 施工箇所 品名 寸法 (mm) 表面の品質 防虫処理 ・適用する ・適用しない ・適用する ・適用しない ・JAS 0701 以外の造作用単板積層材 施工箇所 寸法 (mm) 表面の品質 含水率 防虫処理 ※14%以下 ・ ※14%以下 ・ ・適用する ・適用しない ・JAS 3079 に基づく直交集成板 施工箇所 品名 強度等級 種別 接着性能 (使用環境) 樹種名 寸法 (mm) ・「合板の日本農林規格」による普通合板 <6. 5. 2> 施工箇所 厚さ (mm) 単板の樹種名 接着の程度 板面の品質 防虫処理 広葉樹 ※2等以上 ・1等 針葉樹 ※C-D以上 ・ ・適用する ・適用しない ・「合板の日本農林規格」による構造用合板 施工箇所 等級 単板の樹種名 接着の程度 板面の品質 厚さ (mm) 防虫処理 強度等級 ※2級以上 ・1級 ※1類 ・特類 ※C-D以上 ・ ※12 ・ ・適用する ・適用しない ・適用しない ・「合板の日本農林規格」による化粧ばり構造用合板 施工箇所 厚さ (mm) 単板の樹種名 接着の程度 防虫処理 ・1類 ・特類 ・適用する ・適用しない ・「合板の日本農林規格」による天然木化粧合板 施工箇所 化粧板に使用する単板の樹種名 厚さ (mm) 接着の程度 防虫処理 ・1類 ・2類 ・適用する ・適用しない ・「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板 施工箇所 厚さ (mm) 接着の程度 単板の樹種名 化粧加工の方法 防虫処理 ・1類 ・2類 ・適用する ・適用しない ・パーティクルボード 施工箇所 表裏面の状態による区分 曲げ強さによる区分 耐水性による区分 難燃性による区分 厚さ (mm) ※13タイプ ・ ※P又はM ・ ※15 ・ ・JAS 0360 に基づく構造用パネル

[illegible]

10 トリアート及びその他SH事	1. フリーアクセスフロア (20. 2. 2)	<table><tr><th>施工箇所</th><th>構法</th><th>寸法 (mm)</th><th>高さ (mm)</th><th>耐震性能</th><th>所定荷重</th><th>表面仕上材</th></tr><tr><td></td><td>・置敷式 ・支柱調整式</td><td>・500×500 ・</td><td></td><td>・1.0G ・0.6G</td><td>・3,000N ・5,000N ・</td><td>・帯電防止床材 ・タイル・ペット ・</td></tr></table> <p>寸法精度 ※標準仕様書20.2.2(2)(オ)(a)～(c)による ・以下による ・パネルの長さの寸法精度 () ・パネルの平面形状 (角度) の寸法精度 () ・フリーアクセスフロアの高さの寸法精度 ()</p> <p>帯電防止性能 ・評価値 (U) ≧0.6以上 ・評価値 (U) ≧1.2以上</p> <p>感電防止性能 漏えい抵抗 (R) ≧1×10⁶Ω</p>	施工箇所	構法	寸法 (mm)	高さ (mm)	耐震性能	所定荷重	表面仕上材		・置敷式 ・支柱調整式	・500×500 ・		・1.0G ・0.6G	・3,000N ・5,000N ・	・帯電防止床材 ・タイル・ペット ・	⑥ 階段滑り止め (20. 2. 7)	材種 ※ステンレス製 ・黄銅製押出型材 ・アルミニウム製押出型材 ・ 形状 ※タイヤ型(タイヤの材質：ゴム又は合成樹脂合等) ・タイヤレス型 寸法(幅) ・35mm程度 ・40mm程度 ・50mm程度	7. 黒板及びホワイトボード (20. 2. 9)	・黒板 区分 ※焼き付け ・種類 ※鋼製黒板 ・ほうろう黒板 ・色 ※緑 ・ホワイトボード	8. 鏡 (20. 2. 10)	取付け箇所 () 寸法 (mm) ・図示による 厚さ (mm) ※5	9. 表示 (20. 2. 11)	衝突防止表示 ・設置する (設置場所：※図示による) 形状・寸法 (・30φ) 材質 (※ステンレス製) ・設置しない 誘導標識、非常用進入口等の表示 ※消防法に適合する市販品 室名札、ピクトグラフ、案内板等の形状、寸法、材質、色、書体、印刷等の種別、取付け形式等 (案内用図記号はJIS Z 8210Iによる) ※図示による	⑩ タラップ (20. 2. 12)	材質及び仕上げ ・SUS304 (スリップ止め加工 ※あり) ・鋼製 表面処理 溶融亜鉛めっき (※標準仕様書表14.2.2による種別 (※C種) ・種))	11. 煙突ライニング (20. 2. 13)	適用安全使用温度	12. ブラインド (20. 2. 14)	<table><tr><th>形式</th><th>操作方法</th><th>操作方法の種類</th><th>スラットの種類</th><th>スラット幅</th><th>ボックス・レールの材質</th><th>幅・高さ</th></tr><tr><td rowspan="2">・横形</td><td>・手動</td><td>※ギヤ式 ・コード式 ・操作棒式</td><td rowspan="2">※アルミニウム合金製</td><td rowspan="2">※25</td><td rowspan="2">※鋼製</td><td rowspan="2">・図示による</td></tr><tr><td>・電動</td><td>—</td></tr><tr><td rowspan="2">・縦形</td><td>・手動</td><td>※2本操作コード式 ・1本操作コード式</td><td rowspan="2">・アルミスラット ・クロススラット</td><td rowspan="2">・80 ・100</td><td rowspan="2">※アルミニウム合金製</td><td rowspan="2">・図示による</td></tr><tr><td>・電動</td><td>—</td></tr></table> <p>縦型ブラインドのスラットの材質 ・アルミスラット 焼付け塗装仕上げ ・クロススラット 消防法で定める防炎性能の表示がある特殊樹脂加工</p>	形式	操作方法	操作方法の種類	スラットの種類	スラット幅	ボックス・レールの材質	幅・高さ	・横形	・手動	※ギヤ式 ・コード式 ・操作棒式	※アルミニウム合金製	※25	※鋼製	・図示による	・電動	—	・縦形	・手動	※2本操作コード式 ・1本操作コード式	・アルミスラット ・クロススラット	・80 ・100	※アルミニウム合金製	・図示による	・電動	—	13. ロールスクリーン (20. 2. 15)	<table><tr><th>操作方法</th><th>スクリーンの材種</th><th>その他の材料</th><th>幅・高さ 取付箇所</th><th>品質等</th></tr><tr><td>・スプリング式 ・コード式 ・電動式</td><td>・ガラス繊維製 ・合成・天然繊維製 ・木製</td><td>※製造所の仕様</td><td>・図示による</td><td>・</td></tr></table>	操作方法	スクリーンの材種	その他の材料	幅・高さ 取付箇所	品質等	・スプリング式 ・コード式 ・電動式	・ガラス繊維製 ・合成・天然繊維製 ・木製	※製造所の仕様	・図示による	・	14. カーテン (20. 2. 16)	スクリーンの仕様 消防法で定める防炎性能の表示があるもの	26. 鋼製書架及び物品棚 (20. 2. 17)	材料による区分 ・アルミニウム及びアルミニウム合金の押出し成型材 ※ステンレス製 強さによる区分 ※10-90 仕上げ ※アルマイト 形状 ※角形 材種 ・集成材 (仕上げ：) ※アルミニウム製 押出し型材 (市販品) 標準仕様書表14.2.1による種別 ※BC-1種 ・BC-2種 色合い ・標準色 () ・特注色 () ・鋼製 (仕上げ：)
	施工箇所	構法	寸法 (mm)	高さ (mm)	耐震性能	所定荷重	表面仕上材																																																																
		・置敷式 ・支柱調整式	・500×500 ・		・1.0G ・0.6G	・3,000N ・5,000N ・	・帯電防止床材 ・タイル・ペット ・																																																																
	形式	操作方法	操作方法の種類	スラットの種類	スラット幅	ボックス・レールの材質	幅・高さ																																																																
	・横形	・手動	※ギヤ式 ・コード式 ・操作棒式	※アルミニウム合金製	※25	※鋼製	・図示による																																																																
		・電動	—																																																																				
	・縦形	・手動	※2本操作コード式 ・1本操作コード式	・アルミスラット ・クロススラット	・80 ・100	※アルミニウム合金製	・図示による																																																																
		・電動	—																																																																				
	操作方法	スクリーンの材種	その他の材料	幅・高さ 取付箇所	品質等																																																																		
	・スプリング式 ・コード式 ・電動式	・ガラス繊維製 ・合成・天然繊維製 ・木製	※製造所の仕様	・図示による	・																																																																		
2. 可動間仕切 (20. 2. 3)	<table><tr><th>構造形式による種類</th><th>構成基材の種類</th><th>パネル表面仕上げ</th><th>遮音性 (dB/500Hz)</th><th>防火性能</th></tr><tr><td>・スタッド式 (内蔵) ・スタッド式 (露出) ・スタッドパネル式 ・パネル式</td><td>スラット ハ 梯</td><td>・メラミン樹脂焼付又は アクリル樹脂焼付 ・壁紙張り ・</td><td>・0 ・12 ・20 ・28 ・36</td><td>・不燃</td></tr></table> <p>パネル内に取付ける建具 ・有り (※図示による) ・無し</p> <p>パネル内に取り付ける建具のドアクローザー、丁番、錠前、上げ落としは、標準仕様書16章8節の建具用金物に対応する材質とする。 表面仕上材を壁紙張りとする場合の品質、性能は標準仕様書19章による。 パネル材料のホルムアルデヒド放出量 ※F☆☆☆☆</p>	構造形式による種類	構成基材の種類	パネル表面仕上げ	遮音性 (dB/500Hz)	防火性能	・スタッド式 (内蔵) ・スタッド式 (露出) ・スタッドパネル式 ・パネル式	スラット ハ 梯	・メラミン樹脂焼付又は アクリル樹脂焼付 ・壁紙張り ・	・0 ・12 ・20 ・28 ・36	・不燃	3. 移動間仕切 (20. 2. 4)	<table><tr><th>走行方向</th><th>操作方法による種類</th><th>パネル圧接装置の操作方法</th><th>総厚さ (mm)</th><th>パネル表面材質</th><th>遮音性 (dB/500Hz)</th></tr><tr><td>・平行方向 移動式 ・二方向 移動式</td><td>・手動式 ・電動式 ・部分電動式</td><td>・ブッシュ式 ・ハンドル式 ・</td><td></td><td>・鋼板 ・焼付塗装 ・壁紙張り ・</td><td>・36未満 ※36以上</td></tr></table> <p>パネル表面仕上げ材の壁紙張りの品質、性能は標準仕様書19章による。 ハンガーレールの取付け下地の補強 ※取付け全重量の5倍以上の荷重に対して、使用上支障のない耐力及び変形量となるように補強する ・図示による</p> <p>パネルをランナーに取り付ける部品 ※ランナーに加わる重量の5倍以上の荷重に耐えられるもの</p> <p>ハンガーレール及びランナー ※パネル重量の5倍の荷重を、パネル1枚に使用するランナー数で除した値に対して、耐力及び変形量が使用上支障のないもの</p>	走行方向	操作方法による種類	パネル圧接装置の操作方法	総厚さ (mm)	パネル表面材質	遮音性 (dB/500Hz)	・平行方向 移動式 ・二方向 移動式	・手動式 ・電動式 ・部分電動式	・ブッシュ式 ・ハンドル式 ・		・鋼板 ・焼付塗装 ・壁紙張り ・	・36未満 ※36以上	4. トイレブース (20. 2. 5)	<table><tr><th>表面材の材料</th><th>脚部種類</th><th>ドアエッジ材質</th></tr><tr><td>・メラミン樹脂系化粧板 ・ポリエステル樹脂系化粧板 ・</td><td>※幅木タイプ ・</td><td>※製造所の仕様による ・アルミニウム製 ・ステンレス製</td></tr></table>	表面材の材料	脚部種類	ドアエッジ材質	・メラミン樹脂系化粧板 ・ポリエステル樹脂系化粧板 ・	※幅木タイプ ・	※製造所の仕様による ・アルミニウム製 ・ステンレス製	5. 手すり (20. 2. 6)	材料の種類及び仕上げ ・SUS304 表面処理 ※HL程度 ・鋼製 表面処理 溶融亜鉛めっき (※標準仕様書表14.2.2による種別 () 種) ・アルミニウム 表面処理 (※標準仕様書表14.2.1による種別 () 種) 色合い ・標準色 () ・特注色 ()	6. その他 (20. 2. 18)	材種 ・メラミン樹脂化粧板張り (心材：集成材) ・人工大理石 奥行き (mm) ・約450 ・約600 ・固定式	27. 屋内揭示板 (20. 2. 18)	材料による区分 ・アルミニウム及びアルミニウム合金の押出し成型材 ※ステンレス製 強さによる区分 ※10-90 仕上げ ※アルマイト 形状 ※角形 材種 ・集成材 (仕上げ：) ※アルミニウム製 押出し型材 (市販品) 標準仕様書表14.2.1による種別 ※BC-1種 ・BC-2種 色合い ・標準色 () ・特注色 () ・鋼製 (仕上げ：)	28. 洗面カウンター (20. 2. 19)	・メラミン樹脂化粧板張り (心材：集成材) ・人工大理石 奥行き (mm) ・約450 ・約600 ・固定式	29. 防煙垂れ壁 (20. 2. 20)	<table><tr><th>材質</th><th>厚さ (mm)</th><th>高さ (mm)</th><th>備考</th></tr><tr><td>※ 網入り磨き板ガラス ・ 線入り磨き板ガラス</td><td>※6.8 ・</td><td>※500 ・</td><td>アルミ製枠付き</td></tr></table> <p>・可動式</p> <table><tr><th>種類</th><th>材質</th><th>高さ (mm)</th><th>備考</th></tr><tr><td>・垂直降下式 (巻取り型)</td><td>※不燃布 (不燃認定品)</td><td>※500 ・800 ・</td><td>ガイドレール ※固定式 (壁埋込型) ・可動式 (天井収納型)</td></tr><tr><td>・回転降下式</td><td>鋼板製又はアルミ製</td><td>※500 ・800 ・</td><td>表面仕上げ ※天井材張り ・</td></tr></table> <p>降下機構 煙感知器連動及び手動開放装置 (埋込型)</p>	材質	厚さ (mm)	高さ (mm)	備考	※ 網入り磨き板ガラス ・ 線入り磨き板ガラス	※6.8 ・	※500 ・	アルミ製枠付き	種類	材質	高さ (mm)	備考	・垂直降下式 (巻取り型)	※不燃布 (不燃認定品)	※500 ・800 ・	ガイドレール ※固定式 (壁埋込型) ・可動式 (天井収納型)	・回転降下式	鋼板製又はアルミ製	※500 ・800 ・	表面仕上げ ※天井材張り ・	30. 屋外揭示板 (20. 2. 21)	照明器具 ・有り ・無し 施錠 ・有り ・無し 製造所 ・	31. 収納家具 (20. 2. 22)	合板類、MDF 及びパーティクルボードのホルムアルデヒドの放散量 ※F☆☆☆☆ 材質、形状、寸法 ※図示による				
構造形式による種類	構成基材の種類	パネル表面仕上げ	遮音性 (dB/500Hz)	防火性能																																																																			
・スタッド式 (内蔵) ・スタッド式 (露出) ・スタッドパネル式 ・パネル式	スラット ハ 梯	・メラミン樹脂焼付又は アクリル樹脂焼付 ・壁紙張り ・	・0 ・12 ・20 ・28 ・36	・不燃																																																																			
走行方向	操作方法による種類	パネル圧接装置の操作方法	総厚さ (mm)	パネル表面材質	遮音性 (dB/500Hz)																																																																		
・平行方向 移動式 ・二方向 移動式	・手動式 ・電動式 ・部分電動式	・ブッシュ式 ・ハンドル式 ・		・鋼板 ・焼付塗装 ・壁紙張り ・	・36未満 ※36以上																																																																		
表面材の材料	脚部種類	ドアエッジ材質																																																																					
・メラミン樹脂系化粧板 ・ポリエステル樹脂系化粧板 ・	※幅木タイプ ・	※製造所の仕様による ・アルミニウム製 ・ステンレス製																																																																					
材質	厚さ (mm)	高さ (mm)	備考																																																																				
※ 網入り磨き板ガラス ・ 線入り磨き板ガラス	※6.8 ・	※500 ・	アルミ製枠付き																																																																				
種類	材質	高さ (mm)	備考																																																																				
・垂直降下式 (巻取り型)	※不燃布 (不燃認定品)	※500 ・800 ・	ガイドレール ※固定式 (壁埋込型) ・可動式 (天井収納型)																																																																				
・回転降下式	鋼板製又はアルミ製	※500 ・800 ・	表面仕上げ ※天井材張り ・																																																																				
11 総 統 計 揮 発 性 有 機 化 合 物 (T V O C) 測 定 仕 様 書	1. 一般事項 (20. 2. 23)	試料採取および測定は、厚生労働省の「室内空気中化学物質の採取方法と測定方法」(以下「厚生省の測定方法」という。)の新築住宅の例に準拠して行う。 測定対象化学物質は、下記4 1)、2)の区分に従い、表の①から⑭の1 4 物質及びT V O C又は表の①から⑨の9物質及びT V O Cとする。 1) クロマトグラム上で「n-ヘキサン」から「n-ヘキサデカン」までの部分に検出される物質のピーク値を「トルエン」に換算した値をT V O C濃度とする。 2) トルエン換算で 2.0 μ g/m ³ 未満のピークは測定の対象としない。 3) 上位1 0ピークについて物質を特定して濃度の測定を行う。	表 測定対象化学物質及び室内濃度指針値	4. 測定する室 (20. 4. 2、3)	1) 1 4 物質及びT V O C濃度を測定する室等 ・ 室名： 2) 9 物質及びT V O C濃度を測定する室 ・ 室名： ・ 屋外(周囲の建物から離れた場所 1 か所)	5. 測定結果等報告書の提出 (20. 4. 2、3)	次の事項を記載した報告書を2部提出する。 1) 測定結果 (アセトアルデヒドについては、試料採取時の気温が20℃に満たない場合には、「厚生省の測定方法」に定める計算式で20℃、湿度50%に、ホルムアルデヒドについては25℃、湿度50%に補正した濃度を報告すること。) 2) 試料採取時の状況 (気温・湿度(屋外、室内)、天候、風の状況、日射進入状況、採取年月日・時間、窓の開閉状況、機械換気量、工事完成から試料採取までの日数) 3) 試料採取方法、測定方法、使用した測定機器 4) T V O C濃度の算出に使用したクロマトグラムの写し	6. その他 (20. 4. 2、3)	表の化学物質①から⑤のうち、いずれかの物質の濃度が室内濃度指針値を超える場合は、工事目的物の引渡しを受けない。 T V O Cの測定の結果、暫定目標値を超える場合は、発生原因の究明及び汚染物質の発生を低減するための対策について、協議を行うこと。																																																														

中性化抑制（補修）工法特記仕様書
（リフ리트工業会 リフ리트工法RF仕様 同等品以上とする）

劣化したコンクリートを、特殊薬剤を用いた化学的工法及び特殊モルタルによる物理的工法により、劣化から鉄筋を保護し、更に今後の中性化抑制・鉄筋防錆をはかることにより、構造物をリフレッシュさせる工法である。

使 用 材 料

○ 中性化回復下地強化材

成 分	特殊配合のケイ酸塩水溶液
粘 度	1 0 cps以下
比 重	1. 0 9 ± 0. 0 2
P H	1 1 ± 0. 5
水 結 点	0℃
外 観	淡黄色透明水溶液 2 0 kg/缶

使 用 目 的

- ・コンクリートのアルカリ回復
- ・下地含浸補強

○ 特殊混和材 ㊶

成 分	防錆材入りSBRポリマーディスパージョン
粘 度	2 0 cps以下
比 重	1. 0 0 ± 0. 0 5
P H	8. 5 ± 1. 0
固 型 分	2 4 ± 1. 0 %
外 観	乳白色液体 1 8 kg/缶

使 用 目 的 ・補修用調合セメントに対して、防錆性・接着性・防水性・耐衝撃性のモルタル性能を改善する。

○ 防錆ペースト（特殊混和材 ㊶ + 既調合セメントモルタル）

既調合セメントモルタル〔普通ポルトランドセメント＋骨材（珪砂・寒水・M a x 0. 6mm）〕

試 験 項 目	試 験 結 果	基 準 値
軟度変化（％）	6. 3	～20～20
耐ひび割れ性	ひび割れが無し	ひび割れが無いこと
耐衝撃性	ひび割れ及びはがれ無し	ひび割れ及びはがれが無いこと
付着強さ（N/mm2）	1. 4	1. 0以上
付着強さ（N/mm2）低温	1. 3	0. 7以上
吸水量（g）	0. 5	1以下
耐アルカリ性	異常なし	塗膜に異常が認められないこと
鉄筋に対する付着強さ	14. 7N/mm2	7. 8N/mm2以上
防錆性試験（処理部）	95％	防錆率 50％以上
防錆性試験（未処理部）	20％	防錆率-10％以上

※防錆ペースト＋特殊モルタルA

○ SBRモルタル（特殊混和材 ㊶ + 既調合セメントモルタル）

既調合セメントモルタル〔普通ポルトランドセメント＋骨材（珪砂・寒水・繊維・各種混和材）〕

試 験 項 目	試 験 結 果	基準値
曲げ強さ（N/mm2）	11. 1	6. 0
圧縮強さ（N/mm2）	38. 0	20. 0
接着強さ（Nmm2）標準時	1. 8	1. 0
接着強さ（Nmm2）温冷繰り返し後	1. 2	1. 0
吸水量（g）	10. 7	20. 0以下
透水量（ml/hr）	0. 017	0. 5以下
長さ変化（％）	0. 098	0. 15以下

使 用 目 的

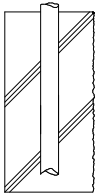
- ・欠損部の埋め戻し
- ・1 0 mm以上の塗り厚部分

・配合比
〔既調合セメントモルタル 2 5 kg
特殊混和材 4 kg
の重量比で配合する。〕

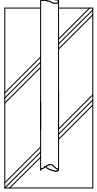
㊶ 中性化抑制（補修）

工 程

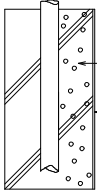
1. サンダーケレン
2. 洗浄・清掃
3. 中性化回復下地強化材塗布
4. 中性化防止層



現 状



下 地 処 理
サンダーケレン
洗浄・清掃

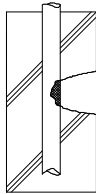


施 工
→中性化回復下地強化材塗布
→中性化防止層

錆 鉄 筋 部 分

工 程

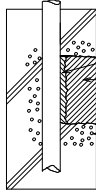
1. 研 り
2. 錆落とし
3. 洗浄・清掃
4. 中性化回復下地強化材
5. 防錆処理
6. 埋め戻し
7. 中性化防止層



現 状
露出鉄筋



下 地 処 理
研 り
錆落とし

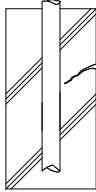


施 工
→防錆処理
→埋め戻し
→中性化回復下地強化材
→中性化防止層

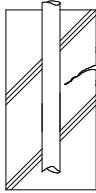
ひ び 割 れ 部 分
自動式低圧球*樹脂注入工法

工 程

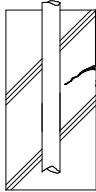
1. 清掃
2. 注入座金取付
3. ひび割れシール
4. エポキシ樹脂自動低圧注入
5. 座金・シール撤去



現 状



下 地 処 理
注入座金
シール
ひび割れシール
200～300

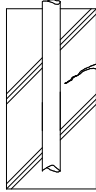


施 工
エポキシ樹脂

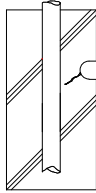
ひ び 割 れ 部 分
Uカット・シーリング*材充填工法

工 程

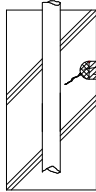
1. Uカット
2. 洗浄・清掃
3. プライマー塗布
4. シーリング材充填
5. 埋め戻し



現 状

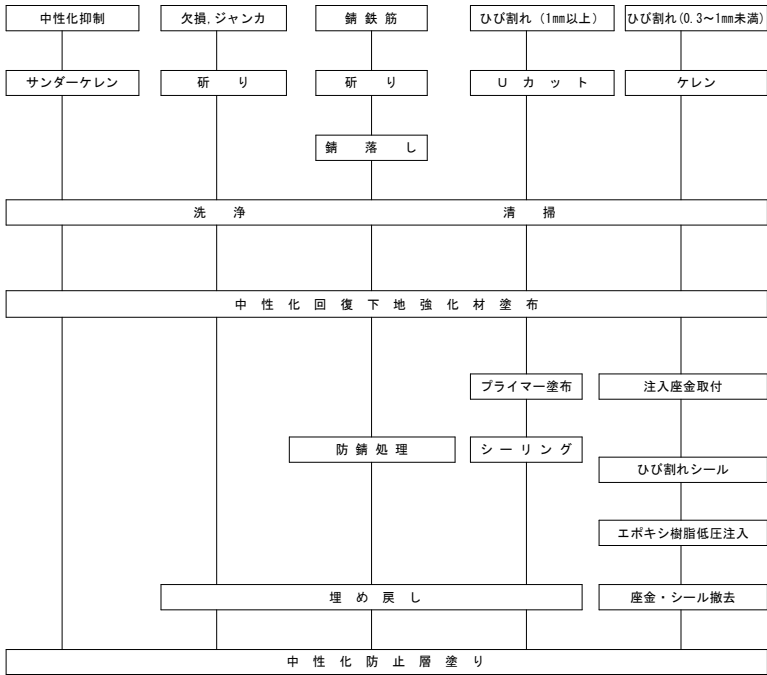


下地処理
Uカット
洗浄・清掃



施 工
シーリング
埋め戻し

コンクリート躯体改修 基本施工フローチャート

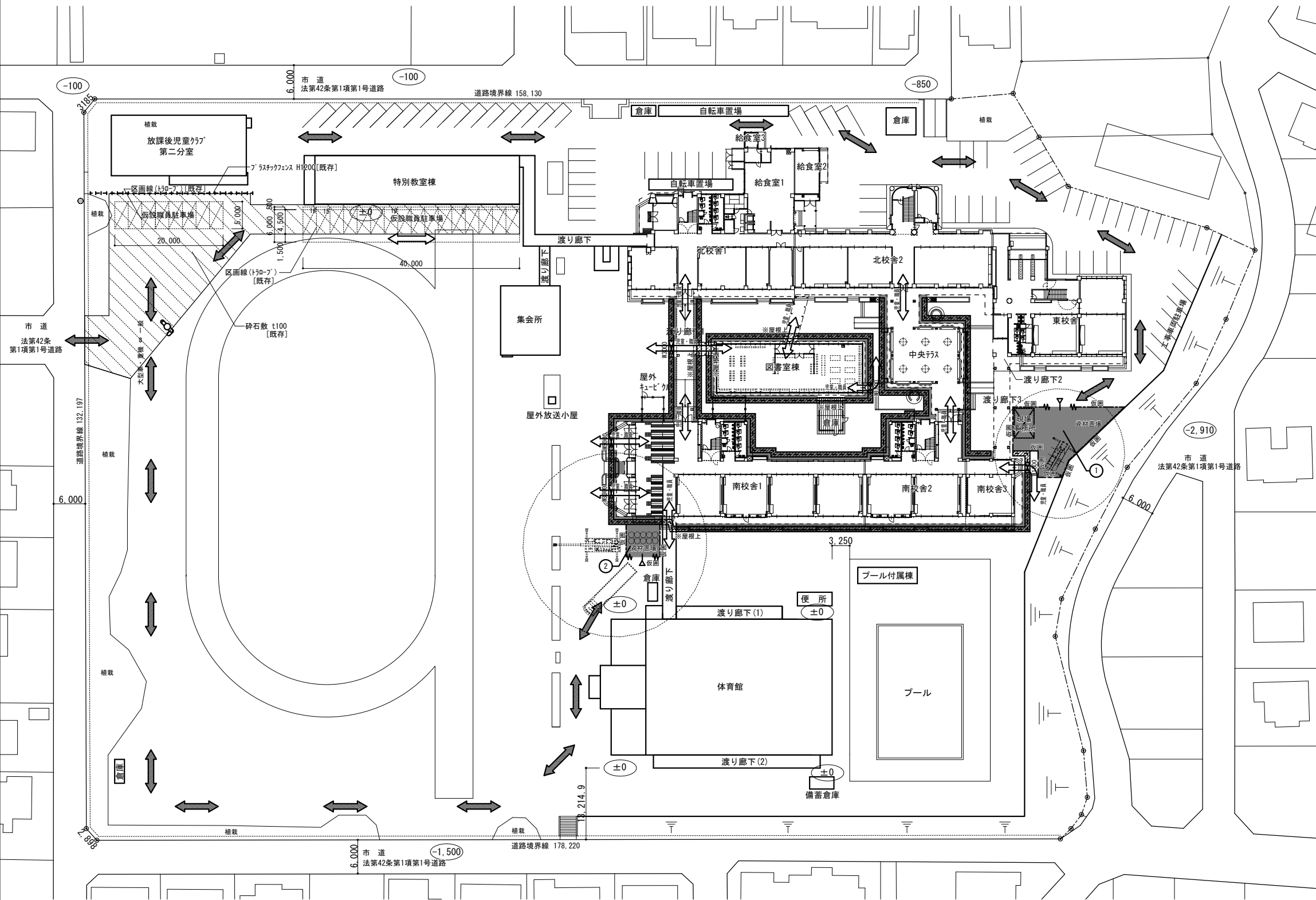
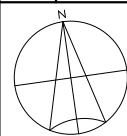


設計名称 令和7年度 岩沼西小学校校長寿命化外部改修工事（第Ⅱ期）

図面名称 中性化抑制工法 特記仕様書

縮 尺 A1:N・S A3:H・S 年 月 2024. 03 設計番号 図面番号 A-011

一級建築士事務所 SOWA 雄和技術研究所 承認/添削 監事 設計者/ 一級建築士 第204436号 赤沼 真幸 製図/ 西巻 祐太 照査/ 佐々木 智文 宮城県知事登録 第22910116号



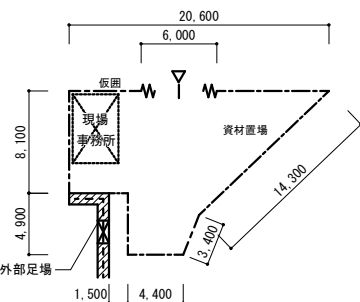
記 号	名 称
	工事使用範囲 ※長期休み、随時工事使用範囲については別図による
	仮囲いA：成形鋼板 H2.0 数量：延63.2m
	ネットゲート W6.0×H1.8
	枠組み本足場(手すり先行方式) 防災シート張り
	梁枠使用部分(○○は3/4寸法を示す)
	交通誘導員 1人×140日=140人日
	児童・職員・サビース動線
	工事車両動線

特記等

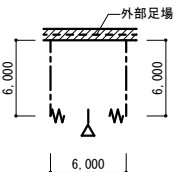
1. 本計画図は参考であり、実際の工事においては施工計画書を作成し、監督官署と協議の上決定する。
2. 工事使用範囲に発生土を置きける場合は飛散防止対策を施すこと。
3. 外郭足場は原則柱組み足場(手すり先行方式) 建枠900とする。
4. 外郭足場コーナー部は、単管手すり、足板で補強する。
5. 交通誘導員は工事工程に応じて適時配置。
6. 周辺に影響の多い作業にかかると場合は、事前に監督官署に報告し、かつ作業範囲に周知すること。

反圈寸

飯围寸法図	A3:1/600
-------	----------



① 仮囲寸法図



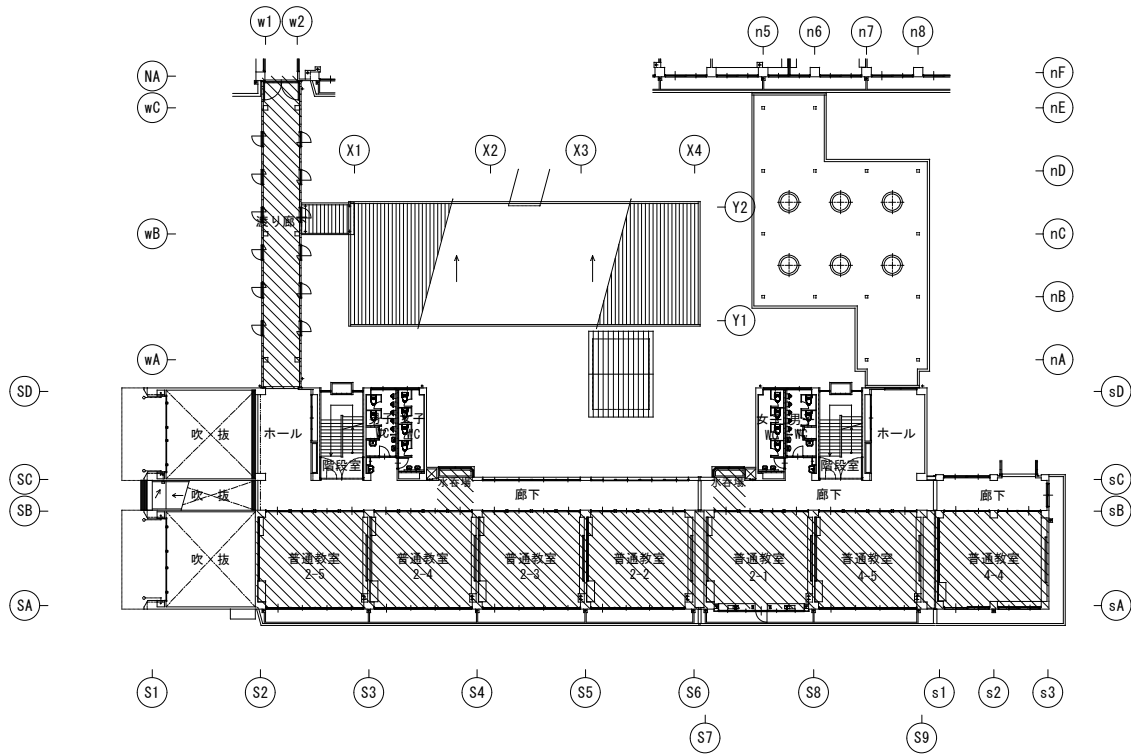
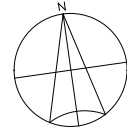
② 仮囲寸法図

記 号	名 称
<div></div>	長期休み工事使用範囲

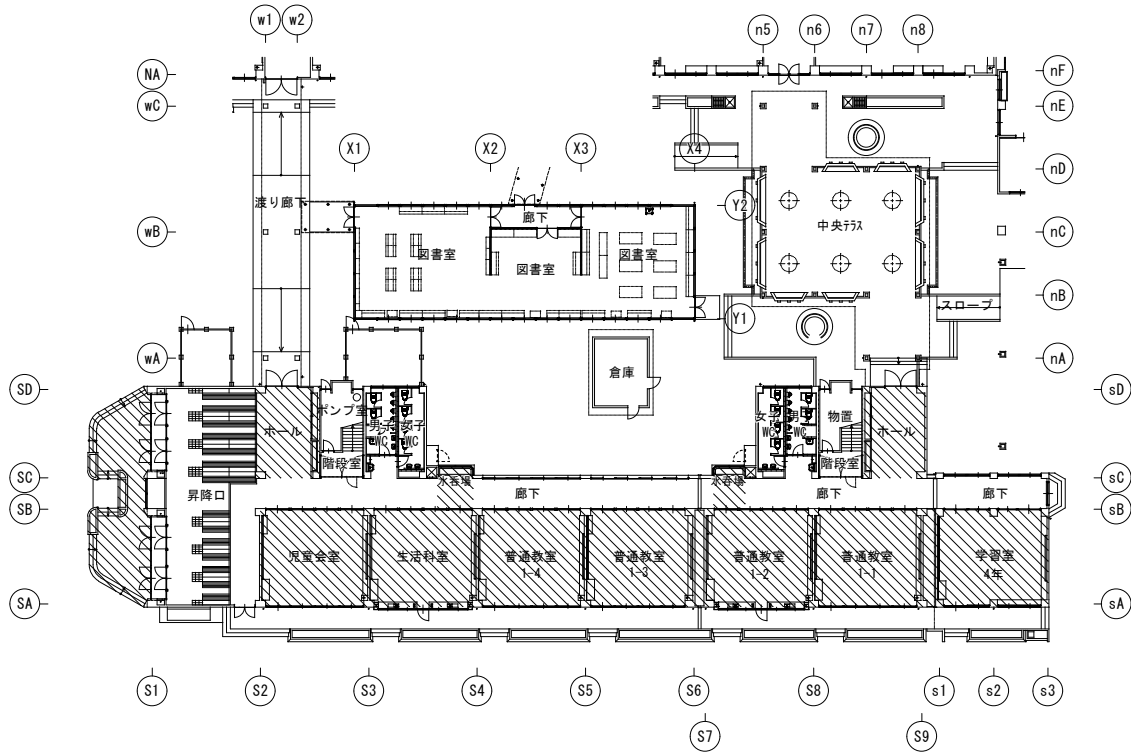
特 記 事 項

A1:ー
A3:ー

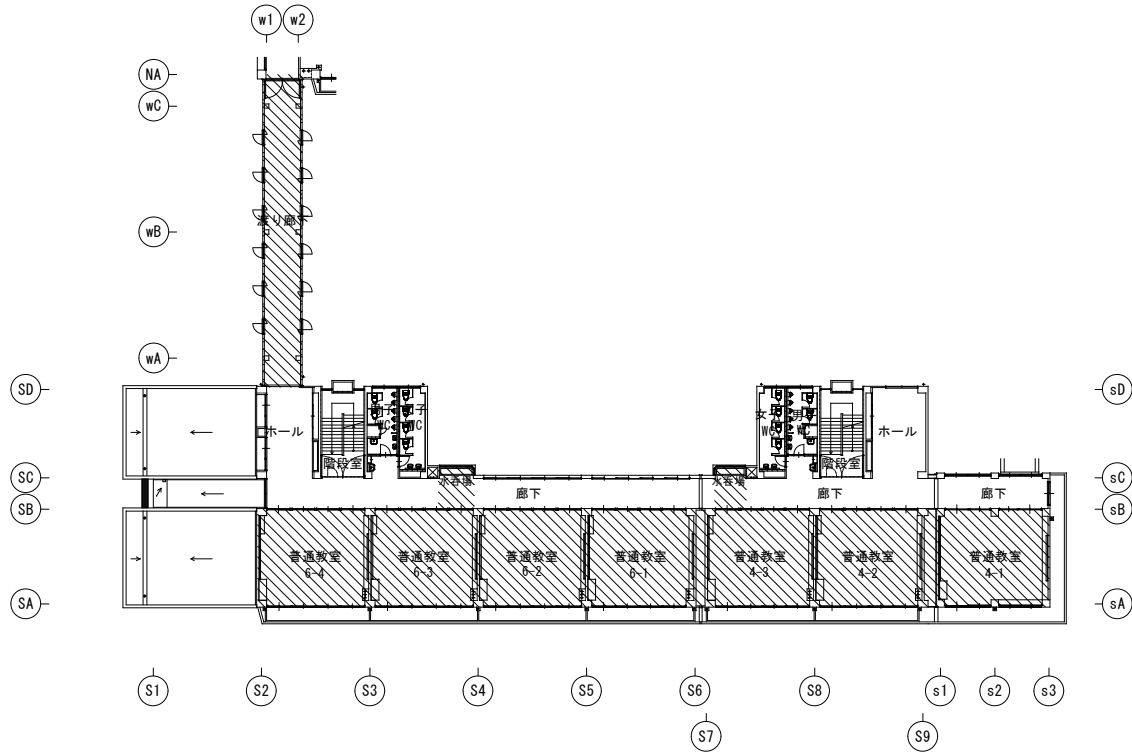
1. 本計画図は参考であり、実際の工事においては施工計画書を作成し、監督職員と協議の上決定する。
2. 長期休み工事使用範囲は、簡易バリケード等により工事使用範囲の明確化及び立入禁止措置を講じること。
3. 施工数量調査及びガタ補修については、教室内は長期休み工事とし、廊下等の共用部は随時実施工事とする。
ただし、養生・片付けを含め1日で作業が完了する工事については、協議の上随時工事実施可能とすることができる。



2階内部仮設計画図



1階内部仮設計画図



3階内部仮設計画図

O 1		特 記 事 項		O 2		下 地 凡 例		O 3		主 な 仕 上 げ 材 の 不 燃 , 準 不 燃 認 定 番 号		
○この工事は設計図書に従い施工するが、設計図書に明示されていない事項でも、法令・機能・納り上、当然必要なものは監督員の指示に従い施工する。		○けい酸カルシウム板張り：特記なき限り、すべて目透かし張りとする。		床	・ 直均しA		張物下地、塗物下地、直仕上（木ごと×1回、金ごと×3回）	○石こうボードt9.5 (GB-R)	：NM-8619	・強化石こうボードt21 (GB-F)	：NM-8615	
○本建物は、建築基準法第2条第1項9の2の号の耐火建築物であり、これに基づく耐火性能等によるものとする。		○化粧けい酸カルシウム板張り：特記なき限り、すべて目透かし張り、底目地タイプアルミジョイナー工法とする。			・ モルタル		タイル・石・フローリング下地（木ごと）	○石こうボードt12.5 (GB-R)	：NM-8619	・化粧石こう吸音ボード t 9.5 (GB-P)	：NM-0879	
○本建物は、建築基準法第2条第1項9の2の号の耐火建築物であり、これに基づく耐火性能等によるものとする。		○下地補強：ｶﾞｰﾄﾞ下地に手摺等を取り付ける場合は、軽量鉄骨補強材(t2.3)により下地補強を行う事とする。			・ モルタル金ごと		屋内防水・敷物・張物下地（金ごと）t30	○化粧石こうボードt9.5 (GB-D)	：NM-1864	「タイガースクエアトーンD」		
○断り工事：既存コンクリート・モルタル・タイルを断り撤去する場合は、カッター入れて残置部分と縁切りの上断り撤去すること。		○廻り縁：特記なき限り塩ビ製とし、天井材が木目調の室は木製（MDF・木・既製品）とする。			・ かさ上げコン		軽量ｺﾝｸﾘｰﾄ(気乾比重1.85)t100 直均しA + 溶接金網φ6×100角 + ｶﾞｽﾌﾟﾗﾝｸ(厚さは特記による)	○シーリング石こうボードt12.5 (GB-S)	：QM-9826	・壁用化粧石こうボード t 12.5 (GB-D-HC) (押入)	：NM-0530	
○中性化抑制工法：外部のｺﾝｸﾘｰﾄ面は、下記の部分を除き原則全て中性化抑制工法を実施すること。		○打放し仕仕上にジャンカや目違い等がある場合「吉田工法表面仕上システム」にて補修を行う事とする。			・ 乾式置床材		乾式置床下地+ﾊｰﾁｰﾙﾎｰﾄﾞ t 20+耐水合板 t 12	○シーリング石こうボードt9.5 (GB-S)	：QM-9826	○ロックウール化粧吸音板 t 9. 12. 15. 19 (DR)	：NM-8599	
○中性化抑制工法：外部のｺﾝｸﾘｰﾄ面は、下記の部分を除き原則全て中性化抑制工法を実施すること。		○塩ビ製廻り縁の内、壁が曲面の場合は糊創建「ビニール廻り縁役物R加工品」同等品程度とする。			・ 屋内防水		直均しB下地、屋内防水密着工法(E-1)、押えコンクリートt100(溶接金網6φ-100角入)	○硬質石こうボードt9.5、12.5 (GB-R-H)	：NM-1908	○けい酸カルシウム板t6.8 (0.8FK)	：NM-8578	
○ﾀﾞｲｸ床、ﾀｲﾙ、犬走		○上記以外のコンクリート面でジャンカや目違い等がある場合はポリマーモルタルセメントで補修する。			・ 木床組		直均しB下地、屋内防水密着工法(E-1)、押えコンクリートt100(溶接金網6φ-100角入)	○タイガーハイパーハードC	○化粧けい酸カルシウム板t6 (0.8FK)			：NM-8577
○花壇、靴洗(独立したもの)		○硬質塩ビ製壁紙の下がり止めはとも板とし、受金物ごとにより上下2個づつ接着剤を用いて固定する。			・ 下地調整塗材		C-2	※全ての仕上材はアスベスト含有建材でないものを使用すること。				
○防水層・ﾓﾙﾀﾙに被覆された部分		○硬質塩ビ製壁紙の下がり止めはとも板とし、受金物ごとにより上下2個づつ接着剤を用いて固定する。			・ 打放しA		打放し仕上げA種：（JAS 表面加工品・補修含む）塗装仕用上・タイル（接着張の場合）					
○仕上塗材の下地調整：上記中性化抑制工法施工部分の仕上塗材下地調整は中性化防止層として、防錆ﾊｰｽﾄ(JIS規格 下地調整0-2適合品)とする。		○硬質塩ビ製壁紙の下がり止めはとも板とし、受金物ごとにより上下2個づつ接着剤を用いて固定する。			・ 打放しB		打放し仕上げB種：（JAS B-C・補修含む）仕上塗材・機械室（グラスウール無）					
○ビニル床シート：特記なき限り、継目はすべて熱溶接工法とする。		○硬質塩ビ製壁紙の下がり止めはとも板とし、受金物ごとにより上下2個づつ接着剤を用いて固定する。		・ 打放しC		打放し仕上げC種：（JAS B-C）ビット・EVシャフト・PS・EPS・DS・機械室（グラスウール有）						
○セルフレベリング：直均しA下地の場合で仕上の平坦さは3mに付き10mm以下とし、それを超える場合はセルフレベリング材にて補修を行う事とする。		○硬質塩ビ製壁紙の下がり止めはとも板とし、受金物ごとにより上下2個づつ接着剤を用いて固定する。		・ GL		石こうボードt12.5直張り工法						
○石こうボード張り：特記なき限り、表面石こうボードはテーパーエッジとし、目地工法は継目処理工法とする。		○硬質塩ビ製壁紙の下がり止めはとも板とし、受金物ごとにより上下2個づつ接着剤を用いて固定する。		・ GLH		石こうボードt12.5直張り工法 + 硬質石こうｶﾞｰﾄﾞ t9.5						
○水廻りボード：トイレ・脱衣室・ユニットバス・給湯室・浴室などの水廻り壁の室・天井の石こうボードはシージング石こうボード(準不燃)を使用する。		○硬質塩ビ製壁紙の下がり止めはとも板とし、受金物ごとにより上下2個づつ接着剤を用いて固定する。		・ 軽量鉄骨下地		※軽量鉄骨下地は上部スラブまでとし（PS囲い等は天井まで）、ボード張りは下記のとおり天井又はスラブまでとする。	○SOP：合成樹脂調合ペイント ○EP-G：つや有合成樹脂エマルジョンペイント					
○防水改修：屋上防水改修にあたっては、施工上必要な仮防水を含む。		○硬質塩ビ製壁紙の下がり止めはとも板とし、受金物ごとにより上下2個づつ接着剤を用いて固定する。		・ 共通事項			・ CL：クリアラッカー ○EP：合成樹脂エマルジョンペイント					
		○硬質塩ビ製壁紙の下がり止めはとも板とし、受金物ごとにより上下2個づつ接着剤を用いて固定する。		・ LGS		軽量鉄骨下地（種類等は標準仕様書による）	・ NAD：アクリル樹脂系非水分散形塗料 ・ UC：ウレタン樹脂ワニス					
		○硬質塩ビ製壁紙の下がり止めはとも板とし、受金物ごとにより上下2個づつ接着剤を用いて固定する。		・ LGS(一般)		LGS + 石こうｶﾞｰﾄﾞ t 12.5 (両面) (ｶﾞｰﾄﾞは天井まで)	○DP1級：鉄部ふっ素樹脂エナメル（2-FUE）一般木部：B種 2回塗					
		○硬質塩ビ製壁紙の下がり止めはとも板とし、受金物ごとにより上下2個づつ接着剤を用いて固定する。		・ LGS(ｽﾗﾌﾞ)		LGS(一般)でｶﾞｰﾄﾞはｽﾗﾌﾞ下まで	・ DP2級：鉄部ﾌﾗｸﾄﾘｵﾝ樹脂ｴﾅﾐﾙ（2-ASE）フローリング：A種 3回塗					
		○硬質塩ビ製壁紙の下がり止めはとも板とし、受金物ごとにより上下2個づつ接着剤を用いて固定する。		・ LGS(一般H)		LGS + 硬質石こうボード t 12.5 (両面) (ボードは天井まで)	・ DP3級：鉄部ｶﾞｸﾘｵﾝ樹脂ｴﾅﾐﾙ（2-UE）・ OS：オイルステイン					
		○硬質塩ビ製壁紙の下がり止めはとも板とし、受金物ごとにより上下2個づつ接着剤を用いて固定する。		・ 打放しA		打放し仕上げA種：（JAS 表面加工品・補修含む）塗装仕用上・タイル（接着張の場合）	・ DP A種：ｺﾝｸﾘｰﾄふっ素樹脂ｴﾅﾐﾙ（2-FUE）					
		○硬質塩ビ製壁紙の下がり止めはとも板とし、受金物ごとにより上下2個づつ接着剤を用いて固定する。		・ 打放しB		打放し仕上げB種：（JAS B-C・補修含む）仕上塗材・機械室（グラスウール無）	・ DP B種：ｺﾝｸﾘｰﾄ ﾏｸﾘﾙｵﾘｵﾝ樹脂ｴﾅﾐﾙ（2-ASE）					
		○硬質塩ビ製壁紙の下がり止めはとも板とし、受金物ごとにより上下2個づつ接着剤を用いて固定する。		・ 打放しC		打放し仕上げC種：（JAS B-C）ビット・EVシャフト・PS・EPS・DS・機械室（グラスウール有）						
		○硬質塩ビ製壁紙の下がり止めはとも板とし、受金物ごとにより上下2個づつ接着剤を用いて固定する。		・ CLGS		軽量鉄骨天井下地（直張用）						
		○硬質塩ビ製壁紙の下がり止めはとも板とし、受金物ごとにより上下2個づつ接着剤を用いて固定する。		・ CLGS(石)		軽量鉄骨天井下地（石こうボード t 9.5下張）						
		○硬質塩ビ製壁紙の下がり止めはとも板とし、受金物ごとにより上下2個づつ接着剤を用いて固定する。		・ CLGS(両)		軽量鉄骨天井下地（石こうボード t 9.5下張）グラスウール24K t 50敷込						
		○硬質塩ビ製壁紙の下がり止めはとも板とし、受金物ごとにより上下2個づつ接着剤を用いて固定する。		・ CLGS(直)		支持構造部直固定天井下地						

05	仕 上	<div></div> : アスベスト含有建材を示す (特記なき場合ハ'J3)			
棟名称、部位	改 修 前	改 修 後 ※特記なき場合、新設とする	部位	改 修 前	改 修 後 ※特記なき場合、新設とする

【共通】					
外部コンクリート面	コンクリート面 ※仕上の除去方法は図示による 全面施工数量調査	7%カリ性含侵材中性化抑制制工法(ケイ酸リゾル系、2回塗) クラック補修 幅0.3以上～1.0未満:自動式低圧Eポキシ樹脂注入工法 クラック補修 幅1.0以上:Uレジン材充填工法(弾性シーリング) 欠損部補修:Eポキシマセック充填工法	内部コンクリート面	全面施工数量調査	外部に面するクラック補修 幅0.3以上～1.0未満:自動式低圧Eポキシ樹脂注入工法 外部に面するクラック補修 幅1.0以上:Uレジン材充填工法(可とう性Eポキシ樹脂) その他のクラック補修 幅1.0以上:Uレジン材充填工法(可とう性Eポキシ樹脂) クラック補修部 下地調整(RA処理)の上 EP塗 幅150
外壁目地	シーリング(PU-2 15×10) [撤去]	シーリング(PU-2 15×10)	外部鉄骨見え隠れ	既存鉄骨 [塗膜除去]	下地調整(RB処理)の上 鉛鉛鉛鉛-錆止(工程C) ※改修範囲は鉄骨構造図(参考図)による
外部建具	建具廻りシーリング(MS-2 15×10) [撤去]	建具廻りシーリング(MS-2 15×10)	外部鉄骨見え掛かり	既存鉄骨 [塗膜除去]	下地調整(RB処理) + 鉛鉛鉛鉛-錆止(工程C)の上 DP(1級)塗 ※改修範囲は鉄骨構造図(参考図)による

屋上A	平場	7777防水 [既存] + 押えコンクリートt60 [既存]の上 ウレタ系塗膜防水(X-1) [撤去]、 成形伸縮目地材 [撤去]、SUS製脱気筒 [撤去]	ケレン清掃 + ＊リマーセメントモルタルの上 アスファルト防水(D-1、常温複合工法)、 SUS製脱気筒、7mm製目地処理材t0.3×W90	屋根A(続き)	笠木 ドレン	木下地 240×40 [撤去]の上 亜鉛鉄板t0.5 W240 [撤去]、一部 モルタル笠木 W460 [撤去] 錆鉄製引引き φ100用 [既存] 錆鉄製コヨ引き φ80用 [既存]	7mm製 W200・500 改修用鋼製引引き □365(既存φ100用、スレーナとも) 改修用鋼製コヨ引き W300×H160(既存φ80用、スレーナとも)
	立上(下)	7777防水 [撤去] + ワイヤ (#22) モルタル [撤去]の上 ウレタ系塗膜防水(X-2) [撤去]、 7mm防水押え金物 [撤去]	ケレン清掃 + ＊リマーセメントモルタルの上 アスファルト防水(D-1、常温複合工法)、 7mm水切金物 W30×H100、7mm防水押え金物 W15×H30	外壁	外壁A 外壁B 外壁C	コンクリート打放の上 複層塗材E [高圧水洗工法] コンクリート打放の上 ケ酸質系塗装 [サグー工法] 押出成形モルタル板 t60 [既存]の上 複層塗材E [水洗い工法]	下地調整(C-2)の上 防水型複層塗材E(ゆず肌) 下地調整(C-2)の上 防水型複層塗材E(ゆず肌) とくろ形改修塗材E(厚付仕上)
	立上(上)	モルタル [撤去]	下地調整(C-2)の上 防水型複層塗材E(ゆず肌)	基礎巾木A	モルタル [既存]	水洗(高圧ホップ)の上 フッ素樹脂グリス塗装	
	笠木	木下地 240×40 [撤去]の上 亜鉛鉄板t0.5 W240 [撤去]	7mm製 W225	軒天	軒天A 軒天C	コンクリート打放の上 ケ酸質系仕上塗材 [サグー工法] LGS下地 [撤去]の上 グラス板t6(7mm×スチ含有) VP塗 [撤去]	外装薄塗材E LGS(25型)の上 グラス板 t6(目透し) EP-G塗
	ドレン	錆鉄製引・コヨ引き φ100用 [既存]	改修用鋼製引引き □365(既存φ100用、スレーナとも) 改修用鋼製コヨ引き W300×H175(既存φ100用、スレーナとも) 下地調整(RA種) + 鉛パドルリー鎮止(工程A種)の上 DP(1級)塗	堅礎	堅礎A	SGP(白ガメ管) [塗膜除去]、支持金具 [撤去]、一部 SGP(白ガメ管) [撤去]	下地調整(RA種) + 鉛パドルリー鎮止(工程A種)の上 DP(1級) [替替]、SUS製支持金具φ1200、一部 SGP(白ガメ管) DP(1級)塗 [新設]
	手すり	SGP32A OP塗 [塗膜除去]、ブランチ:SGP25A OP塗φ1200 [塗膜除去]	SUS製あと施工フック W400	テラ	床、階段 花壇	モルタル(目地切) [撤去]、陶器瓦段昇タル [撤去] UP付型枠コンクリート打放の上 複層塗材Si [高圧水洗工法]	モルタルの上 ビニールシートt.5(屋外公用)、SUS製ノリツブリ (タイル) W35 下地調整(C-2)の上 防水型複層塗材E(ゆず肌)
	フラワ	SGP32A OP塗 [撤去]、ブランチ:SGP25A OP塗φ1200 [撤去]	SUS製あと施工フック W400	n'ホコ-A	床	防水モルタル [既存]の上 ウレタ系塗膜防水(X-2) [撤去]	ケレン清掃 + ＊リマーセメントモルタルの上 ウレタ系塗膜防水(X-2、防汚)
	煙突	立上(下・上)に同じ、降置:銅板製 PL-4.5 [撤去]	立上(下・上)に同じ、降置:SUS製 PL-1.0 + 煙突穴塞ぎ(発泡ウレタンフォームA種 t50)		手すり壁	モルタル [撤去]の上 ケ酸質系塗装 [サグー工法]	下地調整(C-2)の上 防水型複層塗材E(ゆず肌)
	PS立上	立上(下・上)に同じ、天窗:アスファルト防水 [撤去]、 軒先-L90×90×7 [塗膜除去]	立上(下・上)に同じ、天窗:ケレン・清掃 + ＊リマーセメントモルタルの上 ウレタ系塗膜防水(X-2)、軒先水切金物 W120 軒先:下地調整(RA種) + 鉛パドルリー鎮止(工程A種)の上 DP(1級)塗		笠木	防水モルタル [撤去]の上 ウレタ系塗膜防水(X-2) [撤去]	7mm製 W200
屋上D	平場	7777防水 [既存] + 押えコンクリートt60 [既存]の上 ウレタ系塗膜防水(X-1) [撤去]、 成形伸縮目地材 [撤去]、SUS製脱気筒 [撤去]	ケレン清掃 + ＊リマーセメントモルタルの上 アスファルト防水(D-1、常温複合工法)、 SUS製脱気筒、7mm製目地処理材t0.3×W90		手すり	SGP32A OP塗 [塗膜除去]、ブランチ:SGP25A OP塗φ1200 [塗膜除去]	下地調整(RA種) + 鉛パドルリー鎮止(工程A種)の上 DP(1級) [替替]
	立上	7777防水 [撤去] + ワイヤ (#22) モルタル [撤去]の上 ウレタ系塗膜防水(X-2) [撤去]	ケレン清掃 + ＊リマーセメントモルタルの上 アスファルト防水(D-1、常温複合工法)		ドレン	錆鉄製引引き中継 φ100用 [既存]	-
	笠木	木下地 240×40 [撤去]の上 亜鉛鉄板t0.5 W240 [撤去]	7mm製 W200・225		床、階段	せつ器瓦150角タル [一部撤去]	磁器瓦150角タル [一部新設]、磁器瓦150角段昇タル [新設]
	ドレン	錆鉄製コヨ引き φ80用 [既存]	改修用鋼製コヨ引き W300×H160(既存φ80用、スレーナとも)		花壇	UP付型枠コンクリート打放の上 複層塗材Si [高圧水洗工法]	下地調整(C-2)の上 防水型複層塗材E(ゆず肌)
	設備基礎	ウレタ系塗膜防水(X-2) [撤去]	ケレン清掃 + ＊リマーセメントモルタルの上 常温反応型改質アスファルト塗膜材(田島&フジノ)レイバ工法 立上り塗膜仕上同等品以上)		靴洗イ	防水モルタル [既存]、鋼製ゲレーンク 1000×500 [既存]、複層塗材E [高圧水洗工法]	下地調整(C-2)の上 防水型複層塗材E(ゆず肌)
屋根A	平場	7777防水 [既存] + 押えコンクリートt100 [既存]の上 ウレタ系塗膜防水(X-1) [撤去]、 成形伸縮目地材 [撤去]、SUS製脱気筒 [撤去]	ケレン清掃 + ＊リマーセメントモルタルの上 アスファルト防水(D-1、常温複合工法)、 SUS製脱気筒、7mm製目地処理材t0.3×W90		靴洗イB	コンクリート立上り [破損部撤去]の上 防水モルタル [撤去]	コンクリート立上り [一部新設]の上 防水モルタル
	立上(下)	7777防水 [撤去] + ワイヤ (#22) モルタル [撤去]の上 ウレタ系塗膜防水(X-2) [撤去]、 一部7mm防水押え金物 [撤去]	ケレン清掃 + ＊リマーセメントモルタルの上 アスファルト防水(D-1、常温複合工法)、 一部7mm水切金物 W30×H100、一部7mm防水押え金物 W15×H30	その他	窓台水切	防水モルタル [既存]	ケレン清掃 + ＊リマーセメントモルタルの上 ウレタ系塗膜防水(X-2)
	立上(上)	モルタル [撤去]	下地調整(C-2)の上 防水型複層塗材E(ゆず肌)	建具	SW	鋼製窓 (撤去(かん工法))	7mm製窓 (かん工法)
					SD	鋼製ドア [塗膜除去]、一部鋼製ドア [撤去(撤去工法)] + 建具廻り仕上 [撤去]	下地調整(RA種) + 鉛パドルリー鎮止(工程A種)の上 DP(1級) [替替]、7mm製引違戸 [新設] + 建具廻り仕上 [新設]

屋上B	平場	7777防水 [既存]の上 押えコンクリートt60 [既存]、成型伸縮目地材 t20 [撤去]	ケル清掃 + 6 リアメント666の上 7777防水 (D-1、常温複合工法)、SUS製脱気筒、766製目地処理材t0.3×W90	外壁	外壁A 外壁B 外壁C 基礎巾木A 軒天 軒天C 軒天O	コンクリート打放の上 複層塗材E [高圧水洗工法] コンクリート打放の上 74酸質系塗装 [サグ+工法] 押出成形セメント板 t60 [既存]の上 複層塗材E [水洗い工法] 666塗 [既存] コンクリート打放の上 74酸質系土上塗材 [サグ+工法] LGS下地 [撤去]の上 7777板t6 (7777+ス含有) VP塗 [撤去]	下地調整 (C-2)の上 防水型複層塗材E (ゆず肌) 下地調整 (C-2)の上 防水型複層塗材E (ゆず肌) くとう形改修塗材E (厚付仕上) 水洗 (高圧666)の上 7777樹脂7777塗装 外装薄塗材E LGS (25型)の上 7477板 t6 (目達し) EP-6塗
	立上 (下)	7777防水 [撤去]の上 7477ス (#22) 666塗 [撤去]	ケル清掃 + 6 リアメント666の上 7777防水 (D-1、常温複合工法)、766水切金物 W30×H100、766防水押え金物 W15×H30	軒天	SGP (白ガ) 8管 [塗膜除去]、支持金具 [撤去] 666塗 (目地切) [撤去]、陶器質段鼻747 [撤去] 花壇 7777付型枠コンクリート打放の上 複層塗材S [高圧水洗工法]	下地調整 (RA種) + 鉛7477リ-錆止 (工程A種)の上 DP (1級) [塗替]、SUS製支持金具#1200 666塗の上 ビム床7777t2.5 (屋外防汚)、SUS製ノリツリ (7477ス) W35 下地調整 (C-2)の上 防水型複層塗材E (ゆず肌)	
	立上 (上)	666塗 [撤去]	下地調整 (C-2)の上 防水型複層塗材E (ゆず肌)	軒天	SGP (白ガ) 8管 [塗膜除去]、支持金具 [撤去] 666塗 (目地切) [撤去]、陶器質段鼻747 [撤去] 花壇 7777付型枠コンクリート打放の上 複層塗材S [高圧水洗工法]	下地調整 (RA種) + 鉛7477リ-錆止 (工程A種)の上 DP (1級) [塗替]、SUS製支持金具#1200 666塗の上 ビム床7777t2.5 (屋外防汚)、SUS製ノリツリ (7477ス) W35 下地調整 (C-2)の上 防水型複層塗材E (ゆず肌)	
	笠木	木下地 240×40 [撤去]の上 亜鉛鉄板t0.5 W240 [撤去]	766製 W225	軒天	SGP (白ガ) 8管 [塗膜除去]、支持金具 [撤去] 666塗 (目地切) [撤去]、陶器質段鼻747 [撤去] 花壇 7777付型枠コンクリート打放の上 複層塗材S [高圧水洗工法]	下地調整 (RA種) + 鉛7477リ-錆止 (工程A種)の上 DP (1級) [塗替]、SUS製支持金具#1200 666塗の上 ビム床7777t2.5 (屋外防汚)、SUS製ノリツリ (7477ス) W35 下地調整 (C-2)の上 防水型複層塗材E (ゆず肌)	
	ドレン	鋼鉄製7777引き Φ100用 [既存]	改修用鋼製7777引き □365 (既存Φ100用、ストレナーとも) 改修用鋼製7777引き W300×H175 (既存Φ100用、ストレナーとも)	軒天	SGP (白ガ) 8管 [塗膜除去]、支持金具 [撤去] 666塗 (目地切) [撤去]、陶器質段鼻747 [撤去] 花壇 7777付型枠コンクリート打放の上 複層塗材S [高圧水洗工法]	下地調整 (RA種) + 鉛7477リ-錆止 (工程A種)の上 DP (1級) [塗替]、SUS製支持金具#1200 666塗の上 ビム床7777t2.5 (屋外防汚)、SUS製ノリツリ (7477ス) W35 下地調整 (C-2)の上 防水型複層塗材E (ゆず肌)	
屋上E	手すり (床置)	H-1100、支柱・手摺:SGP32A OP塗 [撤去]、控え:SGP25A OP塗 [撤去]、横桎:FB-75×4 OP塗 [撤去]、基礎:無防コンクリート 300×750×H300 [撤去]	-	手すり壁	666塗 [撤去]の上 複層塗材E [高圧水洗工法] PC板 200×40 [撤去]	下地調整 (C-2)の上 防水型複層塗材E (ゆず肌) 下地調整 (C-2)の上 防水型複層塗材E (ゆず肌)	
	手すり (壁付)	SGP32A OP塗 [塗膜除去]、ブラケット:SGP25A OP塗#1200 [塗膜除去]	下地調整 (RA種) + 鉛7477リ-錆止 (工程A種)の上 DP (1級) [塗替]	手すり壁	SGP32A OP塗 [塗膜除去]、ブラケット:SGP25A OP塗#1200 [塗膜除去]	下地調整 (RA種) + 鉛7477リ-錆止 (工程A種)の上 DP (1級) [塗替]	
	煙突	立上 (下・上)に同じ、降笠:銅板製 PL-4.5 [撤去]	立上 (下・上)に同じ、降笠:SUS製 PL-1.0 + 煙突穴塞ぎ (発泡ウレタンフォームA種 t150)	手すり	SGP32A OP塗 [塗膜除去]、ブラケット:SGP25A OP塗#1200 [塗膜除去]	下地調整 (RA種) + 鉛7477リ-錆止 (工程A種)の上 DP (1級) [塗替]	
	平場	7777防水 [既存]の上 押えコンクリートt60 [既存]、成型伸縮目地材 t20 [撤去]	ケル清掃 + 6 リアメント666の上 7777防水 (D-1、常温複合工法)、SUS製脱気筒、766製目地処理材t0.3×W90	ドレン	鋼鉄製7777引き中継 Φ100用 [既存]	-	
	立上	7777防水 [撤去]の上 7477ス (#22) 666塗 [撤去]	ケル清掃 + 6 リアメント666の上 7777防水 (D-1、常温複合工法)	ドレン	鋼鉄製7777引き Φ80用 [既存]	改修用鋼製7777引き W300×H160 (既存Φ80用、ストレナーとも)	
建具	笠木	木下地 240×40 [撤去]の上 亜鉛鉄板t0.5 W240 [撤去]	766製 W200	EXP、7477-B	屋根-屋根 外壁-外壁 床-床	木下地 200×50 [撤去] + 亜鉛鉄板t0.5 曲げ加工 [撤去]の上 7477系塗膜防水 (X-2) [撤去] 766製 (既製品) W160 (70用) 軒天とも [取外・一部撤去] 766製 (既製品) W160 (70用) [取外]	766製 (既製品) W400 (70用、耐火帯t12.5) 同左 [再取付]、熱可塑性エラストマー製 W100 (W100用、耐火帯t12.5) [新設] 同左 [再取付]
	ドレン	鋼鉄製7777引き Φ80用 [既存]	改修用鋼製7777引き W300×H160 (既存Φ80用、ストレナーとも)	SW	鋼製窓 [撤去 (7477+工法)]	766製窓 (7477+工法)	
				鋼製7777 [塗膜除去]、一部鋼製7777 [撤去 (撤去工法)]		下地調整 (RA種) + 鉛7477リ-錆止 (工程A種)の上 DP (1級) [塗替]、766製引違戸 [新設]	

設計名称		令和7年度 岩沼西小学校校舎長寿命化外部改修工事(第Ⅰ期)	
図面名称		仕上表1	
組	尺	A1:N・S A3:N・S	年 月 2024.03 設計番号 図面番号 A-015
 相和技術研究所 株式会社 宮城県知事登録 第22910116号		承認/ 岩沼 直幸 設計者/ 一般建築士 第28445号 岩沼 直幸	製図/ 西巻 裕太

01

仕上

様名称、部位

改修前

改修後 ※特記なき場合、新設とする

部位

改修前

改修後 ※特記なき場合、新設とする

【南校舎3】

屋上C

平場（一般部）

硬質ウレタンフォーム t25【既存】＋**アスファルト露出防水**【既存】の上 砂利敷き t80【撤去】、押えPCブロック 120×80【撤去】

平場（側溝部）

アスファルト露出防水（絶縁工法）【既存】

立上（下）

アスファルト露出防水（絶縁工法）【撤去】、7&ミ水切金物【取外】

立上（上）

コンクリート打放の上 複層塗材E【高圧水洗工法】

笠木

7&ミ製（既製品）W250【取外】

ドレン

鋼鉄製引きき 巾100用【既存】

外壁

外壁A

コンクリート打放の上 複層塗材E【高圧水洗工法】

基礎巾木B

コンクリート打放【既存】

軒天

軒天B

コンクリート打放の上 複層塗材E【高圧水洗工法】

堅樋

堅樋A

SGP（白ガラス管）【塗膜除去】、支持金具【撤去】

ケレン清掃＋アスファルト系下地調整材の上 アスファルト防水（D-1、常温複合法）、SUS製脱気筒

ケレン清掃＋アスファルト系下地調整材の上 アスファルト防水（D-1、常温複合法）

ケレン清掃＋ポリマーセメントモルタルの上 アスファルト防水（D-1、常温複合法工法）、7&ミ水切金物【再取付】、7&ミ防水押え金物 W15×H30

ケレン清掃＋ポリマーセメントモルタルの上 アスファルト防水（D-1、常温複合法工法）、7&ミ製 W250【再取付】

改修用鋼製引きき 巾365（既存巾100用、スレーナとも）

下地調整（C-2）の上 防水型複層塗材E（ゆず肌）

7&ミ製 W250【再取付】

改修用鋼製引きき 巾365（既存巾100用、スレーナとも）

下地調整（C-2）の上 防水型複層塗材E（ゆず肌）

水洗（高圧ポンプ）の上 フッ素樹脂珪酸系塗装

外装薄塗材E

下地調整（RA種）＋鉛鉛鉛フリー錆止（工程A種）の上 DP（1級）【塗替】、SUS製支持金具φ1200

たすく

床、階段

モルタル塗（目地切）【撤去】、陶器質段鼻材【撤去】

花壇

リブ付型枠コンクリート打放の上 複層塗材E【高圧水洗工法】

雑洗い

モルタル塗【既存】

床

防水モルタル塗【既存】

手すり壁

コンクリート打放の上 複層塗材E【高圧水洗工法】

笠木

PC板 200×40【撤去】

手すり

SUS製 巾42.7【既存】

ドレン

鋼鉄製引きき中継 巾100用【既存】

EXP、Jかん-C

屋根-屋根

7&ミ製（既製品）W530（100用）【取外】

外壁-外壁

7&ミ製（既製品）W220（100用）軒天とも【取外・一部撤去】

外壁コーナー

7&ミ製（既製品）W160+50（100用）軒天とも【取外】

床-床

7&ミ製（既製品）W320（100用）【取外】

その他

タタ

モルタル塗【撤去】、磁器質段鼻材【撤去】

モルタル塗の上 ビニル床シート2.5（屋外防滑）、SUS製ノスリッパ（タイルス）W35

下地調整（C-2）の上 防水型複層塗材E（ゆず肌）

－

ケレン清掃＋ポリマーセメントモルタルの上 ウレタン系塗膜防水（X-2、防滑）

下地調整（C-2）の上 防水型複層塗材E（ゆず肌）

7&ミ笠木 W200

－

－

同左【再取付】

同左【再取付】、熱可塑性ポリマー製 W100（W100用、耐火帯t12.5）【新設】

同左【再取付】

同左【再取付】

モルタル塗の上 ビニル床シート2.5（屋外防滑）、SUS製ノスリッパ（タイルス）W35

【渡り廊下1】

屋上F

平場

ALC板モルタル補修【既存】の上 **アスファルト防水**【既存】、一部**アスファルト防水**【既存】の上 ウレタン系塗膜防水（X-2）【撤去】

立上

ALC板モルタル補修【既存】の上 **アスファルト防水**【撤去】、一部**アスファルト防水**【撤去】の上 ウレタン系塗膜防水（X-2）【撤去】

笠木

木下地 160×40【撤去】の上 亜鉛鉄板t0.5 W160【撤去】

ドレン

鋼鉄製引きき 巾80用【既存】

外壁

外壁D

ALC板 t125【既存】の上 複層塗材E【水洗い工法】

外壁H

－ ※既存開口部

柱型A

52下地モルタル塗【撤去】の上 複層塗材E【撤去】

ケレン清掃＋アスファルト系下地調整材の上 アスファルト防水（D-1、常温複合法）、SUS製脱気筒

ケレン清掃＋ポリマーセメントモルタルの上 アスファルト防水（D-1、常温複合法工法）
一部 L-50×50×6 溶融亜鉛メッキ（HDZ177）＋硬質ウレタンフォーム t25の上 アスファルト防水（D-1、常温複合法工法）

7&ミ製 W175

改修用鋼製引きき W300×H160（既存巾80用、スレーナとも）

可とう形改修塗材E（厚付仕上）

高耐食ポリ銅板 t1.6＋鉛鉛鉛フリー錆止（工程A種）の上 DP（1級）塗、裏面：吹付ロック t35（かさ比重0.3以上、FP060NE-9305）

ケイ酸板 t20 耐火接着材張り（告示1399号 柱耐火1時間）の上 防水型複層塗材E（ゆず肌）

下部床材立上 H150、水切：タタカかんリウム銅板 t0.4 曲げ加工

軒天

軒天D

LGS下地【既存】の上 ケイ酸板t6 EP塗【既存】

EXP、Jかん-A

堅樋

堅樋A

SGP（白ガラス管）【塗膜除去】、支持金具【撤去】

屋根-外壁

鋼板 t0.4 曲げ加工【撤去】の上 ウレタン系塗膜防水【撤去】

外壁コーナー

7&ミ製（既製品）W105+60（50用）【撤去】

天井-天井

7&ミ製（既製品）W220（50用）【取外】

ビロティ

床

コンクリート直均し【既存】

建具

SW

鋼製窓【撤去（撤去工法）】

2F・3F渡り廊下

床

ビニル床シート t2.0【一部撤去】

天井

LGS下地【撤去】の上 化粧石膏ボード t9.5（塩ビ廻り縁とも）【撤去】

－

下地調整（RA種）＋鉛鉛鉛フリー錆止（工程A種）の上 DP（1級）【塗替】、SUS製支持金具φ1200

7&ミ製（既製品）W725（90用、耐火帯t25）

7&ミ製（既製品）W160+20（100用、耐火帯t25）

同左【再取付】

ポリマーセメントモルタルの上 ビニル床シート2.5（屋外防滑）、SUS製ノスリッパ（タイルス）W35

7&ミ製窓【新設】

ビニル床シート t2.0【一部新設】

LGS（19形）下地の下 GB-NC t9.5（塩ビ廻り縁とも）

【中央12A】

屋根G

平場

均しモルタル30【既存】の上 塩ビ系シート防水【撤去】

立上

モルタル塗【撤去】の上 塩ビ系シート防水【撤去】

笠木

7&ミ製（既製品）W250【取外】

ドレン

鋼鉄製引きき 巾100用【既存】

トブライト

モルタル塗【撤去】

廻り

外壁

外壁F

ホ-ロ-化粧銅板t1.6（裏張り ケイ酸板t12）【既存】、目地シーリング【撤去】

立上

コンクリート打放の上 複層塗材E【高圧水洗工法】
一部リブ付型枠コンクリート打放の上 複層塗材E【高圧水洗工法】

花壇

リブ付型枠コンクリート打放の上 複層塗材E【高圧水洗工法】

ベンチ

座面・背板：ヒノキ板t20 CL塗【塗膜除去】、
立上り：コンクリート打放の上 複層塗材E【高圧水洗工法】

円形花壇

座面・背板：人研ぎ仕上t30【撤去】、
立上り：コンクリート打放の上 複層塗材E【高圧水洗工法】

ケレン清掃＋ポリマーセメントモルタルの上 塩ビ系シート防水（S-F2）、一部勾配調整モルタル塗、SUS製脱気筒

ケレン清掃＋ポリマーセメントモルタルの上 塩ビ系シート防水（S-F2）、
7&ミ製（既製品）W250【再取付】

改修用鋼製引きき 巾365（既存巾100用、スレーナとも）

ケレン清掃＋ポリマーセメントモルタルの上 ウレタン系塗膜防水（X-2）
7&ミ水切金物 W30×H100、7&ミ防水押え金物 W15×H30

水洗（高圧ポンプ）、目地シーリング MS-2 15×10

下地調整（C-2）の上 防水型複層塗材E（ゆず肌）

下地調整（C-2）の上 防水型複層塗材E（ゆず肌）

座面・背板：下地調整（RB種）の上 無機系珪酸系塗装【塗替】
立上り：下地調整（C-2）の上 防水型複層塗材E（ゆず肌）

座面：ケレン清掃＋ポリマーセメントモルタルの上 ビニル床シート2.0（屋外）、7&ミ製床見切 W25、
背板・立上り：ケレン清掃＋下地調整（C-2）の上 防水型複層塗材E（ゆず肌）

軒天

軒天E

LGS下地【撤去】の上 **石綿セメント板t5** VP塗【撤去】

EXP、Jかん-A

堅樋

堅樋A

SGP（白ガラス管）【塗膜除去】、支持金具【撤去】

床

平場A

300角陶板タイル【一部撤去】

平場B

100角二丁掛磁器質タイル【既存】

階段

150角磁器質タイル【一部撤去】、150角磁器質段鼻タイル【一部撤去】

タ-ブ

300角陶板タイル【既存】

床目地

目地シーリング 15×10【撤去】

EXP、Jかん-C

屋根-外壁

7&ミ製（既製品）W325（100用）【取外】

外壁コーナー

7&ミ製（既製品）W160+20（100用）軒天とも【取外】

LGS（25型）の上 ケイ酸板 t6（目透し）EP-G塗、7&ミ製水切 W75×H30

－

下地調整（RA種）＋鉛鉛鉛フリー錆止（工程A種）の上 DP（1級）【塗替】、SUS製支持金具φ1200

300角磁器質タイル【一部新設】、水洗い（高圧ポンプ）

水洗い（高圧ポンプ）

150角磁器質タイル【一部新設】、150角磁器質段鼻タイル【一部新設】、水洗い（高圧ポンプ）

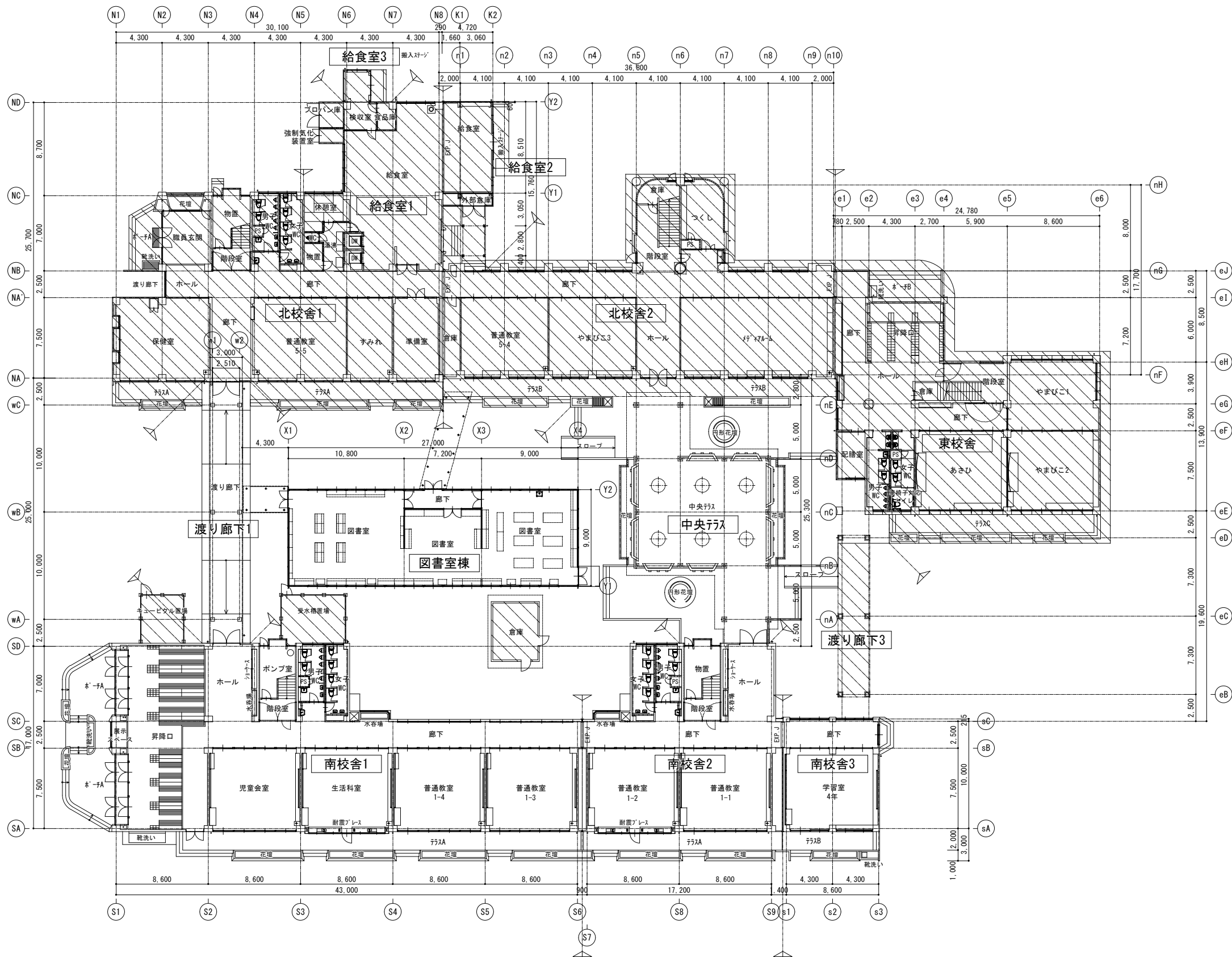
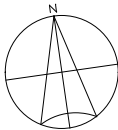
水洗い（高圧ポンプ）

目地シーリング PU-2 15×10

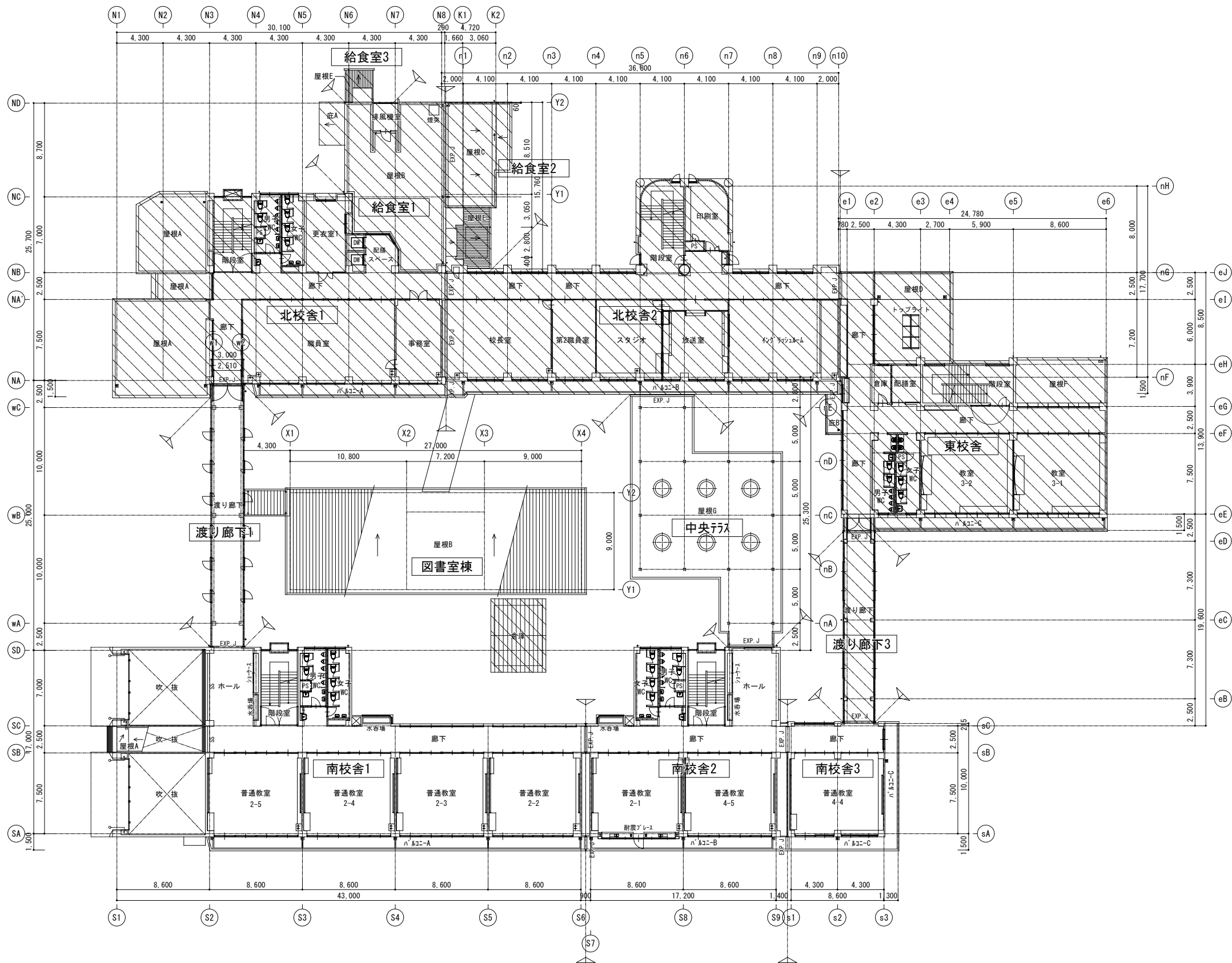
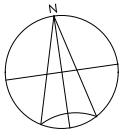
同左【再取付】

同左【再取付】

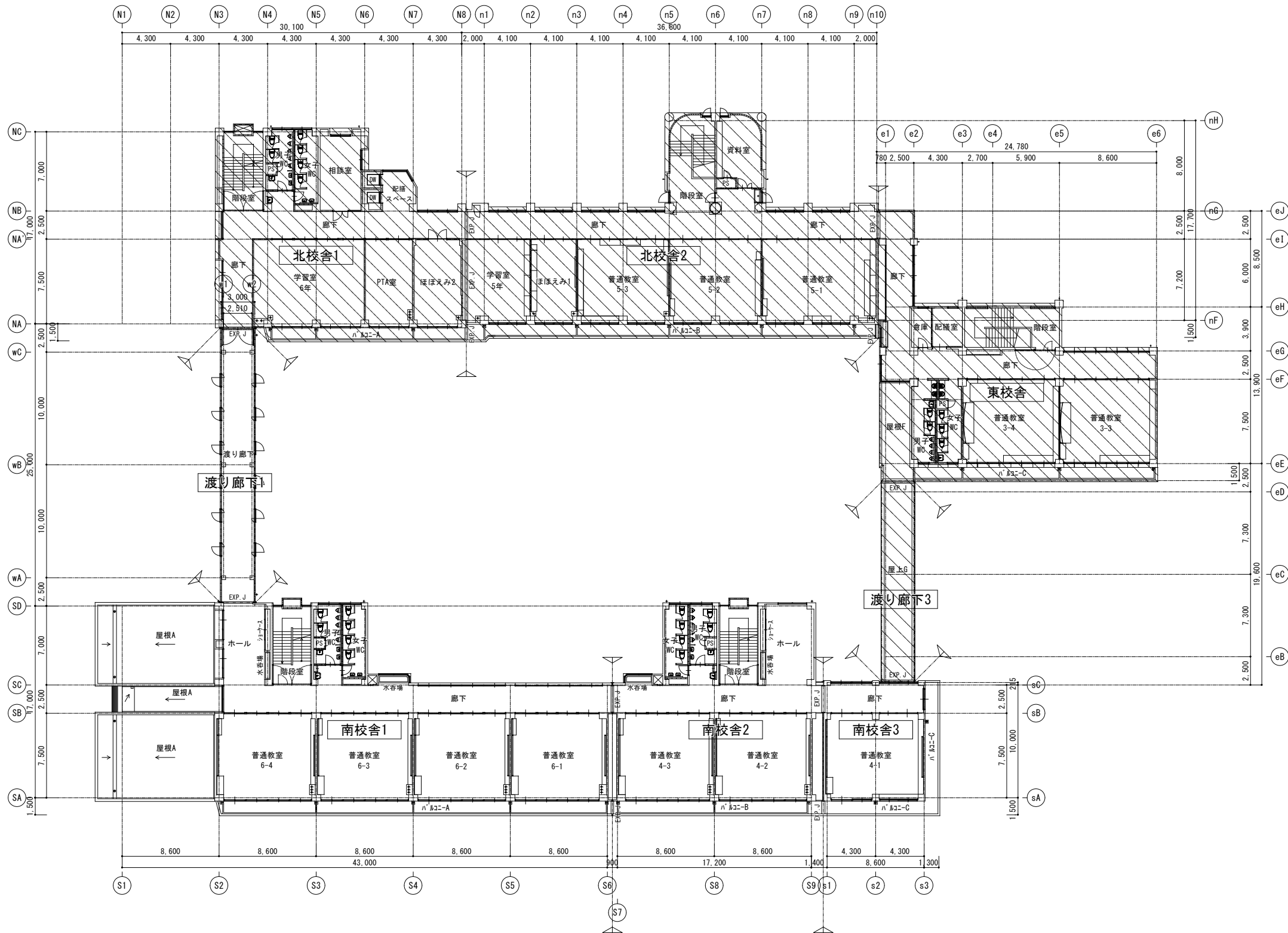
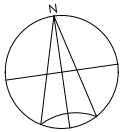
</



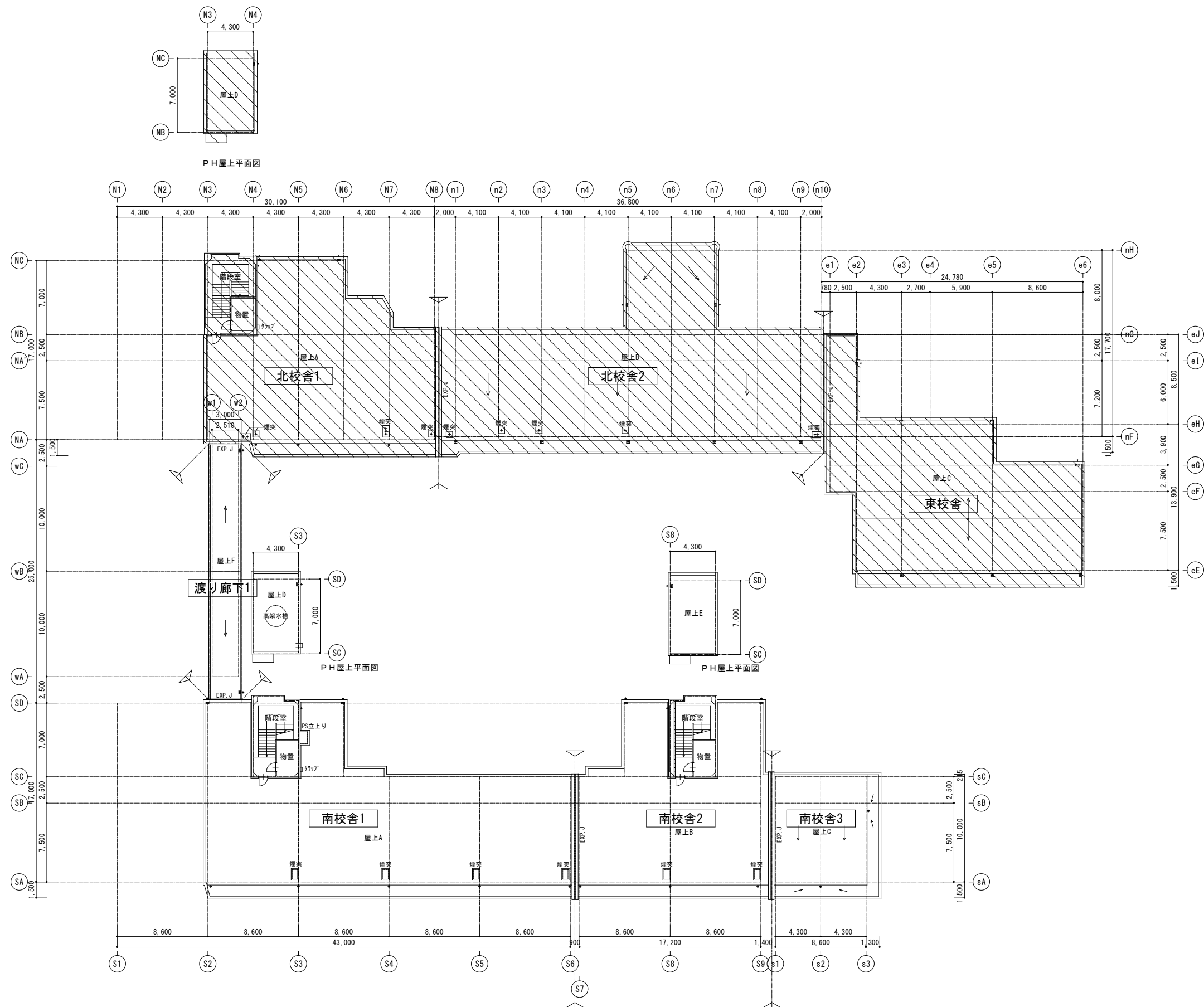
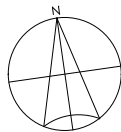
凡例										設計名称	令和7年度 岩沼西小学校校長寿命化外部改修工事(第Ⅱ期)				
: 改修範囲外を示す										図面名称	全体1階平面図				
										縮 尺	A1:1/200 A3:1/400	年 月	2024. 03	設計番号	図面番号
										一級建築士事務所		承認/添付	添付	設計者/	図面番号
										SOWA 相和技術研究所		承認/添付	添付	設計者/	A-017
										宮城県知事登録 第22910116号		承認/添付	添付	設計者/	西巻 祐太




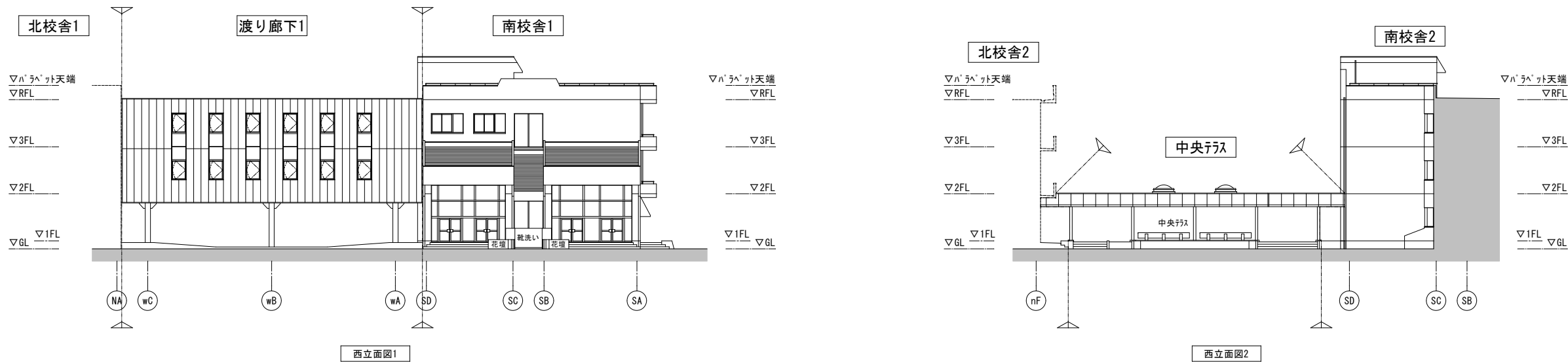
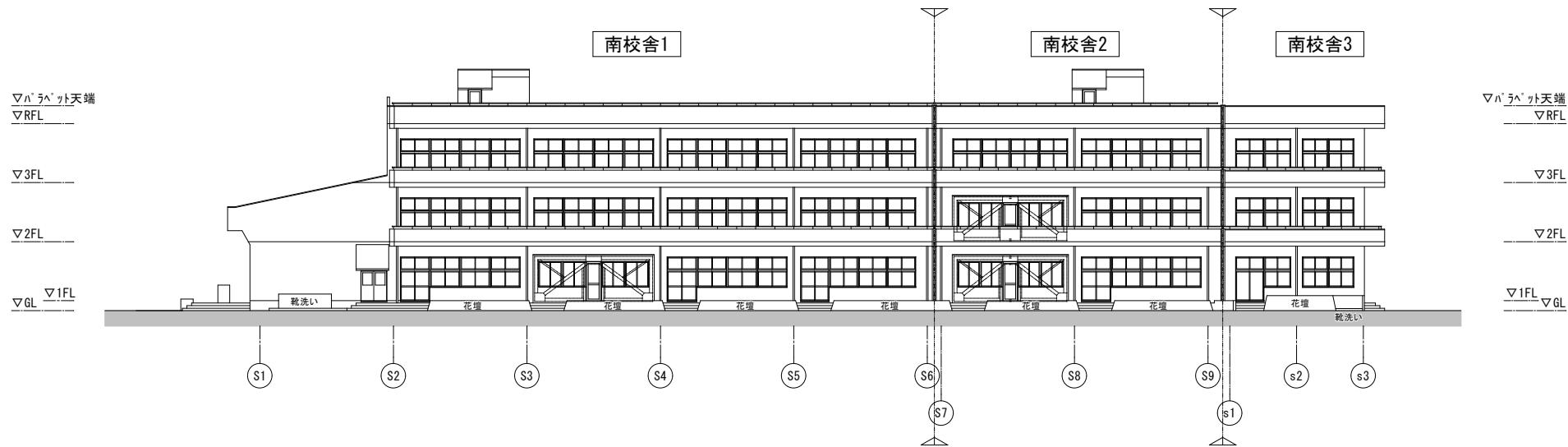
凡例										設計名称	令和7年度 岩沼西小学校校長舎長寿命化外部改修工事(第Ⅱ期)				
: 改修範囲外を示す										図面名称	全体2階平面図				
										縮 尺	A1:1/200 A3:1/400	年 月	2024. 03	設計番号	図面番号
										一級建築士事務所 岩手県知事登録 第22910116号		承認/添字	設計者/ 一級建築士	第204436号 承認	製図/ 西巻 祐太
										SOWA 雄和技術研究所					



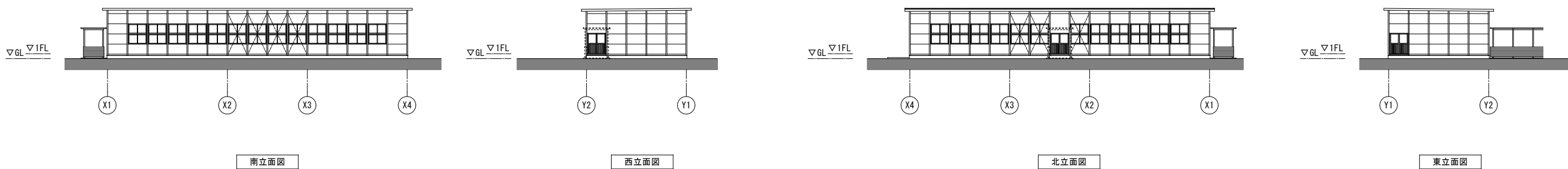
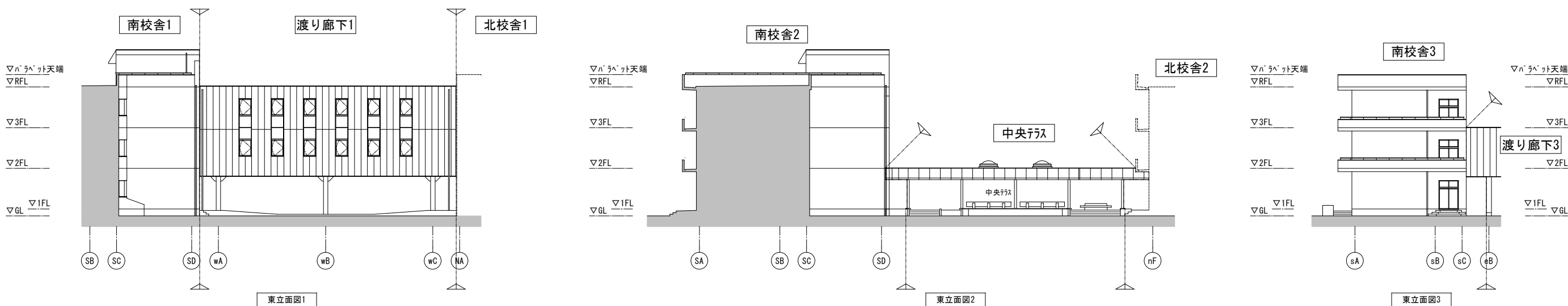
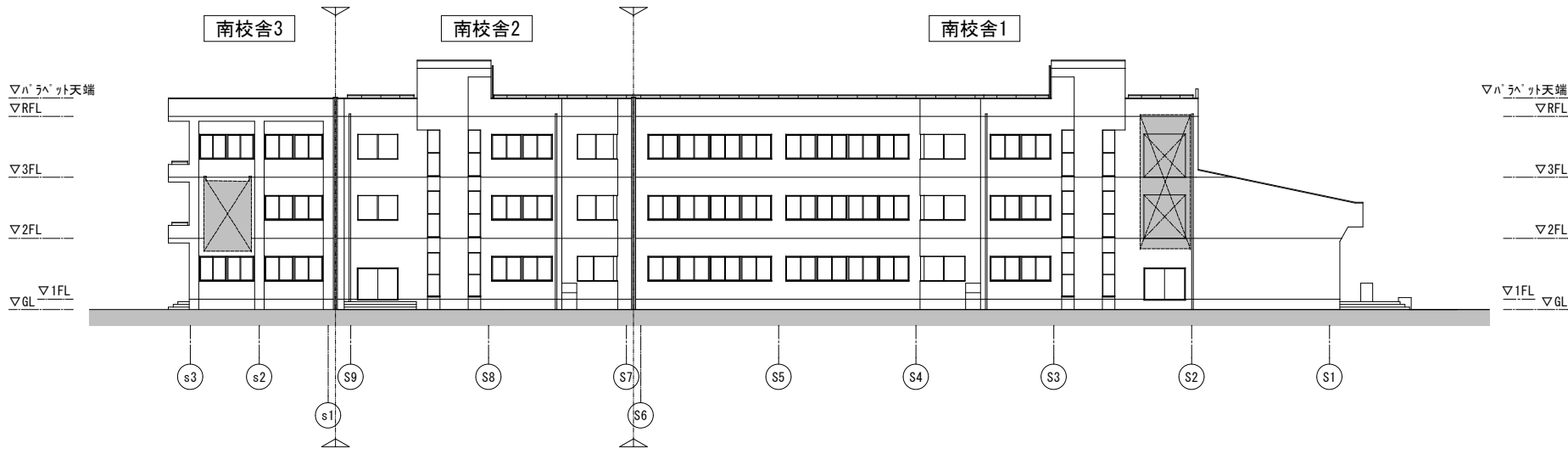
凡例										設計名称	令和7年度 岩沼西小学校校舎長寿命化外部改修工事(第Ⅱ期)				
: 改修範囲外を示す										図面名称	全体3階平面図				
										縮 尺	A1:1/200 A3:1/400	年 月	2024. 03	設計番号	図面番号
										一級建築士事務所 SOWA 相和技術研究所		承認/添字	設計者/ 一級建築士	第204436号 赤沼 真幸	製図/ 西巻 祐太
										宮城県知事登録 第22910116号		照査/図文			



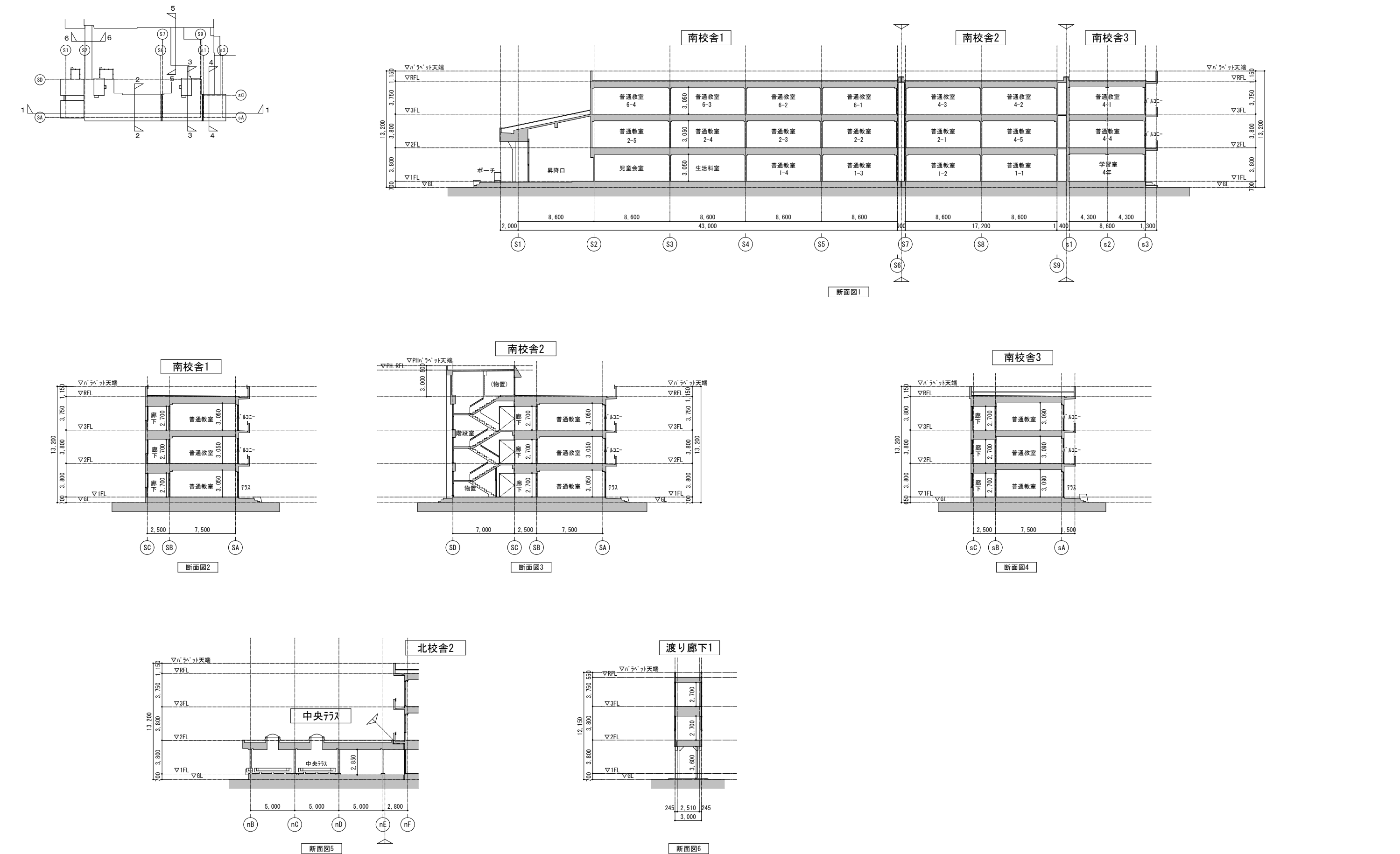
凡例															設計名称	令和7年度 岩沼西小学校校舎長寿命化外部改修工事(第Ⅱ期)												
<div><div></div><div>: 改修範囲外を示す</div></div>															図面名称	全体屋上平面図												
															縮 尺	A1:1/200 A3:1/400		年 月		2024. 03		設計番号		図面番号		A-020		
<div><div> 一般建築士事務所 相和技術研究所 <small>岩手県岩手市大湊1-1-1 宮城県知事登録 第323181号</small></div></div>															承認/添付 直筆	設計者/ 一級建築士 第284436号 赤沼 直幸	製図/ 西巻 裕太	監査/佐々木 啓文										



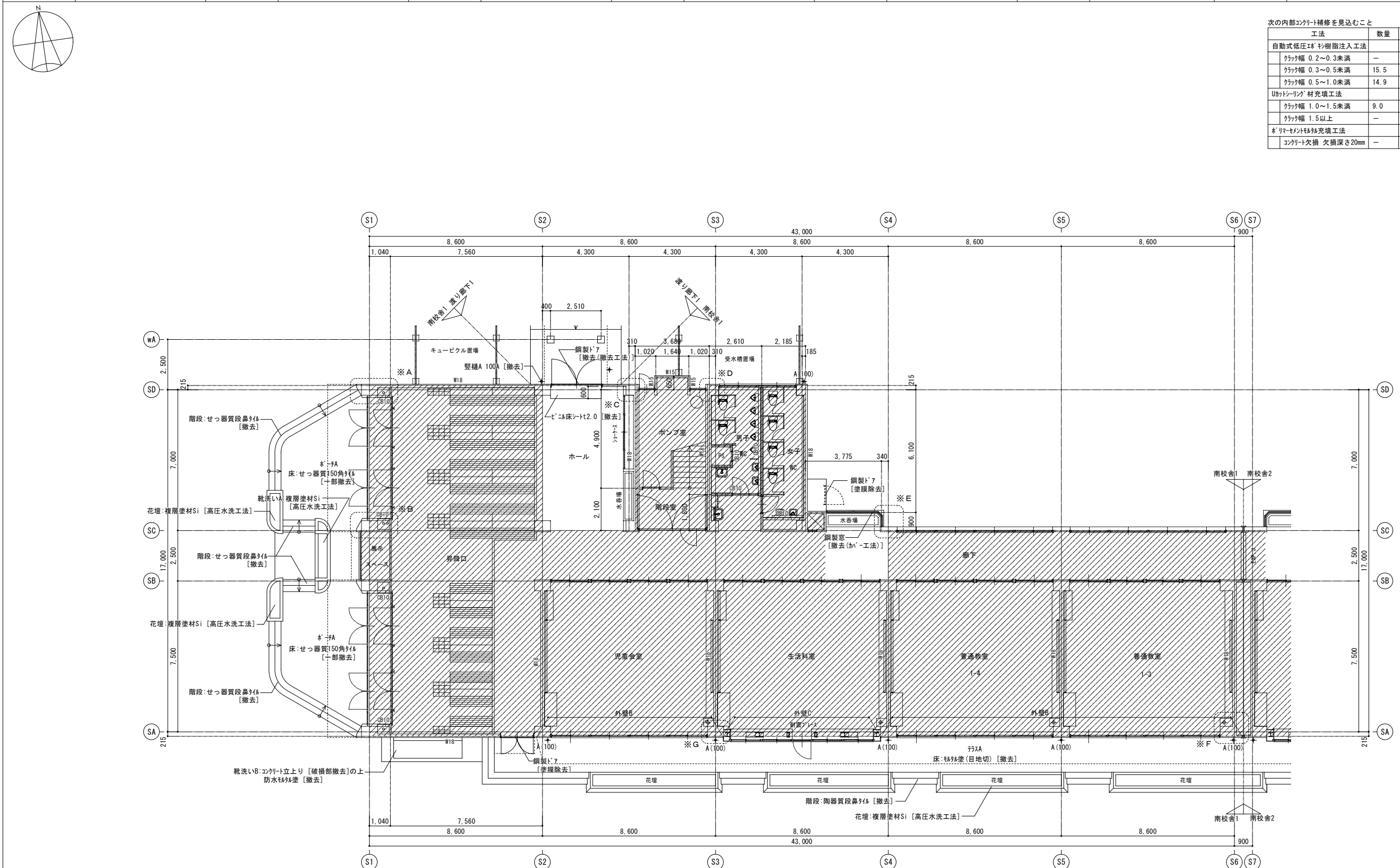
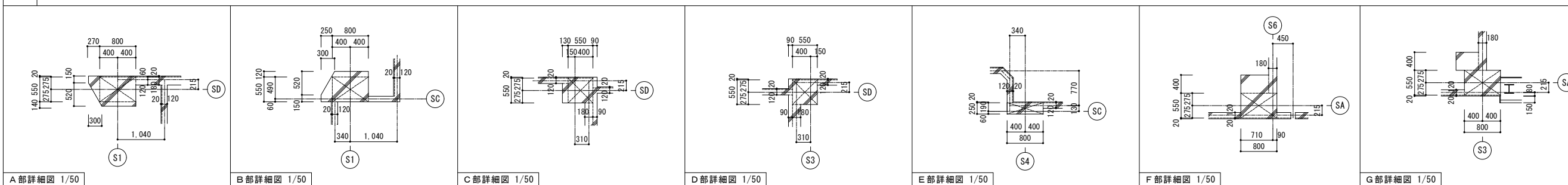
注記										設計名称	令和7年度 岩沼西小学校校舎長寿命化外部改修工事(第Ⅱ期)				
1) 改修内容は、改修前後立面図による。										図面名称	全体立面図1				
										縮尺	A1:1/200 A3:1/400	年月	2024.03	設計番号	図面番号
										一級建築士事務所 SOWA 相和技術研究所		承認/承認者	設計者/設計者	一般建築士 第204436号 赤沼 高幸	製図/製図者
										宮城県知事登録 第22910116号		照会/図文 原文		西巻 裕太	



注記										設計名称	令和7年度 岩沼西小学校校舎長寿命化外部改修工事(第Ⅱ期)			
1) 改修内容は、改修前後立面図による。										図面名称	全体立面図2			
										縮 尺	A1:1/200 A3:1/400	年 月	2024. 03	設計番号
										一級建築士事務所		承認/添字	添字	図面番号
										SOWA 雄和技術研究所		設計者/	設計者/	A-022
										宮城県知事登録 第22910116号		照会/図文 原文	照会/図文 原文	製図/
												一級建築士 第204436号 赤沼 高幸	製図/	西巻 祐太



注記										設計名称 令和7年度 岩沼西小学校校舎長寿命化外部改修工事(第Ⅱ期)			
1) 改修内容は、改修前後立面図による。										図面名称 断面図			
										縮 尺 A1:1/200 A3:1/400	年 月 2024. 03	設計番号	図面番号 A-023
										SOWA 一般建築士事務所 雄和技術研究所			
										宮城県知事登録 第22910116号			
										承認/添字 照査/図次本文	設計者/ 一般建築士 第204436号 赤沼 高幸	製図/ 西巻 裕太	

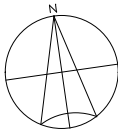


凡例	
記号	仕様・寸法
+ ※(○○)	堅樋 ※は種別、○○は径を示す。 堅樋A: SPP (白が管) [塗膜除去]、支持金具 [撤去] 堅樋B: ステンレス管 [既存] 堅樋C: VP管 [撤去]
図 ○○	鉄鉄製斜引きドレ [既存] ○○は径を示す。
Ⅲ ○○	鉄鉄製コ引きドレ [既存] ○○は径を示す。
W12 ・ PW12	
W15 ・ PW15	
W18	
CB10	
EC60 ・ PE60	

※1) 特記なき場合は、下記による。
・外壁はW12・外壁A
・パ`ラ`ットはPW12・外壁A
※2) コンクリート・モルタル・タイルの削り撤去は、
カッター入れにより残置部分と縁切りのこと。

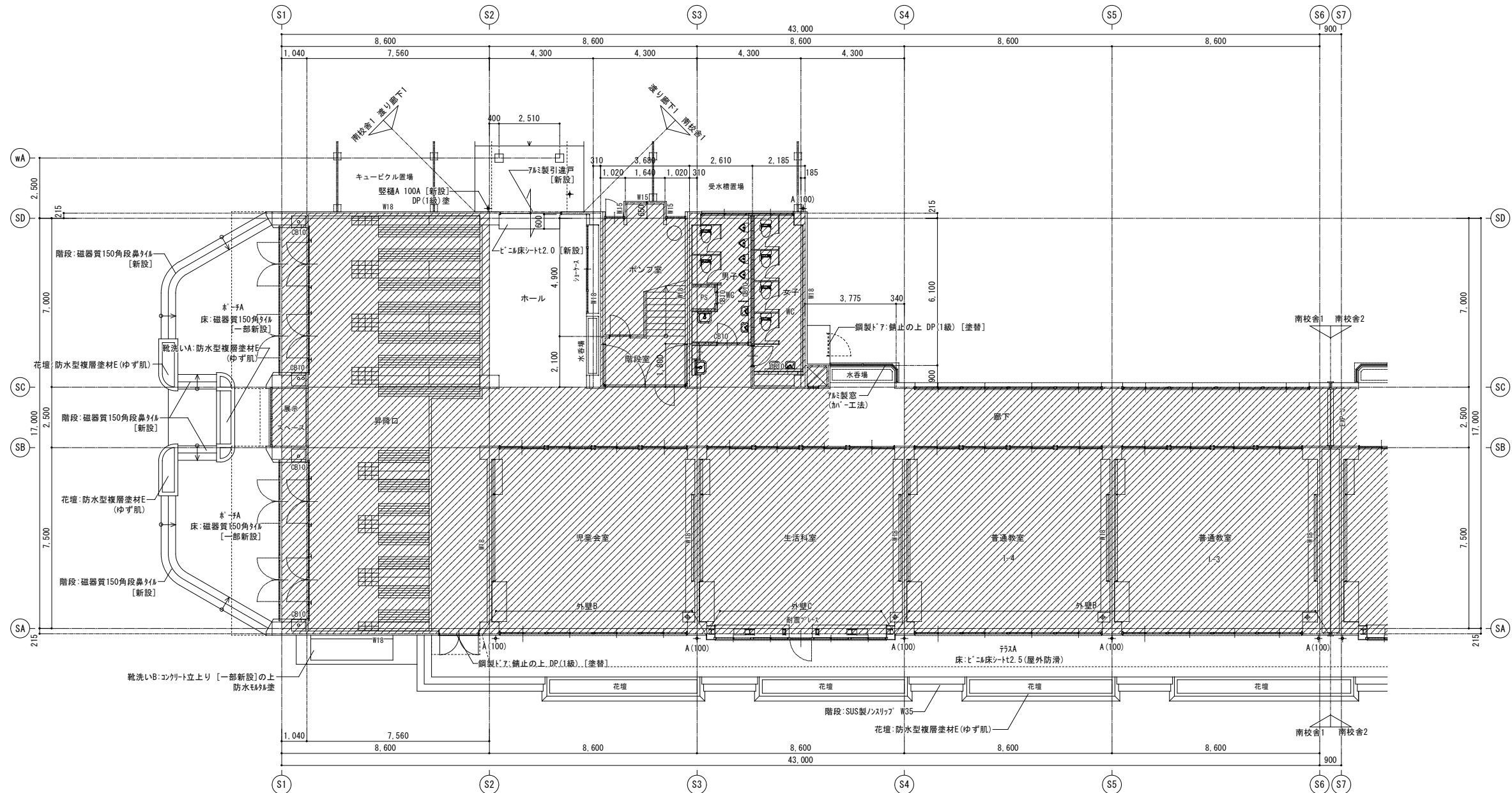
工法	数量	単位
自動式低圧バッド樹脂注入工法		
クランク幅 0.2~0.3未満	—	m
クランク幅 0.3~0.5未満	15.5	m
クランク幅 0.5~1.0未満	14.9	m
Uカットリング 充填工法		
クランク幅 1.0~1.5未満	9.0	m
クランク幅 1.5以上	—	m
※ リアセメントバルク充填工法		
クランク欠損 欠損深さ20mm	—	m2


凡例						注記								設計名称 令和7年度 岩沼西小学校校舎長寿命化外部改修工事（第Ⅱ期）									
改修範囲外の部分を示す														図面名称 【改修前】1階平面図1（南校舎1）									
														縮尺 A1:1/100 A3:1/200 年 月 2024. 03 設計者/ 一級建築士事務所 SOWA 荘相技術研究所 宮城県知事登録 第2238116号 承認/赤沼 直幸 監計者/ 一級建築士 第284436号 赤沼 直幸 製図/ 西巻 祐太									
既存のままの部分を示す														SOWA									

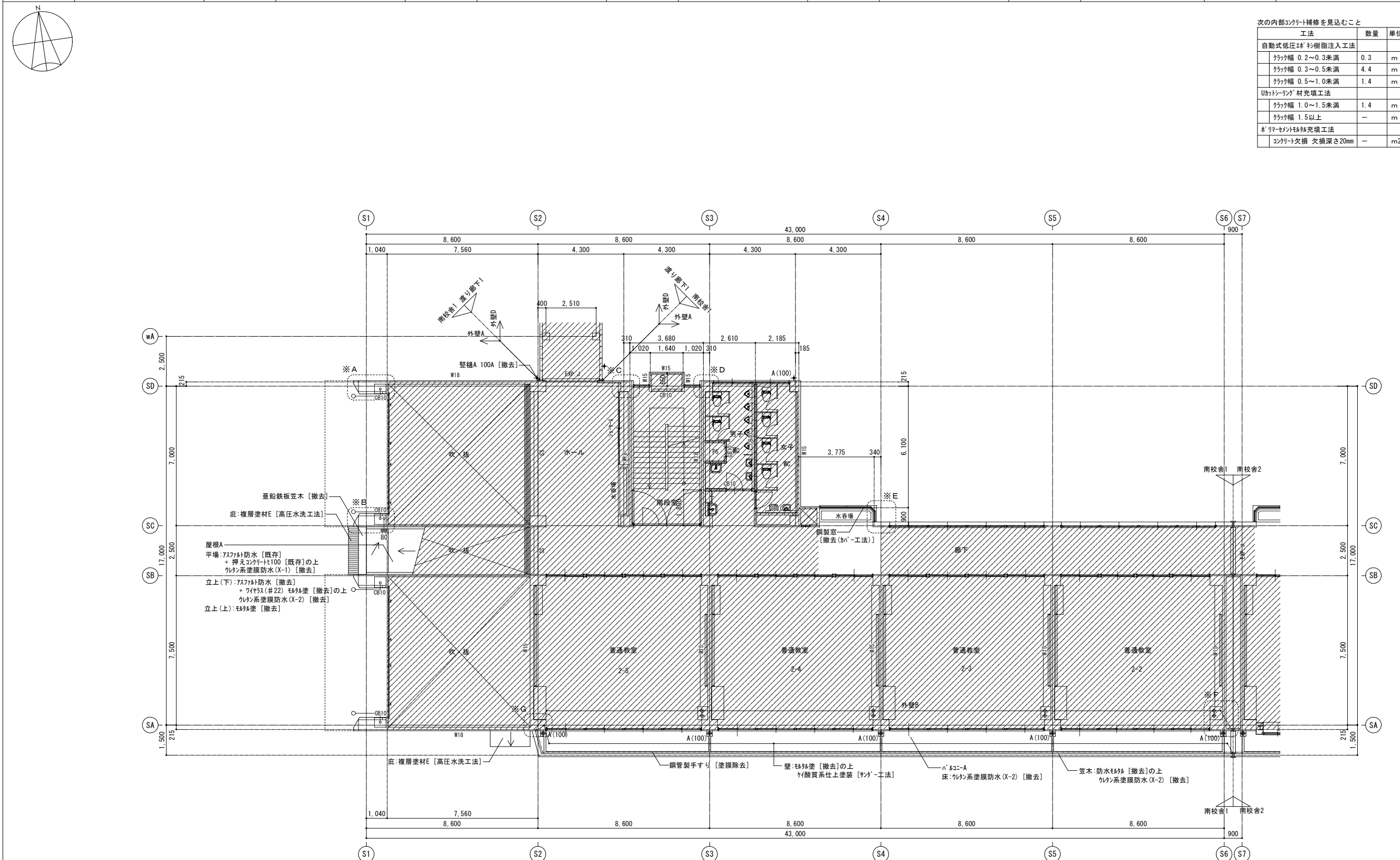
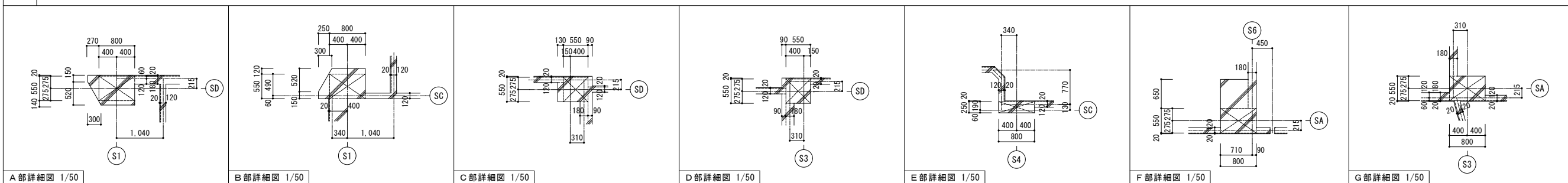
[illegible]

※1) 特記なき場合は、下記による。

- ・ 外壁はW12・外壁A
- ・ パラペットはPW12・外壁A



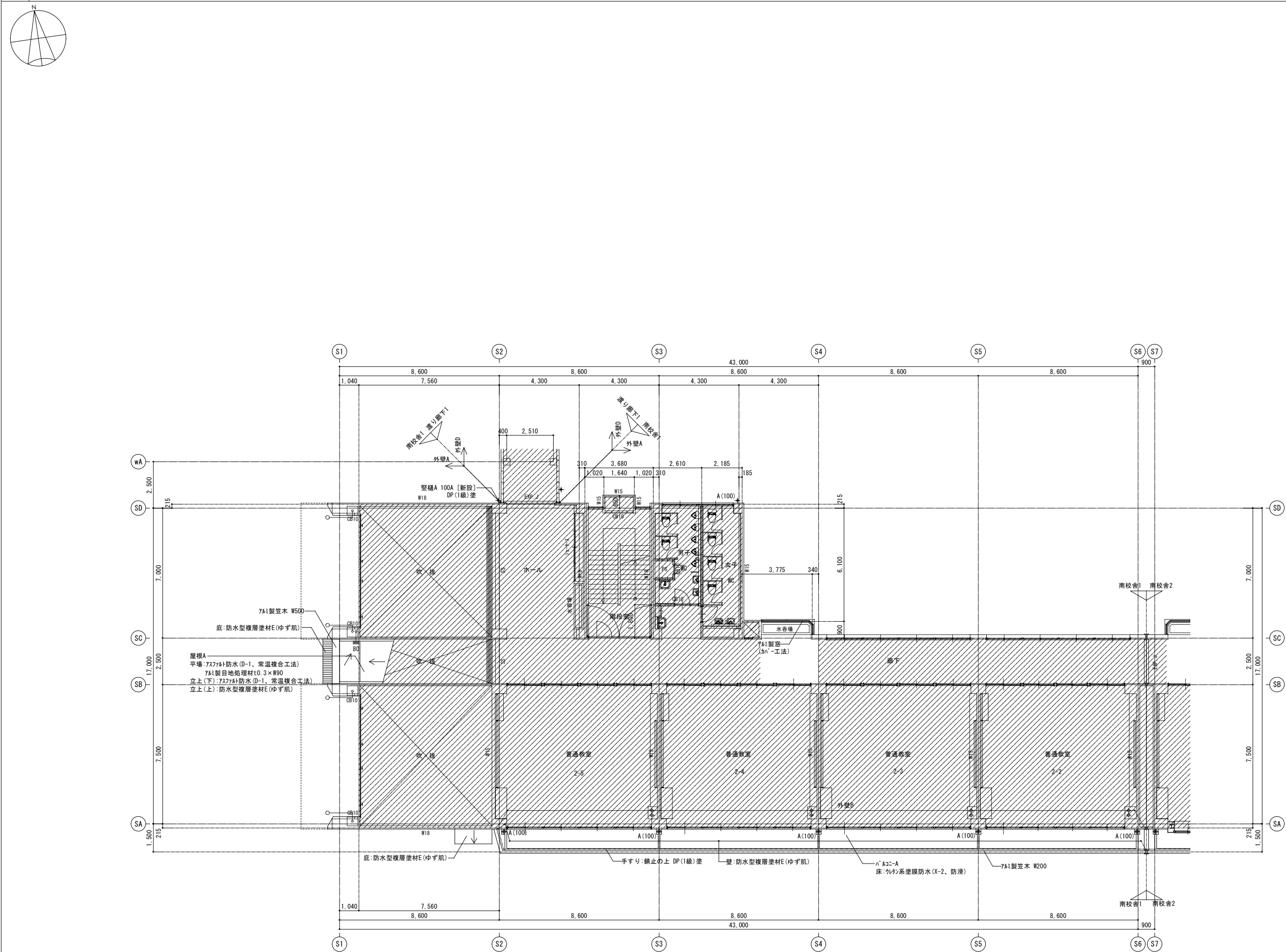
凡 例				注 記				設計名称 令和7年度 岩沼西小学校校長寿命化外部改修工事（第Ⅱ期）			
改修範囲外の部分を示す				図面名称 【改修後】1階平面図1（南校舎1）							
既存のままの部分を示す				縮 尺 A1:1/100 A3:1/200		年 月 2024. 03		設計番号		図面番号 A-025	
				<div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>一般建築士事務所 相和技術研究所 宮城県知事登録 第2523116号</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>承認/承認 建築 設計者/ 一級建築士 第284436号 赤沼 直幸</p> <p>監査/佐々木 晋文</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>製図/ 西巻 祐太</p> </div> </div>							



凡例	
記号	仕様・寸法
+ ※(○○)	堅鋳 ※は種別、○○は径を示す。 堅鋳A:SGP(白ガス管)【塗膜除去】、支持金具【撤去】 堅鋳B:ステンレス管【既存】 堅鋳C:VP管【撤去】
○○ ○○	鋼鉄製引き金【既存】 ○○は径を示す。
Ⅲ ○○	鋼鉄製引き金【既存】 ○○は径を示す。
W12 ・ PW12	
W15 ・ PW15	
W18	
CB10	
EC60 ・ PE60	

※1) 特記なき場合は、下記による。
・ 外壁はW12・外壁A
・ バラケットはPW12・外壁A
※2) コンクリート・モルタル・タイルの削り撤去は、
カッター入れにより残置部分と縁切りのこと。

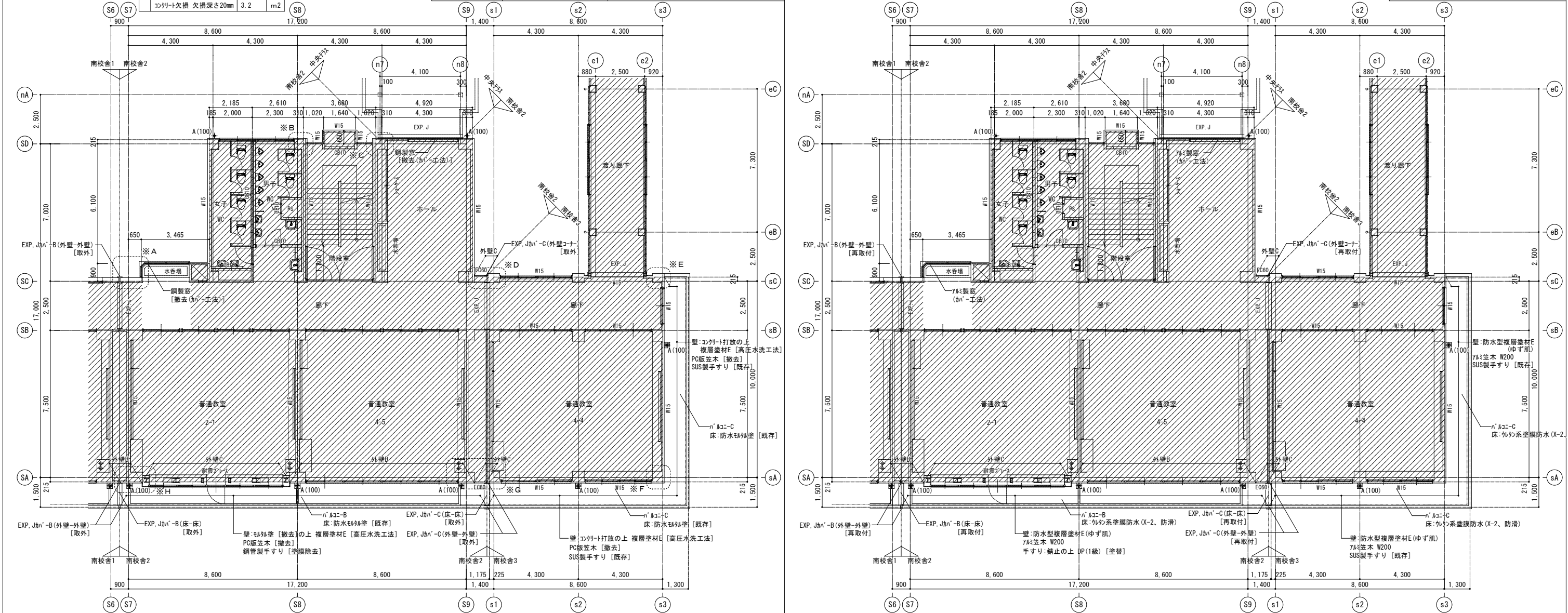
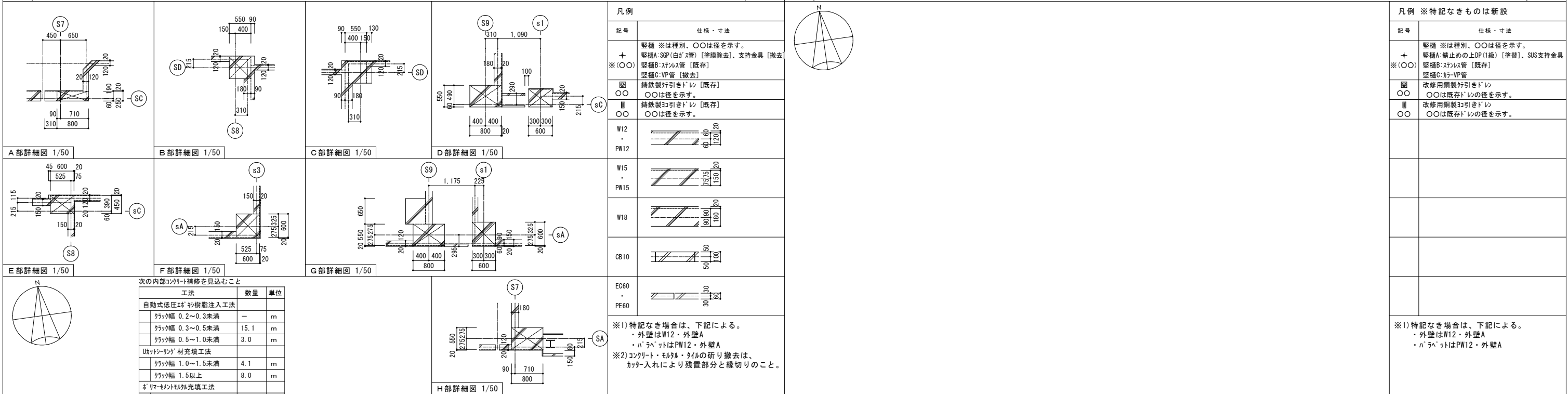
						設計名称 令和7年度 岩沼西小学校校舎長寿命化外部改修工事（第Ⅱ期）	
凡例						図面名称 【改修前】2階平面図1（南校舎1）	
						縮尺 A1:1/100 A3:1/200	
注記						縮尺 A1:1/100 A3:1/200	
						年 月 2024. 03	
既存のままの部分を示す						設計者/ 一級建築士 第284436号 赤沼 直幸	
						監理/監事登録 第2293116号	

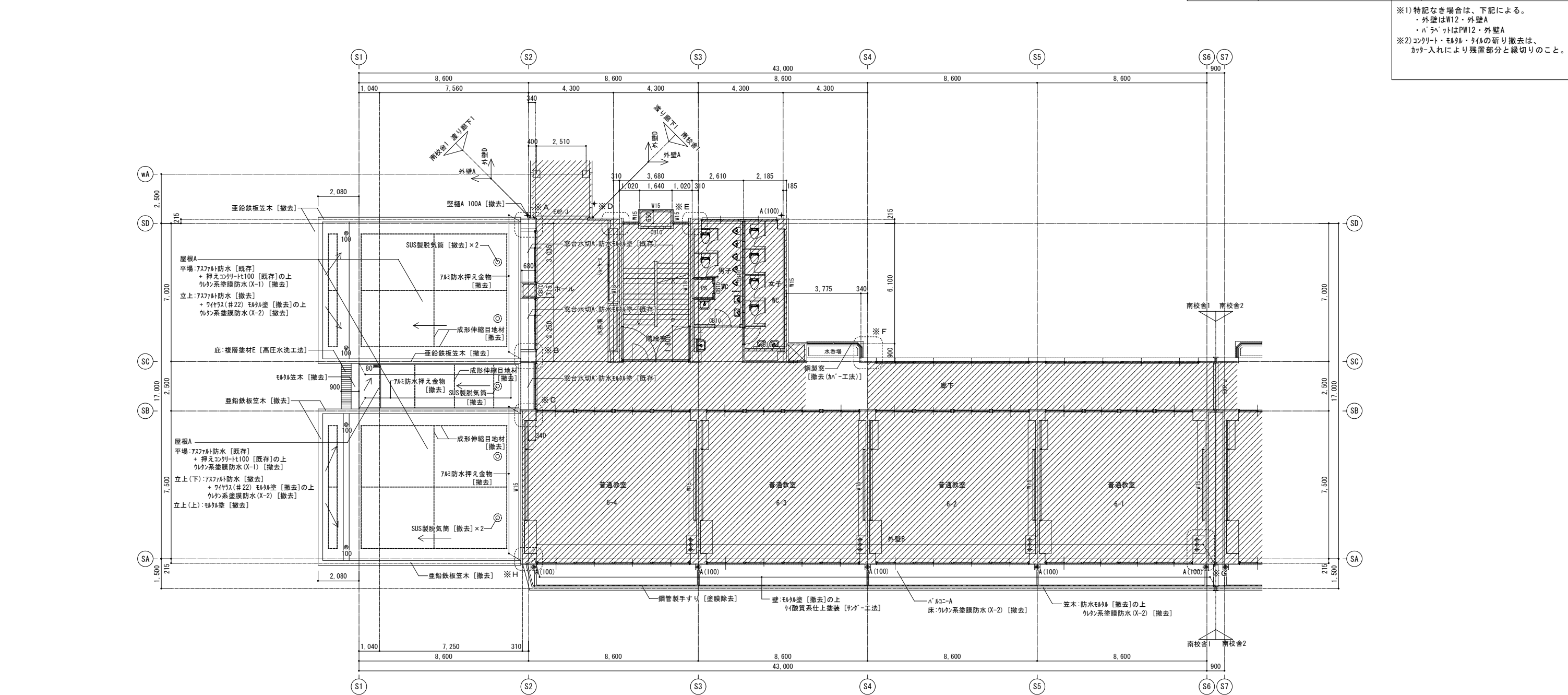
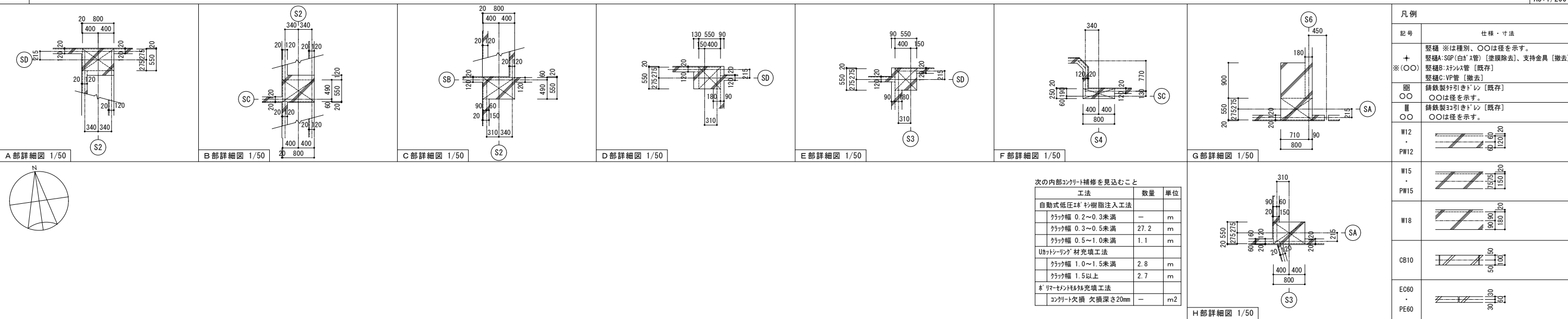


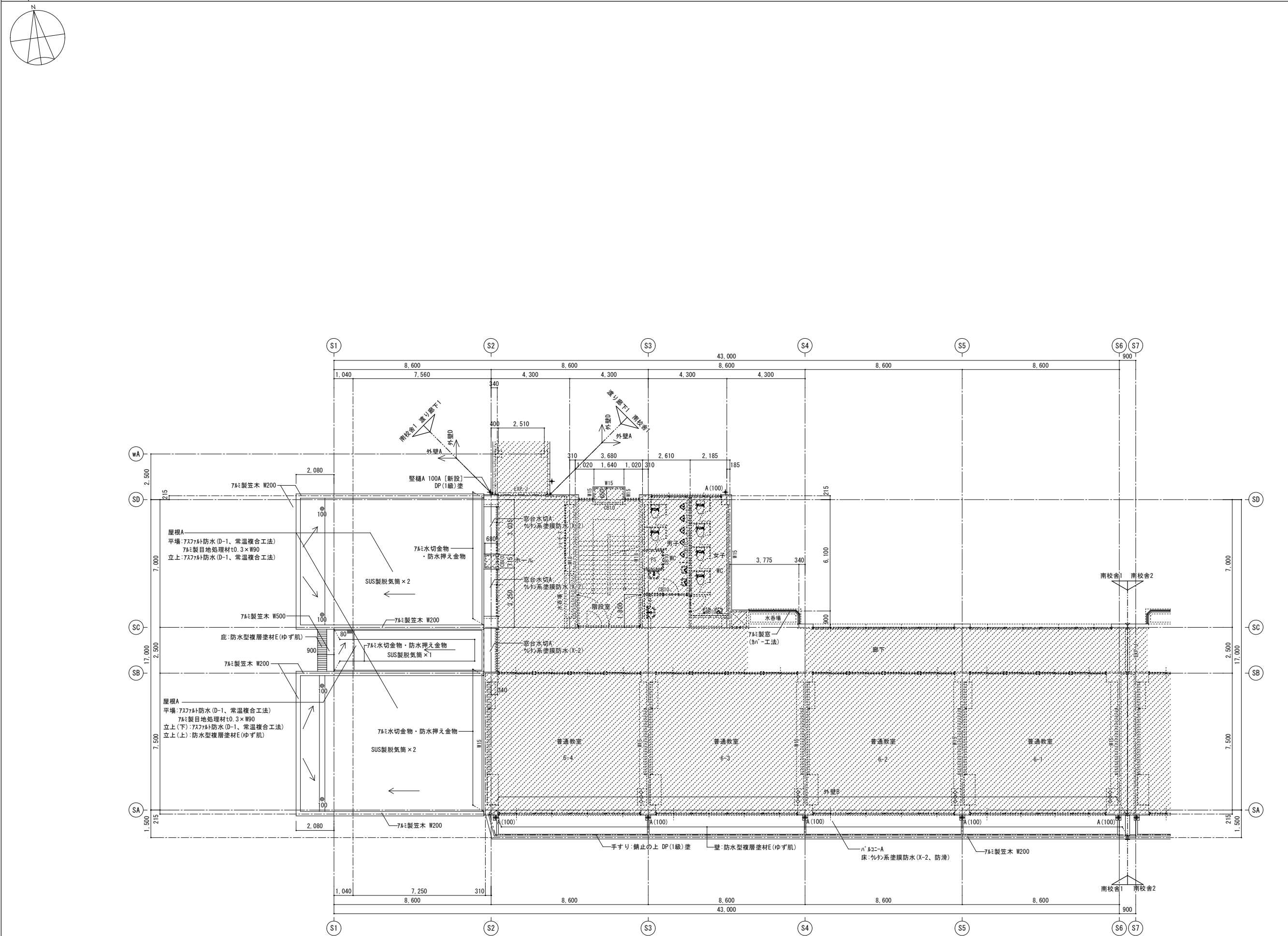
凡例 ※特記なきものは新設	
記号	仕様・寸法
+	堅礎 ※は種別、〇〇は径を示す。
※(〇〇)	堅礎A: 錆止めの上DP(1級) [塗替]、SUS支持金具
	堅礎B: ステンパイ管 [既存]
	堅礎C: カ-VP管
⊙	改修用銅製釘引きドレン
〇〇	〇〇は既存ドレンの径を示す。
Ⅱ	改修用銅製引きドレン
〇〇	〇〇は既存ドレンの径を示す。
※1) 特記なき場合は、下記による。 ・外壁はW12・外壁A ・ハッチはPW12・外壁A	

凡例				注記			
	改修範囲外の部分を示す						
	既存のままの部分を示す						

設計名称 令和7年度 岩沼西小学校校舎長寿命化外部改修工事(第Ⅱ期)			
図面名称 【改修後】2階平面図1 (南校舎1)			
縮 尺 A1:1/100 A3:1/200	年 月 2024. 03	設計番号	図面番号 A-028
一級建築士事務所 相和技術研究所 SOWA 宮城県知事登録 第22910116号		承認/添付 添付 照査/後々本 照文	設計者/ 一級建築士 第204436号 赤沼 真幸 製図/ 西巻 祐太

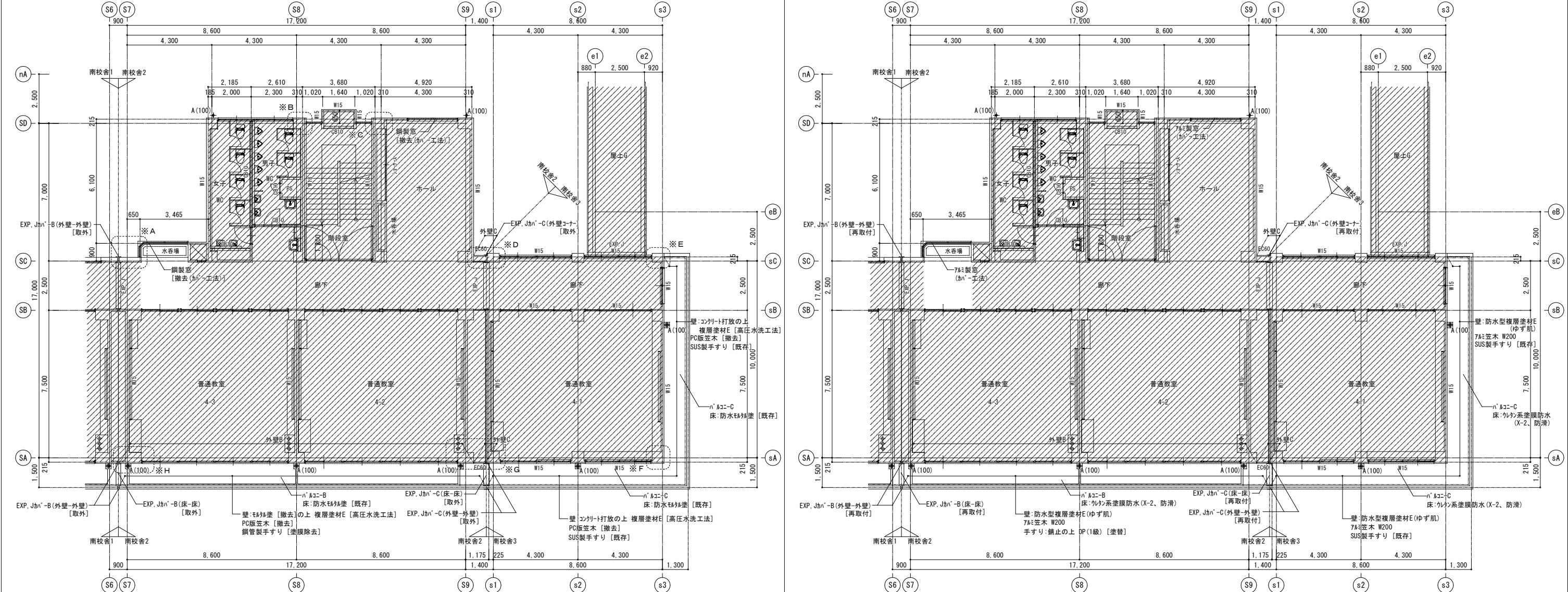
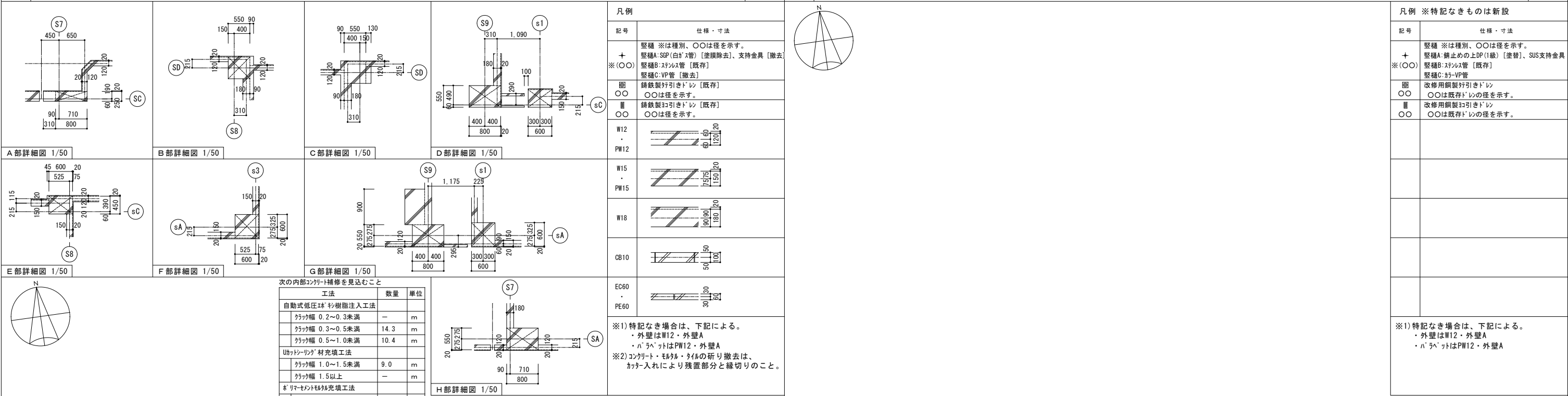
[illegible]

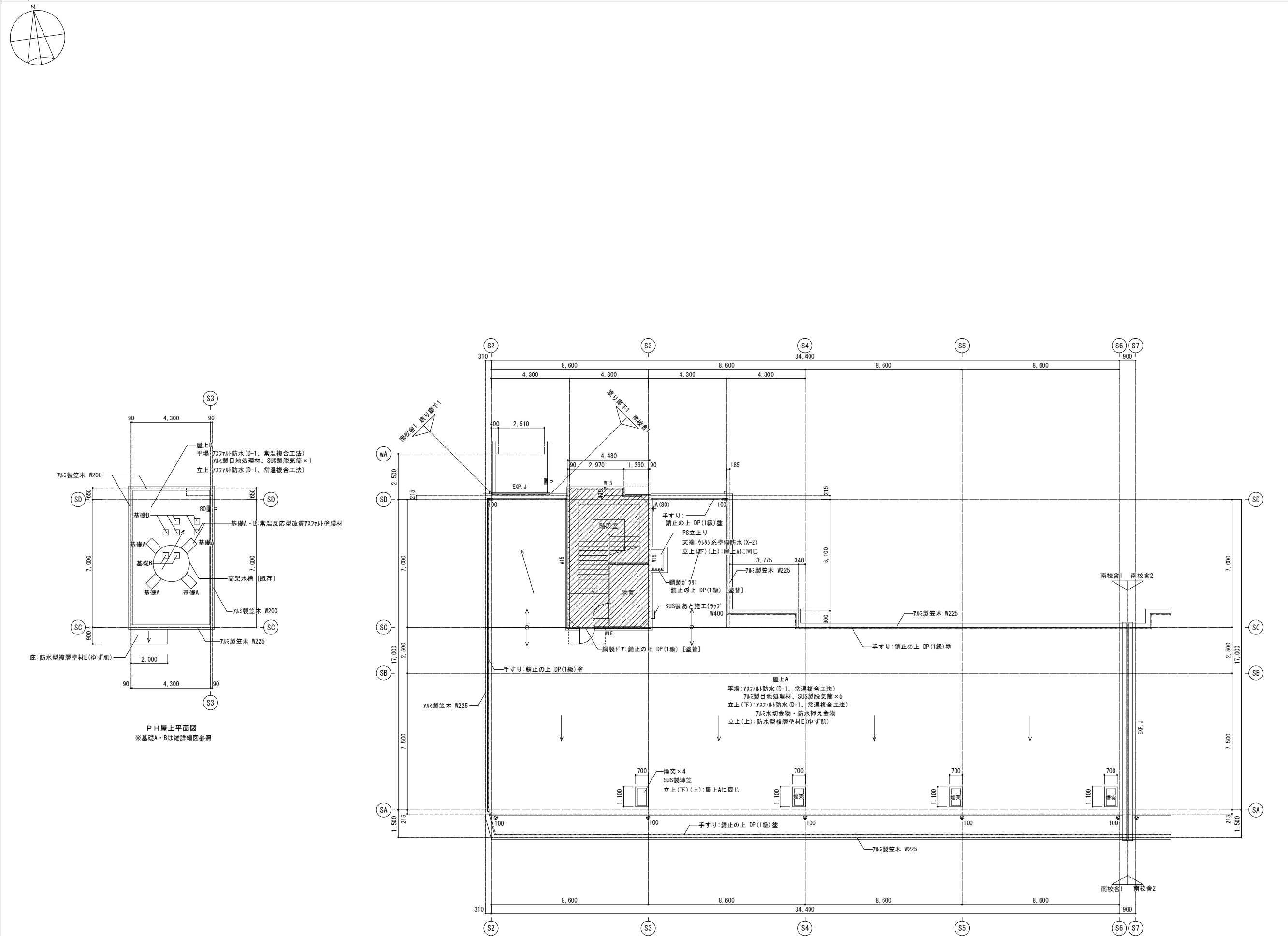




凡例 ※特記なきものは新設	
記号	仕様・寸法
※(○○)	縦樋 ※は種別、○○は径を示す。 縦樋A: 錆止めの上DP(1級) [塗替]、SUS支持金具 縦樋B: ステンレス管 [既存] 縦樋C: カ-VP管
	改修用銅製引ききドレン ○○は既存ドレンの径を示す。
	改修用銅製引ききドレン ○○は既存ドレンの径を示す。
	改修用銅製引ききドレン ○○は既存ドレンの径を示す。
※1) 特記なき場合は、下記による。 ・外壁はW12・外壁A ・バレットはPW12・外壁A	
※2) 図中記載の脱気筒数量は参考数量とし、 50m2/個を適切な位置に設置すること。	

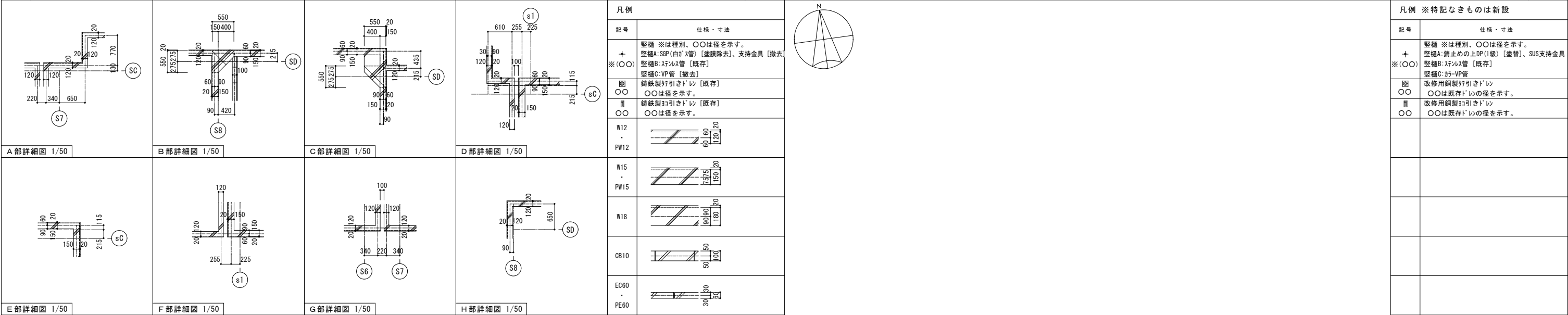
凡 例				注 記				設計名称 令和7年度 岩沼西小学校校舎長寿命化外部改修工事(第Ⅱ期)											
	改修範囲外の部分を示す					図面名称 【改修後】3階平面図1 (南校舎1)													
	既存のままの部分を示す					縮 尺 A1:1/100 A3:1/200		年 月 2024. 03		設計番号		図面番号 A-031							
 一級建築士事務所 相和技術研究所 宮城県知事登録 第22910116号						承認/承認 設計者/ 一級建築士 第204435号 承認 高橋 西巻 祐太													
						照会/ 佐々木 晋文													





凡例 ※特記なきものは新設	
記号	仕様・寸法
+	堅礎 ※は種別、○は径を示す。
※(○○)	堅礎A: 錆止めの上DP(1級) [塗替]、SUS支持金具 堅礎B: ステンレス管 [既存] 堅礎C: カ-VP管
○	改修用銅製釘引きドレン
○	○は既存ドレンの径を示す。
Ⅱ	改修用銅製引きドレン
○	○は既存ドレンの径を示す。
※1) 特記なき場合は、下記による。 ・外壁はW12・外壁A ・バレーットはPW12・外壁A ※2) 図中記載の脱気筒数量は参考数量とし、 50m2/個を適切な位置に設置すること。	

凡 例				注 記				設計名称 令和7年度 岩沼西小学校校舎長寿命化外部改修工事(第Ⅱ期)			
	改修範囲外の部分を示す							図面名称 【改修後】屋上平面図1 (南校舎1)			
	既存のままの部分を示す							縮 尺 A1:1/100 A3:1/200	年 月 2024. 03	設計番号	図面番号 A-034
 一般建築士事務所 建築設計研究所 代表取締役 宮城県知事登録 第22910116号				委託/発注 岩沼市 設計者/ 一般建築士 第204436号 赤沼 直幸 監製/ 西巻 祐太							



※1) 特記なき場合は、下記による。

- ・外壁はW12・外壁A
- ・バルコニーはPW12・外壁A

※2) コンクリート・モルタル・タイルの剥離は、カッター入れにより残置部分と縁切りのこと。

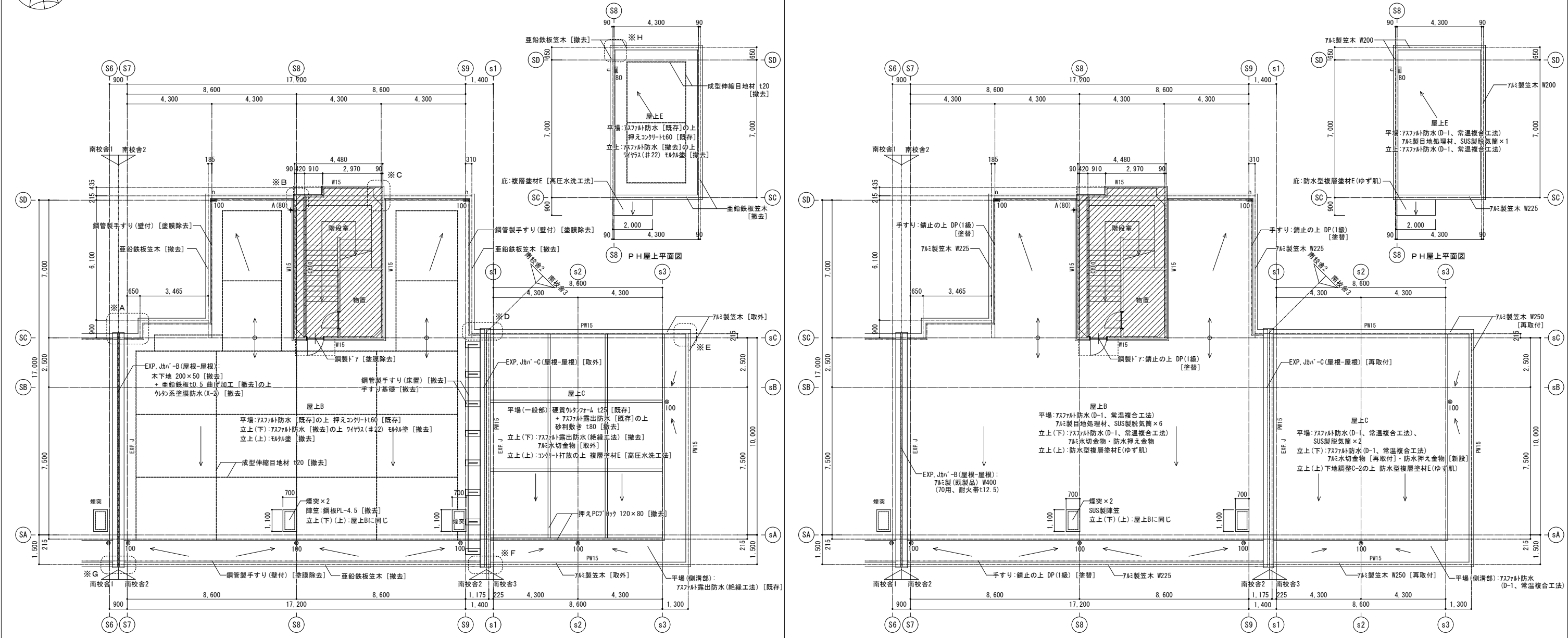
凡例 ※特記なきものは新設

記号	仕様・寸法
+	堅礎 ※は種別、○は径を示す。
※(○)	堅礎A: 錆止めの上DP(1級) [塗替]、SUS支持金具
○	堅礎B: ステンレス管 [既存]
○	改修用鋼製釘引きドレン
○	○は既存ドレンの径を示す。
○	改修用鋼製釘引きドレン
○	○は既存ドレンの径を示す。

※1) 特記なき場合は、下記による。

- ・外壁はW12・外壁A
- ・バルコニーはPW12・外壁A

※2) 図中記載の脱気筒数量は参考数量とし、50m²/個を適切な位置に設置すること。



凡 例		注 記	
	改修範囲外の部分を示す		
	既存のままの部分を示す		

設計名称
令和7年度 岩沼西小学校校長寿命化外部改修工事(第Ⅱ期)

図面名称
【改修前後】屋上平面図2（南校舎2・3）

縮 尺
A1:1/100
A3:1/200

年 月
2024. 03

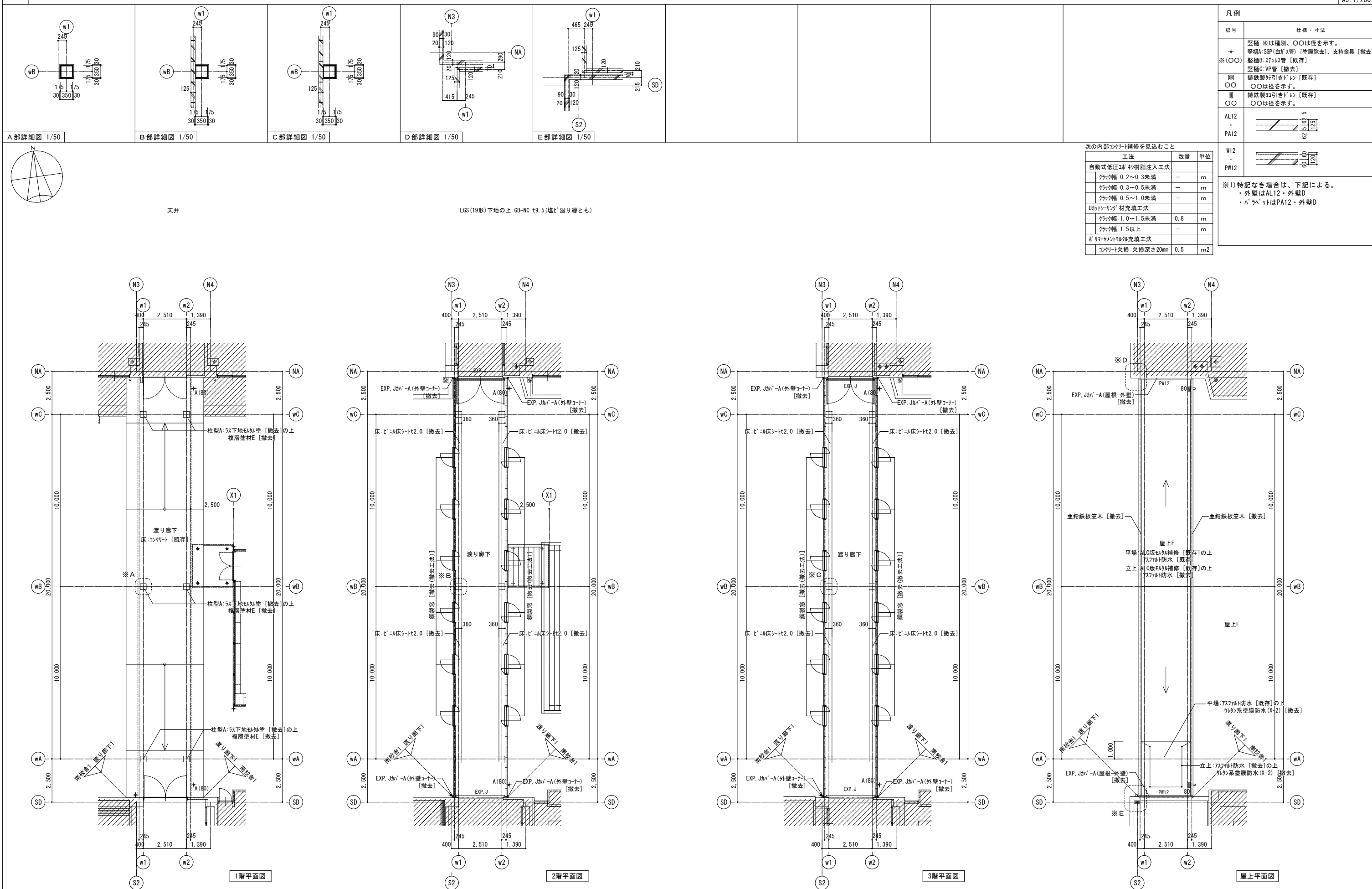
設計番号
A-035

建設業士事務所
岩手県知事登録 第22910116号

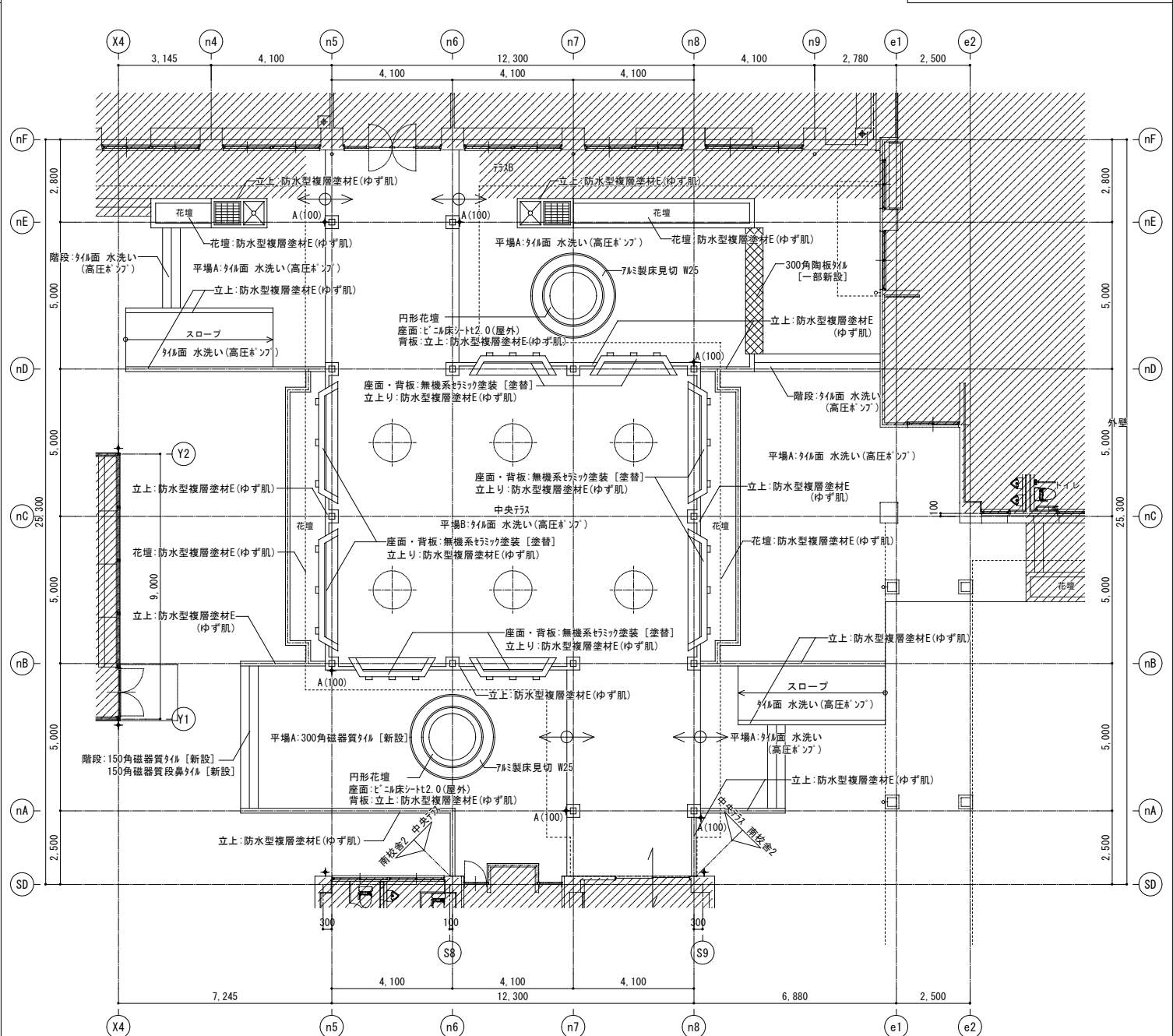
承認/承認 図章
一級建築士 第38403号 岩沼 直幸



設計者/
監理
岩手県知事登録 第22910116号

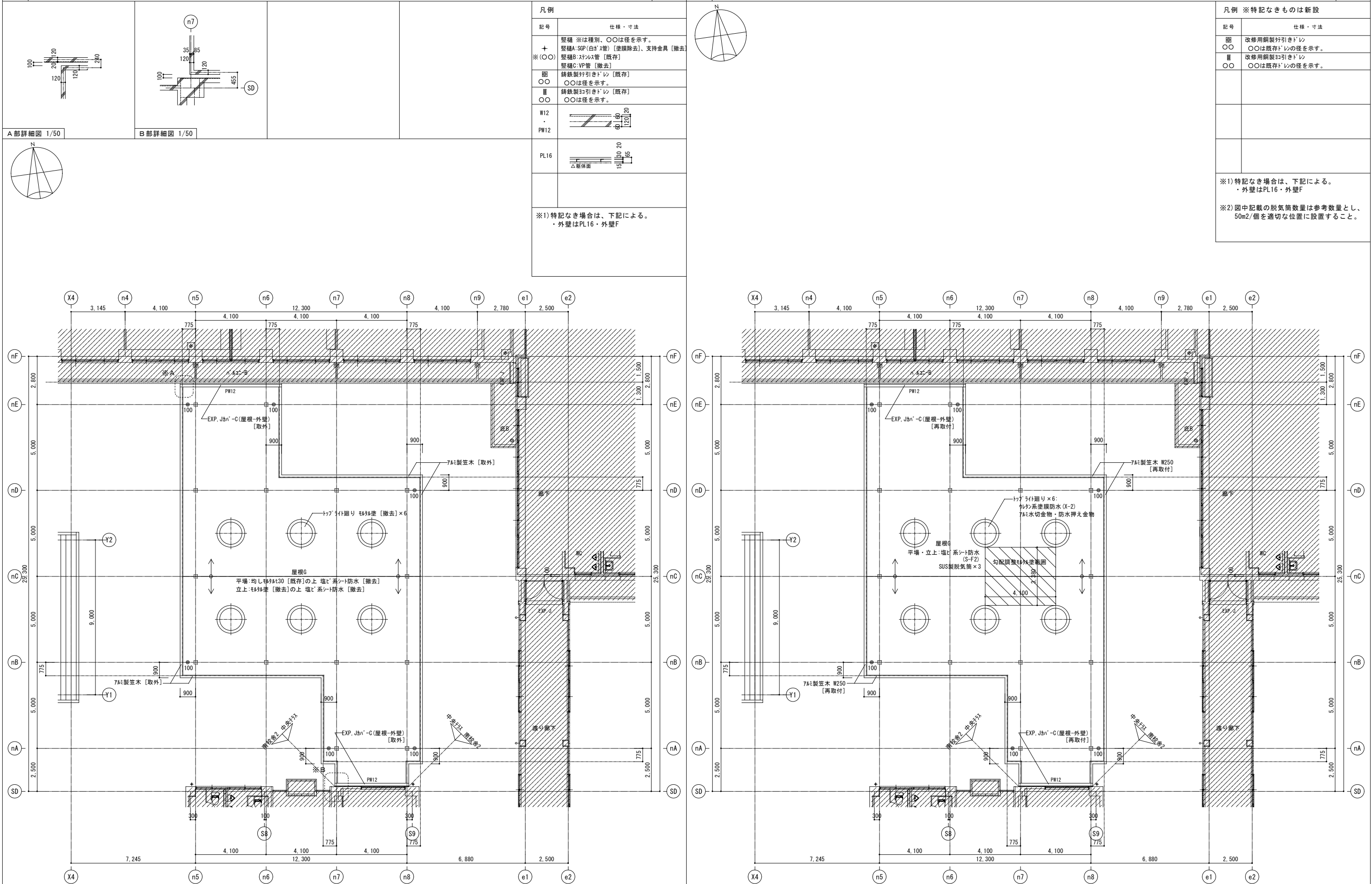
製図/
西巻 裕太




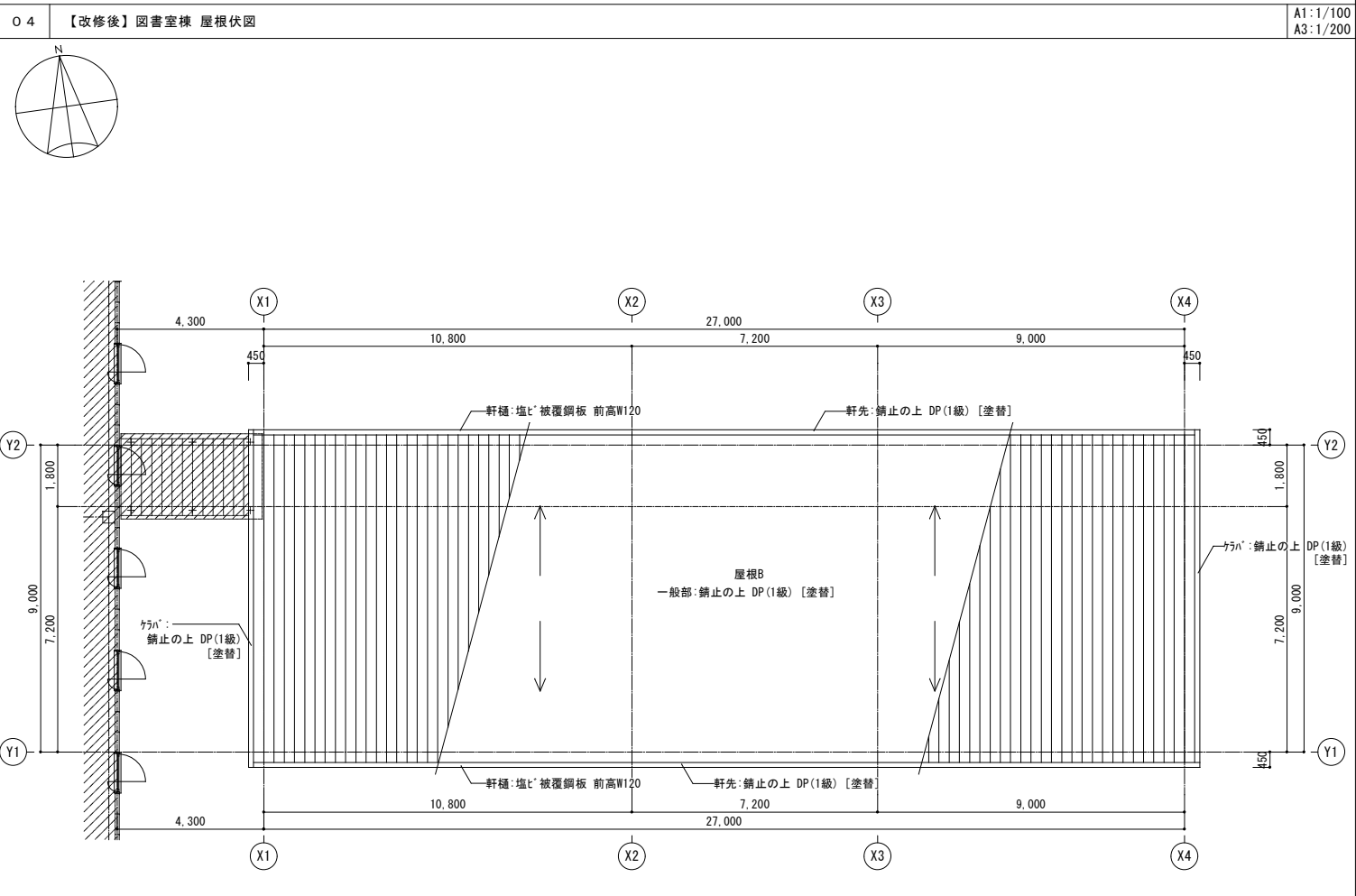
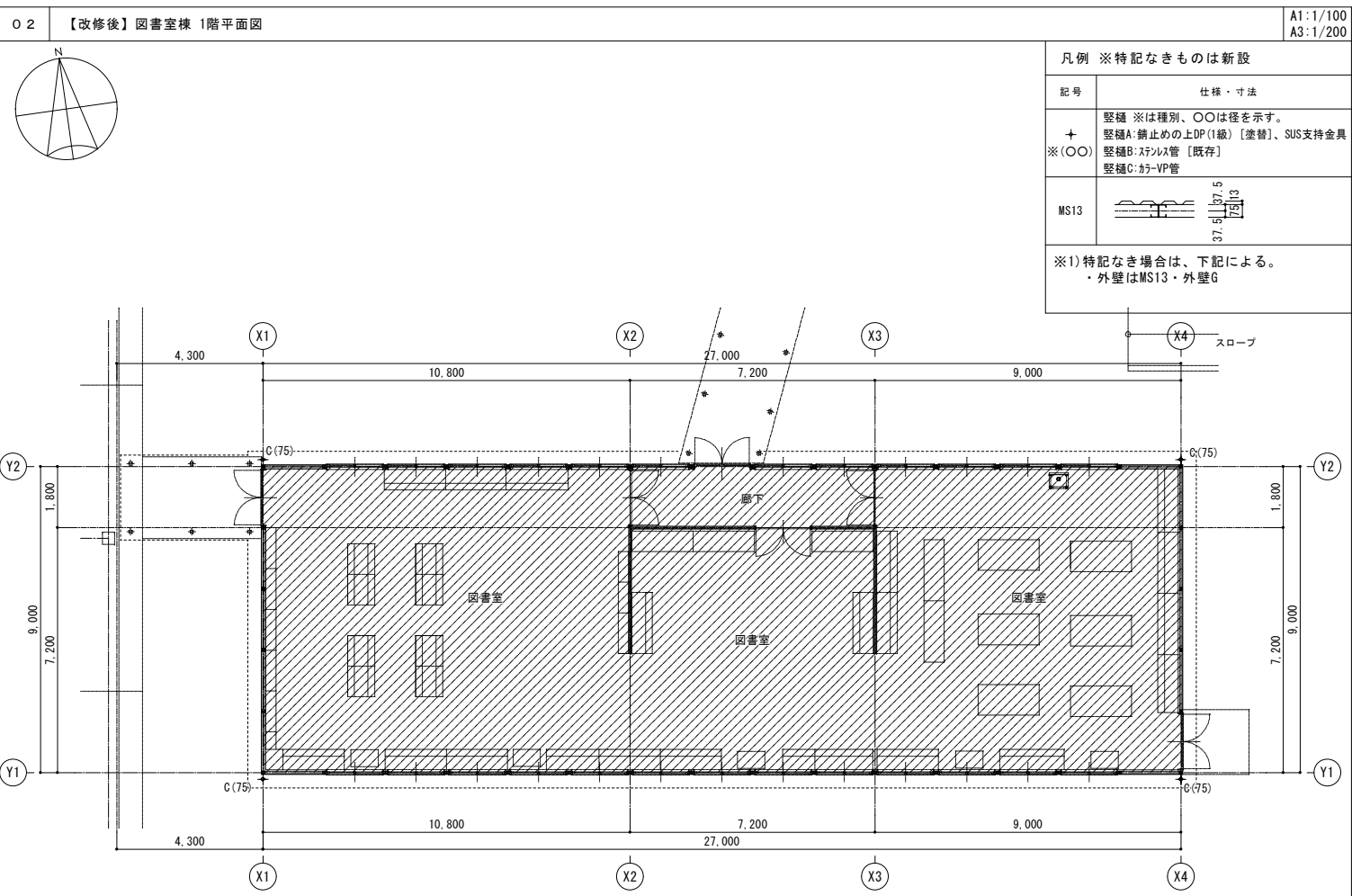
凡 例				注 記				設計名称 令和7年度 岩沼西小学校校長寿命化外部改修工事（第Ⅱ期）			
改修範囲外の部分を示す				図面名称 【改修前】渡り廊下Ⅰ平面図							
				縮 尺 A1:1/100 A3:1/200		年 月 2024. 03		設計番号		図面番号 A-036	
既存のままの部分を示す				<div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  相和技術研究所 <small>有限会社</small> <small>宮城県知事登録 第223910116号</small> </div> <div style="text-align: center;"> <small>一級建築士事務所</small> 相和技術研究所 <small>有限会社</small> <small>宮城県知事登録 第223910116号</small> </div> <div style="text-align: center;"> <small>一級建築士事務所</small> 相和技術研究所 <small>有限会社</small> <small>宮城県知事登録 第223910116号</small> </div> <div style="text-align: center;"> <small>一級建築士事務所</small> 相和技術研究所 <small>有限会社</small> <small>宮城県知事登録 第223910116号</small> </div> </div>							




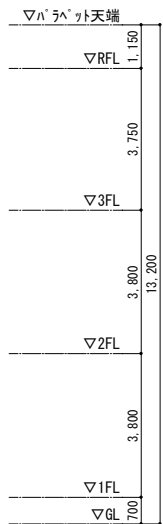
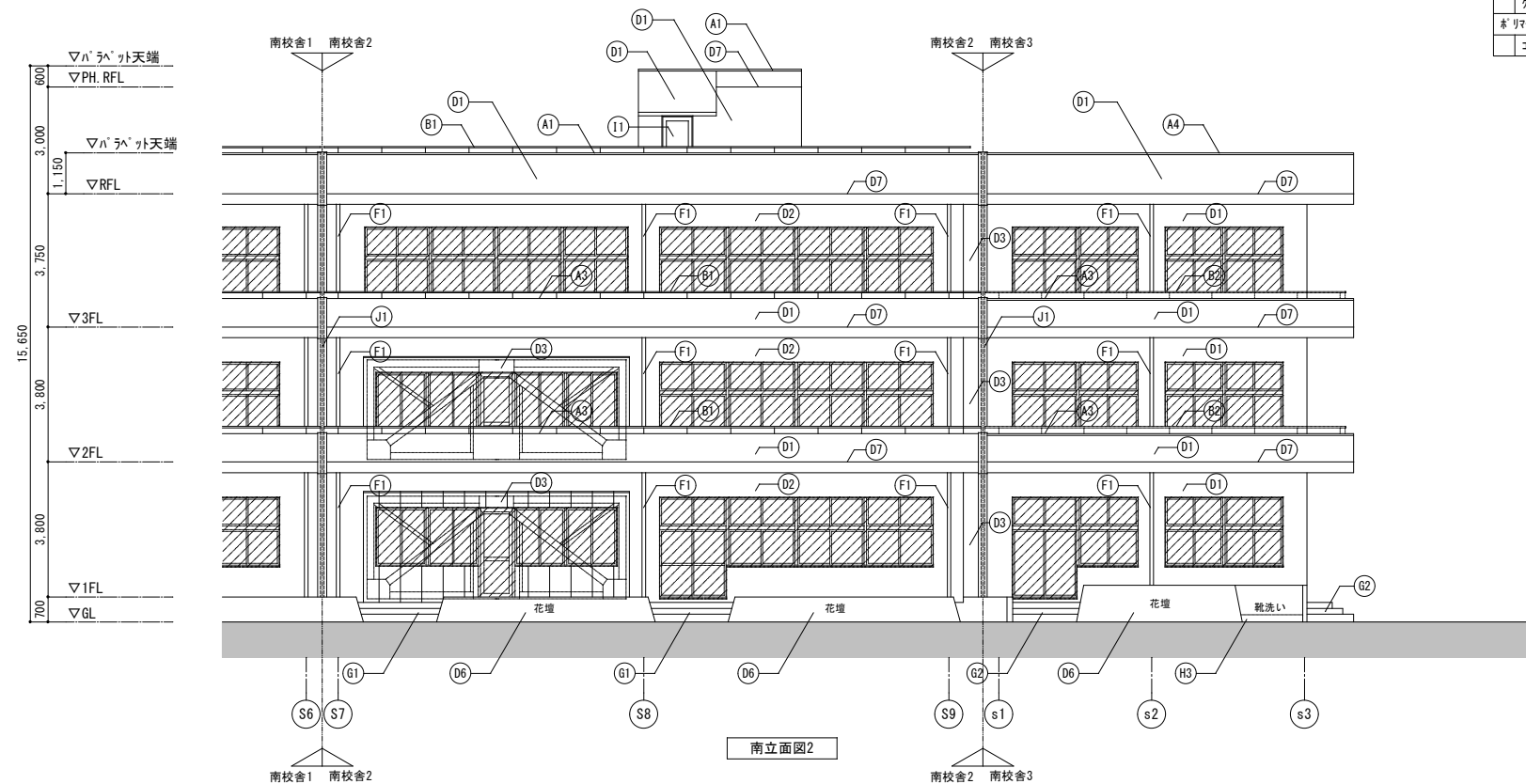
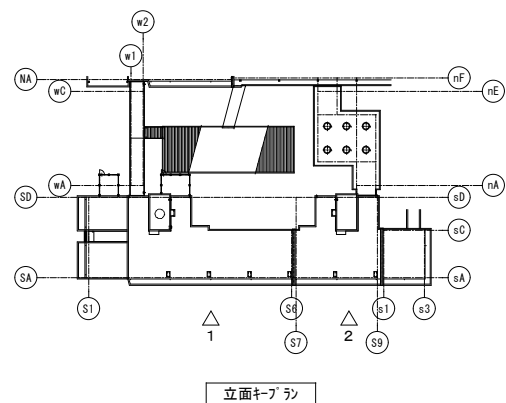
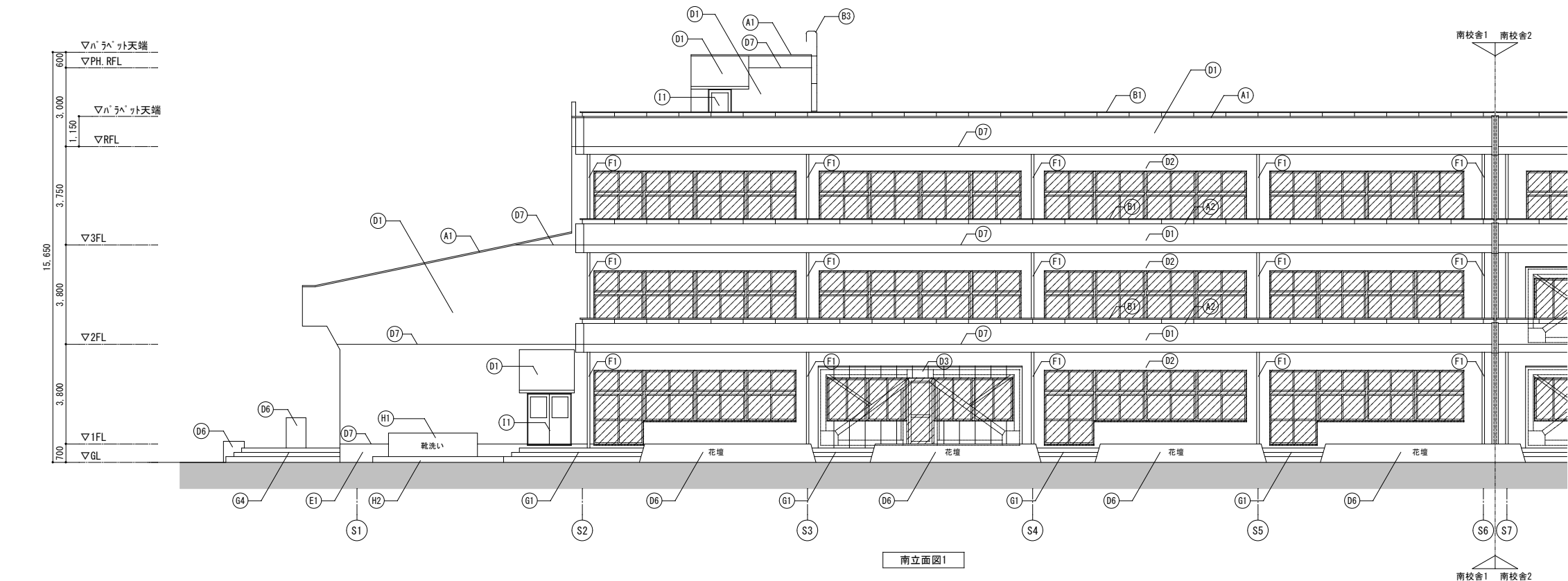
凡 例				注 記				設計名称 令和7年度 岩沼西小学校校舎長寿命化外部改修工事(第Ⅱ期)			
 改修範囲外の部分を示す								図面名称 【改修前後】中央75A 1階平面図 縮 尺 A1:1/100 年 月 2024. 03 設計番号 図面番号 A-038 A3:1/200			
 既存のままの部分を示す								一級建築士事務所 森 根和技術研究所 <small>法人番号 501000010000000000</small> <small>宮城県知事登録 第22910116号</small> 経営/役員 代表 西巻 裕太			



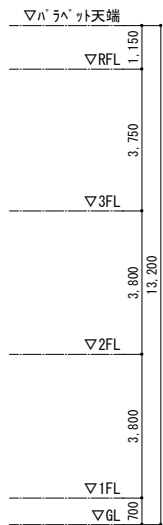
凡 例			注 記			設計名称 令和 7 年度 岩沼西小学校校長舎寿命化外部改修工事（第Ⅱ期）		
改修範囲外の部分を示す						図面名称 【改修前後】中央入り 屋根伏図		
						縮 尺 A1:1/100 A3:1/200		
既存のままの部分を示す						縮 尺 A1:1/100 A3:1/200 年 月 2024. 03 設計番号 図面番号 A-039		
						一級建築士事務所  相和技術研究所 宮城県知事登録 第22010116号 承認/赤沼 直幸 設計者/ 一級建築士 第284436号 赤沼 直幸 監製/西巻 裕太 監製/高木 康文		



凡 例			注 記		設計名称 令和7年度 岩沼西小学校校舎長寿命化外部改修工事(第Ⅱ期)									
改修範囲外の部分を示す					図面名称 【改修前後】図書室棟 1階平面図、屋根伏図									
					縮 尺 A1:1/100 A3:1/200									
既存のままの部分を示す					設計番号 年 月 2024. 03 図面番号 A-040									
					<div> <div>  <p>一般建築士事務所 相和技術研究所 法人番号 宮城県知事登録 第22910116号</p> </div> <div> <p>承認/非承認 設計者/ 一級建築士 第284435号 非承認 監画/監製 西巻 裕太</p> </div> </div>									

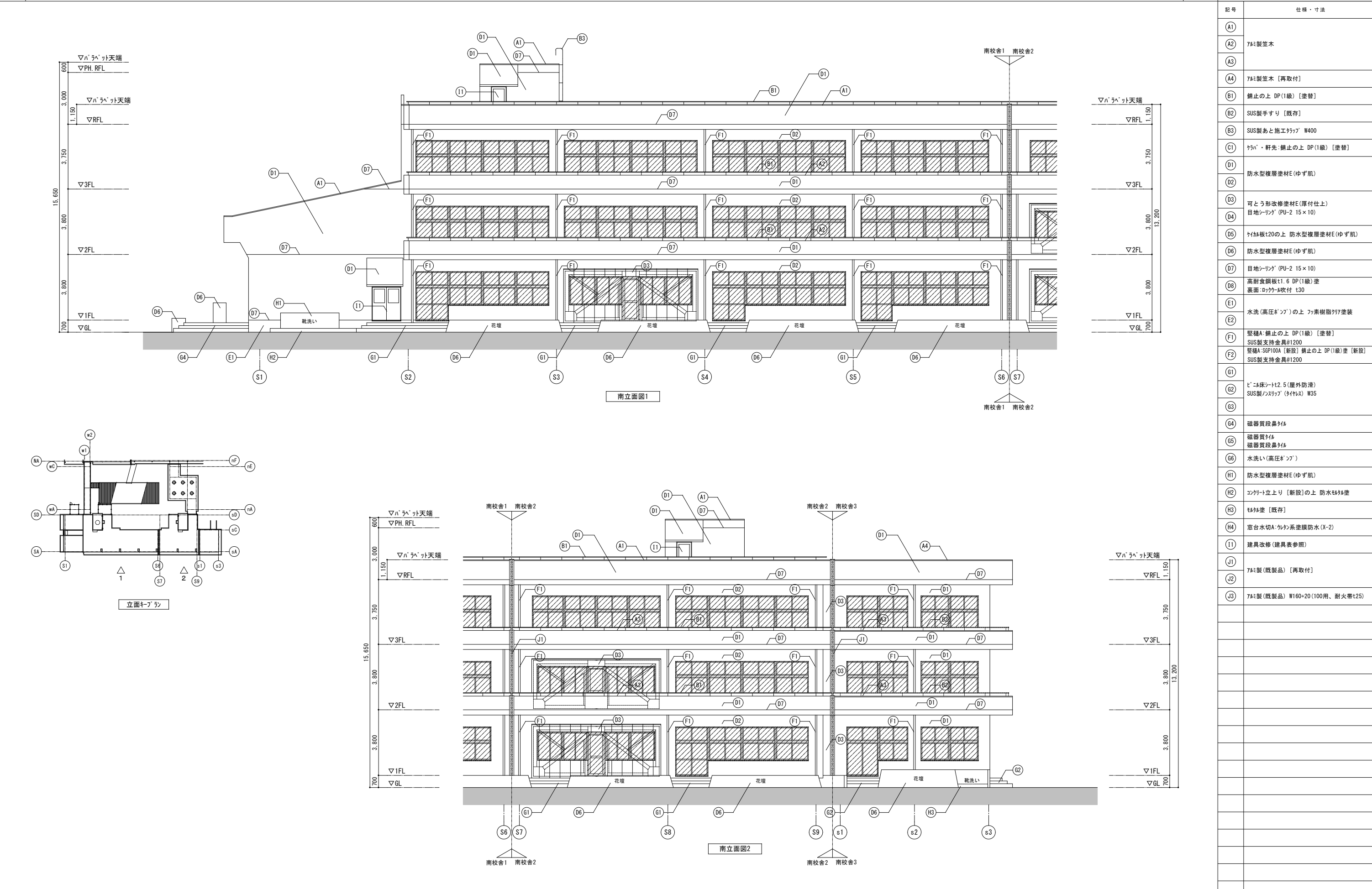


工法	数量	単位
自動式低圧珪 珪樹脂注入工法		
クワック幅 0.2～0.3未満	97.9	m
クワック幅 0.3～0.5未満	107	m
クワック幅 0.5～1.0未満	12.9	m
ウルトラスリック 材料充填工法		
クワック幅 1.0～1.5未満	7.1	m
クワック幅 1.5以上	1.8	m
ボリマーセメント砂珪砂充填工法		
クワック交換 欠損深さ20mm	4.8	m2



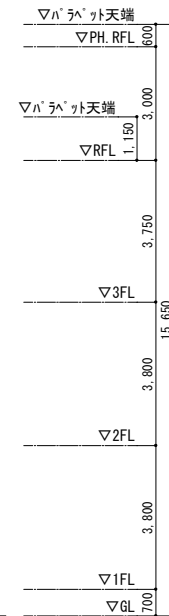
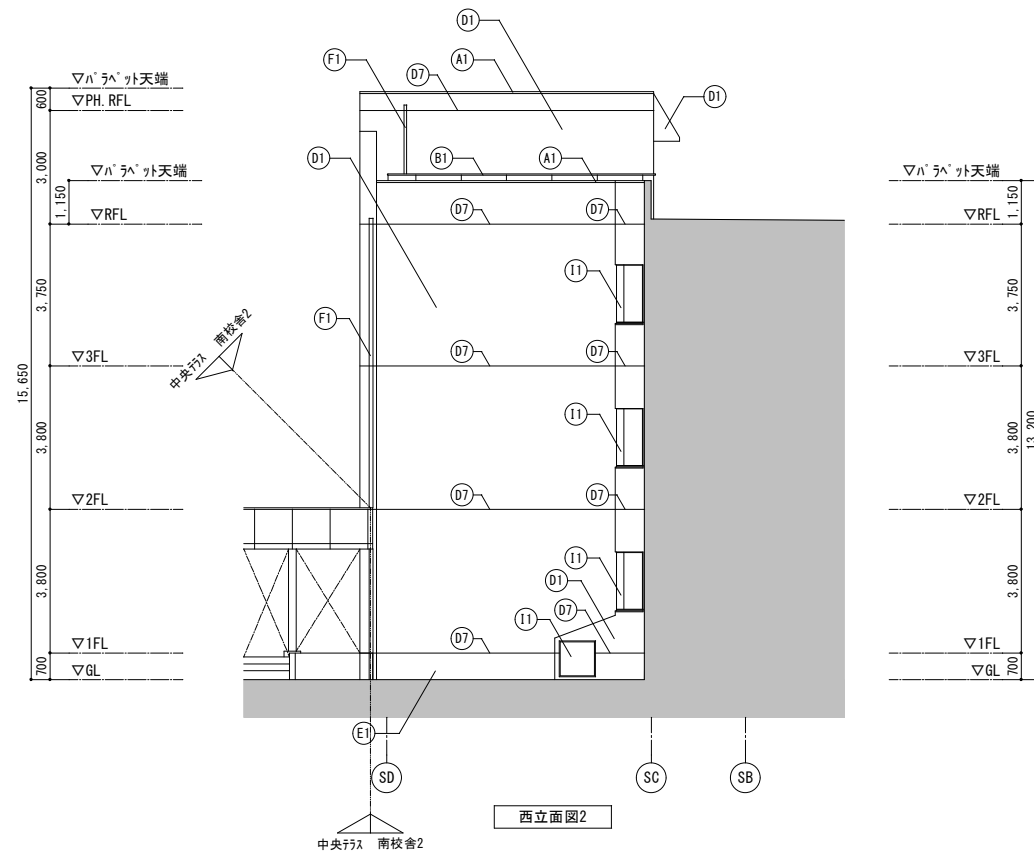
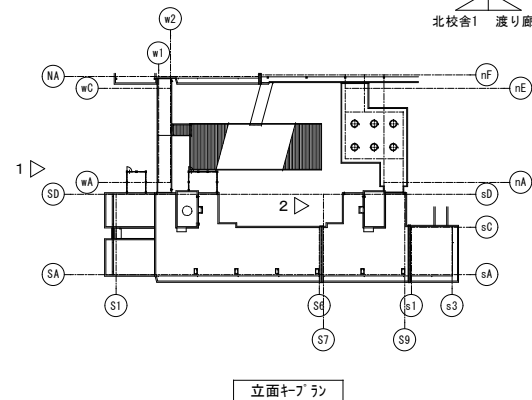
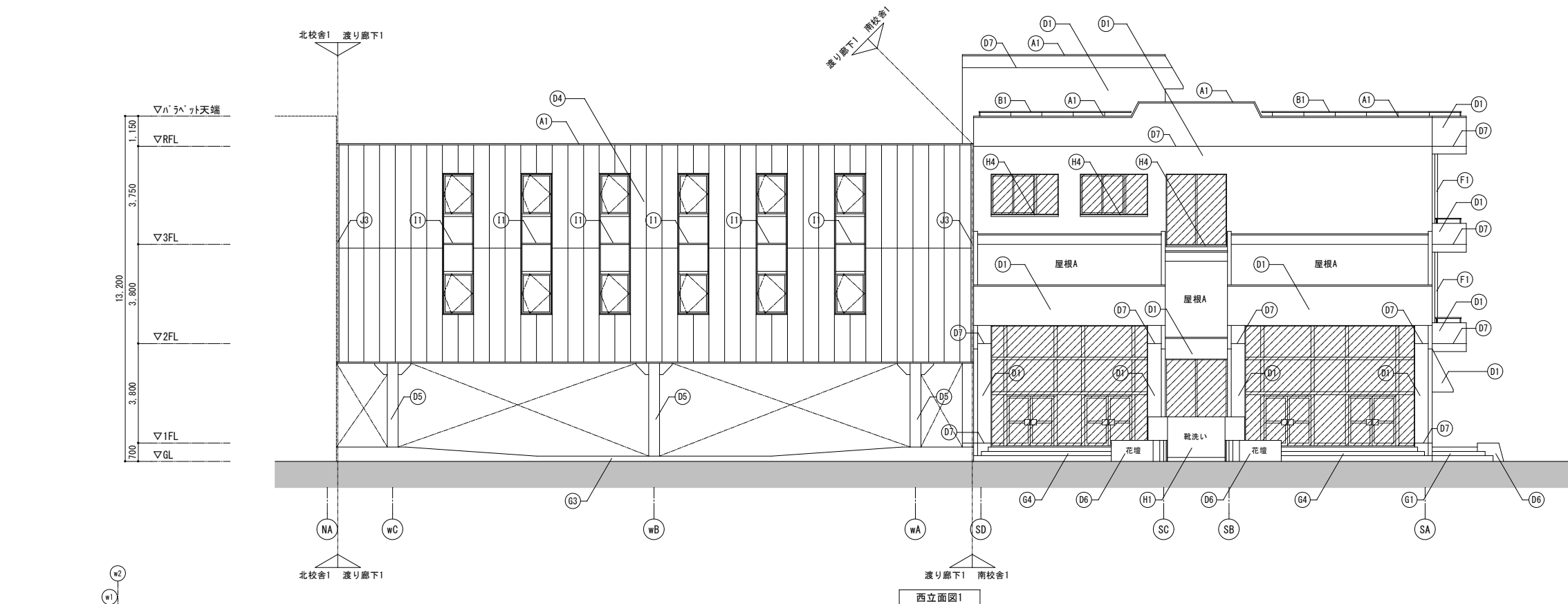
	仕様・寸法
(A1)	木下地 160×40【撤去】の上 亜鉛鉄板笠木 t0.5 W160【撤去】
(A2)	防水モルタル塗【撤去】の上 ウレタン系塗膜防水(X-2)【撤去】
(A3)	PC板笠木【撤去】
(A4)	7mm製笠木(既製品)【取外】
(B1)	鋼管製手すり:SGP23A OP塗【塗膜除去】 グラウト:SGP25A OP塗#1200【塗膜除去】
(B2)	SUS製手すり【既存】
(B3)	タラップ【撤去】
(C1)	タラン・軒先:屋根同材包み【塗膜除去】
(D1)	コンクリート打放の上 複層塗材E【高圧水洗工法】
(D2)	コンクリート打放の上 ケイ酸系塗装【サンダー工法】
(D3)	押出成形ポリ板【既存】の上 複層塗材E【水洗い工法】 目地シーリング 15×10【撤去】
(D4)	ALC板【既存】の上 複層塗材E【水洗い工法】 目地シーリング 15×10【撤去】
(D5)	5mm下地モルタル塗【撤去】の上 複層塗材E【撤去】
(D6)	リブ付型枠コンクリート打放の上 複層塗材 【高圧水洗工法】
(D7)	目地シーリング 15×10【撤去】
(E1)	基礎巾木:モルタル塗【既存】
(E2)	基礎巾木:コンクリート打放【既存】
(F1)	壁種A:SGP(白グアム)塗【塗膜除去】 支持金具【撤去】
(F2)	壁種A:SGP(白グアム)塗【撤去】 支持金具【撤去】
(G1)	タイル塗【撤去】、陶器質段鼻タイル【撤去】
(G2)	タイル塗【撤去】、磁器質段鼻タイル【撤去】
(G3)	コンクリート直均し【既存】
(G4)	せつ器質段鼻タイル【撤去】
(G5)	磁器質タイル【撤去】 磁器質段鼻タイル【撤去】
(G6)	磁器質タイル【既存】 磁器質段鼻タイル【既存】
(H1)	防水モルタル塗【既存】 複層塗材E【高圧水洗工法】
(H2)	コンクリート立上り【破損部撤去】の上 防水モルタル塗【撤去】
(H3)	タイル塗【既存】
(H4)	窓台水切A:防水モルタル塗【既存】
(I1)	建具改修(建具表参照)
(J1)	EXP, Jカバ(外壁・外壁):7mm製(既製品)【取外】
(J2)	EXP, Jカバ(外壁コーナ):7mm製(既製品)【取外】
(J3)	EXP, Jカバ(外壁コーナ):7mm製(既製品)【撤去】

凡 例				注 記				設計名称 令和7年度 岩沼西小学校校長寿命化外部改修工事（第Ⅱ期）			
<div></div> 改修範囲外の部分を示す				図面名称 【改修前】南立面図							
				縮 尺 A1:1/100 A3:1/200		年 月 2024. 03		設計番号		図面番号 A-041	
<div></div> 既存のままの部分を示す				<div><div><div><div><div><div></div></div></div><div><div><div>一般建築士事務所</div><div>監理/監事登録 第2233111号</div></div></div><div><div><div>建築技術研究所</div><div>設計者/一級建築士 第284436号 監事</div></div></div><div><div><div>監理/監事登録</div><div>西巻 裕太</div></div></div></div></div></div>							



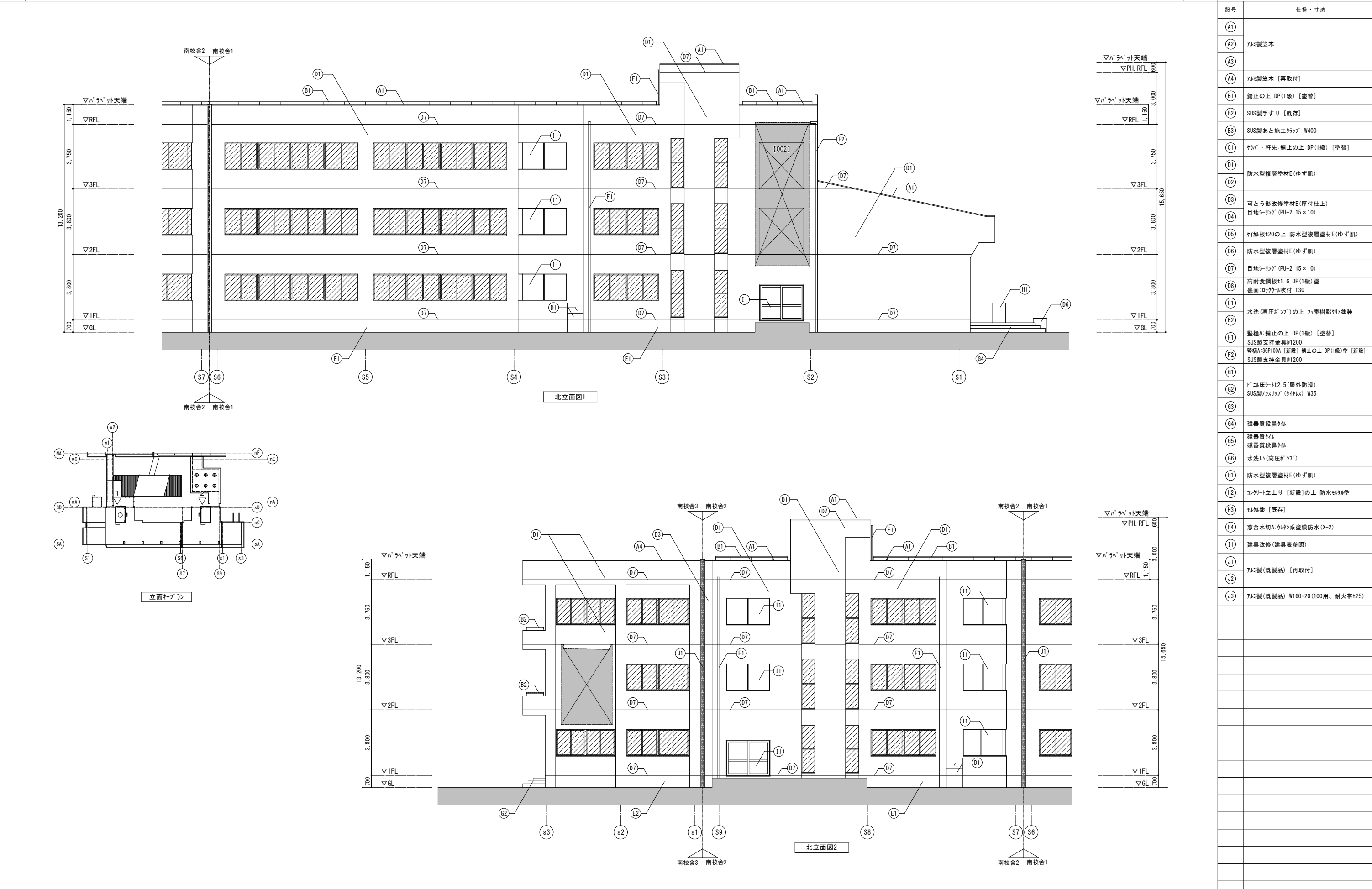
凡 例			注 記									
<div></div>	改修範囲外の部分を示す											
	既存のままの部分を示す											

設計名称				令和7年度 岩沼西小学校校舎長寿命化外部改修工事(第Ⅱ期)									
図面名称				【改修後】南立面図									
縮 尺	A1:1/100 A3:1/200		年 月	2024. 03		設計番号				図面番号	A-042		
<div> 一級建築士事務所 岩 沼 和 技 術 研 究 所 宮城県知事登録 第22910116号</div>				承認/添付	設計者/ 一級建築士 第204435号 赤沼 直幸		製図/ 西巻 祐太						
				監理/図大 図文									



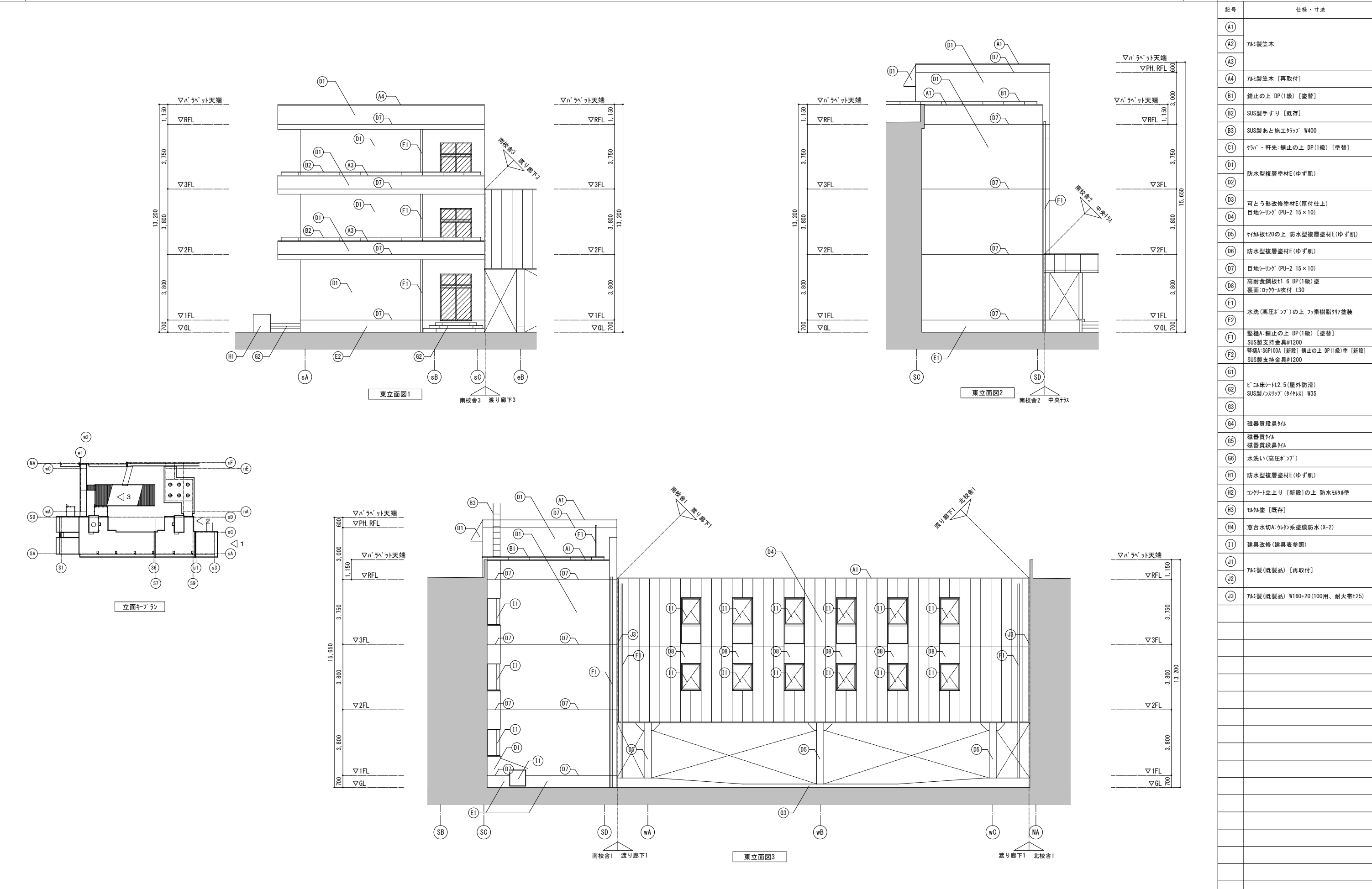
工法			数量	単位
自動式低圧バネ樹脂注入工法				
クワ幅	0.2~0.3未満	—	m	
クワ幅	0.3~0.5未満	31.5	m	
クワ幅	0.5~1.0未満	—	m	
Uカッターリング 材充填工法				
クワ幅	1.0~1.5未満	—	m	
クワ幅	1.5以上	—	m	
ホリマゼンタモリ充填工法				
コンクリート欠損	欠損深さ20mm	—	m ²	

凡 例				注 記										設計名称 令和7年度 岩沼西小学校校長寿命化外部改修工事(第Ⅱ期)									
		改修範囲外の部分を示す						図面名称 【改修前】西立面図															
		既存のままの部分を示す						縮 尺 A1:1/100 A3:1/200		年 月 2024.03		設計番号		図面番号 A-043									
		一級建築士事務所 SOWA 相和技術研究所 宮城県知事登録 第2291011号						承認/承諾 直幸		設計者/ 監理/監査 直文		製図/ 西巻 裕太		一級建築士 第284436号 赤沼 直幸									



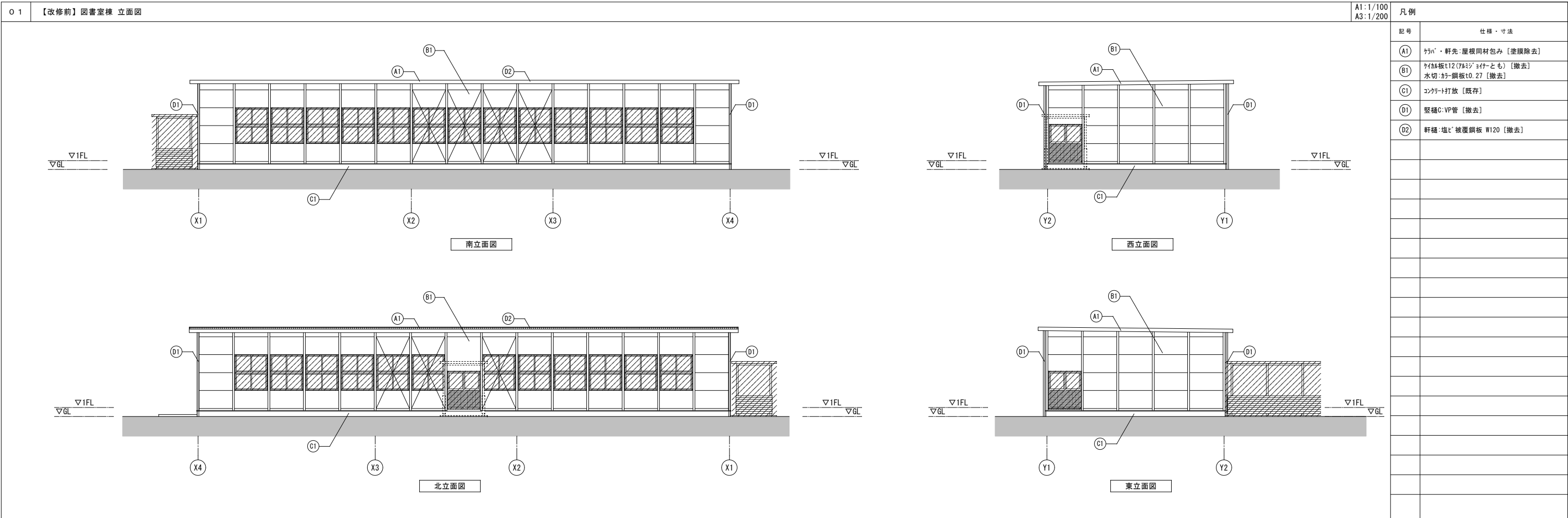
凡 例				注 記									
<div></div>	改修範囲外の部分を示す												
———	既存のままの部分を示す												

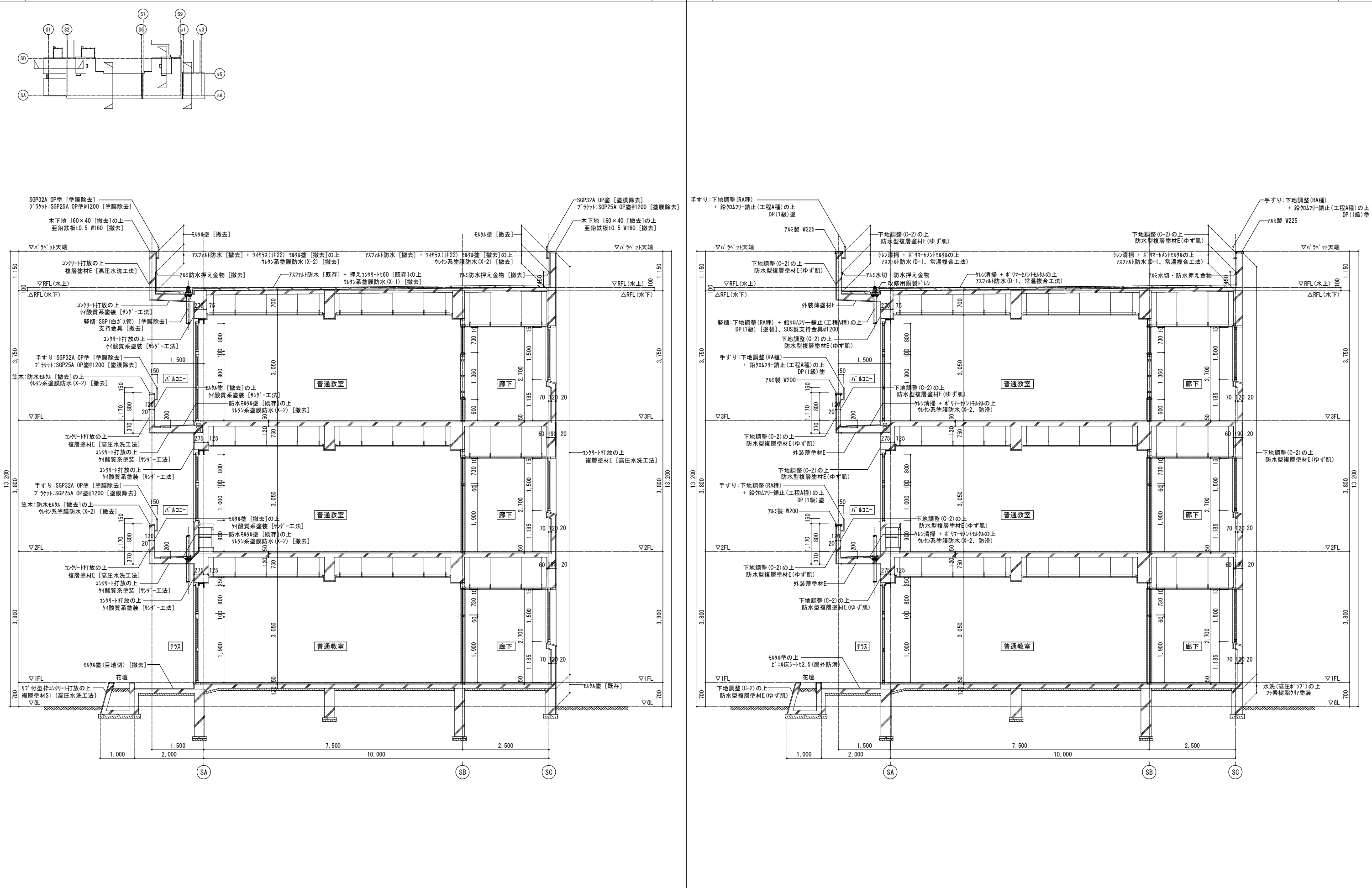
設計名称				令和7年度 岩沼西小学校校舎長寿命化外部改修工事(第Ⅱ期)									
図面名称				【改修後】北立面図									
縮 尺		A1:1/100 A3:1/200		年 月		2024. 03		設計番号		図面番号		A-046	
<div><div>SOWA</div><div>一級建築士事務所 岩 沼 和 技 術 研 究 所 宮城県知事登録 第22910116号</div></div>				承認/承認		設計者/ 一級建築士 第204435号 赤田 直幸		製図/ 西巻 祐太					
				監理/監理		監理/監理		監理/監理					



凡 例			注 記									
<div><div></div></div>	改修範囲外の部分を示す											
	既存のままの部分を示す											

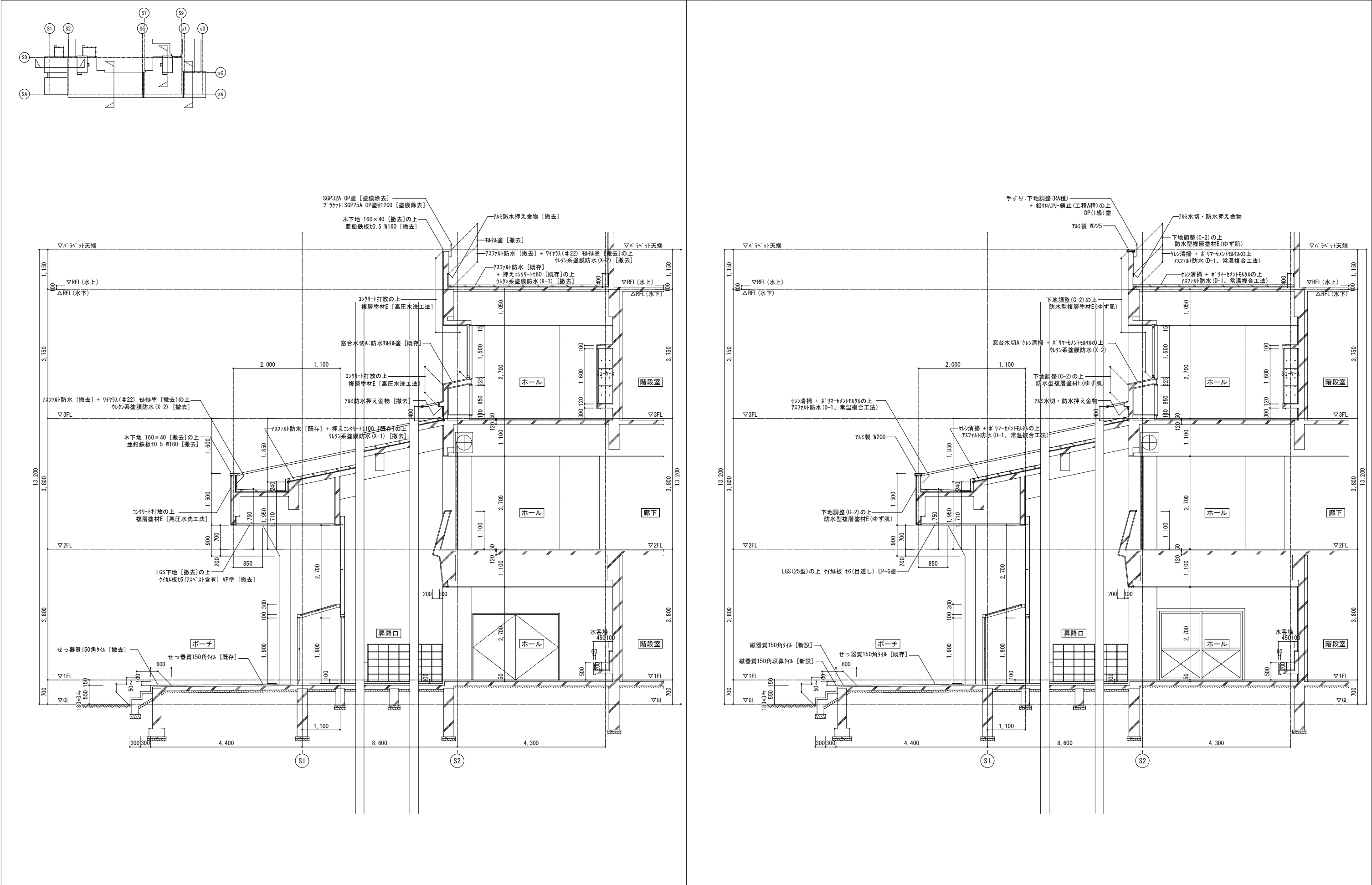
設計名称				令和7年度 岩沼西小学校校舎長寿命化外部改修工事(第Ⅱ期)												
図面名称				【改修後】東立面図												
縮 尺	A1:1/100 A3:1/200	年 月	2024. 03	設計番号						図面番号	A-048					
<div><div><div>SOWA</div><div>一級建築士事務所 雄和技術研究所 宮城県知事登録 第22910116号</div></div></div>				承認/承認	設計者/	一級建築士 第204435号 赤沼 真幸					製図/	西巻 祐太				
				照査/図大	照文											





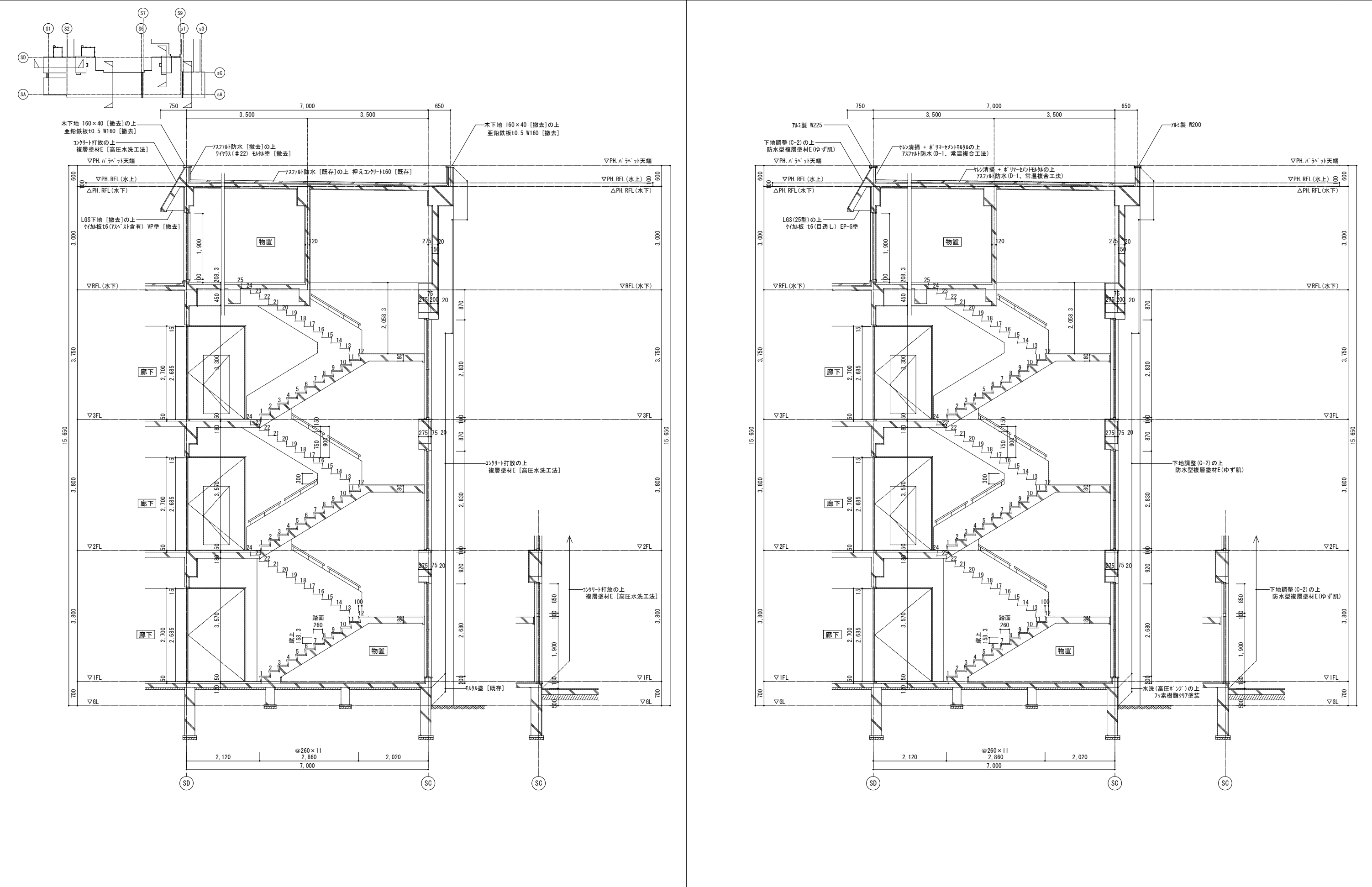
凡 例				注 記			
既存のままの部分を示す				1) コンクリート・モルタル・タイルの折り撤去は、カッター入れにより残置部分と縁切りのこと。			

設計名称 令和7年度 岩沼西小学校校長寿命化外部改修工事(第Ⅱ期)			
図面名称 【改修前後】矩計図1（南校舎1）			
縮 尺 A1:1/50 A3:1/100	年 月 2024. 03	設計番号	図面番号 A-051
一級建築士事務所 有限会社 相和技術研究所 宮城県黒川郡大川町 22910116号		承認/添付 設計者/ 一級建築士 第284436号 添付 西巻 祐太	製図/ 照査/ 図大 西巻 祐太

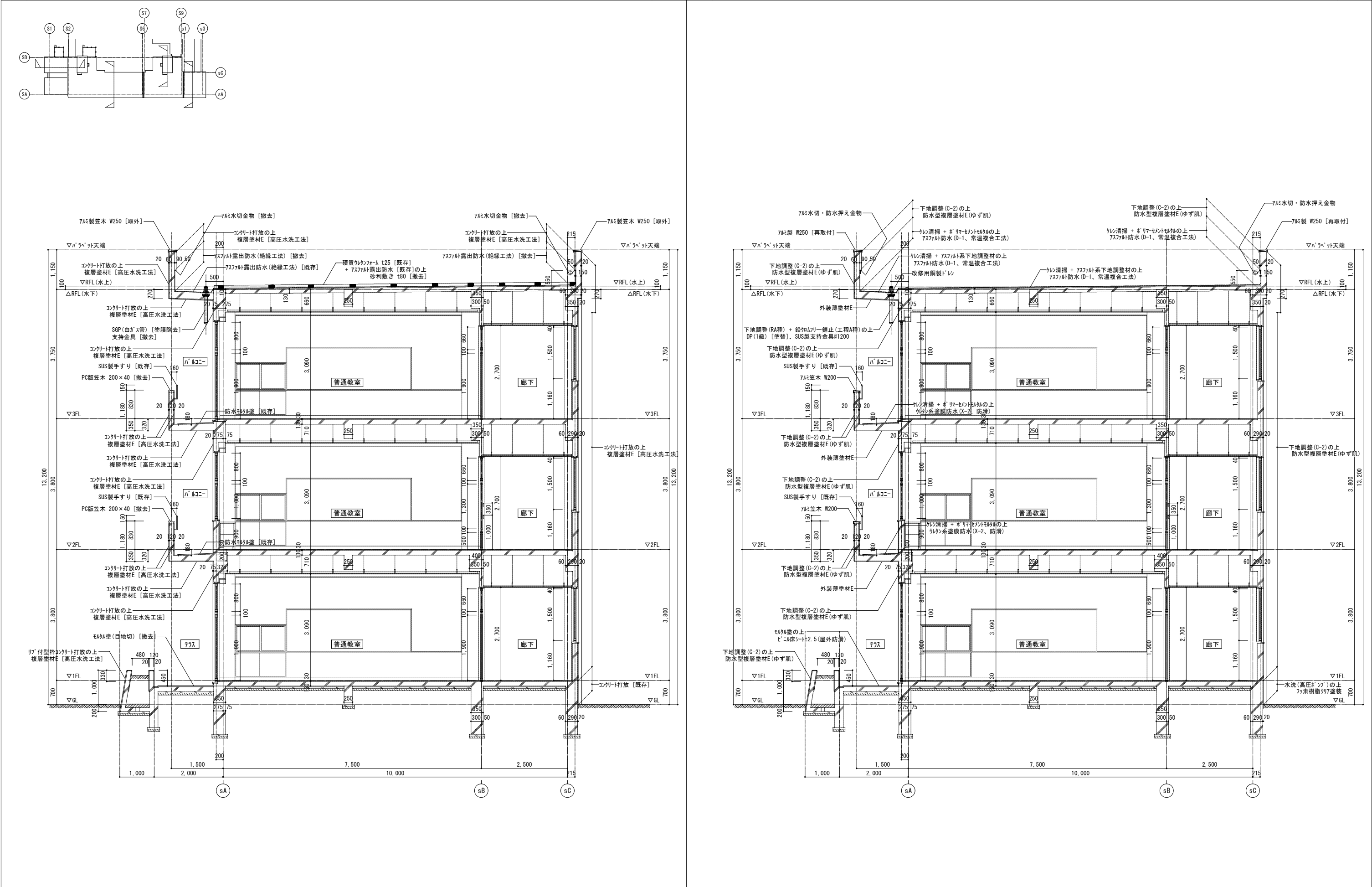



凡 例				注 記			
既存のままの部分を示す				1) コンクリート・モルタル・タイルの折り撤去は、カッター入れにより残置部分と縁切りのこと。			

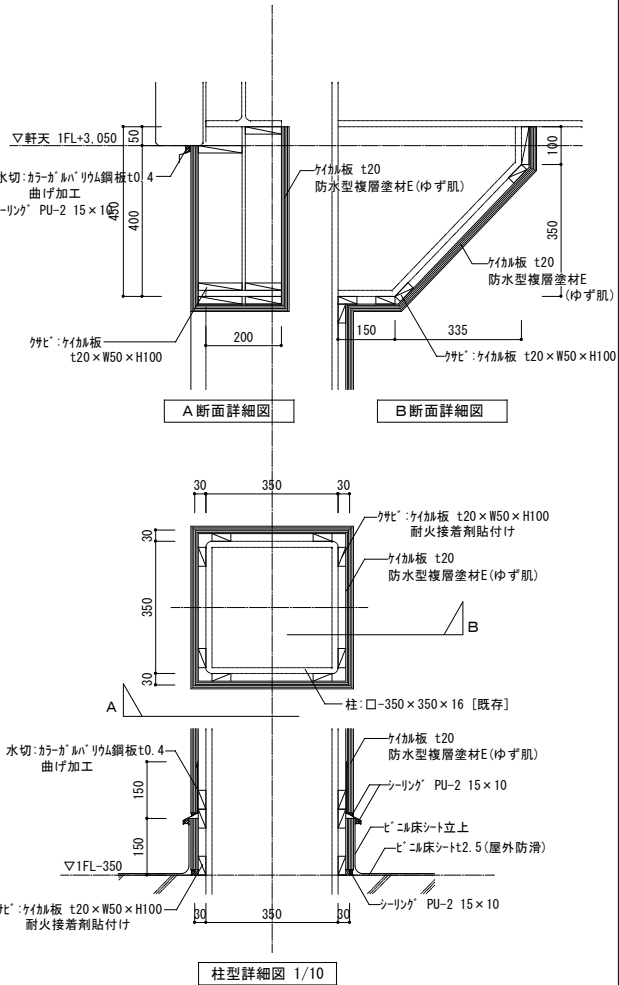
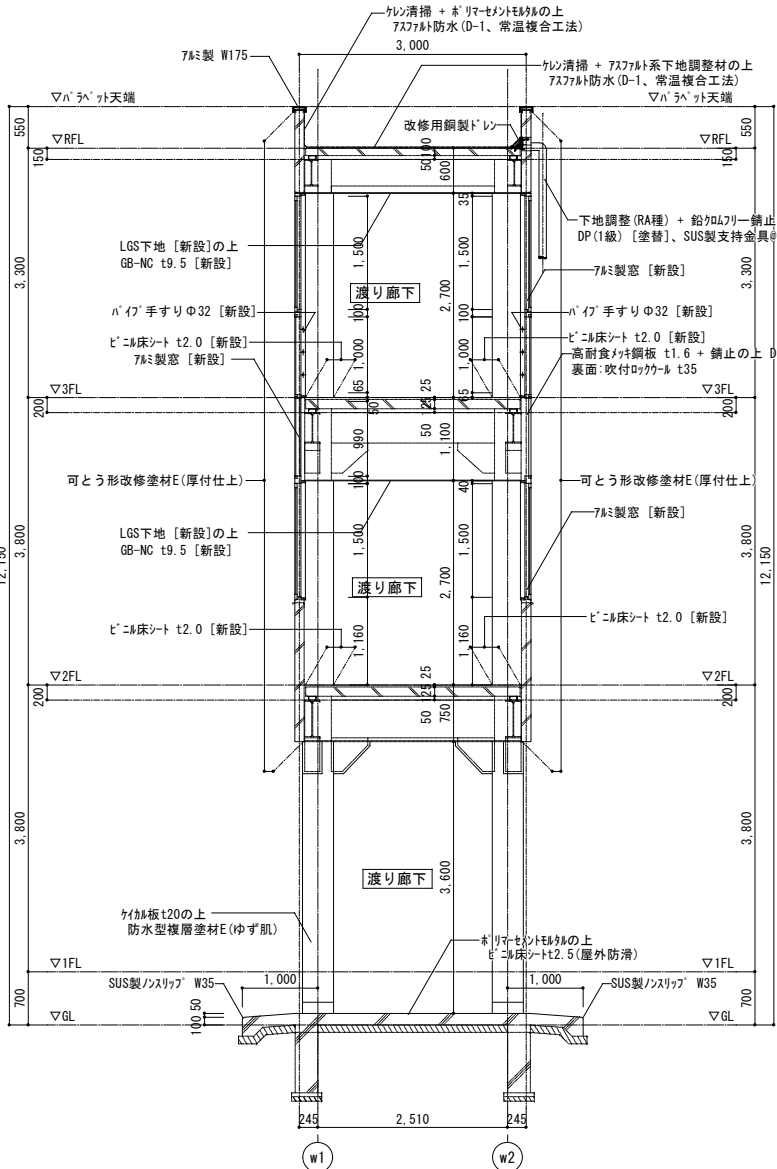
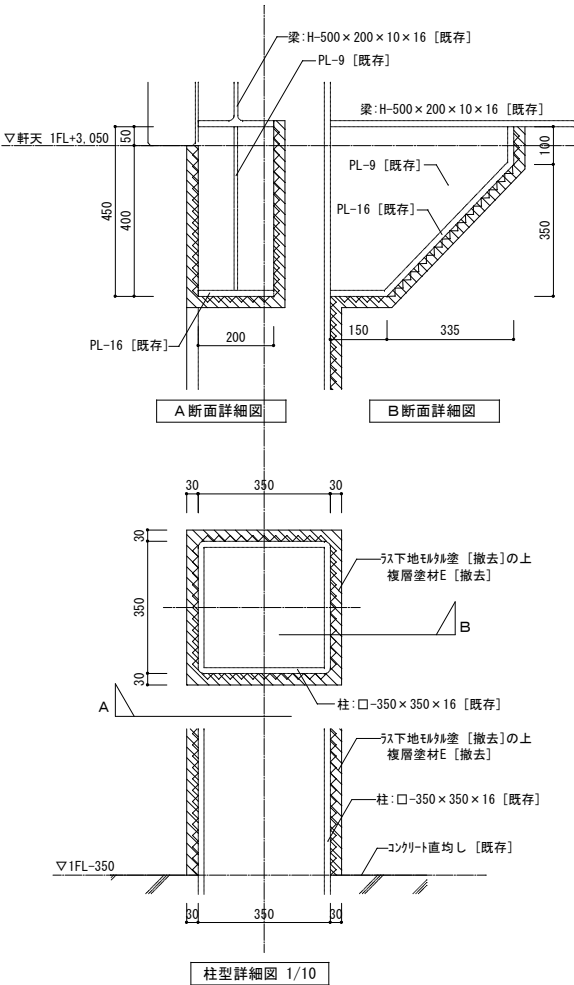
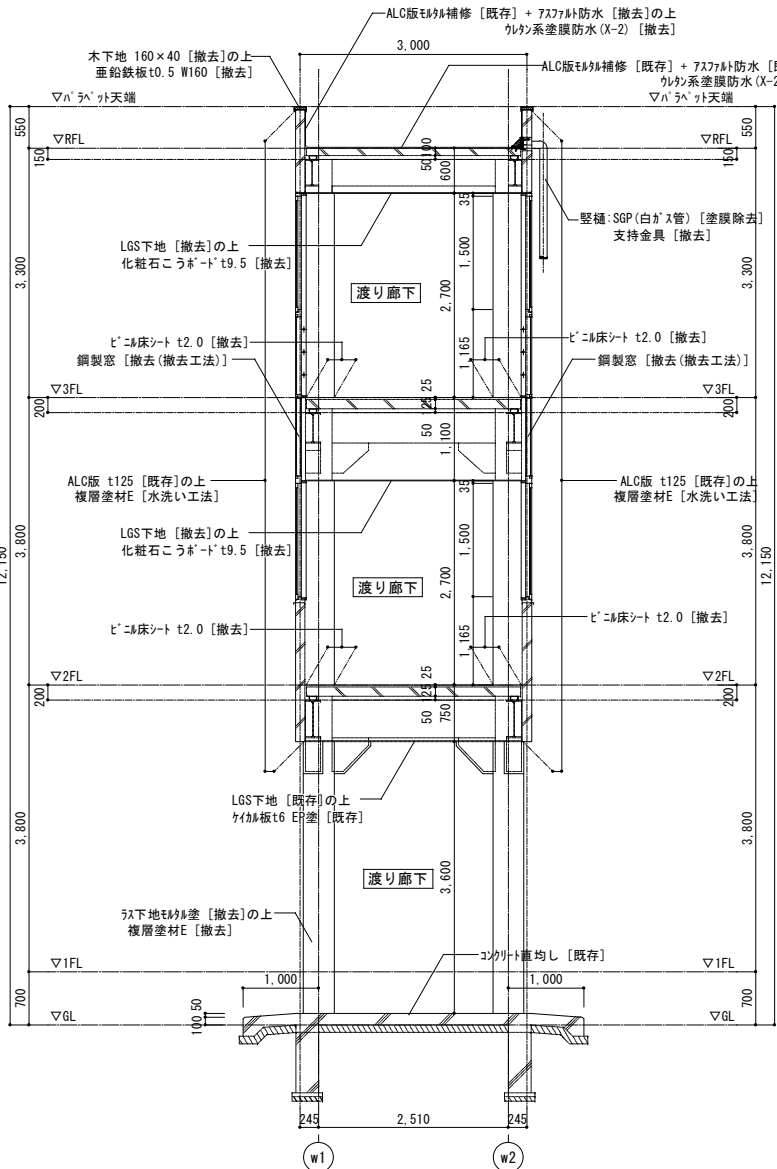
設計名称 令和7年度 岩沼西小学校校舎長寿寿命化外部改修工事(第Ⅱ期)			
図面名称 【改修前後】矩計図2（南校舎1）			
縮 尺 A1:1/50 A3:1/100	年 月 2024. 03	設計番号	図面番号 A-052
一級建築士事務所 SOWA 相和技術研究所 宮城県仙台市登録 第22910116号		承認/承認 設計者/ 監修 照査/後々本 図文	図面番号 A-052 一級建築士 第204436号 承認 高橋 裕太



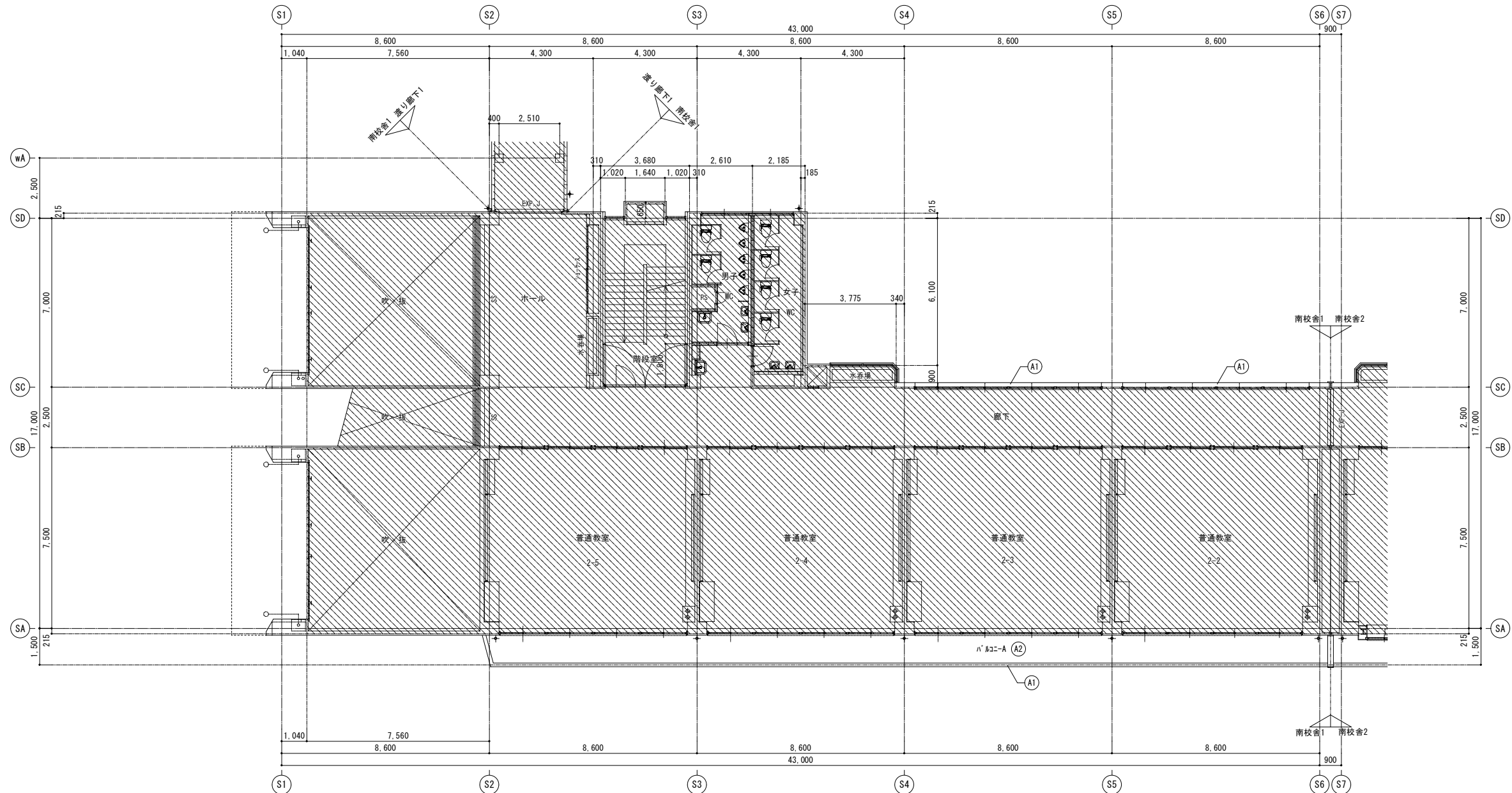
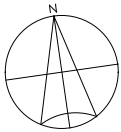
凡 例				注 記				設計名称 令和7年度 岩沼西小学校校舎長寿命化外部改修工事(第Ⅱ期)			
既存のままの部分を示す				1) コンクリート・モルタル・タイルの折り撤去は、カッター入れにより残置部分と縁切りのこと。				図面名称 【改修前後】矩計図3（南校舎2）			
								縮 尺 A1:1/50 A3:1/100		年 月 2024. 03	
								設計番号		図面番号 A-053	
								一級建築士事務所 相和技術研究所 岩手県知事登録 第22910116号		承認/承認 設計者/ 一級建築士 第204436号 岩沼 青幸 西巻 祐太	
								監査/図大 原文			



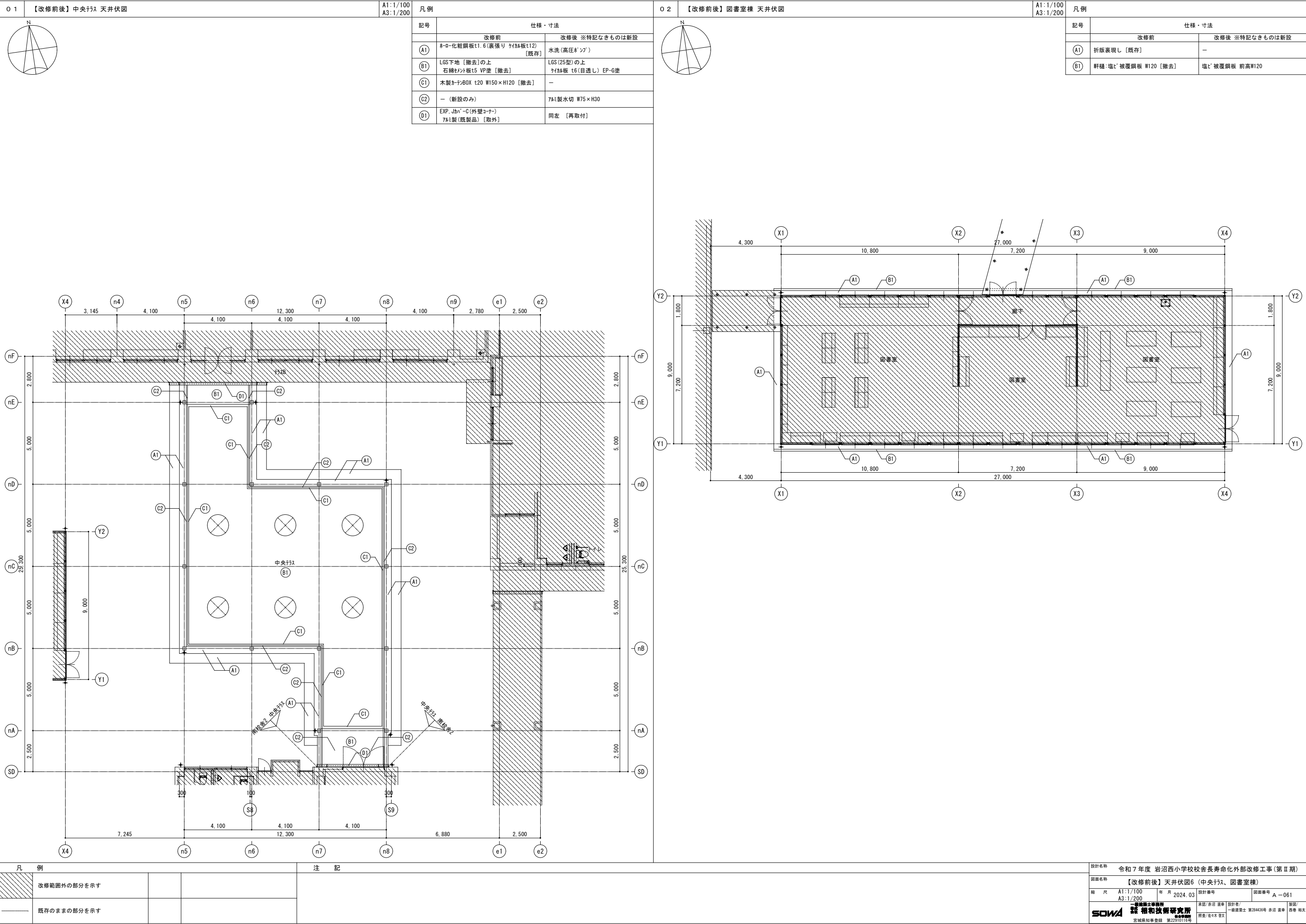
凡 例				注 記			
既存のままの部分を示す				1)コンクリート・モルタル・タイルの折り撤去は、 カッター入れにより残置部分と縁切りのこと。			
設計名称				令和7年度 岩沼西小学校校舎長寿命化外部改修工事(第Ⅱ期)			
図面名称				【改修前後】 矩計図4（南校舎3）			
縮 尺		A1:1/50 A3:1/100		年 月		2024. 03	
				設計番号		図面番号 A-054	
		一級建築士事務所 雄和技術研究所		承認/承認 高橋 浩幸		設計者/設計者 一級建築士 第284436号 赤沼 真幸	
		監理/監理 高橋 浩幸		製図/製図 西巻 裕太			
		宮城県知事登録 第22910116号					

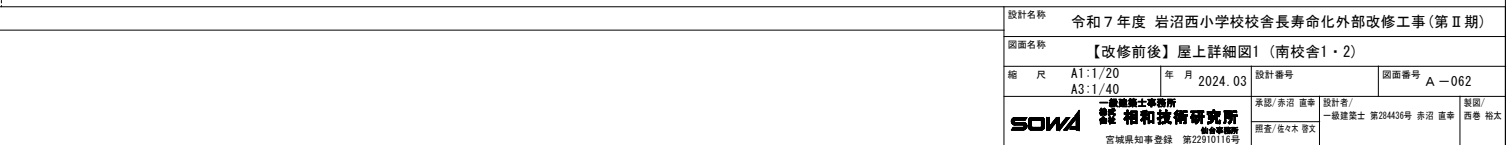
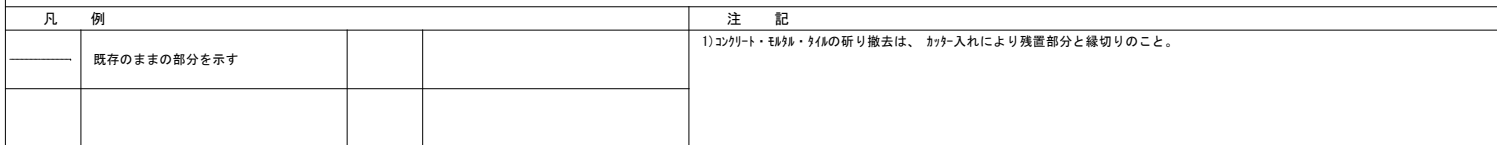


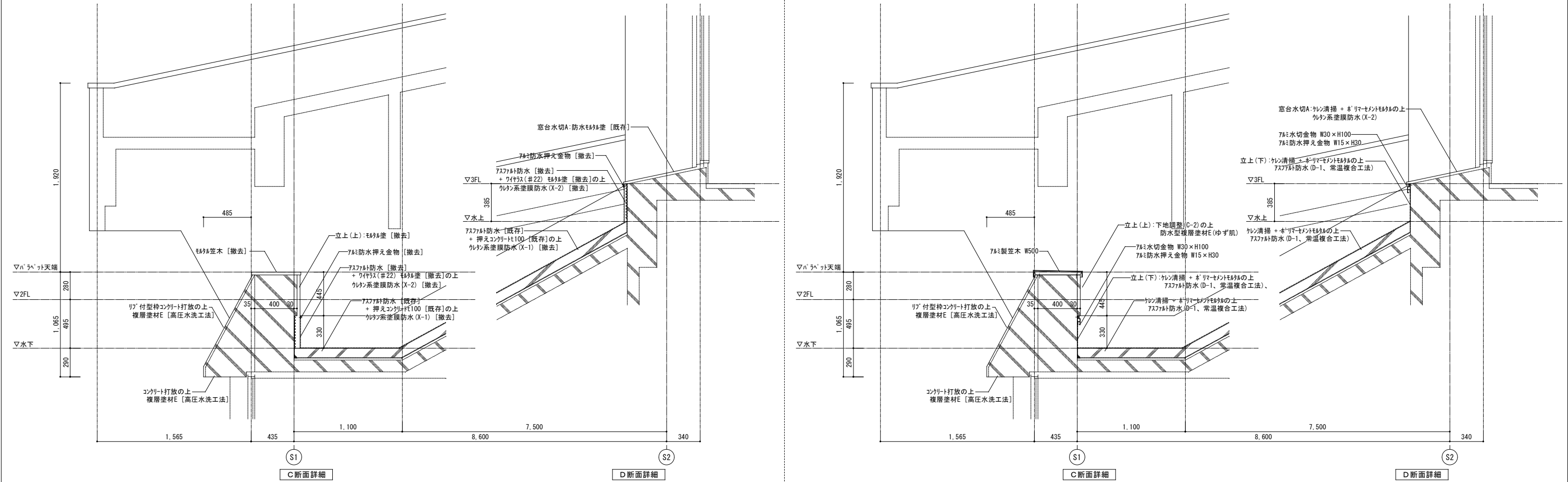
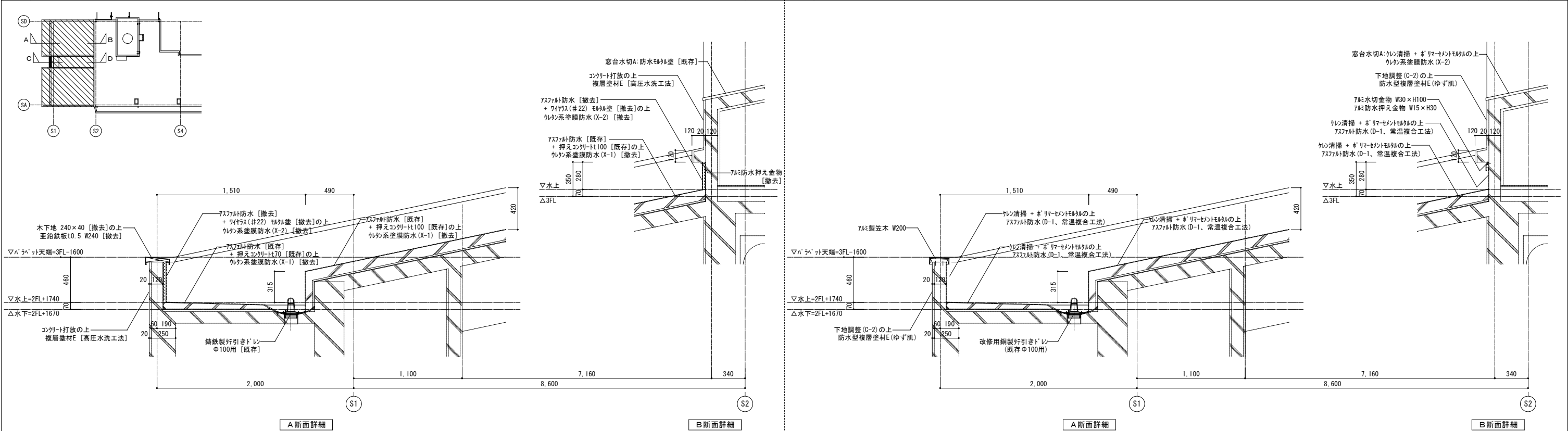
凡 例				注 記
	既存のままの部分を示す			1) コンクリート・モルタル・タイルの折り撤去は、カッター入れにより残置部分と縁切りのこと。
設計名称 令和7年度 岩沼西小学校校長寿命化外部改修工事(第Ⅱ期)				図面名称 【改修前】矩計図5（渡り廊下1）
縮 尺	A1:1/50 A3:1/100	年 月	2024. 03	設計番号
一級建築士事務所 SOWA 相和技術研究所		承認/承認 建築士	設計者/ 一級建築士 第284436号 承認 高橋 西巻 祐太	図面番号 A-055
宮城県知事登録 第22910116号		照査/図次本文		



凡 例				注 記			
	改修範囲外の部分を示す			設計名称 令和7年度 岩沼西小学校校長寿命化外部改修工事(第Ⅱ期) 図面名称 【改修前後】天井伏図2(南校舎1) 縮 尺 A1:1/100 設計番号 年 月 2024.03 図面番号 A-057 A3:1/200 一級建築士事務所 設計者/ 監理/ 西巻 裕太 有限会社 設 相和技術研究所 承認/ 原沼 直幸 一級建築士 第284436号 赤沼 直幸 岩城晃知事登録 第22916716号 調査/ 佐々木 啓文			
	既存のままの部分を示す						

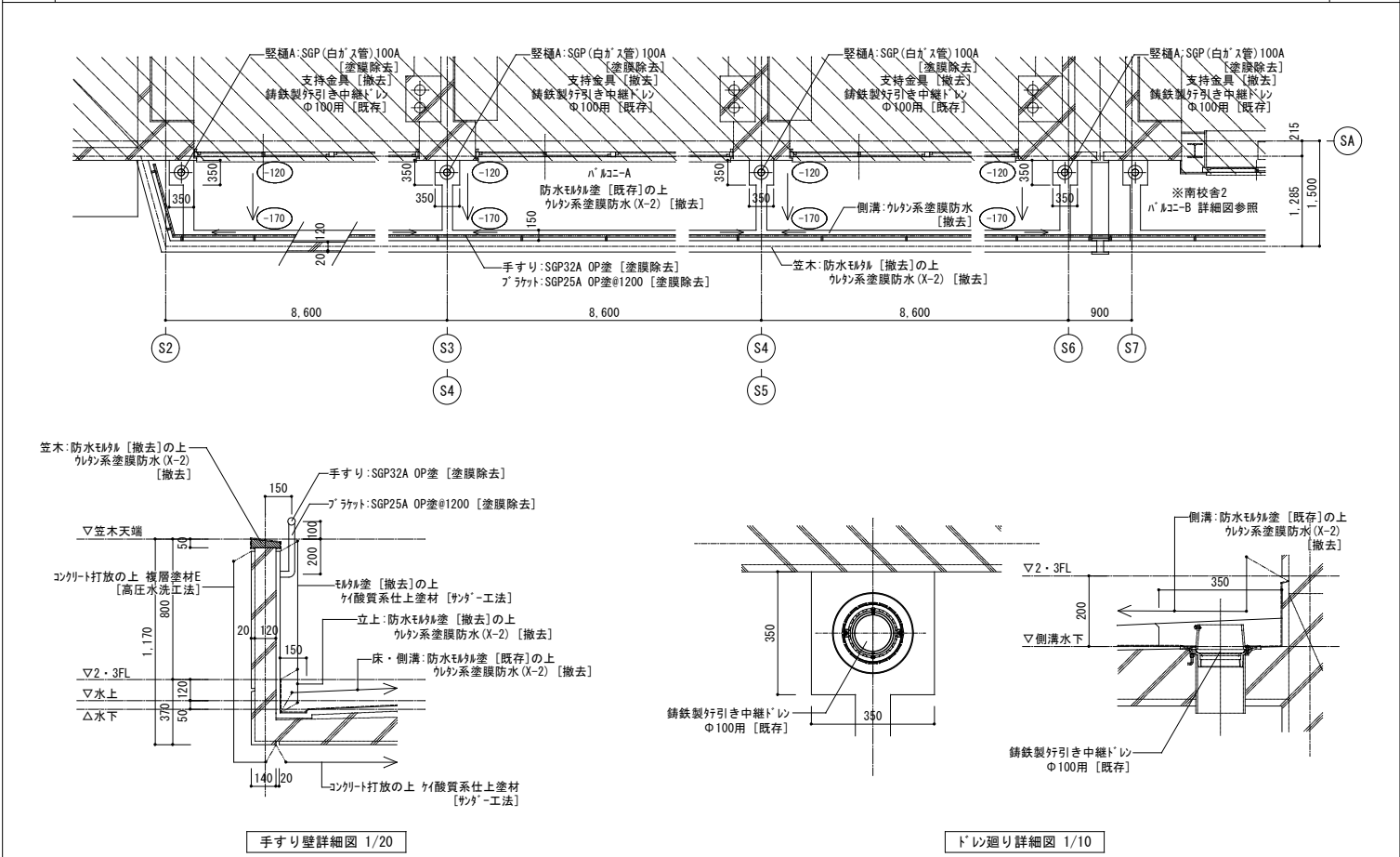
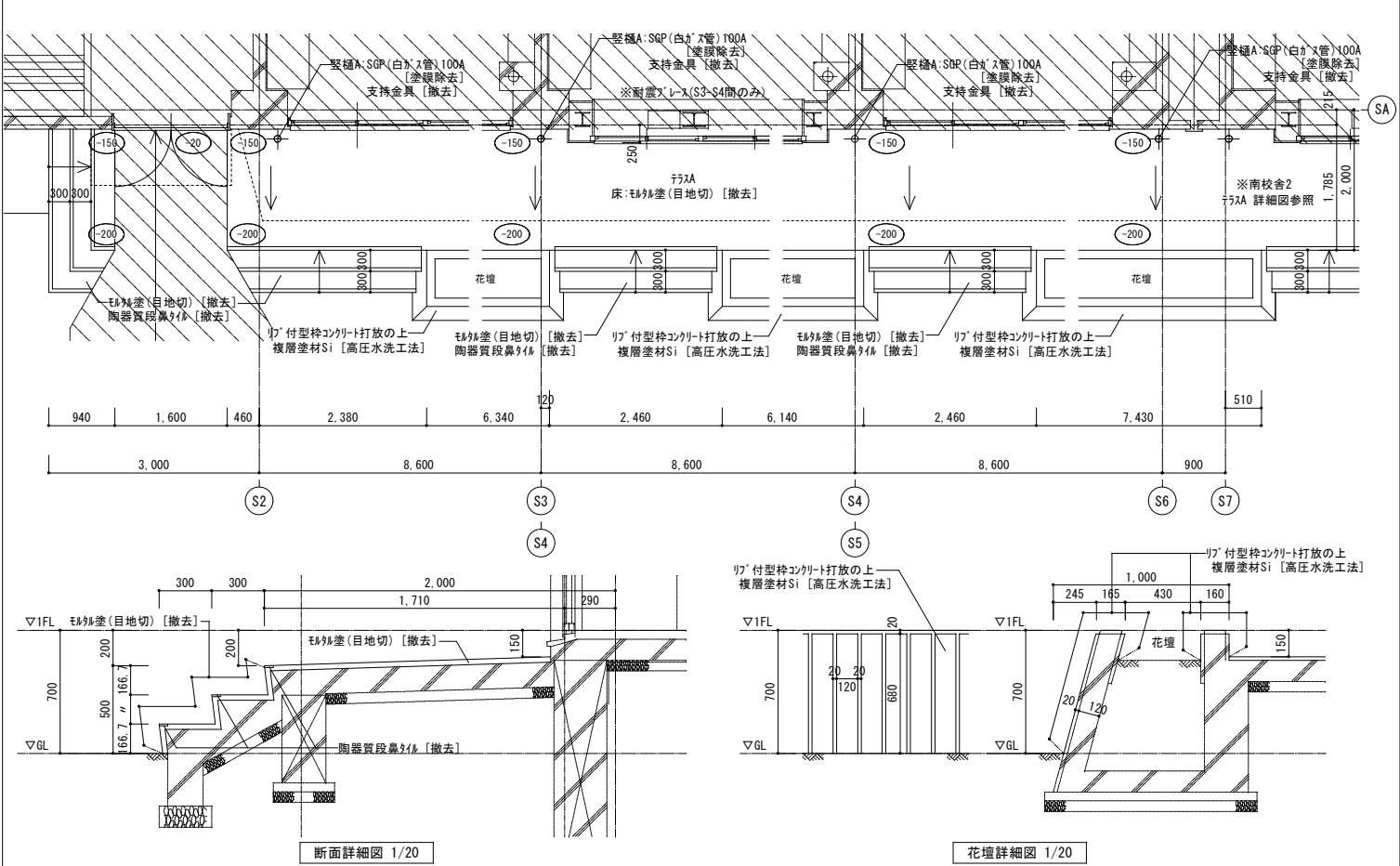






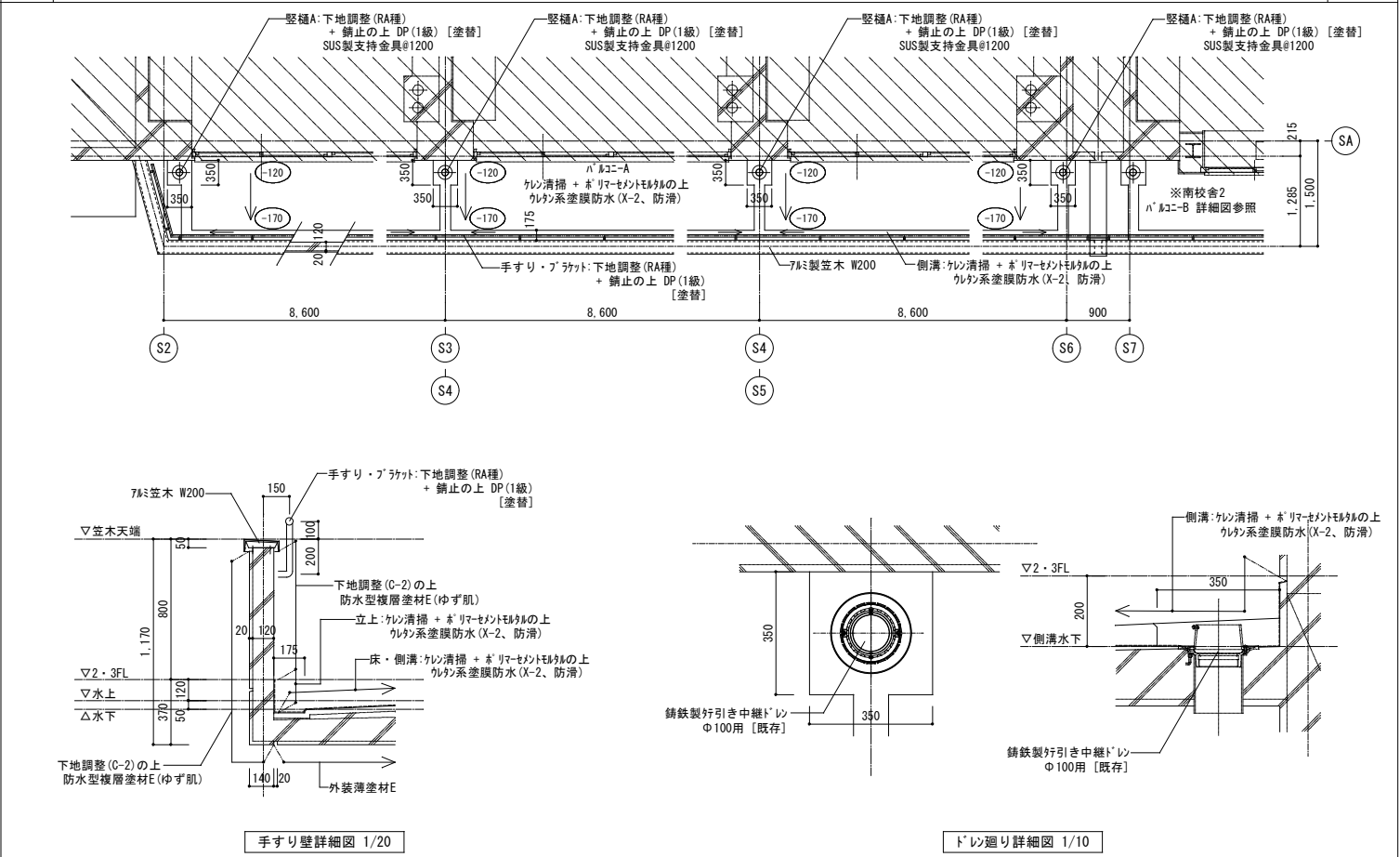
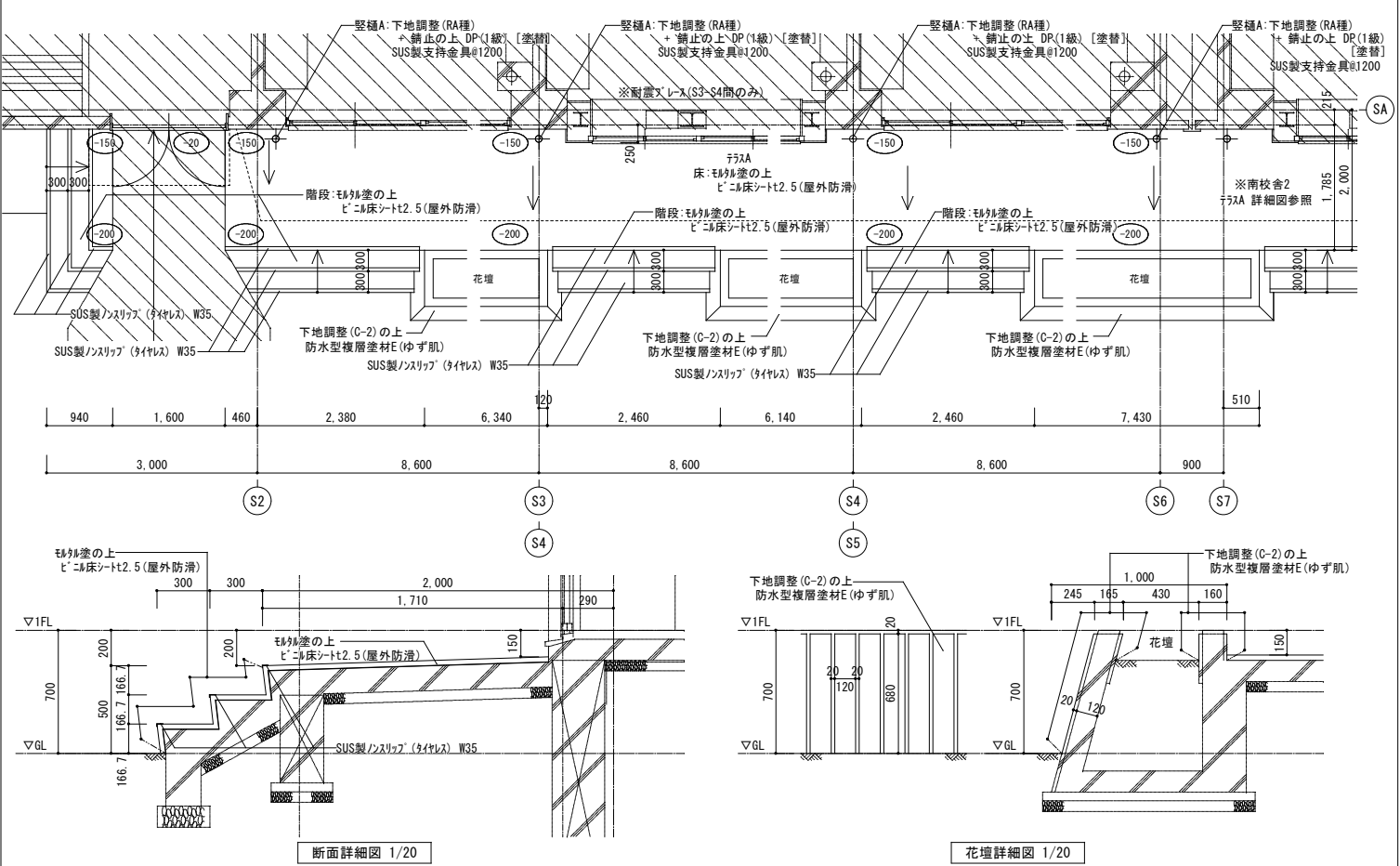
凡 例				注 記			
既存のままの部分を示す				1) コンクリート・モルタル・タイルの折り撤去は、カッター入れにより残置部分と縁切りのこと。			

設計名称 令和7年度 岩沼西小学校校舎長寿命化外部改修工事(第Ⅱ期)			
図面名称 【改修前後】屋根詳細図1（南校舎1）			
縮 尺 A1:1/20 A3:1/40	年 月 2024. 03	設計番号	図面番号 A-064
一級建築士事務所 SOWA 相和技術研究所		承認/承認 設計者/一級建築士 第204436号 承認 西巻 裕太	製図/製図 西巻 裕太
宮城県知事登録 第22910116号		照査/図大 図文	



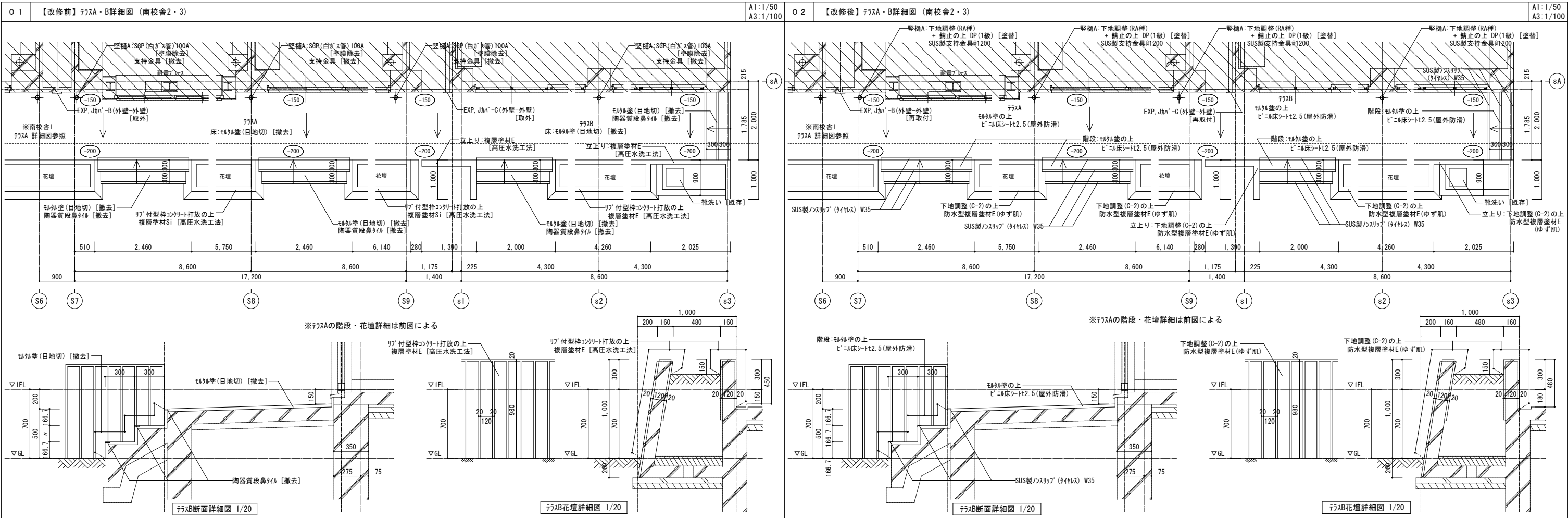
凡 例		
——	既存のままの部分を示す	

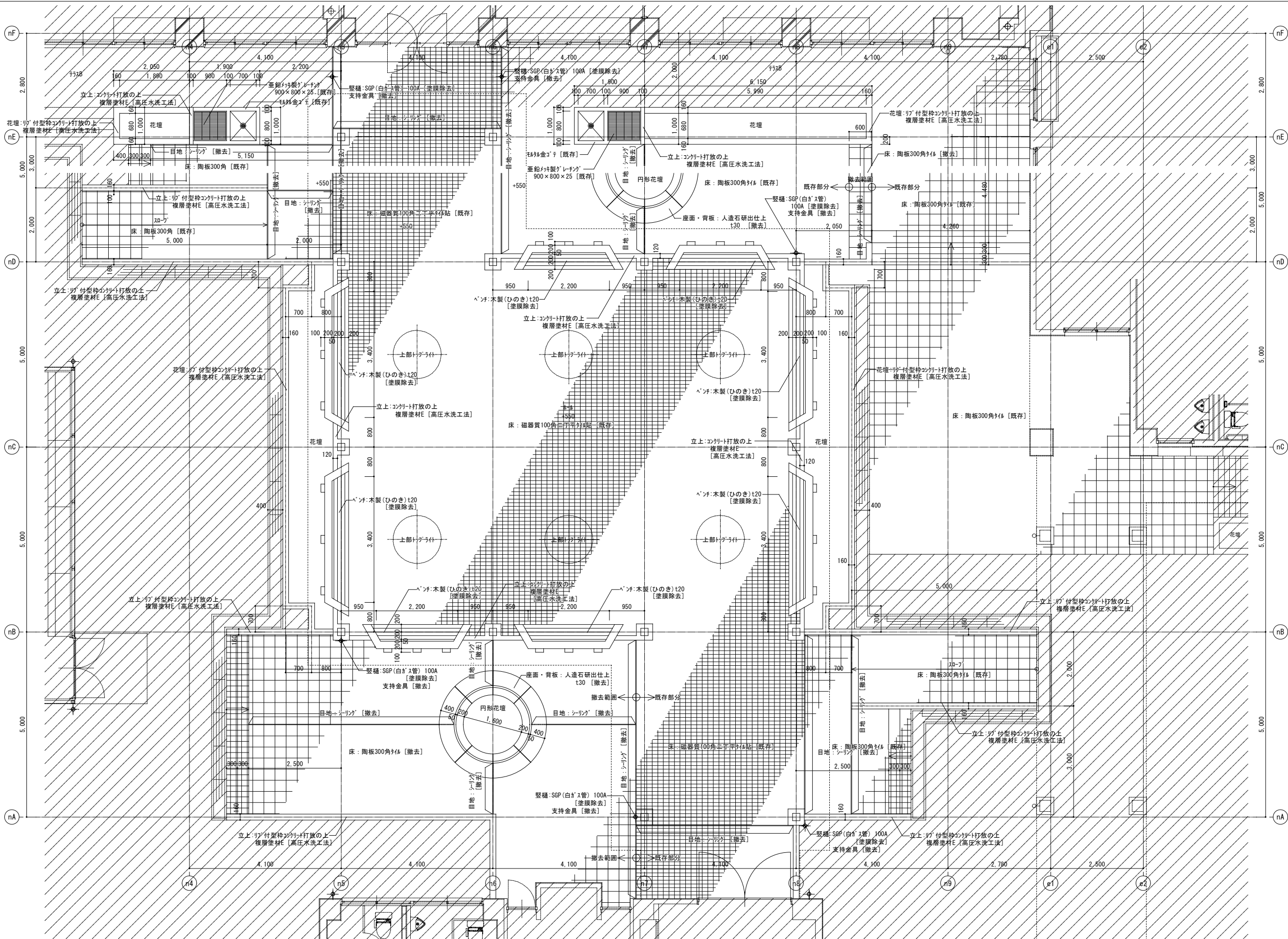
注 記		
1)コンクリート・モルタル・タイルの削り撤去は、カッター入れにより残置部分と縁切りのこと。		



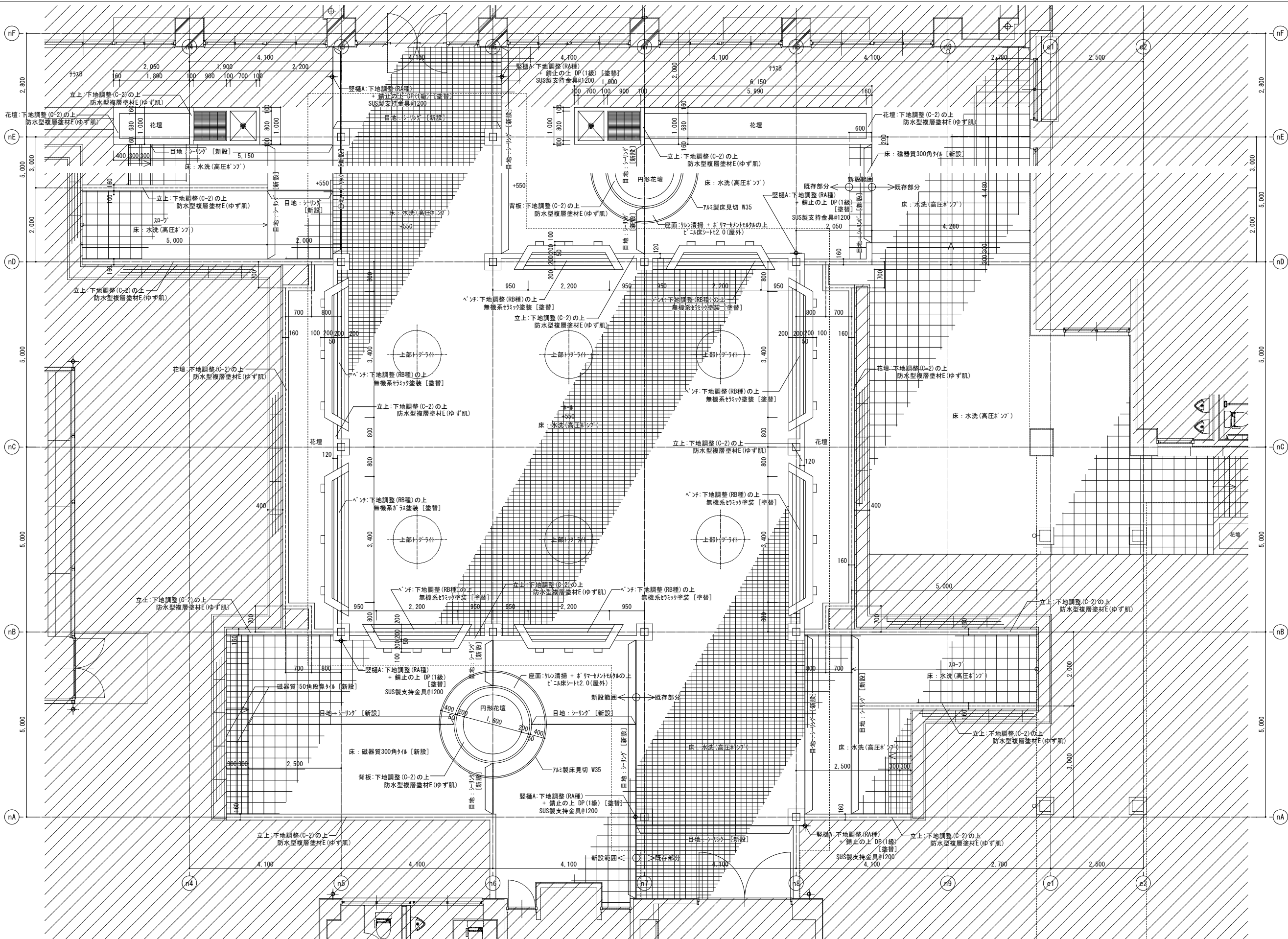
凡 例		
——	既存のままの部分を示す	

設計名称 令和7年度 岩沼西小学校校舎長寿命化外部改修工事(第Ⅱ期)		
図面名称 【改修前】テラス・ハルコニ詳細図1（南校舎1）		
縮 尺 A1:1/50 A3:1/100	年 月 2024.03	設計番号
一級建築士事務所 SOWA 相和技術研究所 宮城県仙台市青葉区 第22301110号		図面番号 A-065
承認/承認 直筆	設計者/一級建築士 第28436号 赤沼 直幸	監製/西条 裕太

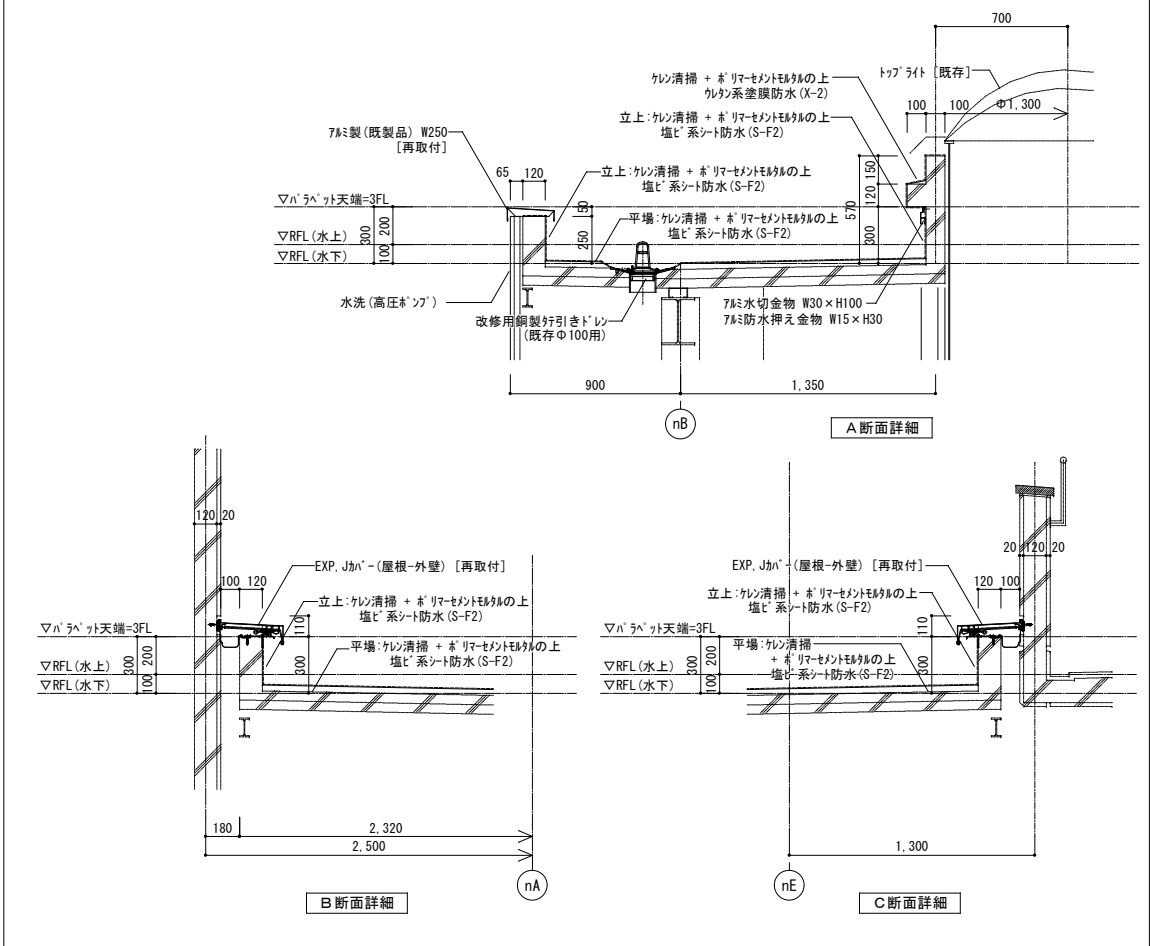
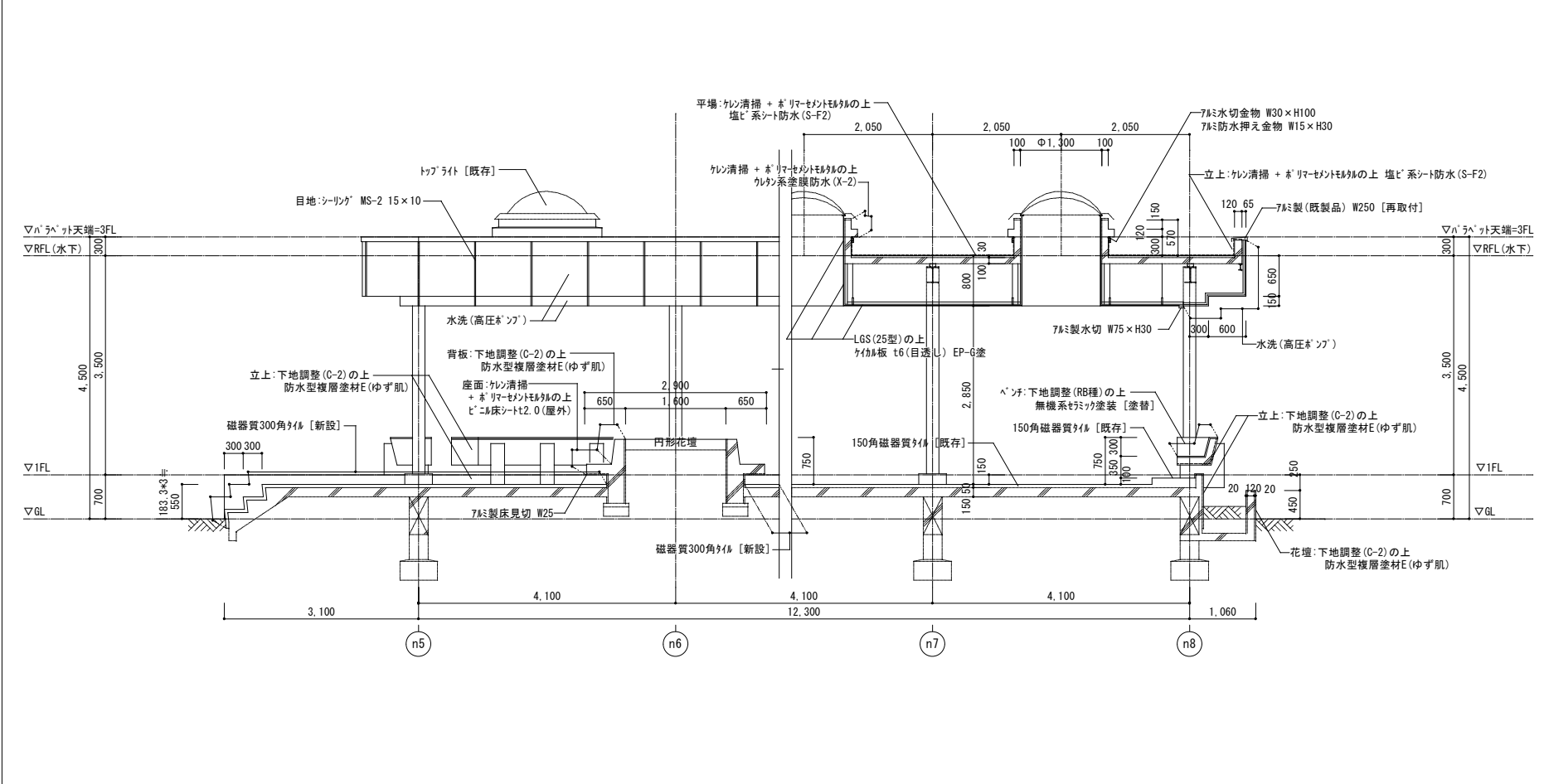
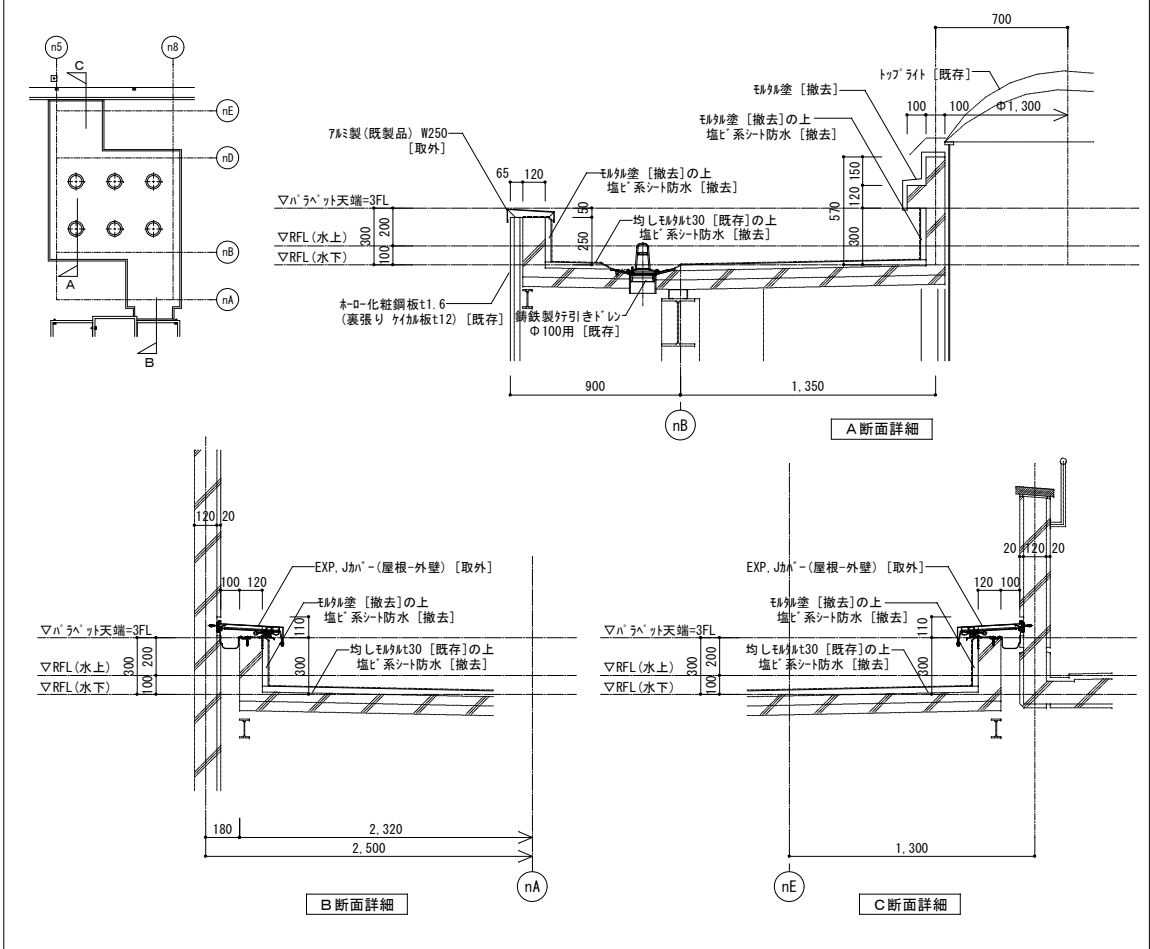
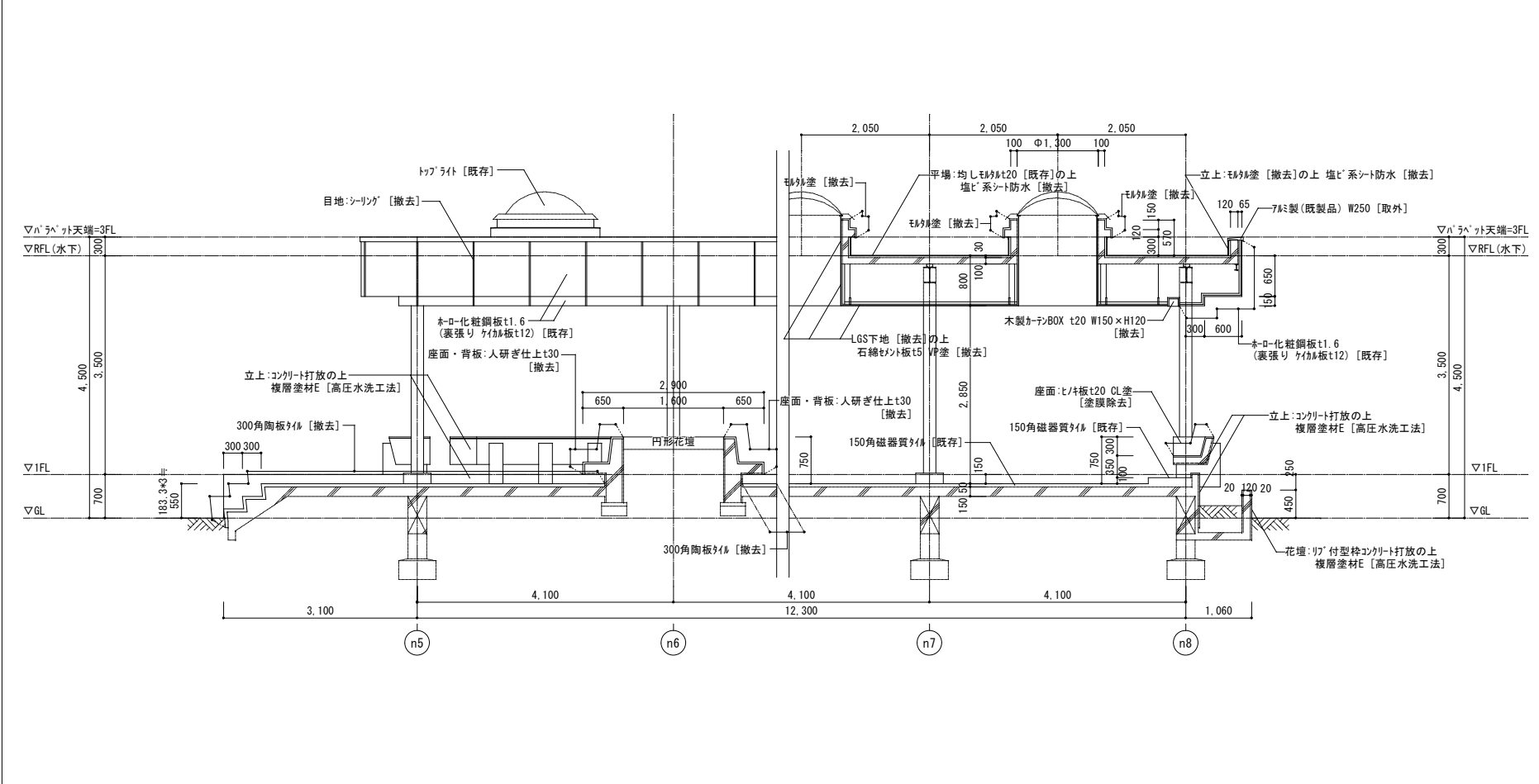




凡 例			注 記			設計名称 令和7年度 岩沼西小学校校舎長寿命化外部改修工事(第Ⅱ期)							
既存のままの部分を示す			1)コンクリート・モルタル・タイルの折り撤去は、 カッター入れにより残置部分と縁切りのこと。			図面名称 【改修前】中央バス平面詳細図							
						縮 尺 A1:1/50 A3:1/100		年 月 2024. 03		設計番号		図面番号 A-068	
						 一級建築士事務所 相和技術研究所 宮城県知事登録 第22910116号		 承認/承認 設計者/ 一級建築士 第284436号 承認 西巻 祐太				製図/ 西巻 祐太	

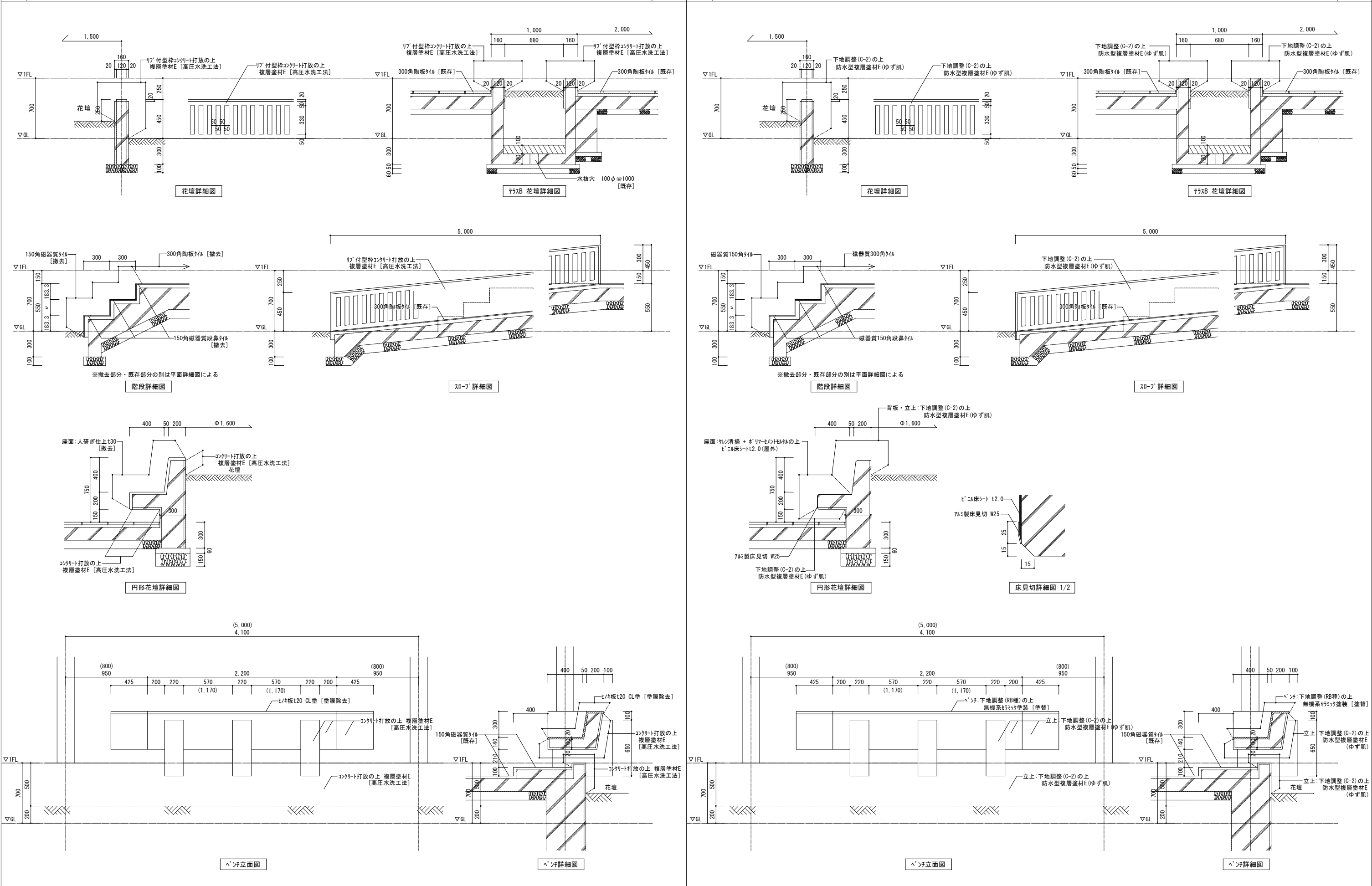


凡 例				注 記				設計名称 令和7年度 岩沼西小学校校長寿命化外部改修工事(第Ⅱ期)			
既存のままの部分を示す				1) コンクリート・モルタル・タイルの折り撤去は、カッター入れにより残置部分と縁切りのこと。				図面名称 【改修後】中央フロア平面詳細図			
								縮 尺 A1:1/50 A3:1/100		年 月 2024. 03	
								設計番号		図面番号 A-069	
								一級建築士事務所 SOWA 相和技術研究所		承認/承認 設計者/ 一級建築士 第204436号 承認 高幸 西巻 祐太	
								監理/監理 監理 照英/後々木 原文		製図/製図 製図 照英/後々木 原文	
								宮城県知事登録 第22910116号			



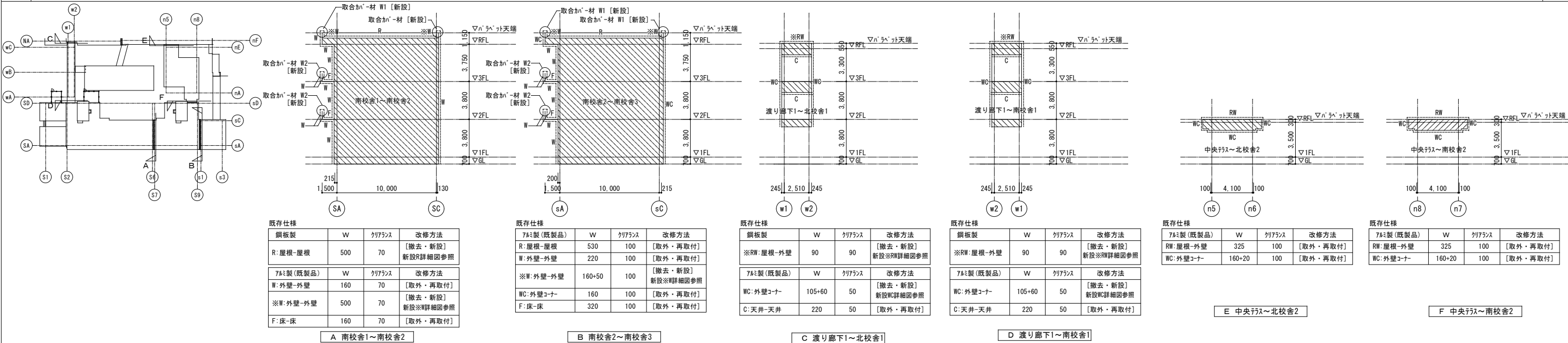
凡 例				注 記			
	既存のままの部分を示す			1) コンクリート・モルタル・タイルの折り撤去は、カッター入れにより残置部分と縁切りのこと。			

設計名称 令和7年度 岩沼西小学校校舎長寿命化外部改修工事(第Ⅱ期)			
図面名称 【改修前後】中央ﾌﾗｽ矩計圖・屋根詳細圖			
縮 尺 A1:1/20・50 A3:1/40・100	年 月 2024. 03	設計番号	図面番号 A-070
一級建築士事務所 SOWA 相和技術研究所		承認/添削 監事 設計者/ 一級建築士 第284436号 赤沼 高幸	製図/ 西巻 裕太
宮城県知事登録 第22910116号		照査/役々木 正文	



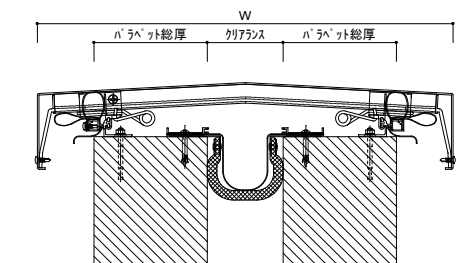
凡 例				注 記			
既存のままの部分を示す				1)コンクリート・モルタル・タイルの折り撤去は、カッター入れにより残置部分と縁切りのこと。			

設計名称		令和7年度 岩沼西小学校校長舎寿命化外部改修工事(第Ⅱ期)						
図面名称		【改修前後】中央ﾌﾗｽ雑詳細図						
縮 尺	A1:1/20	年 月	2024. 03	設計番号		図面番号	A-071	
	A3:1/40							
一級建築士事務所 雄和技術研究所 宮城県知事登録 第22910116号		承認/承認 設計者/		一級建築士 第28436号 承認 西巻 祐太				
照査/後々本 図文								

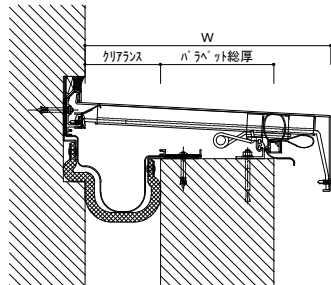


注記

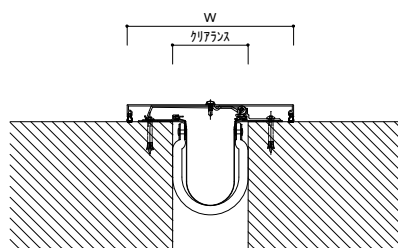
- 1) 現況のEXP. Jか-を調査の上、取り外すことにより支障をきたす場合は協議による。
- 2) 樹脂アッカー「ラグ」・アッカー「ルト」は再利用とする
- 3) 取外し後の歪み修正・清掃を実施すること



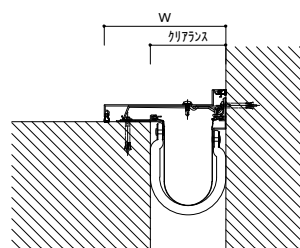
R: 屋根-屋根



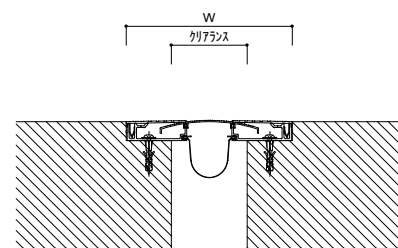
RW: 屋根-外壁



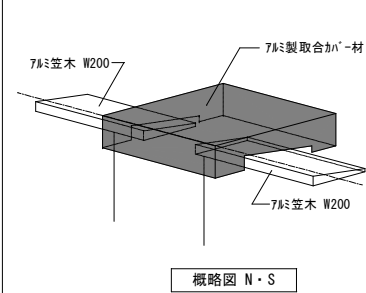
W:外壁-外壁



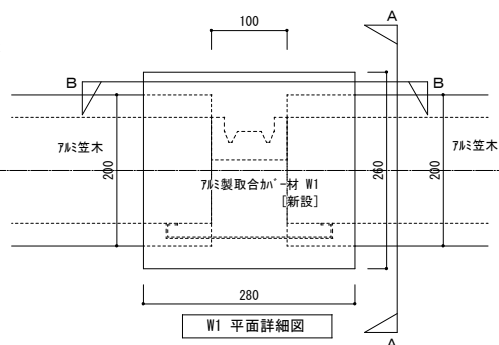
WC:外壁ｺｰﾅｰ



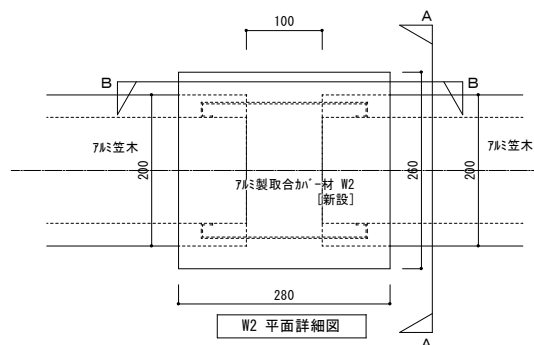
F:床-床



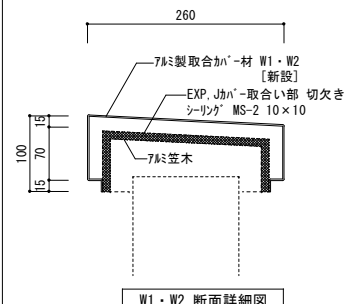
概略図 N・S



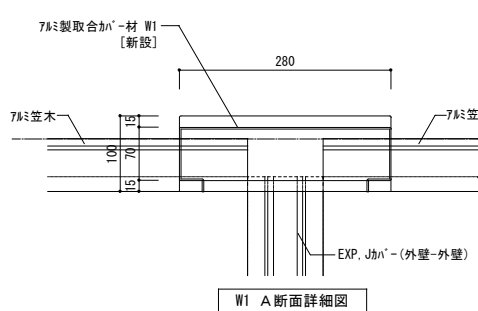
W1 平面詳細図



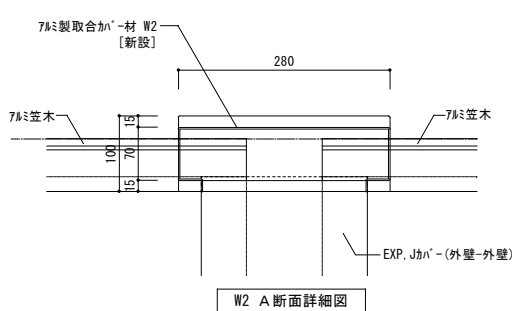
W2 平面詳細図



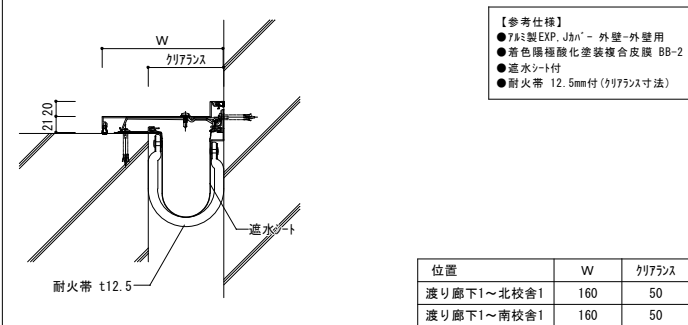
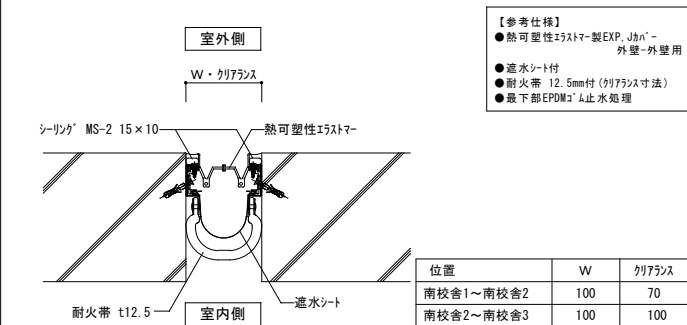
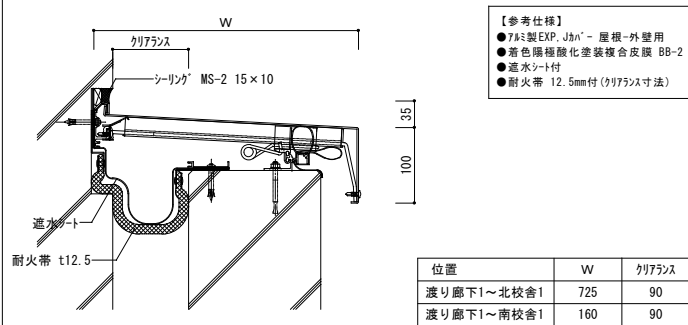
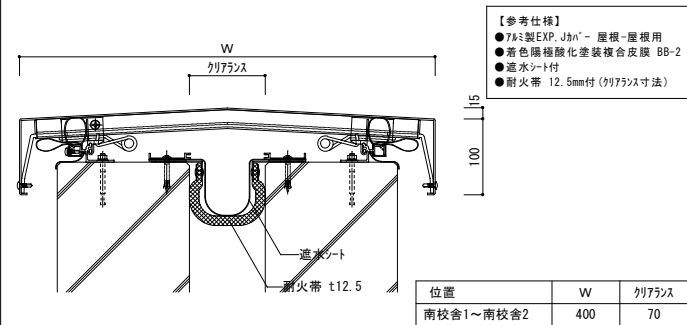
W1・W2 断面詳細図

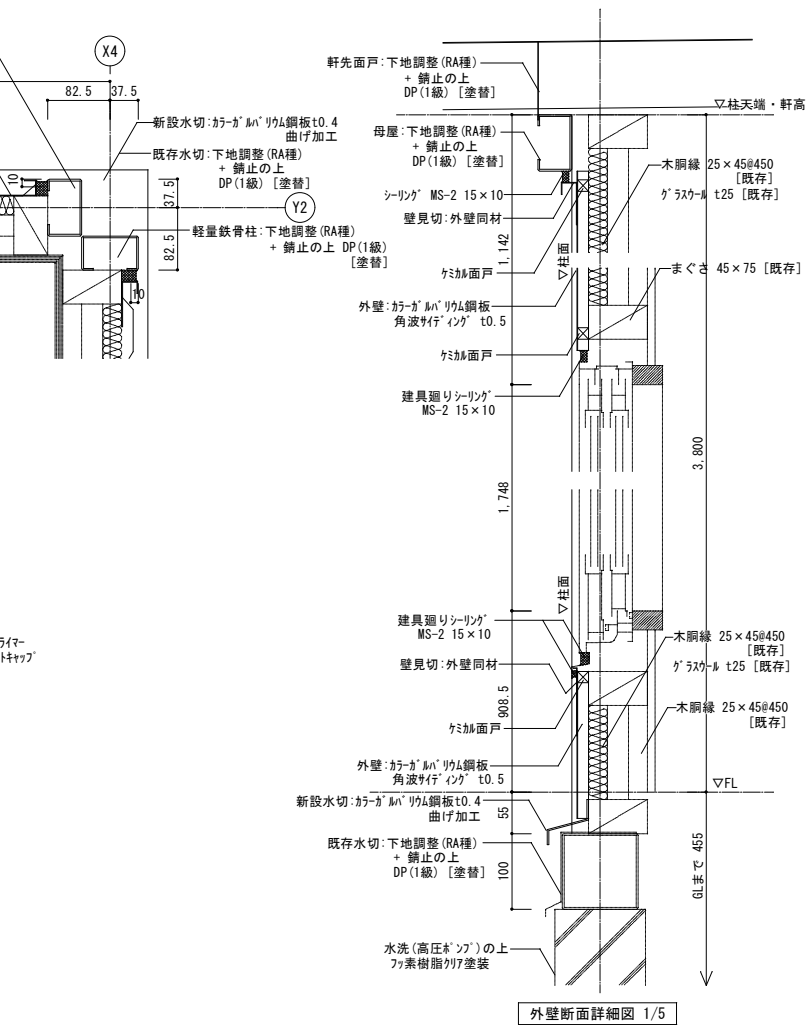
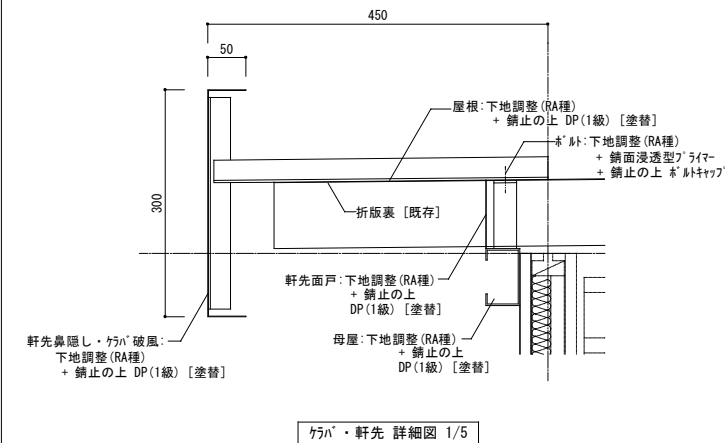
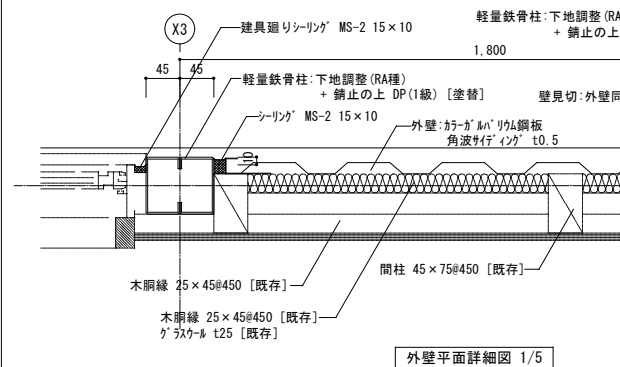
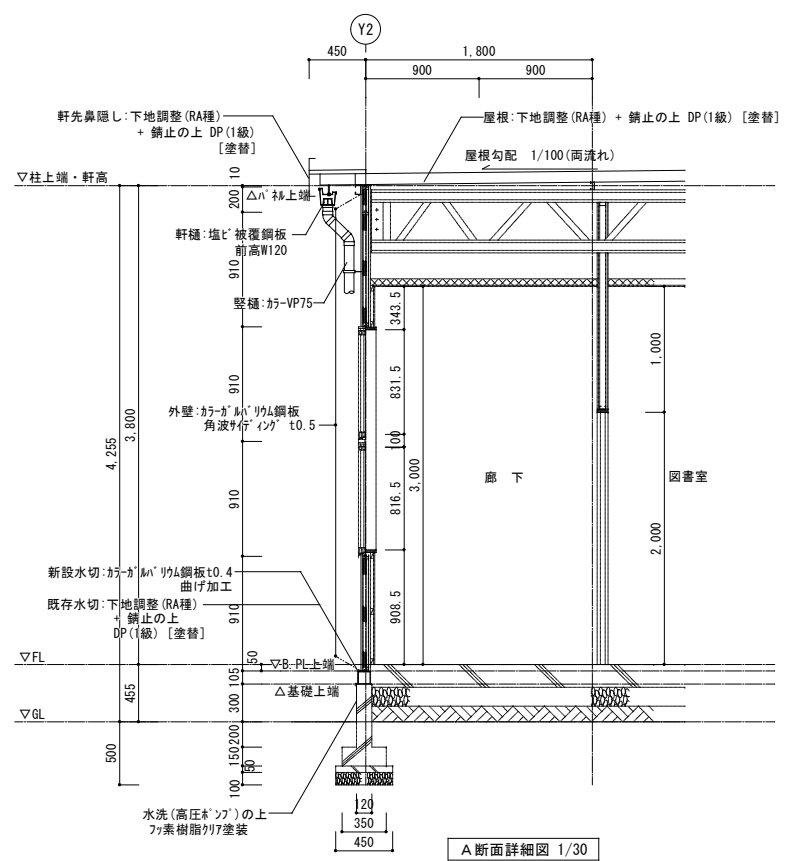
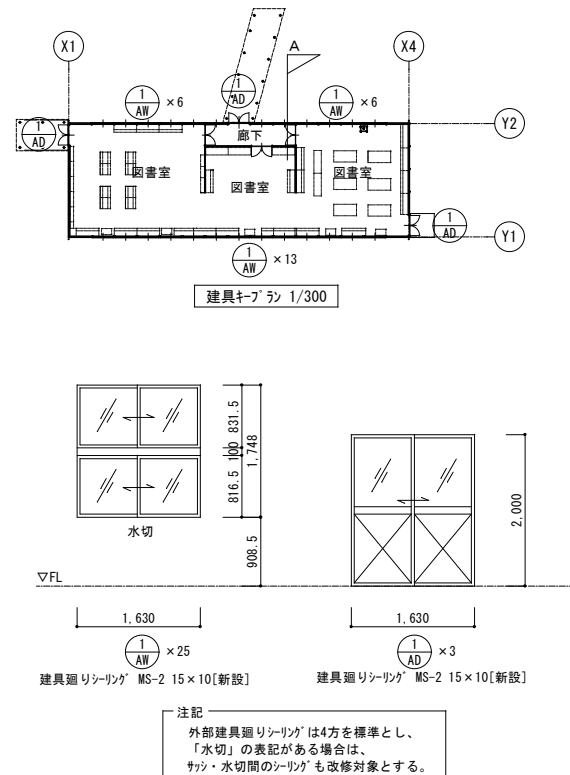
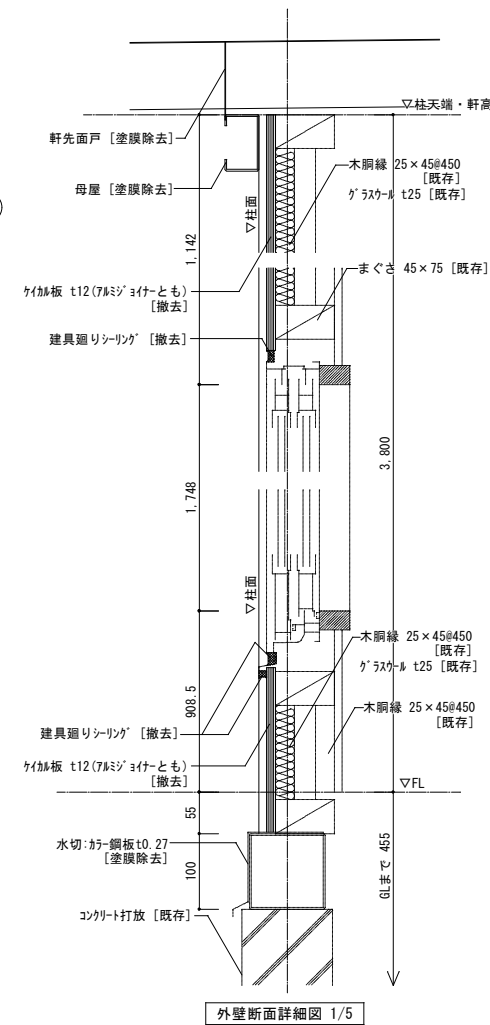
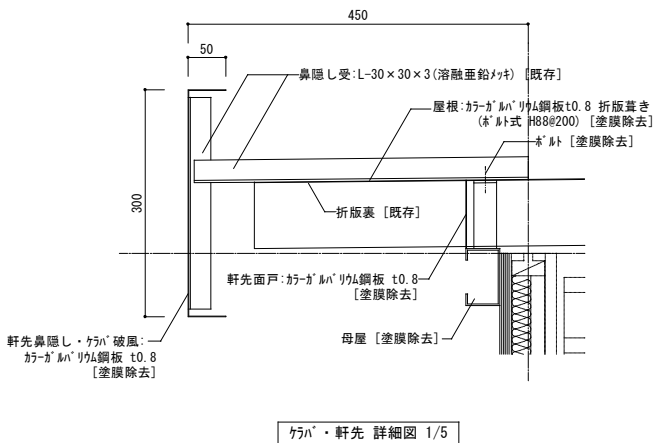
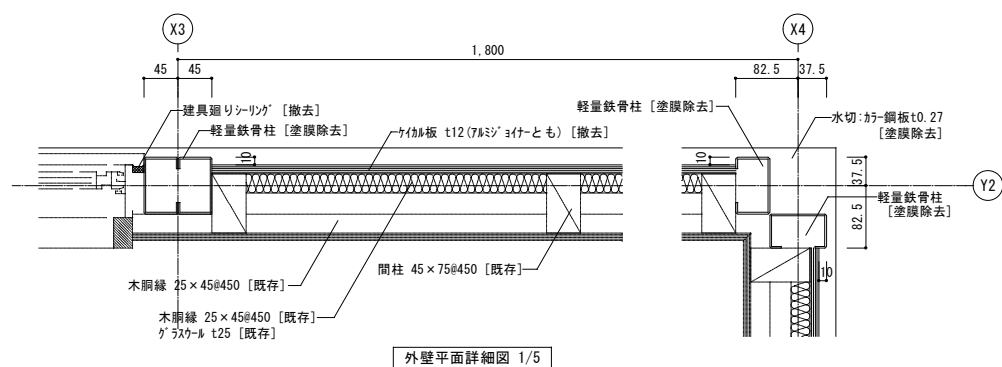
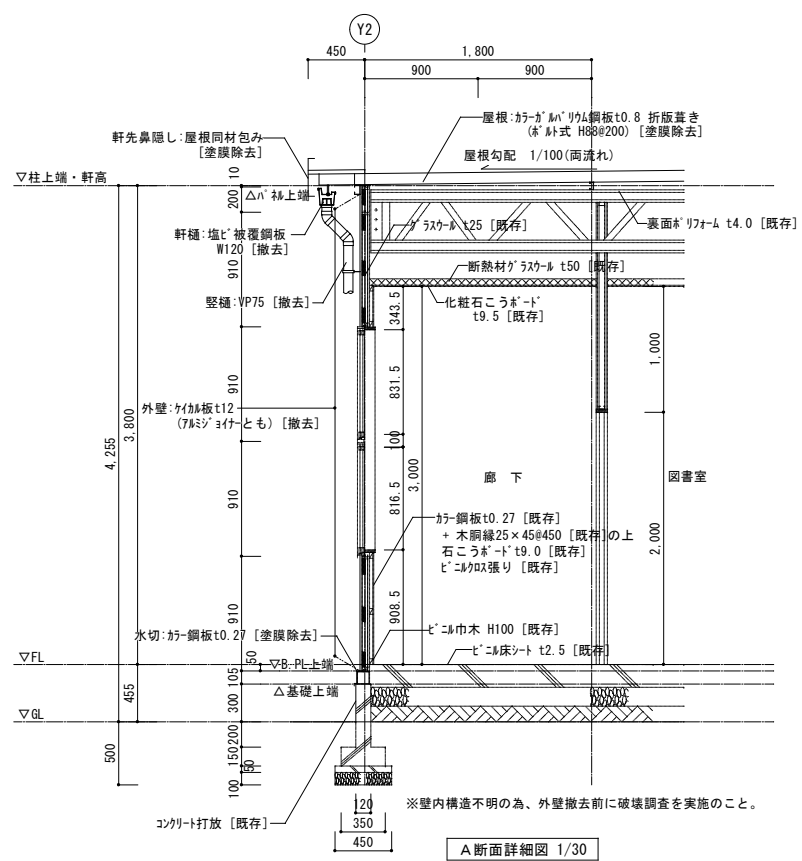
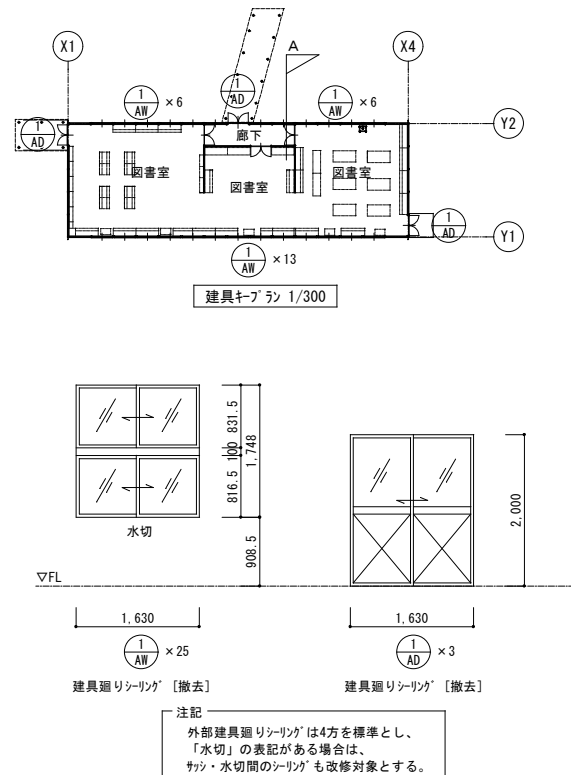


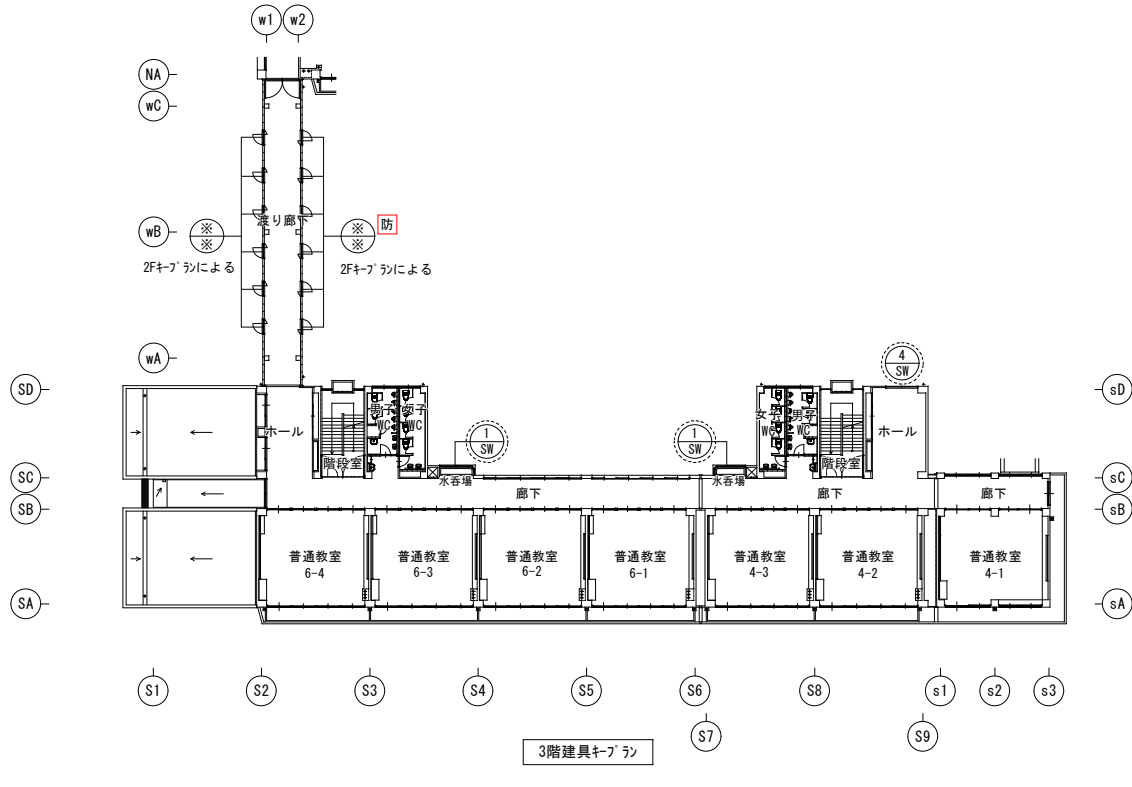
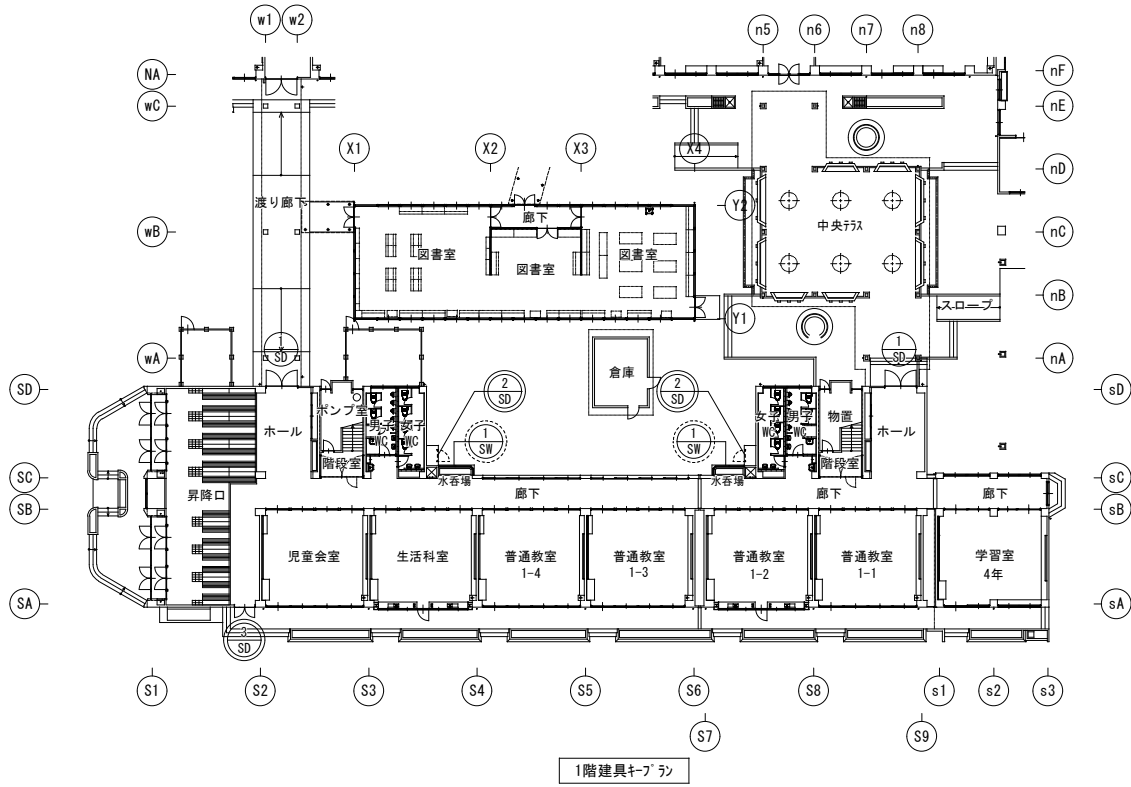
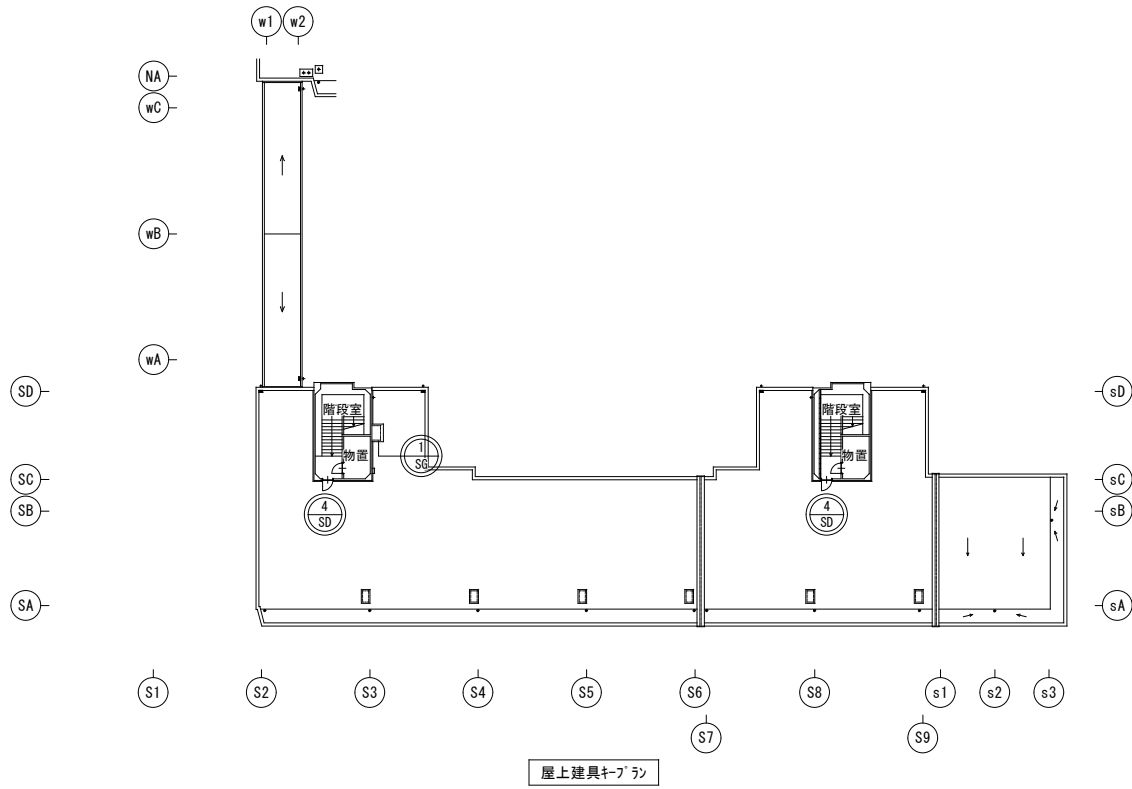
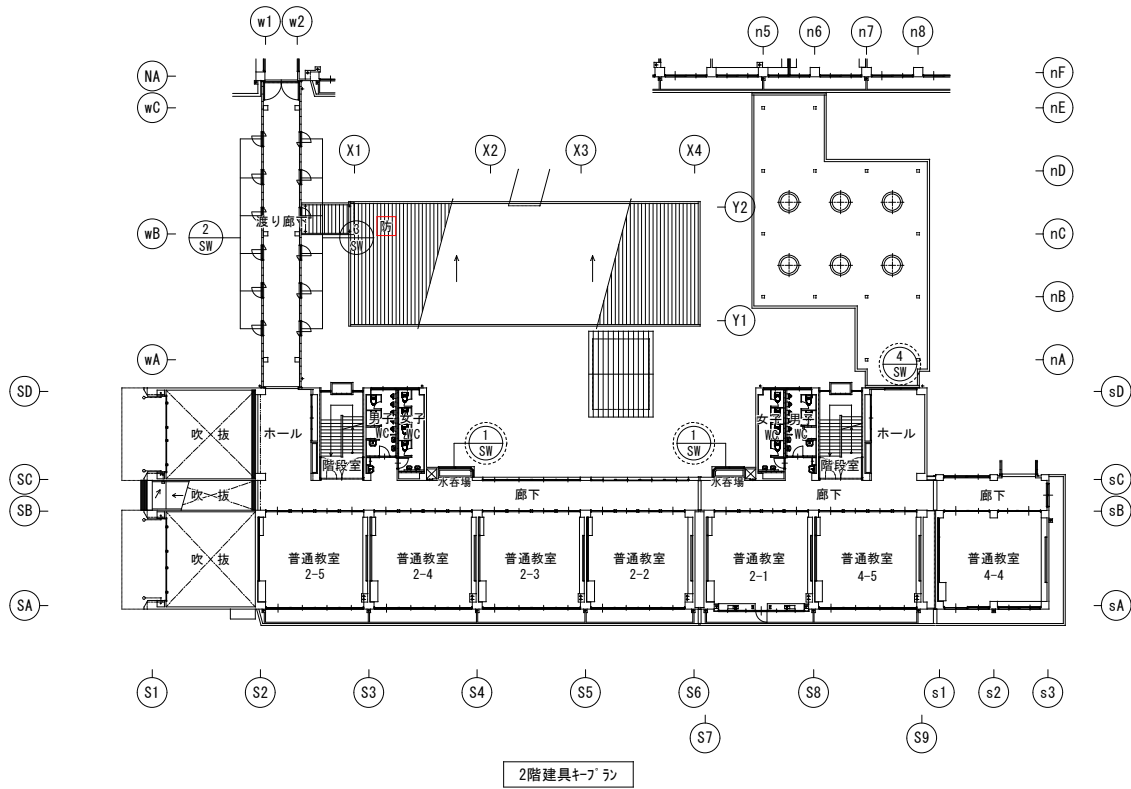
W1 A断面詳細図



W2 A断面詳細図

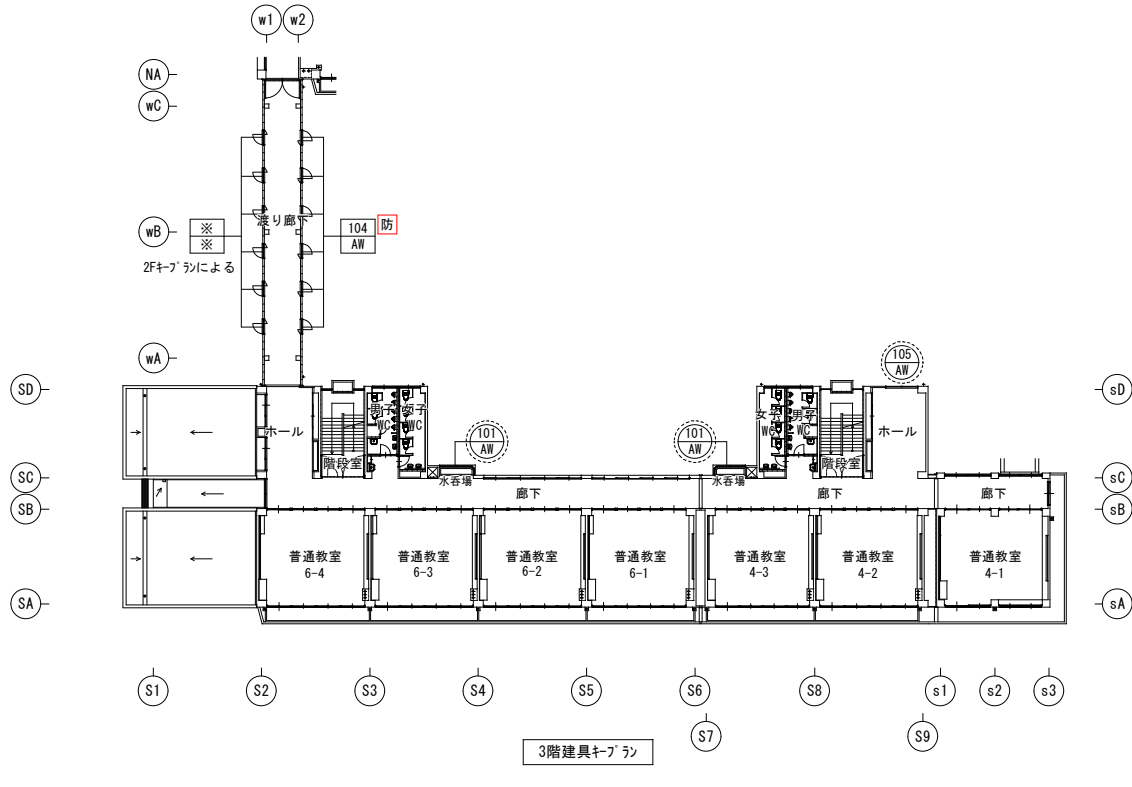
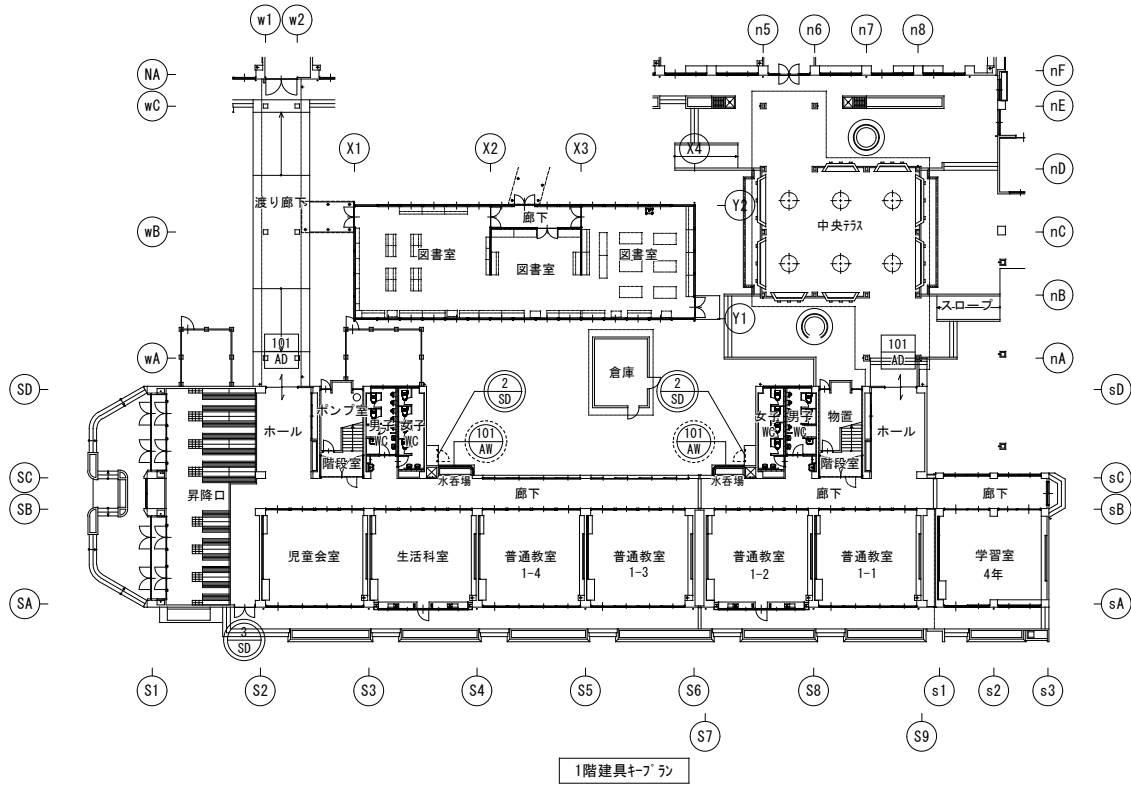
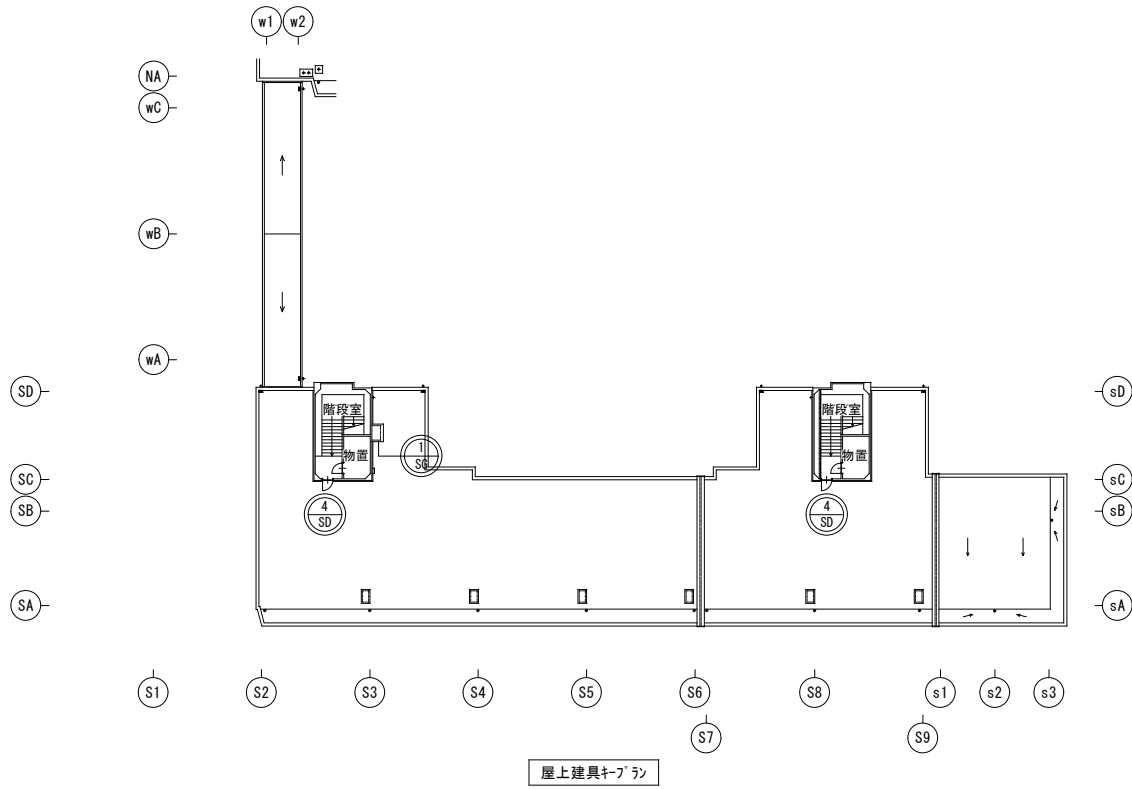
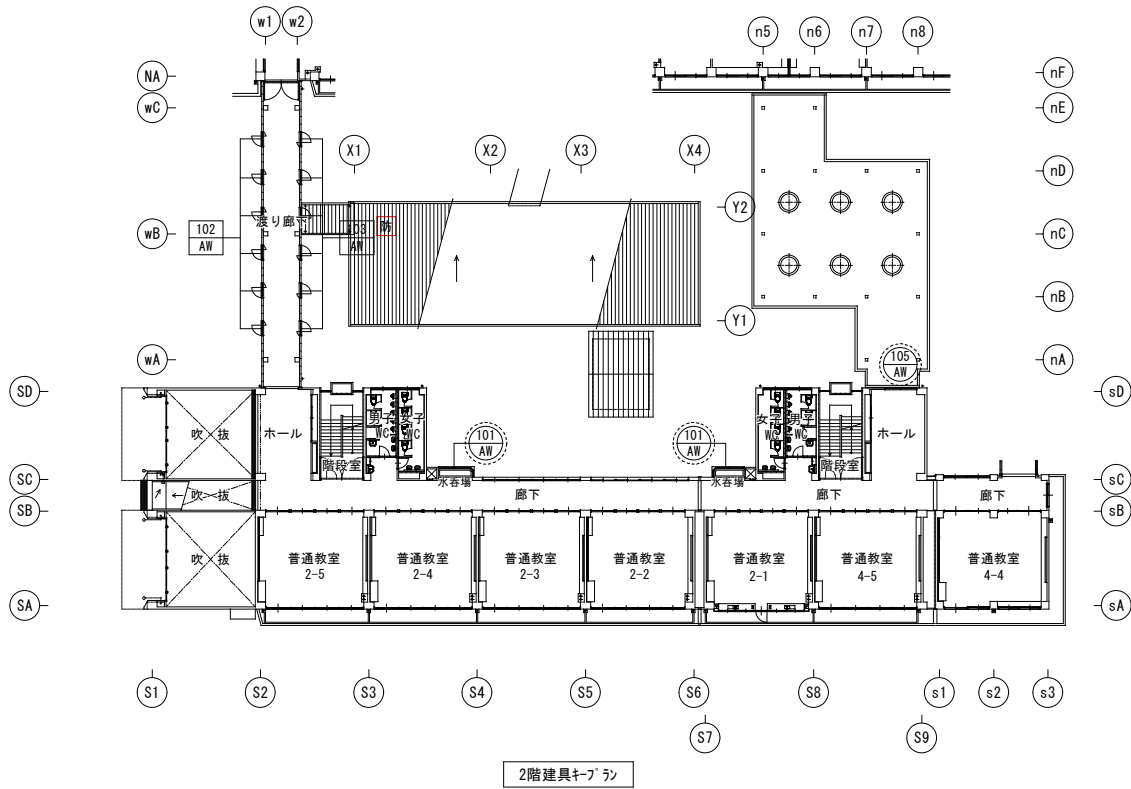




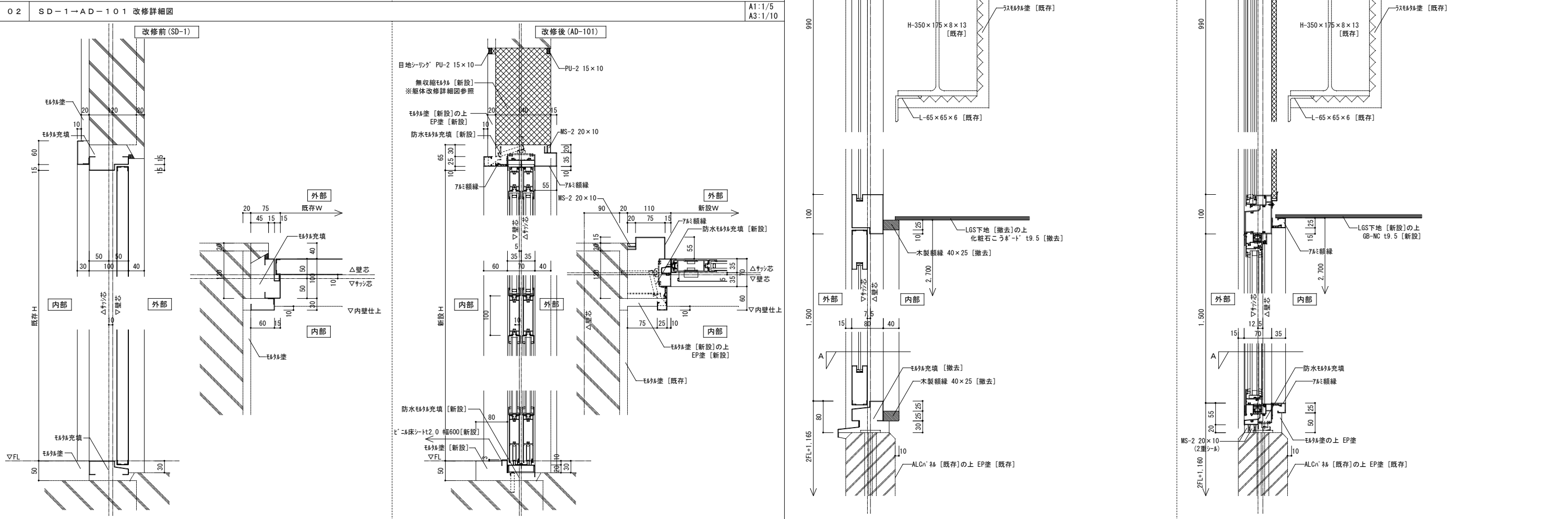
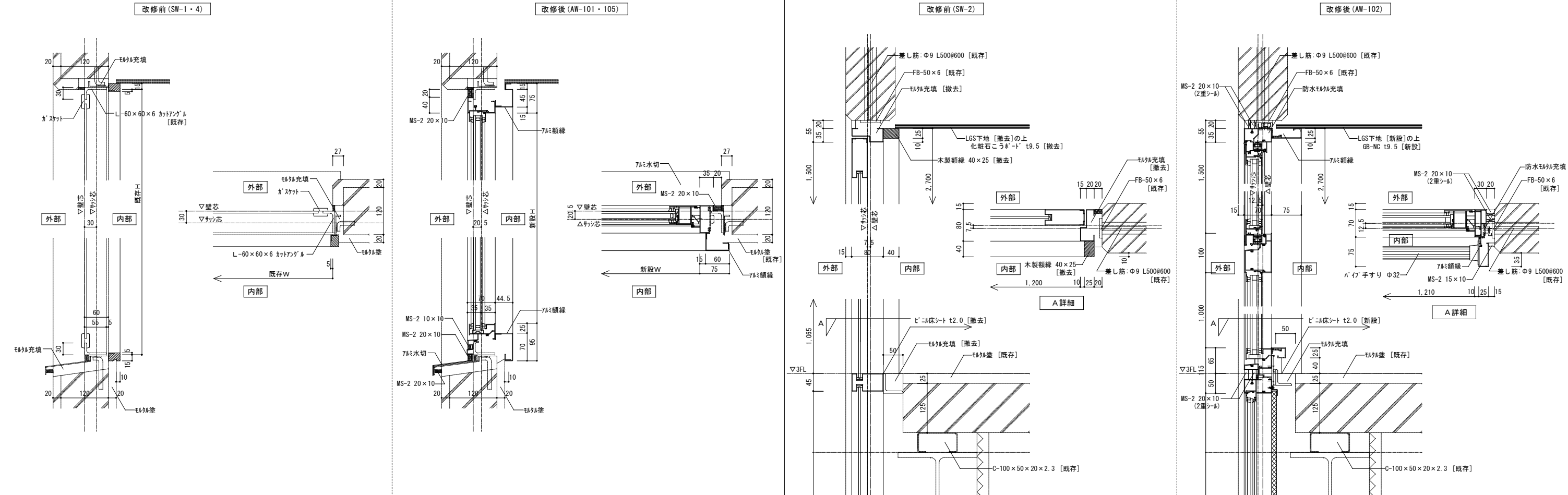


凡 例					設計名称 令和7年度 岩沼西小学校校長寿命化外部改修工事(第Ⅱ期)			
	撤去(撤去工法)建具を示す		撤去(加へ工法)建具を示す		防火設備仕様建具			
	改修建具を示す				特定防火設備仕様建具			
					図面名称 【改修前】建具配置			
					縮 尺 A1:1/300 A3:1/600	年 月 2024. 03	設計番号	図面番号 A-074
					一級建築士事務所 株式会社 相和技術研究所 SOWA 建築士事務所 宮城県知事登録 第22910116号			
					承認/添字 添字	設計者/ 一級建築士 第204436号 赤沼 真幸	製図/ 西巻 祐太	
					照査/ 図4本 図文			

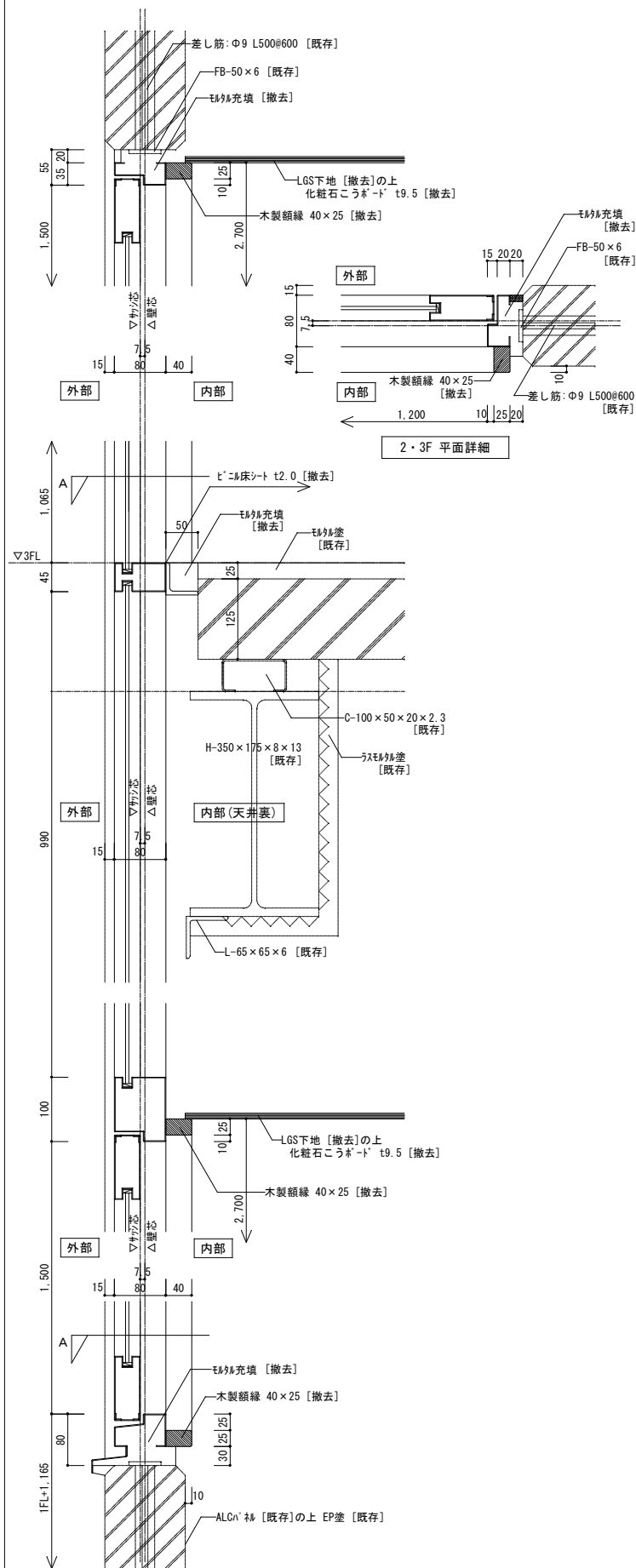
記号	<div><div><div>1SD</div><div>撤去(撤去工法) 全て撤去</div></div></div>	<div><div><div>2SD</div><div>塗膜除去、シーリング撤去</div></div></div>	<div><div><div>3SD</div><div>塗膜除去、シーリング撤去</div></div></div>	<div><div><div>4SD</div><div>塗膜除去、シーリング撤去</div></div></div>	<div><div><div>1SW</div><div>撤去(加へ工法) 枠以外全て撤去</div></div><div><div><div>45°</div><div>45°</div><div>加へ突付</div></div></div></div>	<div><div><div>2SW</div><div>撤去(撤去工法) 全て撤去</div></div></div>	<div><div><div>3防SW</div><div>撤去(撤去工法) 全て撤去</div></div></div>	
姿寸法	<div><div><div><div><div></div><div>▼FL</div></div><div><div>2,470</div><div>1,900</div></div></div></div></div>	<div><div><div><div><div></div><div>▼FL</div></div><div><div>400</div><div>1,000</div></div></div></div></div>	<div><div><div><div><div></div><div>▼FL</div></div><div><div>1,600</div><div>1,900</div></div></div></div></div>	<div><div><div><div><div></div><div>▼FL</div></div><div><div>800</div><div>1,900</div></div></div></div></div>	<div><div><div><div><div></div><div>▼FL</div></div><div><div>2505901,2801,28050</div><div>3,4501,500</div></div></div></div></div>	<div><div><div><div><div><div>▽RFL</div><div>▽CH</div><div>3,3002,70035</div><div>横棧</div><div>10045100</div><div>1,5009901,0651,500</div><div>1,165</div></div></div><div><div><div>▽3FL</div><div>▽CH</div><div>3,8002,70035</div><div>FIX</div><div>10045100</div><div>1,5009901,0651,500</div><div>1,165</div></div></div></div></div></div>	<div><div><div><div><div><div>▽RFL</div><div>▽CH</div><div>3,3002,70035</div><div>横棧</div><div>10045100</div><div>1,5009901,0651,500</div><div>1,165</div></div></div><div><div><div>▽3FL</div><div>▽CH</div><div>3,8002,70035</div><div>FIX</div><div>10045100</div><div>1,5009901,0651,500</div><div>1,165</div></div></div></div></div></div>	
形式・見込	鋼製両開きド786	鋼製片開き7ｼﾝｸﾞﾙド741.2	鋼製両開きド786	鋼製片開きド786	鋼製FIX窓60	鋼製FIX腰・ランマ付開き窓80	鋼製FIX腰・ランマ付開き窓80	
室名・数量	南校舎1・2:1Fｶﾞﾚﾚ2	南校舎1・2:1F廊下2	南校舎1:昇降口1	南校舎1・2:塔屋階段室2	南校舎1・2:水呑場6	渡り廊下16	渡り廊下16	
仕上・硝子	鋼板 OP塗－	PL-1.2、L-40×40×3 OP塗〔塗膜除去〕－	鋼板 OP塗〔塗膜除去〕	網入り透明6.8鋼板 OP塗〔塗膜除去〕	網入り透明6.8L-60×30×6ｶｯﾄﾌﾗﾝｸﾞﾙ OP塗透明5.0	鋼製 OP塗透明3.0	鋼製 OP塗網入り6.8	
金物	ﾋﾞﾈﾞｯﾄﾋﾝｼﾞ、ｼﾘﾝｸﾞｰ錠、ﾄﾞｱﾁｬｯｸ、ﾌﾗﾝｽ落とし 付属金物一式	打掛錠、丁番 付属金物一式	ｼﾘﾝｸﾞｰ錠、丁番、ﾄﾞｱﾁｬｯｸ、ﾌﾗﾝｽ落とし 付属金物一式	ｼﾘﾝｸﾞｰ錠、丁番、ﾄﾞｱﾁｬｯｸ 付属金物一式	ｶﾞｽｹｯﾄ、鋼製水切 付属金物一式 木製額縁(内4方)〔撤去〕 外部ｼｰﾘﾝｸﾞ15×10(4方+水切)〔撤去〕	ｶﾅﾗｯﾁｬﾝﾄﾞﾙ、開き調整器、鋼製水切、横棧:丸鋼φ22 付属金物 木製額縁(2F:内4方、3F:内3方)〔撤去〕 外部ｼｰﾘﾝｸﾞ15×10(4方+水切)〔撤去〕	ｶﾅﾗｯﾁｬﾝﾄﾞﾙ、開き調整器、鋼製水切、横棧:丸鋼φ22 付属金物 木製額縁(2F:内4方、3F:内3方)〔撤去〕 外部ｼｰﾘﾝｸﾞ15×10(4方+水切)〔撤去〕	
備考	外部ｼｰﾘﾝｸﾞ15×10(4方)〔撤去〕	外部ｼｰﾘﾝｸﾞ15×10(4方)〔撤去〕	外部ｼｰﾘﾝｸﾞ15×10(4方)〔撤去〕	外部ｼｰﾘﾝｸﾞ15×10(4方)〔撤去〕				
記号	<div><div><div>4SW</div><div>撤去(加へ工法) 枠以外全て撤去</div></div></div>	<div><div><div>1SG</div><div>塗膜除去、シーリング撤去</div></div></div>						
姿寸法	<div><div><div><div><div></div><div>▼FL</div></div><div><div>210φ1,210</div><div>2,470</div></div></div></div></div>	<div><div><div><div><div></div><div>▼FL</div></div><div><div>211</div><div>500</div></div></div></div></div>						
形式・見込	鋼製FIX窓60	鋼製ｸﾞﾗﾐ70				鋼製FIX腰・ランマ付開き窓80	鋼製FIX腰・ランマ付開き窓80	
室名・数量	南校舎2:2・3Fｶﾞﾚﾚ2	南校舎1:塔屋PS立上り1						
仕上・硝子	L-60×30×6ｶｯﾄﾌﾗﾝｸﾞﾙ OP塗透明5.0	鋼製 OP塗〔塗膜除去〕－				鋼製 OP塗透明3.0	鋼製 OP塗網入り6.8	
金物	ｶﾞｽｹｯﾄ、鋼製水切 付属金物一式	付属金物一式				ｶﾅﾗｯﾁｬﾝﾄﾞﾙ、開き調整器、鋼製水切、横棧:丸鋼φ22 付属金物	ｶﾅﾗｯﾁｬﾝﾄﾞﾙ、開き調整器、鋼製水切、横棧:丸鋼φ22 付属金物	
備考	木製額縁(内4方)〔撤去〕 外部ｼｰﾘﾝｸﾞ15×10(4方+水切)〔撤去〕	外部ｼｰﾘﾝｸﾞ15×10(4方+水切)〔撤去〕						
記号								
姿寸法	<div><div><div><div><div></div><div>▼FL</div></div></div></div></div>	<div><div><div><div><div></div><div>▼FL</div></div></div></div></div>						
形式・見込								
室名・数量								
仕上・硝子								
金物								
備考								
記号								
姿寸法	<div><div><div><div><div></div><div>▼FL</div></div></div></div></div>	<div><div><div><div><div></div><div>▼FL</div></div></div></div></div>						
形式・見込								
室名・数量								
仕上・硝子								
金物								
備考								



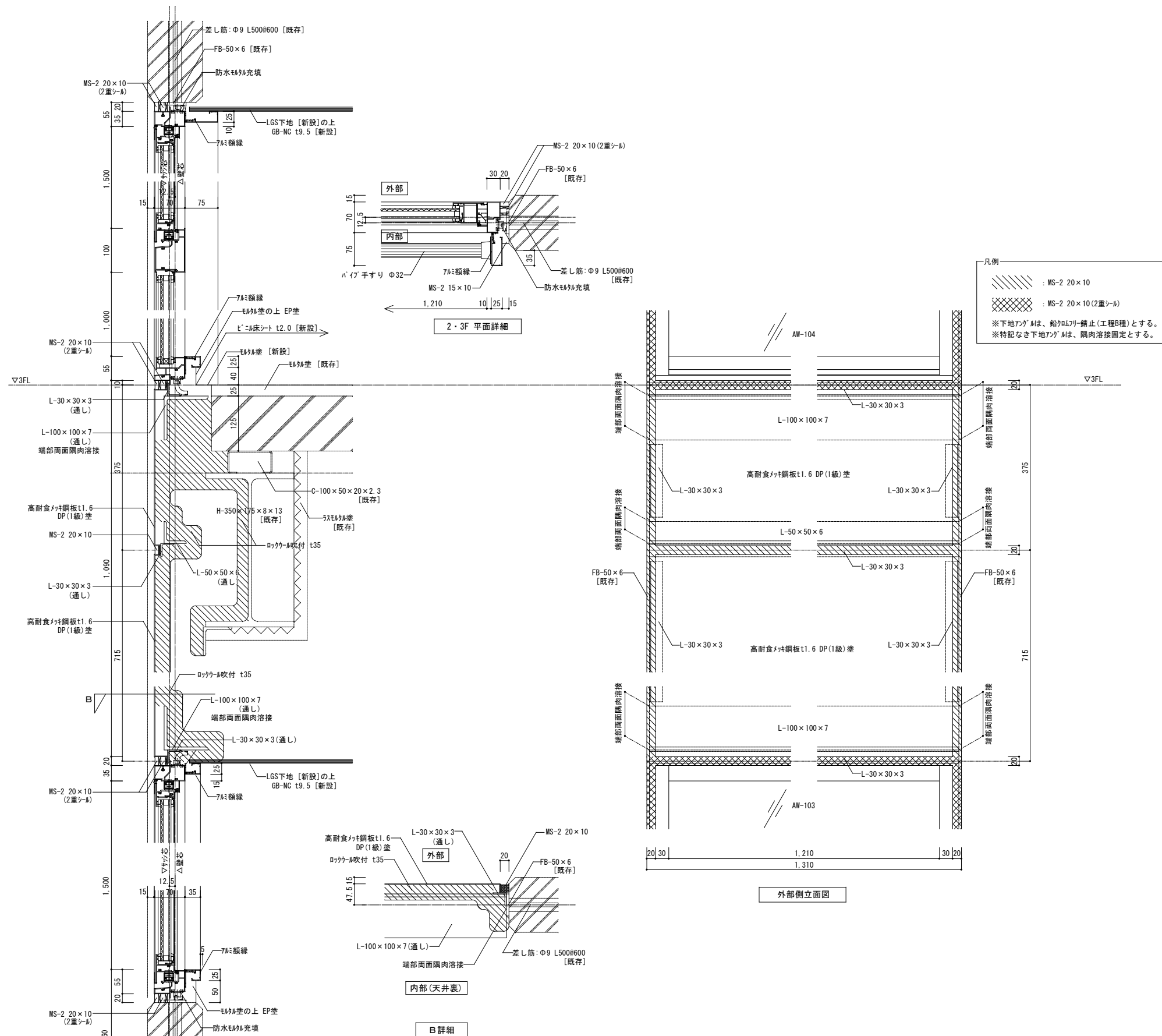
凡 例					設計名称 令和7年度 岩沼西小学校校長寿命化外部改修工事(第Ⅱ期)			
	新設建具を示す		新設(ｶﾊﾞｰ工法)建具を示す		防火設備仕様建具			
	改修建具を示す				特定防火設備仕様建具			
					図面名称 【改修後】建具ｷｰﾌﾟﾗﾝ			
					縮 尺 A1:1/300 A3:1/600	年 月 2024. 03	設計番号	図面番号 A-076
					一級建築士事務所 岩沼西小学校校長寿命化外部改修工事(第Ⅱ期) 岩沼市 宮城県知事登録 第22910116号			
					承認/承認 設計者/ 一級建築士 第204436号 承認 西巻 祐太			
					監理/監理 監理者/ 監理者			




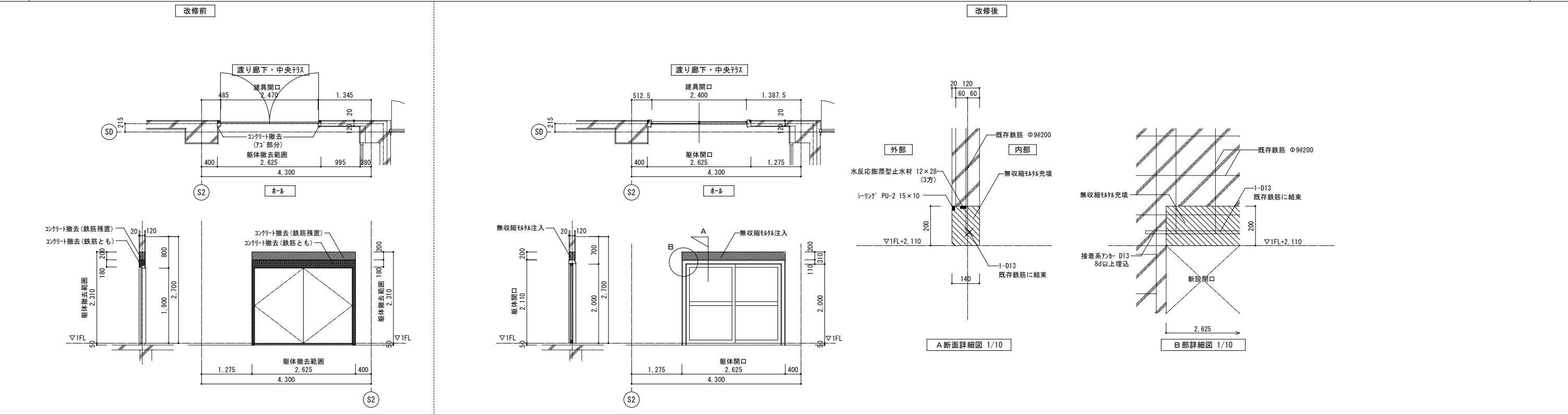
改修前 (SW-3)



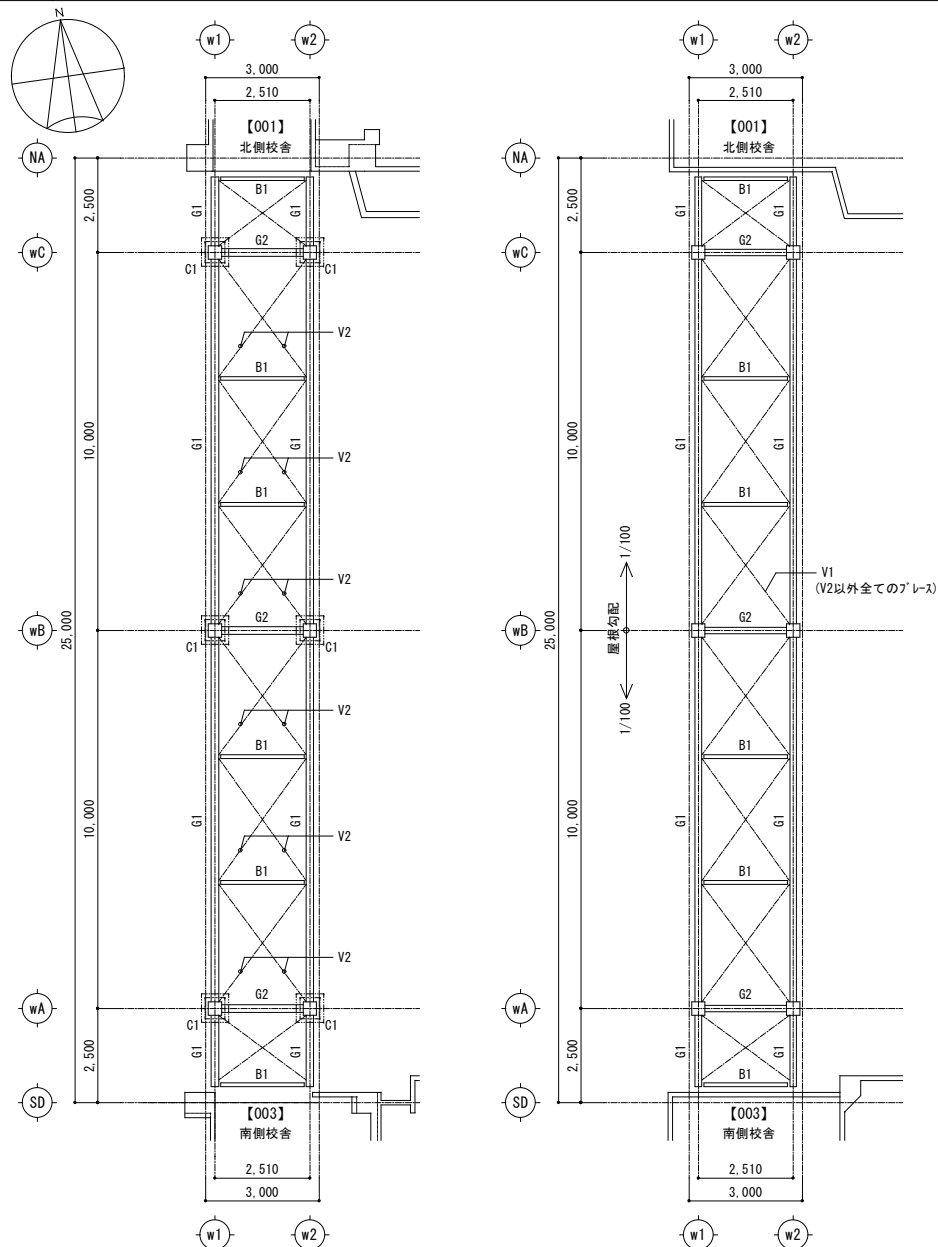
改修後 (AW-103・104)



設計名称 令和7年度 岩沼西小学校校長寿命化外部改修工事(第Ⅱ期)			
図面名称 【改修前後】建具詳細図 2			
縮 尺 A1:1/5 A3:1/10	年 月 2024.03	設計番号	図面番号 A-079
 一般建築士事務所 相模技術研究所 京成線府中駅 徒歩22分 〒220-0292 東京都府中市大井町1-10-1		承認/添 画者 一般建築士 第24436号 添 画 監査/校 本 書	製図/西 村 孝



凡 例				注 記										設計名称 令和7年度 岩沼西小学校校長寿命化外部改修工事(第Ⅱ期)																			
既存のままの部分を示す				1)コンクリート・モルタル・タイルの折り撤去は、 カッター入れにより残置部分と縁切りのこと。										図面名称 【改修前後】躯体改修詳細図																			
														縮 尺 A1:1/50 A3:1/100					年 月 2024. 03					設計番号					図面番号 A-080				
														<div><div>一級建築士事務所 相和技術研究所 宮城県知事登録 第22910116号</div><div>承認/承認者 設計者/ 一級建築士 第204436号 赤沼 真幸 監製/監製者 西巻 祐太</div></div>																			



— 凡例

: 鉄骨塗装範囲を示す

※塗装仕様は下記による。特記なき場合、見え隠れとする。
見え隠れ部：下地調整(RB種)の上 鉛鉛カブリ錆止(工程C種)
見え掛かり部：下地調整(RB種) + 鉛鉛カブリ錆止(工程C種)の上 DP(1級)塗

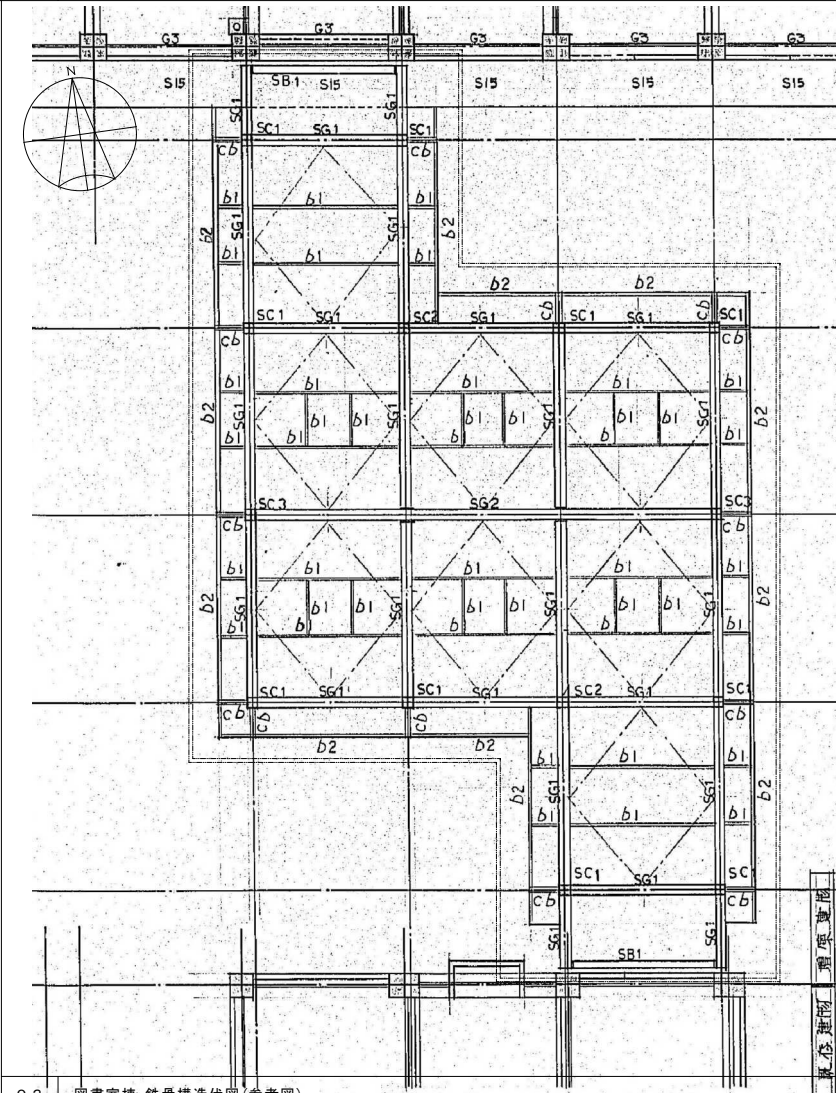
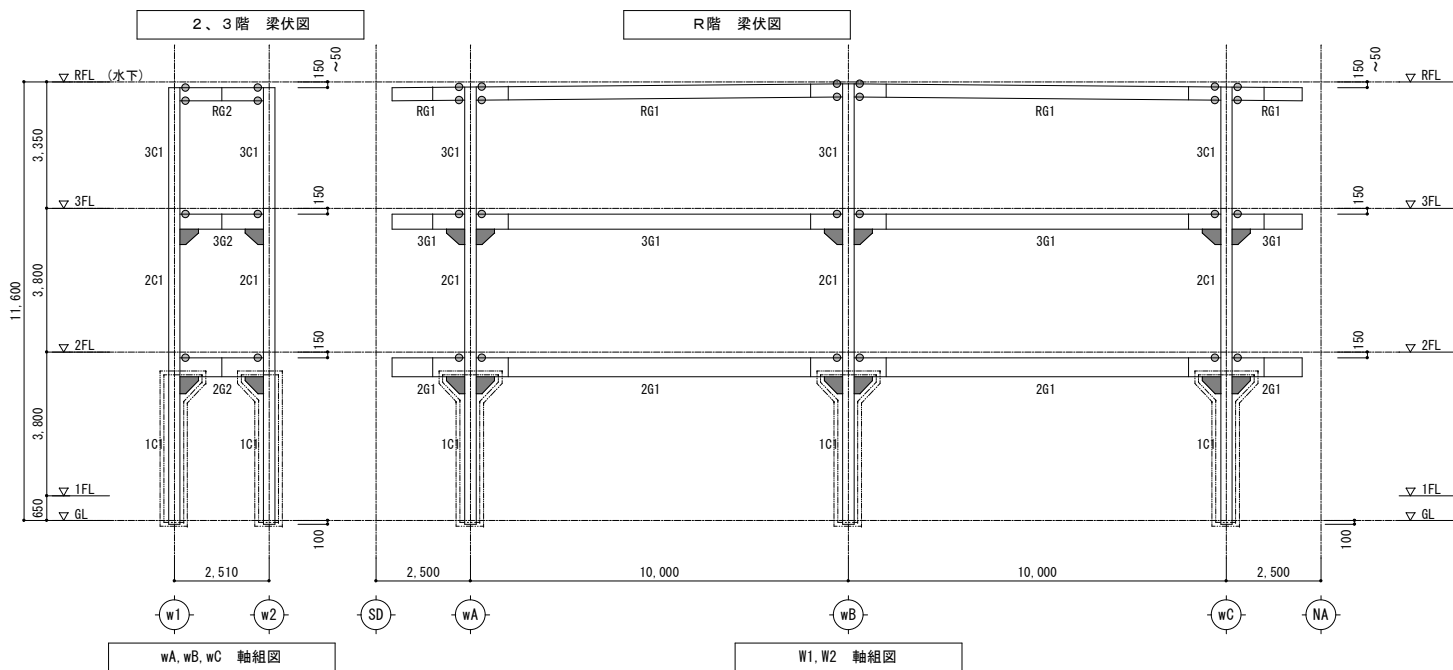
部材リスト

符号		断面	フランジ ジョイント			ウェブ ジョイント	
			SPL-A	2SPL-B	HTB	2SPL-C	HTB
R階	RG1	H - 350 × 175 × 7 × 11	6	9		6	
	RG2	H - 350 × 175 × 7 × 11	6	9	4-M20	6	4-M20
3階	3G1	H - 400 × 200 × 8 × 13	9	9		6	
	3G2	H - 400 × 200 × 8 × 13	9	9	6-M20	6	5-M20
2階	2G1	H - 500 × 200 × 10 × 16	9	9		6	
	2G2	500 × 200 × 10 × 16H -	9	9	8-M20	6	6-M20
			G PL			HTB	
3C1		□ - 350 × 350 × 9					
2C1		□ - 350 × 350 × 12					
1C1		□ - 350 × 350 × 16	BPL-22			A. BOLT 4-22φ L=800	
B1		H - 500 × 200 × 10 × 16	G PL-6			2-M16	
V1		H - 50 × 50 × 6	G PL-6			2-M16	
V2		H - 75 × 75 × 6	G PL-9			3-M16	

特記事項

補強済。

- 印は、プレート増設部位を示す。
RFは、上下端フラジにPL 増設
2、3階は、上フラジにPL 増設
- ▲ 印は、鉄骨補強部材を示す。



— 凡例

: 鉄骨塗装範囲を示す

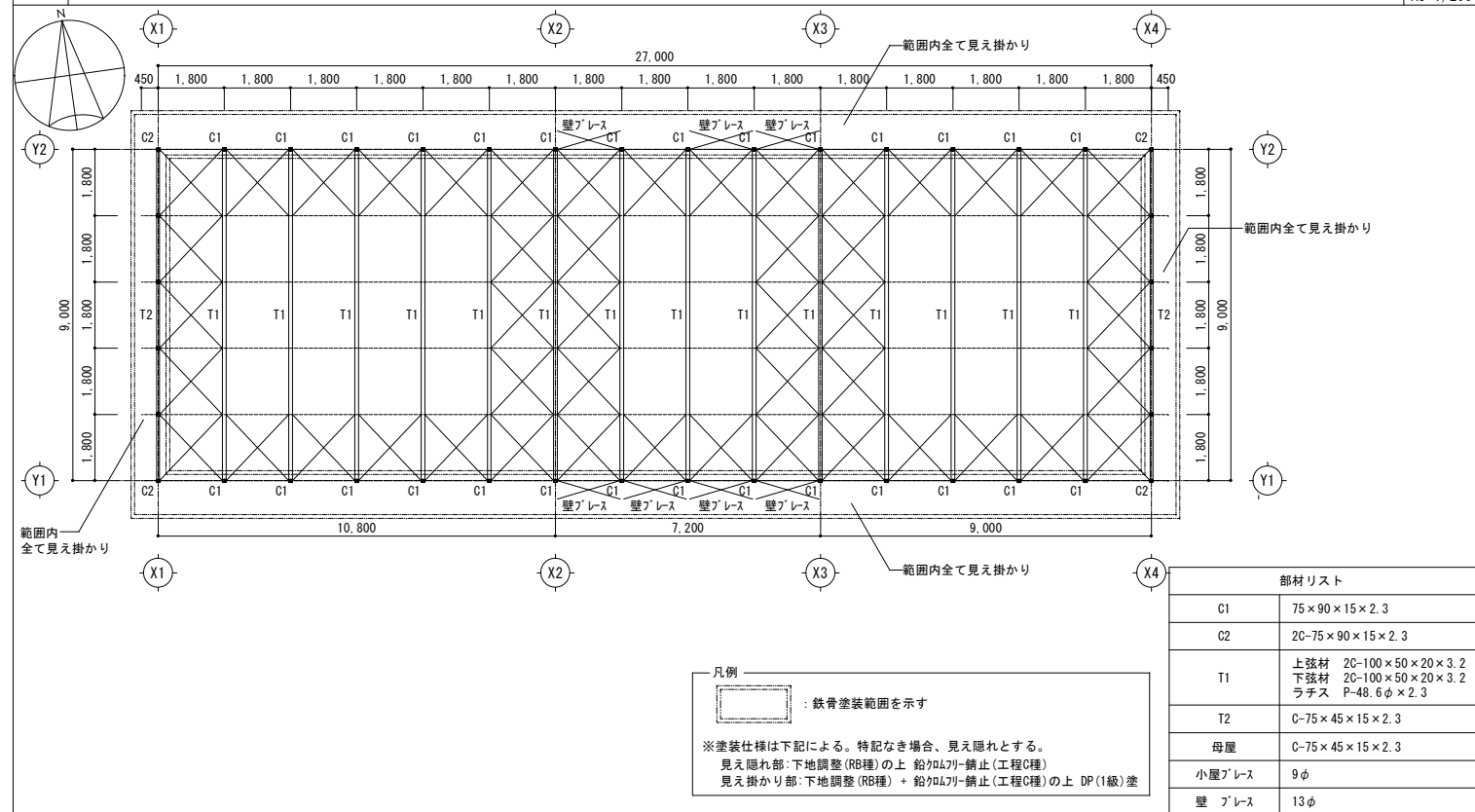
※塗装仕様は下記による。特記なき場合、見え隠れとする。

鉄骨部抜リスト	1:30
---------	------

S C 1	□	—	200 x 200 x 6.0
S C 2	□	—	200 x 200 x 8.0
S C 3	□	—	200 x 200 x 12.0
S G 1	H	—	250 x 175 x 7 x 11
S G 2	H	—	450 x 200 x 8 x 12
S B 1	H	—	150 x 75 x 5 x 7
B 1	H	—	200 x 100 x 4.5 x 7
B 2	H	—	100 x 50 x 5 x 7
C b	H	—	150 x 75 x 5 x 7
川屋 プルーフ			1.6 φ (タンニツクホルダ)
ア・カニ・ビルト	4	—	0.6 φ 6 = 900%
H.T.B			F10Y

SC1・SC2・SC3は見え掛かりとする

03 圖書室棟 鉄骨構造伏図(参考図)



設計名称	令和7年度 岩沼西小学校校舎耐震強化外部改修工事(第Ⅱ期)
------	-------------------------------

圖面名称	鉄骨構造図(参考図)
------	------------

缩尺	A1:1/100 A3:1/200
----	----------------------

SOWA 一般建築士事務所
相和技術研究所
協合事務所
宮城県知事登録 第22910116号

設計番号	図面番号 A-081
------	------------

承認/赤沼 直幸	設計者/ 一級建築士 第284436号 赤沼 直幸	製図/ 西巻 裕太
照査/佐々木 啓文		

0 1	アスファルト防水（D－１、常温複合法）詳細図	A1:1/10 A3:1/20	0 2	塩ビ系シート防水（S－F 2）詳細図	A1:1/10 A3:1/20	0 3	ウレタン系塗膜防水（X－２）詳細図	A1:1/10 A3:1/20	0 4	アルミ笠木 詳細図	A1:1/5 A3:1/10	0 5	脱気筒 詳細図	A1:1/10 A3:1/20	0 6	防水押え金物 詳細図	A1:1/2 A3:1/4					
<div>田島&フイング`レフ`ル工法（FL-2）同等品以上とする。 技術審査証明 D-1取得品</div> <div><div>高耐久・高反射厚膜水性保護塗料</div><div>骨材入水性保護塗料</div><div>常温反応型改質アスファルト塗膜材</div><div>常温反応型改質アスファルト塗膜材</div><div>塗膜材補強布</div><div>常温反応型改質アスファルト塗膜材</div><div>改質アスファルトシート t1.0</div><div>常温反応型改質アスファルト塗膜材</div><div>アクリル系水性プライマー</div><div>高耐久・高反射厚膜水性保護塗料</div><div>改質アスファルト&フイング`（金属箔積層繊維、非砂付） t1.8</div><div>常温反応型改質アスファルト塗膜材</div><div>スライヴ`状粘着層付改質アスファルト&フイング` t1.0</div><div>下地処理（既存による）</div></div> <div><div>防水端部シール</div><div>塩ビ`樹脂系&フイング`シート t2.0</div><div>接着剤</div></div> <div><div>端部シール材 PU-2 15×10</div><div>仕上塗料</div><div>ウレタン系塗膜防水材</div><div>ガラス繊維補強布</div><div>プライマー</div><div>仕上塗料（粗面仕上ウレタンチップ`入）</div><div>ウレタン系塗膜防水材</div><div>ウレタン系塗膜防水材</div><div>ガラス繊維補強布</div><div>プライマー</div></div> <div><div>【参考仕様】</div><div>●アス`製嵌合式</div><div>●ア`ン`ス`製</div><div>●着色陽極酸化塗装複合皮膜 BB-2</div></div> <div><div>W</div><div>Wは図示による</div><div>70</div><div>55</div></div> <div><div>【参考仕様】</div><div>●ア`ン`ス`製</div><div>●非断熱工法用</div></div> <div><div>80</div><div>t0.8</div><div>150</div><div>205</div><div>300</div></div> <div><div>15</div><div>防水端部シール</div><div>2</div><div>アス`製ア`ン`ス`</div><div>防水層</div></div>																						
0 7	屋上設備基礎防水 詳細図	A1:1/2 A3:1/4	0 8	水切金物 詳細図	A1:1/2 A3:1/4	0 9	改修用銅製タテ引きドレン 詳細図	A1:1/10 A3:1/20	1 0	改修用銅製ヨコ引きドレン 詳細図	A1:1/10 A3:1/20	1 1	SUS製あと施工タラップ 詳細図	A1:1/50 A3:1/100								
<div>基礎リスト</div> <table><tr><th>名称</th><th>W × L × H</th></tr><tr><td>基礎 A</td><td>450 × 750 × 300</td></tr><tr><td>基礎 B</td><td>300 × 300 × 150</td></tr></table> <div>常温反応型改質アスファルト塗膜材〔新設〕</div> <div>W × L</div> <div>H</div> <div>30</div> <div>30</div> <div>60</div> <div>90</div> <div>防水押え金物</div> <div>防水層</div>																	名称	W × L × H	基礎 A	450 × 750 × 300	基礎 B	300 × 300 × 150
名称	W × L × H																					
基礎 A	450 × 750 × 300																					
基礎 B	300 × 300 × 150																					
1 2	縦樋SUS製支持金具 詳細図	A1:1/5 A3:1/10	1 3	軒樋 詳細図	A1:1/5 A3:1/10	1 4	ケイカル板（目透し）詳細図	A1:1/5 A3:1/10	1 5	廻り縁 詳細図	A1:1/5 A3:1/10	1 6	アルミ水切金物 詳細図	A1:1/2 A3:1/4	1 7	屋外ビニル床シート 詳細図	A1:1/5 A3:1/10					
<div>SUS`` 2-M8</div> <div>SUS製T字足金物 t3.0</div> <div>100</div> <div>SUS製横み金物 丁番`イ` ` #1200</div> <div>SUS`` 2-M8</div> <div>25</div> <div>200</div>																						
1 8	床タイル 詳細図	A1:1/5 A3:1/10	1 9	SUS製ノンスリップ 詳細図	A1:1/2 A3:1/4	2 0	角波`イ`ング` 詳細図	A1:1/5 A3:1/10	2 1	窓台水切A 詳細図	A1:1/5 A3:1/10	2 2	渡り廊下1 `ハ`イヴ`手すり 詳細図	A1:1/2 A3:1/4								
<div>磁器質床タイル（100角）</div> <div>散モルタル</div> <div>下地モルタル</div> <div>▽FL</div> <div>50</div>																						
<div>床仕上材</div> <div>35</div> <div>SUS304（HL） タイル</div> <div>18</div>																						
<div>⑧800</div> <div>133.3</div> <div>133.3</div> <div>133.3</div> <div>⑧133.3</div> <div>防水`ハ`ン`ン`付き`ス`（φ5）</div> <div>ガラス`ハ`ン``鋼板 t0.5</div> <div>3</div>																						
<div>680</div> <div>25</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>10</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div>120</div> <div></div>																						

120

85

95

塩ビ`樹脂被覆銅板

LGS 25形

ケイカル板 t6 目透し張り

天井仕上

塩ビ製廻り縁（目透し）

壁仕上

壁仕上材

野縁受

LGS（25型）

天井仕上材

35

70

ビニル床シート2.5（屋外、耐湿、防滑）

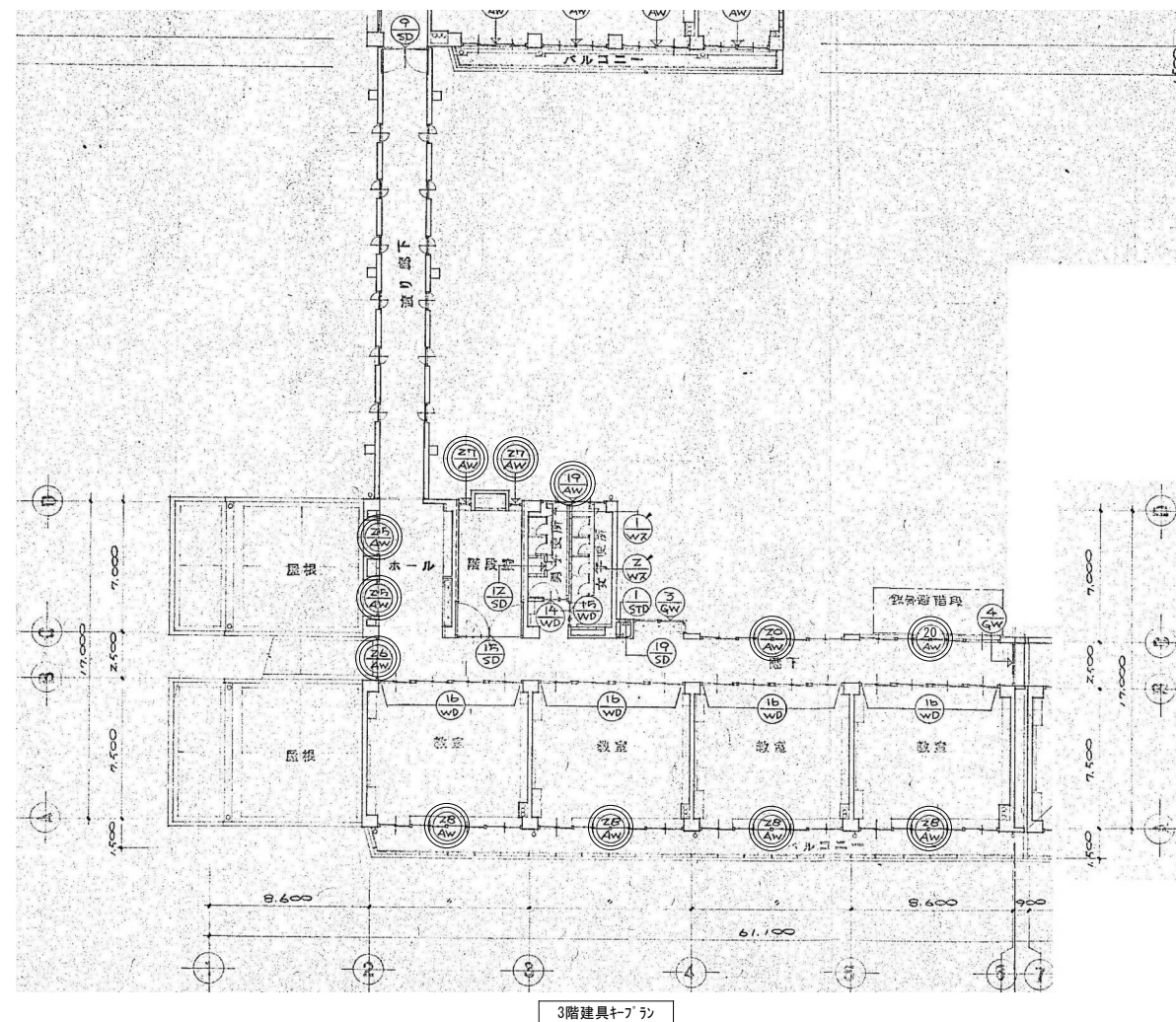
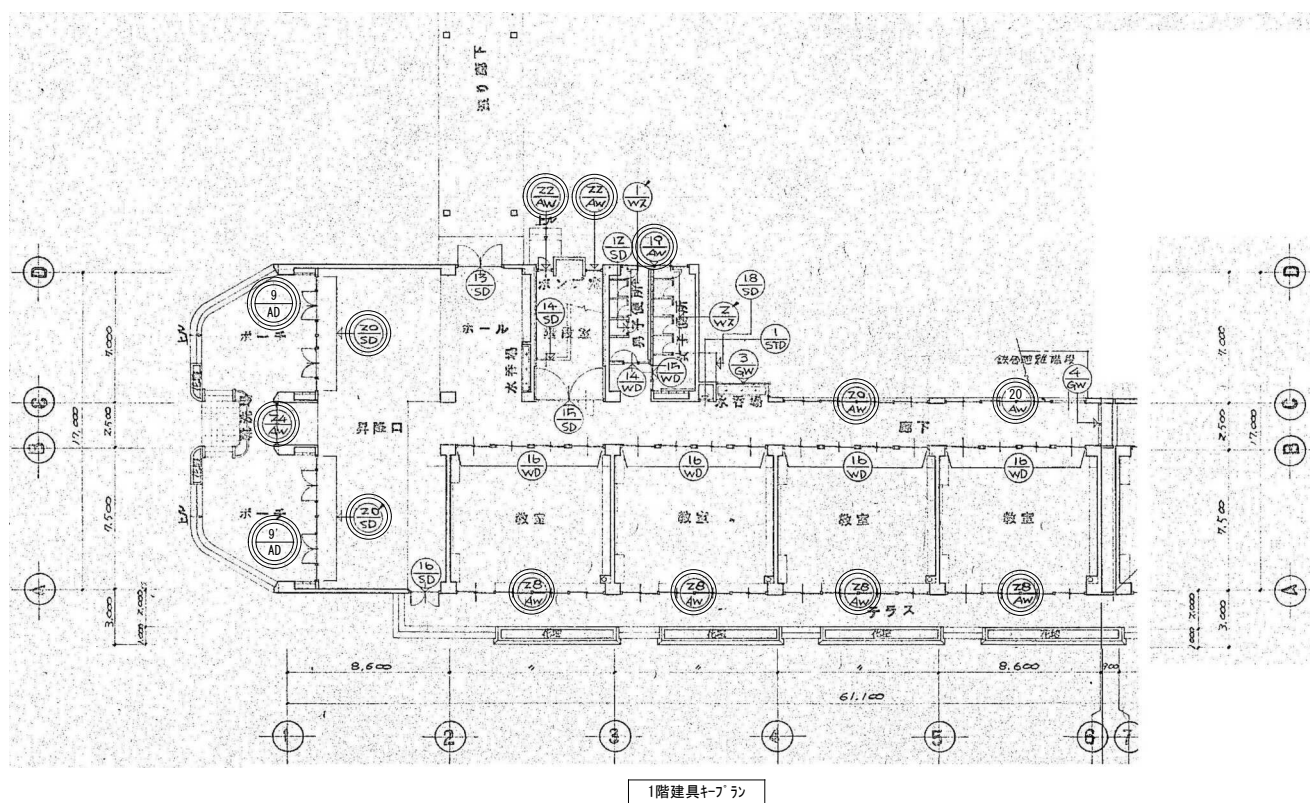
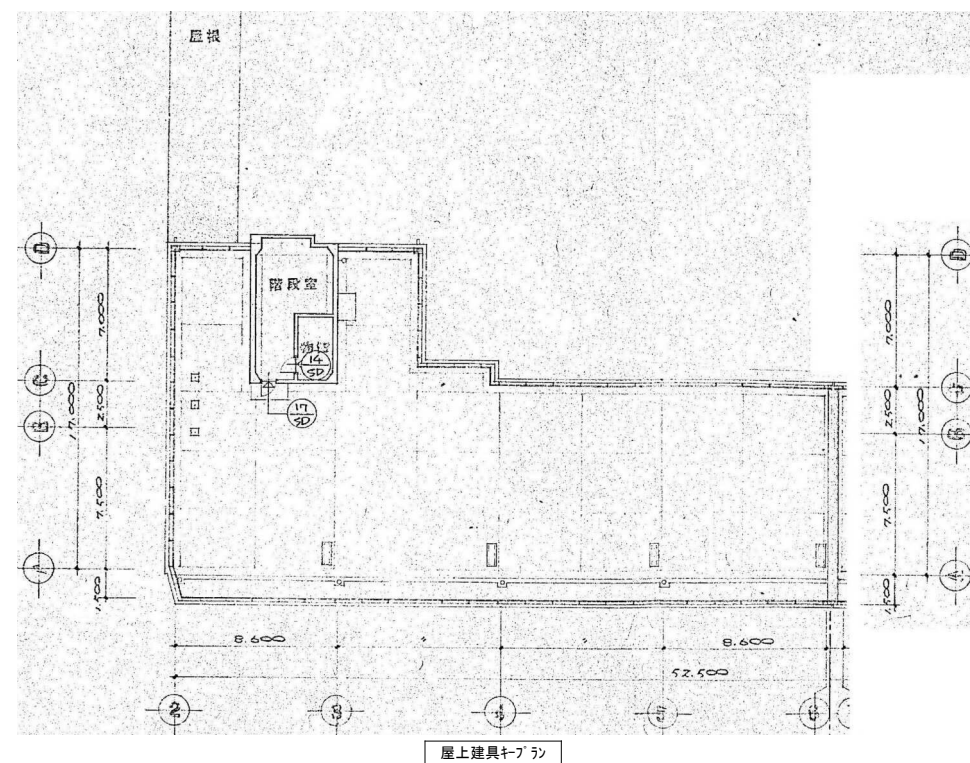
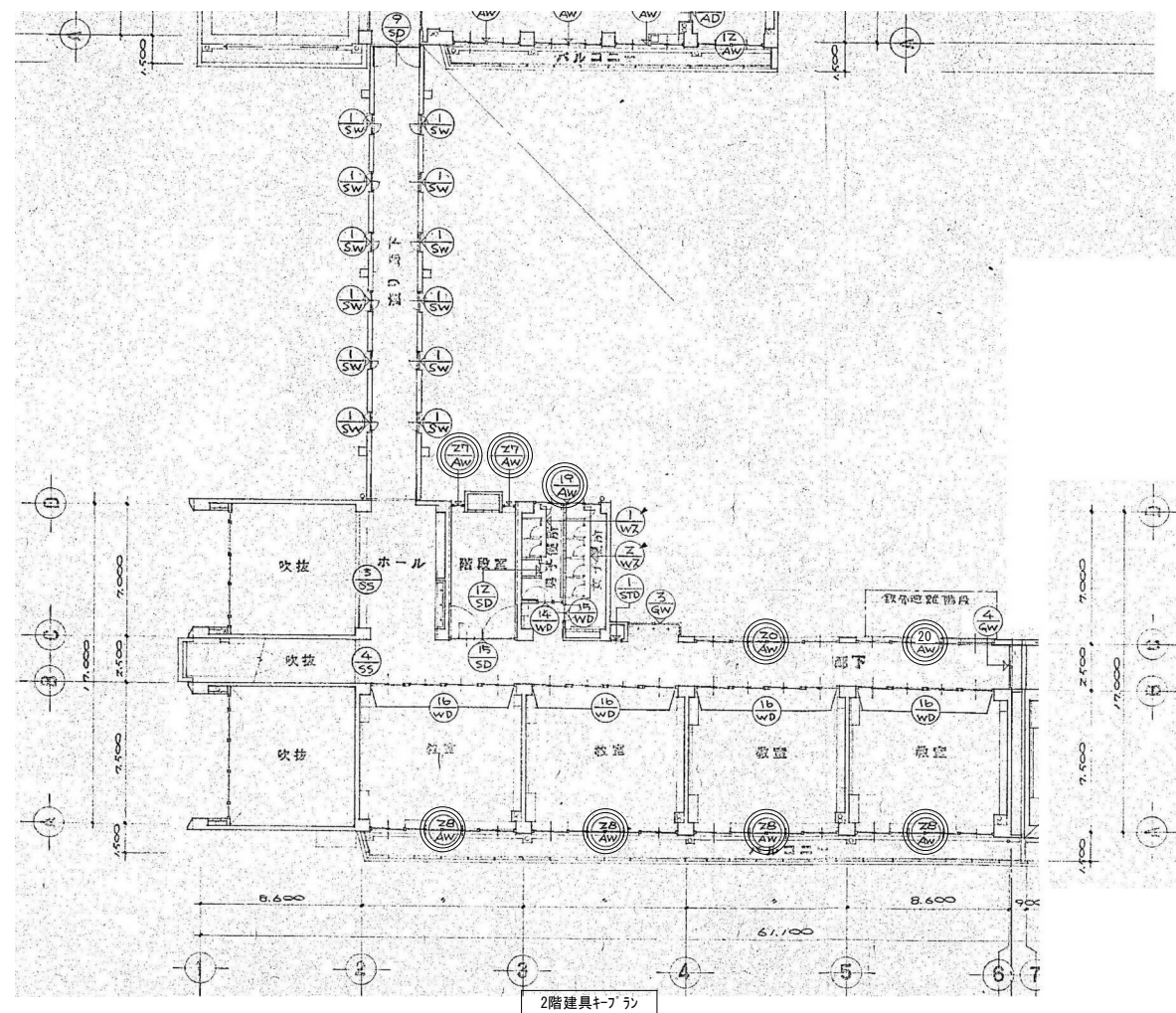
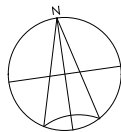
下地調整（`リマー`メントモルタル）


下地処理（ケレン、清掃）

既存コンクリート


25

後付ア`ソケット詳細図 1/5



凡 例				注 記				設計名称 令和7年度 岩沼西小学校校舎長寿命化外部改修工事（第Ⅱ期）			
 :本図面における改修建具を示す。								図面名称 南校舎1・渡り廊下1 既存建具←ﾌﾞﾗﾝ (参考図)			
								縮 尺 A1:1/200 年 月 2024.03 設計番号 図面番号 A-083 A3:1/400 一級建築士事務所 岩 田 和 技 術 研 究 所 〒995-0001 岩手県大船渡市大船渡 第22910014号 TEL 0196-83-1111 FAX 0196-83-1112 E-MAIL kate@iwate-ryuden.co.jp			

[illegible]

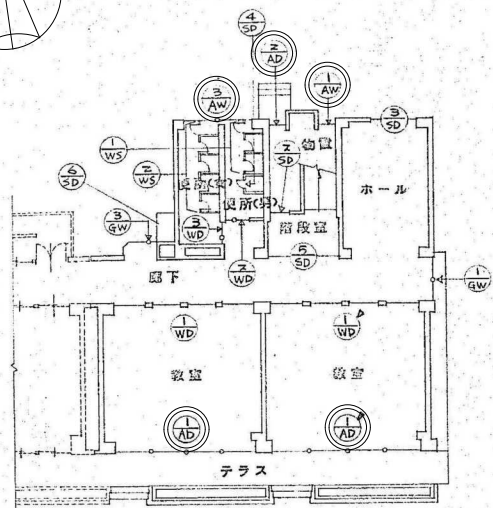
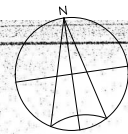
凡 例				注 記				設計名称 令和7年度 岩沼西小学校校長寿命化外部改修工事(第Ⅱ期)			
 :本図面における改修建具を示す。				1)外部建具「シーリング」は撤去・新設とも、MS-2 15×10とする。 2)外部建具廻り「シーリング」は4方を標準とし、「水切」の表記がある場合は、サッシ・水切間の「シーリング」も改修対象とする。				図面名称 南校舎1・渡り廊下1 既存建具表1 (参考図)			
								縮 尺 A1:1/50 年 月 2024. 03 設計番号 図面番号 A-084			
								承認/赤澄 直孝 設計者/ 監製/ 照査/佐々木 啓文 一級建築士 第284436号 赤澄 直孝 一級建築士 第284436号 赤澄 直孝 SOWA 設計事務所 建築技術研究所 宮城県仙台市青葉区 第2201010号			

図面	④ AW	4連引き違い窓	北側校舎	⑤ AW	窓の殺し窓	北側校舎	⑥ AW	窓の殺し窓	北側校舎	⑦ AW	窓の殺し窓	北側校舎	⑧ AW	窓の殺し窓	北側校舎	⑨ AW	窓の殺し窓	北側校舎	⑩ AW	ランマ付引き違い窓・両面付引き違い窓	北側校舎	⑪ AW	ランマ付引き違い窓・両面付引き違い窓	北側校舎
	場所・個数 給食室 計14箇所 体育室 計14箇所 物置(階上) 計14箇所 職員室 計14箇所 ホール 計34箇所 保健室 計24箇所 保健室・図書室・職員室・視聴覚室 計44箇所 保健室・図書室・職員室・視聴覚室 計44箇所																							
	材料・塗装 アルミ 見込 70 同 左																							
	硝子 3MM トーメイ 同 左																							
金物 附属標準金物 同 左																								
図面	⑫ AW	ランマ付2連引き違い窓	北側校舎	⑬ AW	窓の殺し窓付引き違い窓 (ハイパス窓)	北側校舎	⑭ AW	窓の殺し窓	北側校舎	⑮ AW	引き違い窓	北側校舎	⑯ AW	引き違い窓	北側校舎	⑰ AW	2連引き違い窓	北側校舎						
	場所・個数 図書室・職員室・視聴覚室・家庭科準備室・校長室・音楽準備室 計64箇所 廊下(2~3F) 計24箇所 職員室 計14箇所 資料室 計44箇所 職員室 計24箇所 廊下 体育室 計34箇所																							
	材料・塗装 アルミ 見込 70 同 左 同 左 同 左 同 左 同 左 同 左 同 左 同 左 同 左 同 左 同 左 同 左 同 左 同 左 同 左																							
	硝子 3MM トーメイ 同 左 同 左 同 左 同 左 同 左 同 左 同 左 同 左 同 左 同 左 同 左 同 左 同 左 同 左 同 左																							
金物 附属標準金物 同 左 同 左 同 左 同 左 同 左 同 左 同 左 同 左 同 左 同 左 同 左 同 左 同 左 同 左 同 左																								
図面	⑱ AW	窓の殺し窓	北側校舎	⑲ AW	2連引き違い窓	南側校舎	⑳ AW	4連引き違い窓	南側校舎	㉑ AW	窓の殺し窓	南側校舎	㉒ AW	ランマ付両面引き違い窓・両面付引き違い窓	南側校舎	㉓ AW	ランマ付両面引き違い窓・両面付引き違い窓	南側校舎						
	場所・個数 階段室 計44箇所 仮所(1~3F) 計34箇所 廊下(1~3F) 計64箇所 ポンプ室 計24箇所 廊下(1~3F) 計34箇所																							
	材料・塗装 アルミ 見込 70 同 左 同 左 同 左 同 左 同 左 同 左 同 左 同 左 同 左 同 左 同 左 同 左 同 左 同 左 同 左																							
	硝子 6.8MM ハーライン 同 左 同 左 同 左 同 左 同 左 同 左 同 左 同 左 同 左 同 左 同 左 同 左 同 左 同 左 同 左																							
金物 附属標準金物 同 左 同 左 同 左 同 左 同 左 同 左 同 左 同 左 同 左 同 左 同 左 同 左 同 左 同 左 同 左																								
図面	㉔ AW	窓の殺し窓	南側校舎	㉕ AW	窓の殺し窓付引き違い窓	南側校舎	㉖ AW	窓の殺し窓	南側校舎	㉗ AW	窓の殺し窓	南側校舎	㉘ AW	ランマ付引き違い窓・両面付引き違い窓	南側校舎	㉙ SW	縦軸回転窓	渡り廊下						
	場所・個数 昇降口 計14箇所 ホール(3F) 計24箇所 ホール(3F) 計14箇所 階段室 計44箇所 教室 計124箇所 渡り廊下 計124箇所																							
	材料・塗装 アルミ 見込 70 同 左 同 左 同 左 同 左 同 左 同 左 同 左 同 左 同 左 同 左 同 左 同 左 同 左 同 左 同 左																							
	硝子 5MM トーメイ 同 左 同 左 同 左 同 左 同 左 同 左 同 左 同 左 同 左 同 左 同 左 同 左 同 左 同 左 同 左																							
金物 附属標準金物 同 左 同 左 同 左 同 左 同 左 同 左 同 左 同 左 同 左 同 左 同 左 同 左 同 左 同 左 同 左																								

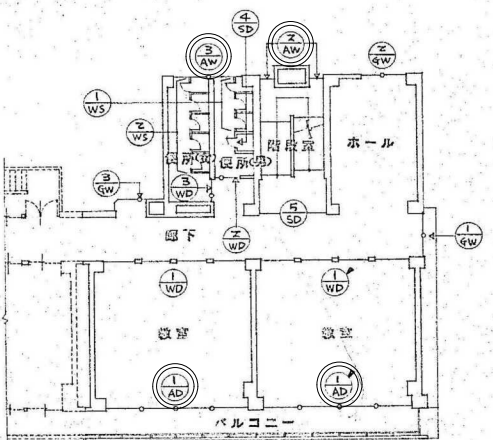
凡 例			
	本図面における改修建具を示す。		

注 記			
1) 外部建具シリングは撤去・新設とも、MS-2 15×10とする。			
2) 外部建具廻りシリングは4方を標準とし、「水切」の表記がある場合は、サッシ・水切間のシリングも改修対象とする。			

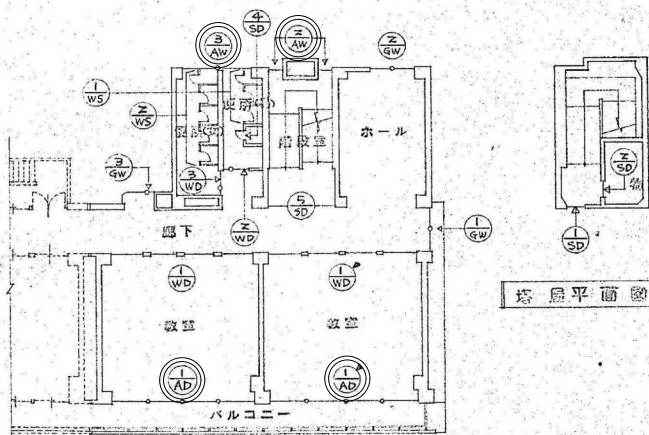
設計名称 令和7年度 岩沼西小学校校舎長寿命化外部改修工事(第Ⅱ期)			
図面名称 南校舎1・渡り廊下1 既存建具表2 (参考図)			
縮 尺 A1:1/50 A3:1/100	年 月 2024. 03	設計番号	図面番号 A-085
一級建築士事務所 SOWA 相和技術研究所		承認/添付 設計者/ 一級建築士 第28435号 赤沼 真幸	製図/ 西巻 祐太
宮城県知事登録 第22910116号		照会/役々本 原文	



1階平面図 1:200



2階平面図 1:200

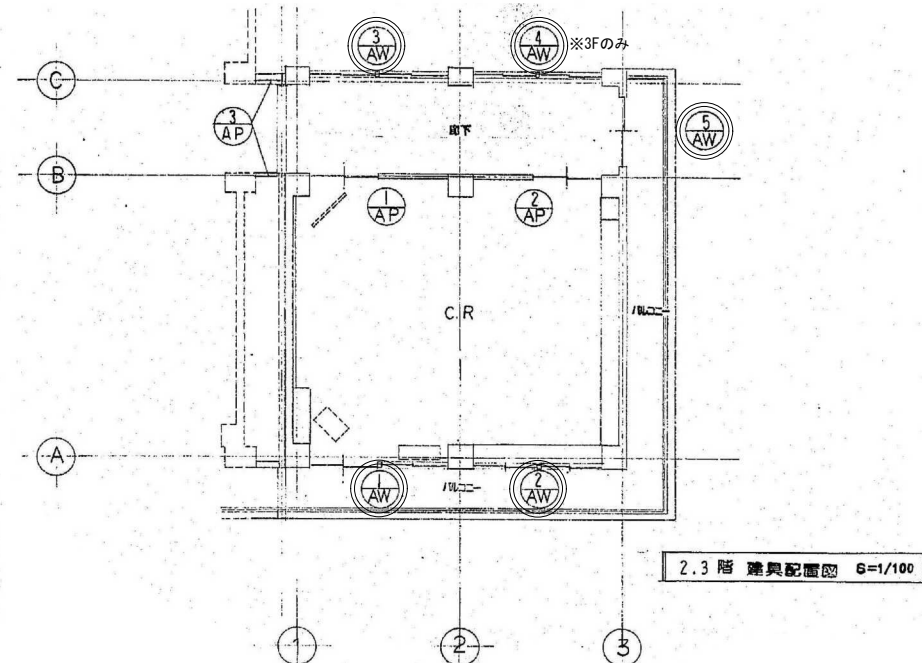
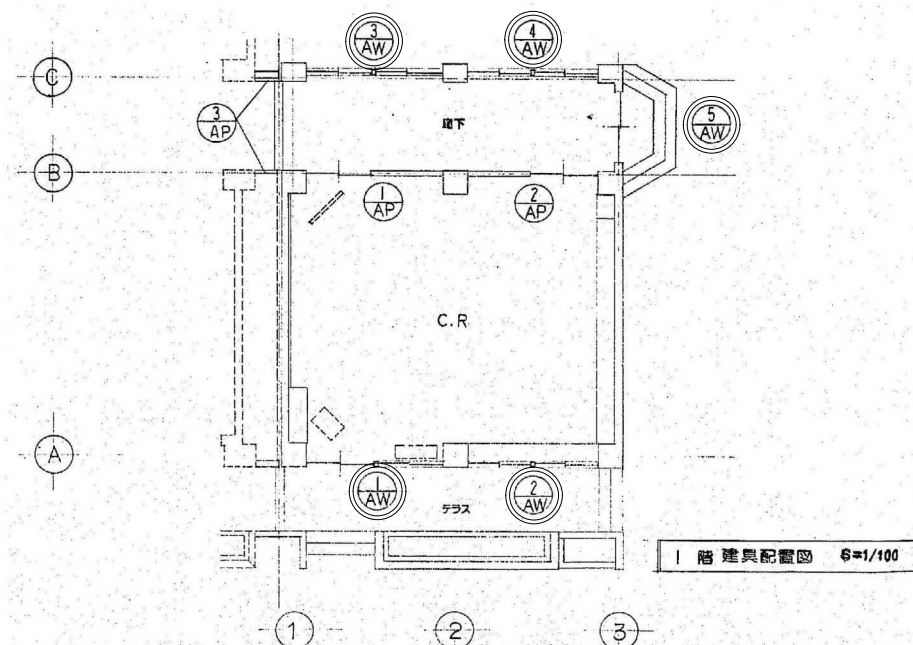
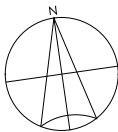


3階平面図 1:200




名称	1SD 窓入片開キフラッシュ戸	2SD 片開キフラッシュ戸	3SD 両開キフラッシュ戸	4SD 片開キ片開キフラッシュ戸	5SD 両開キフラッシュ戸 窓間距離 400mm	6AD ランマ付引違ハド 引違ハド		
図面								
場所・個数	塔屋 計1ヶ所	階段室(物置) 計2ヶ所	ホール(1F) 計1ヶ所	便所(P.S) 計3ヶ所	階段室(1~3F) 計3ヶ所	教室 (7~8通リ) 3ヶ所 (8~9通リ) 3ヶ所		
材料・塗装	スチール OP 枠見込 86	スチール OP 枠見込 86	スチール OP 枠見込 86	スチール OP 枠見込 80	スチール OP 枠見込 100	アルミ 見込 170		
硝子	6.8mm フラッシュ					3mm トーキ (斜線部分) 6.8mm フラッシュ		
金物	モノロツク・丁番・ドアチェツク	同 左	モノロツク・丁番・ドアチェツク・フランス錠	丁番・キーハンドル	707P-コンチ、ケーハンドル、オートコンチ	附属標準金物		
名称	7AD ランマ付片開キ戸	8AW ハメ錠シマド	9AW ハメ錠シマド	10AW 引違ハド	11AW ハメ錠シマド	12AW ハメ錠シマド		
図面								
場所・個数	階段室(1F物置) 計1ヶ所	同 左 計1ヶ所	階段室(廊下) 計4ヶ所	便所(男子・女子) 1~3F 計3ヶ所	廊下(1~3F) 計3ヶ所	ホール(2F・3F) 計2ヶ所 水替場(1~3F) 3ヶ所		
材料・塗装	アルミ 見込 170	同 左	アルミ 見込 170	同 左	同 左	同 左		
硝子	6.8mm フラッシュ	同 左	6.8mm フラッシュ	4mm 透明 斜線部分 6.8mm 型板 T25入	3mm トーキ	5mm トーキ		
金物	モノロツク 丁番 ドアチェツク	附属標準金物	附属標準金物	附属標準金物		5mm トーキ		
名称	13WD ランマ付引違ハドフラッシュ戸	14WD ランマ付片開キフラッシュ戸	15WD ランマ付片開キフラッシュ戸	16WS 併用スクリーン				
図面								
場所・個数	教室 (7~8通リ) 3ヶ所 (8~9通リ) 3ヶ所	男子便所(1~3F) 計3ヶ所	女子便所(1~3F) 計3ヶ所	男子便所(1~3F) 計3ヶ所				
材料・塗装	樹脂ベニヤ OP 見込 30	同 左	同 左	同 左				
硝子	2mm 透明	2mm 透明	同 左	同 左				
金物	US-A型レール、US-C型戸、ステンレス引手、本錠鎖(出入口部外)、ステンレス引手、ネジ締鎖(ランマ付ハメ錠シマド部外)	ドアチェツク 丁番 窓錠	同 左	同 左				
名称	17WS 併用スクリーン	18SD 片開キアングル戸						
図面								
場所・個数	女子便所(1~3F) 計3ヶ所	テストシート取付口(外部) 計1ヶ所						
材料・塗装	耐水ベニヤ OP 見込 40	スチール OP 見込 412 R-1Z L-10+40x5						
硝子								
金物	ラバトリ-コンチ、ラッチ式表示錠、鷲子掛戸当り、ステンレス取付マ	丁番・打釘金具						
名称								

凡 例	注 記
:本図面における改修建具を示す。	1) 外部建具シーリングは撤去・新設とも、MS-2 15×10とする。 2) 外部建具廻りシーリングは4方を標準とし、「水切」の表記がある場合は、サッシ・水切間のシーリングも改修対象とする。

設計名称	令和7年度 岩沼西小学校校舎長寿命化外部改修工事(第Ⅱ期)
図面名称	南校舎2 既存建具+プラン、建具表 (参考図)
縮 尺	A1:1/50 A3:1/100
年 月	2024. 03
設計者	一級建築士事務所 相和技術研究所
監理者	一級建築士 第20435号 赤沼 真幸
製図/校対	西巻 祐太
図面番号	A-086



記号、数量	AW-1	3	AW-2	3	AW-3	3	AW-4	2	AW-5	3
形式	<div><p>外部建具廻りシーリング【撤去・新設】</p></div>		<div><p>外部建具廻りシーリング【撤去・新設】</p></div>		<div><p>外部建具廻りシーリング【撤去・新設】</p></div>		<div><p>外部建具廻りシーリング【撤去・新設】</p></div>		<div><p>外部建具廻りシーリング【撤去・新設】</p></div>	
取付場所	CR		CR		廊下		廊下		廊下	
仕上見込	アルミ引違い二連窓 (ランマ付)	70	アルミ引違い二連窓 (ランマ付)	70	アルミ引違い二連窓	70	アルミ引違い二連窓	70	アルミ引違い戸 (ランマ付)	70
ガラス	⑤%トーマイガラス, 入ロドアの障は 6.8%アルトワイヤ		⑤%トーマイガラス		⑤%トーマイガラス		⑤%トーマイガラス		⑤%トーマイガラス, 入ロドアの障は 6.8%アルトワイヤ	
金物類	クレセント, ニ重水切移, アングル		クレセント, ニ重水切移, アングル		クレセント, ニ重水切移, アングル		クレセント, ニ重水切移, アングル		クレセント, ニ重水切移, アングル	
備考	出入口下枠, 水切 (ステンレス製 ②20%)								下枠, 水切 (ステンレス製 ②20%)	
数量	AP-1 (アルミパーション)	3	AP-2 (アルミパーション)	3	AP-3 (アルミパーション)	6				
形式	<div></div>		<div></div>		<div></div>					
取付場所	CR		CR		廊下					
仕上見込	パネル: 0.8% 焼付化粧鋼板		パネル: 0.8% 焼付化粧鋼板		②0.8% 焼付化粧鋼板					
ガラス	③%トーマイガラス		③%トーマイガラス							
金物類	アングル (両面), リンダー錠, クレセント, ステンレス 製		アングル (両面), リンダー錠, クレセント, ステンレス 製							
備考	室内側: 行手黒1本, 廊下側: コト掛		室内側: 行手黒1本, 廊下側: コト掛							

凡 例				注 記				設計名称 令和7年度 岩沼西小学校校舎長寿命化外部改修工事(第Ⅱ期)			
 :本図面における改修建具を示す。				1)外部建具ｼｰﾘﾝｸﾞは撤去・新設とも、MS-2 15×10とする。 2)外部建具廻りｼｰﾘﾝｸﾞは4方を標準とし、「水切」の表記がある場合は、サッシ・水切間のｼｰﾘﾝｸﾞも改修対象とする。				図面名称 南校舎3 既存建具ﾌﾟﾗﾝ、建具表 (参考図)			
								縮 尺 A1:1/50 年 月 2024.03 設計番号 図面番号 A-087			
								承認/赤印 監修/青印 設計者/青印 一般建築士 第284436号 赤印 監修/青印 監造/藍文字 監製/青印   一般建築士 第284436号 赤印 監修/青印 監造/藍文字 監製/青印			

電気設備改修工事特記仕様書

1. 工事概略

1. 工事名 令和7年度 岩沼西小学校校舎長寿命化外部改修工事(第Ⅱ期)
2. 工事場所 宮城県岩沼市 松ケ丘一丁目17

3. 建物

[illegible]

4. 工事種目 (◎印のついたものを適用する。)

建物別及び屋外		工 事 種 別		備 考
工事項目	校舎		屋 外	
○電灯設備	改修一式			
○電力設備				
○電熱設備				
○音保護設備				
○受変電設備				
○電力貯蔵設備				
○発電設備				
○構内情報通信網設備				
○構内交換設備				
○情報表示設備				
○映像・音響設備				
○拡声設備				
○誘導支援設備				
○テレビ共同受信設備				
○監視カメラ設備				
○車庫管理設備				
○防火・入退室管理設備				
○自動火災報知設備				
○中央監視制御設備				
○構内配電線路				外灯設備を含む
○構内通信線路				
○テレビ受信用障害防除				
○その他工事	別紙仕様書による			

5. 指定

- 特記仕様書
- (1) 一般事項
- ① 機設仕様書及び図面に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官庁官庁事務補修監修の「公共建築工事機設仕様書（電気設備工編）令和4年版」、公共建築工事事業仕様書（電気設備工編、令和4年版）、国土交通省大臣官庁官庁事務補修監修・環境施設監修の「公共建築設備工事機設図書（電気設備工編、令和4年版）」による。
- (2) 機械設備工事及び建築工事と兼施工を含む場合、機械設備工事及び建築工事はそれぞれの工事特記仕様書を適用する。なお、機械設備工事の特記仕様書は、②の図、建築工事の特記仕様書は③の図による。
- 特記仕様書
- (1) 項目は番号に②の付いたものを通ずる。
- 項目は、②の付いたものも通ずるが、②の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。
- ※印と②印の付いた場合、共に適用しても可い。

項目	特記事項
① 選定基準等	※ 建設工事執行規則 (昭和39年3月9日建設省令第9号) ※ 京城建設工事元請、下請関係適正化要綱 (最新版) ※ 建設工事費集約費標準 (国土交通省大臣官庁官庁庁舎建設部監修 平成31年版) ※ 京城建設工事費集約費標準 (国土交通省大臣官庁官庁庁舎建設部監修 平成12年版) 及び工事写真撮影ガイドブック電気設備工事編 (国土交通省大臣官庁官庁庁舎建設部監修 平成30年版)
② 機材等	※ 本工事に使用する機材等は、設計図書に規定するもの、またはこれと同等のものとす。ただし、これらと同等のものとする場合は、監督職員等品質性能監督委員会 (以下「公共建設協会」) によって所定の品質・性能を有するとの評価を受けた材料・機材等を使用する場合は、評価書の写しを監督職員に提出するものとす。 ※ 本工事に使用する材料の選定及び施工に当たっては、「既有施設のシックハウスマニュアル」に留意し、揮発性有機化合物の放出による健康への影響に配慮する。 ※ 使用する材料のホルムアルデヒドは仕様、日本産業規格及び日本規格規格のF☆☆☆☆規格品、壁装材料適合環境適合品または同等品、化学物質管理施設安全設備等にホルムリン不使用が明示されたものとす。
③ 機材の品質・性能証明	※ 工事着手前「機材提供書」を提出し、監督職員の承認を受ける。 また、「建設機材・設備機材等品質性能監督委員会」(以下「公共建設協会」) によって所定の品質・性能を有するとの評価を受けた材料・機材等を使用する場合は、評価書の写しを監督職員に提出するものとす。
④ 保険	※ 工事着手前「工事引渡及び工事材料等を、本工事後引渡した日までに火災保険及びその他の保険に付し、写しを監督職員に提出する。
⑤ 雇用	※ 本工事は、公共職業安定所の紹介する者の雇入れに努める。
⑥ 施工計画・施工図等	工事の着手に先立ち、工事の総合的な計画をまとめて施工計画書を作成し、監督職員に提出する。 工事の着手に先立ち、工種別工事従価表及び施工図等を作成し、監督職員の承認を受ける。
⑦ 手続き	工事の着手、施工及び完成において、官公署その他関係機関へ必要な諸手続き等は監督職員と協議の上、受注者が速やか処理する。なお、当該手続きに係る費用は受注者の負担とする。
⑧ 施工条件	別添の施工条件明示表を参照する。
⑨ 工事の一時的中止	※ 建設費集約費第21条の規定により工事の一時的の遅延を受けた場合は、工事の続行に費した中期間における工事従価の管理計画を提出する。本計画書には、中止点における工事の出来、撤入材料及び建設機材等の諸書、中止期間中の体制及び工事機材の維持管理に関することを記載すること。
⑩ 工事実施情報の登録 (CORS機能)	※ 諸債権が500万円以上の場合は、工事実施情報に登録する。 受注時、変更時及び完成時にあらかじめ監督職員の承認を受け、登録手続きを行い、工事カルテの受領証を、監督職員より提出すること。
⑪ 事故報告	施工中に事故が発生した場合は、直ちに監督職員に通報するとともに、「事故報告書」を別に指定する期日までに監督職員に提出すること。
⑫ 電気保安技術者	電気工事に係る工事においては、電気保安技術者を置くものとする。
⑬ 工事用電力、水、他	本工事に必要な工事用電力、水などの費用は引渡まですべて受注者の負担とする。
⑭ 工事用設備物	構内につくことが ※ できる ・ できない
⑮ 監督職員事務所	※ 契約の、 ○ 設ける (号・・・建築工事)
⑯ 足場、さん橋	※ 別契約の関係債権者があるものは、無償で使用する。 ○ 本工事で設置する。 なお、折組足場を設ける場合は、「手すり先付工事等に関するガイドライン」(厚生労働省平成21年4月改訂)によるものとす。二股手すり及び幅木の機能を有するものでなければならぬ。
⑰ 工事表示板	※ 設置する 設け数量 1枚 ※ 竣工機工事における工事及びコスト表示要領 (平成14年2月2日京城土木部管轄「設置要領」) により設置する。 ※ 設置しない
⑱ 工事用通路	※ 指定しない ○ 指定する (指示)
19. 発生材の処理等	発生材の処理 ・ 引渡しを要するもの () ・ 特別管理産業廃棄物 (・ PCB使用機器) ・ 変圧器設備、所在地 () ・ 現場において再活用を図るもの () ・ 再資源化を図るもの ()
20. 残土処理	※ 構内排水の所に敷き出し ・ 構内排水の所に運搬 ・ 構外搬出
21. 耐震施工	耐震設計における設備機器の固定は、「建築設備設計・施工指針 2014年版」(「他」建築研究所監修) による本工事の施設分節は (・ 特定の施設 ・ 一般の施設) で地域数は1とし、設計用標準水平震度は下表のとおりとする。なお、() 内の数値は防振支持機構の適用に適用する。
施設場所	設計用標準震度 特定の施設 一般施設 重要建築物 一般の施設
上層部、屋上及び屋根	2.0 (2.0) 1.5 (2.0) 1.5 (2.0) 1.0 (1.5)
中層部	1.5 (1.5) 1.0 (1.5) 1.0 (1.5) 0.6 (1.0)
階下及び地下部	1.0 (1.0) 0.6 (1.0) 0.6 (1.0) 0.4 (0.6)
重要設備等	・ 配電盤 ・ 発電装置 ・ UPS装置 ・ 直流電源設備 ・ 交換機 ・ 受電機 (自立型) ・ 中央監視装置 ・ 情報通信ラック 重量が100kg以下の軽量な機器 (標準仕様書の適用を受けるものは除く) においても、耐震を考慮し、据り付けるものとするが、前記措置の方法によりならなくてよい。
22. 風圧加重	※ 風速 6.0 m/s m/s ・ 雷保護設備受雷部 ・ 避雷ポール・基礎 ・ テレビ共同受信装置アンテナ・アンテナマスト

23. 他工事との工事区分
24. 保温、結露防止
25. 電線類
26. 合成樹脂製可とう管
27. 二種金属製可とう管
28. 電線本数、管路など
29. インサート
30. 呼び線
31. フラッシュプレート
32. フロアプレート・ベア
33. ハンドホール蓋
34. 支持金物、固定金物
35. 支と施工アンカー
36. 接地極の種類・表示

工事上の工事区分は図面に記載される場合、「各工事の工事区分」による。

外部に面する壁、天井でF.P.B.（スタイロホーム）打込み型に取付ける位置を注意。

本工事は環境配慮の観点から、原則としてE-Mケールを使用するものとする。

会組細則等とは、P.F.第一（重宝）とし、温度による分類はタイプⅡとす。

露出箇所
・ ビニル被覆あり
・ ビニル被覆なし（塩化ビニル）
・ ビニル被覆あり
・ ビニル被覆なし

分電盤、制御盤、端子箱などの2割以下以降の配線距離、電圧値、電線本数、穴径としてきつておこなう。

鋼線鉄として、なお、床版で保温打込み部分は、断熱材インサート（発泡）

長さ1m以上の連続しない電管管には、1. 2mm以上のビニル被覆鉄線を通線

図面に特記する場合。（※ 金型製（ステンレス・合金鋼も含む））

平高圧配管打付（空圧（ランス）打付）

※ 鋼合金製 ※ アルミ製

露出およびシール（ランス）打付のものとする。

屋外の機器及び配管に使用する支持金具（ボルト類）はステンレス製とし、屋上、タクト・ケーブル（吊り金具）を取り付ける。

また、鋼索として各種鋼の支持金具の付には、ダブルナットとする。

工法方法
※ 接合なし ※ 接合あり
※ 接合なし ※ 接合あり
※ 接合なし ※ 接合あり

施工・施工確認 ※ 行わない ※ 行う

接地抵抗は図面に特記する場合、下表による。なお、E.Bの長さは1. 500mmとし、D=10は1. 000mm、W=30は1. 200mmとする。

接地抵抗の値

接地の種別	記号	接地抵抗値
・ 露保設備使用用接地	E/A	100Ω以下 E.P×2
・ 露保設備使用用接地	E/A	100Ω以下 E.B×2
・ 共同接地	E/A・E/D・E/LH	100Ω以下 E.B×2
・ 共同接地	E/A・E/D・E/D	100Ω以下 E.B×2
・ A種	E/A	100Ω以下 E.B×2
・ B種	E/B	100Ω以下 E.B×2
・ C種	E/C	100Ω以下 E.B×2
・ D種	E/D	100Ω以下 E.B×2
・ 構内交換機（機用）用	E/L	100Ω以下 E.B×2
・ 本機設置の保安装置	E/A	100Ω以下 E.B×2
・ 電圧印入の保安装置	E/D	100Ω以下 E.B×2
・ 接地用接地	E/A	100Ω以下 E.B×2
・ 接地用接地	E/D	100Ω以下 E.B×2
・ 測定用	E/o	100Ω以下 E.B×2
・ 測定用（低圧用）	E/LH	100Ω以下 E.B×2
・ 測定用（高圧用）	E/LH	100Ω以下 E.B×2
・ 測定用（主・地用）	E/M	100Ω以下 E.B×2
・ 構造体接地		接地抵抗値

37. 総合調整
38. 塗装工事
39. 山留め
40. 舗装工事
41. はつり
42. 再使用機器
43. 撤去後の補修等
44. アスベスト
45. 有害物質の取り扱い

1. 工事範囲	・ 配管 ・ 配線 ・ 分電盤類 ・ 機器類
2. 電気方式	・ 幹線 単相3線式 100/200V 50Hz ・ 分枝 単相3線式 100/200V ・ 分枝 単相2線式 100V 幹線 ・ 金属管配線 ・ ケーブル配線
3. 施工方法	分枝 電灯 ・ 合成樹脂管配線 ・ 金属管配線 ・ ケーブル配線 ・ その他 () コンセント ・ 合成樹脂管配線 ・ 金属管配線 ・ フラダクト配線 ・ その他 () 屋外露出 ・ 合成樹脂管配線 ・ 金属管配線 ・ ケーブル配線 ボックス ・ 合成樹脂製 ・ 金属製
4. 照明器具	LED ・ 一体型 ・ 直管型 (JEL801) ・ 薄型型 (JEL802) ・ ダウンライト ・ その他
5. 防災用照明器具	・ 非常用照明器具 (※ 電池内蔵形 ・ 電源別置形) ・ 誘導灯 (※ LED誘導灯 ・ 誘導標)
6. 照度測定	照度測定は、原則、本工事範囲で行うものとするが、これにより難しい場合は監督職員との協議による。
7. ハイテンション アウトレット	※ 銅合金製 ・ アルミ製 ※ 飛び出し形 ・ 外部固定形
8. 人感センサーライト	照明の人感センサー制御を行う部屋には、注意プレートを設置する。
9. 予備配管	予定分電盤からの立上り予備配管は、予備の配線用遮断器が4個以下の場合は(PF2)を1本、5個以上の場合は(PF2)を2本以上、天井裏まで上回る。 梁下へ配管・配線スペースのない室には、1スパンにV-E (3) 2本を予備スリーブとして1本込む。

- ① 工事範囲
- ② 電気方式
- ③ 施工方法
4. 警報盤
5. 電磁開閉器用押釦
(遠方操作)
6. 機器への接続
7. 電動機等の接地
8. 送相用コンデンサ

9. 電氣自動車用充電裝置	・ 機器類 ・ 普通充電裝置 ・ 急速充電裝置	電壓 相 V 直流電圧 V	・ 屋外型 ・ 屋内型
1. 電氣方式	幹線 相 線式 V 50 Hz 分岐 相 線式 V		
2. 施工場所及区画種	() (㎡) ・ () (㎡)		

- | | |
|------|--------------|
| 配電設備 | 1. 工事範囲 |
| | 2. 受電部 |
| | 3. 避雷導線 |
| | 4. 接地極 |
| | 5. 測定用補助接地極 |
| 受電設備 | 1. 工事範囲 |
| | 2. 電気方式 |
| | 3. 引込ケーブル |
| | 4. 配電盤 |
| | 5. 主遮断装置 |
| | 6. 高圧機器類 |
| | 7. 変圧器 |
| | 8. 連相用コンデンサ |
| | 9. リアクトル |
| | 10. 自動力率制御装置 |
| | 11. 測定用補助接地極 |

電力貯蔵設備	1. 直流電源装置	※ 常用照明器具電源、受変電設備制御電源供用、受変電設備制御専用、非常用照明器具専用 ・ 鉛蓄電池 (・ HS ・ CS ・ MSE ・ 長寿命形 MSE) ・ アルカリニオン電池 (・ AH ・ AMH) ・ リチウムイオン電池									
	2. 交流無停電電源装置	用電池 (容量) kVA ・ 鉛蓄電池 (・ HS ・ CS ・ MSE ・ 長寿命形 MSE) ・ アルカリニオン電池 (・ AH ・ AMH) ・ リチウムイオン蓄電池									
発電設備	1. 工事範囲	・ 機器類									
	2. 形式	・ 簡易形 ・ キュービクル式 ・ オープン形 ・ 屋内形 ・ 屋外形									
	3. 発電機	電気方式	相	線式	50Hz	電圧	V	定格出力	kVA	運転時間	時間
	4. 原動機	種類	・ ディーゼル ・ ガスタービン ・ kW以上 (B-5以上)								
送電設備	1. 送電機	定格出力	※ ラジエータ式、空気式								
	2. 変圧機	冷却方式	・ 水冷却方式								

- | | |
|--------|-------------------------|
| 構内交換設備 | 5. 燃料 |
| | 6. 太陽光発電装置 |
| | 7. 系統連系 |
| | 1. 工事範囲 |
| | 2. 電話交換機 |
| | 3. 電話機への配線 |
| | 4. ローテーションア
レット（亀甲形） |
| | 5. 保安器用接地 |
| | |
| | |

1. 工事範囲及び施工方法	工 事 範 囲		施 工 方 法	
	内 容	配 置	機 器 類	ケール配線
通 信	・ 構内通信設備	○	○	○
	・ 情報表示	○	○	○
	・ 放送、音響	○	○	○
	・ 設置	○	○	○
	・ 経路支援	○	○	○
	・ ケーブル固定架	○	○	○
	・ ケーブル敷設用防振設備	○	○	○
	・ 監視カメラ	○	○	○
	・ 駐車場監視設備	○	○	○
	・ 防犯・入室安全管理	○	○	○

2. 構内情報通信網設備
3. 情報表示設備
4. 映像・音響設備
5. 拡声設備
6. 誘導支援設備
7. テレビ共同受信設備
8. テレビ電波障害防除設備
9. 監視カメラ設備
10. 駐車場管制設備
11. 防犯・入室管理設備

- | | |
|----------------------------|-------------|
| 火
災
報
知
設
備 | 1. 工事範圍 |
| | 2. 火災報知裝置 |
| | 3. 非常警報裝置 |
| | 4. 自動閉鎖裝置 |
| | 5. ガス漏れ火災警報 |
| | 6. 消火器類 |

- _____

- | | | | |
|---|----------------------|------------|---|
| ・ 安富部 | ・ 引下げ導線 | ・ 接地埋設 | |
| ・ 突針 | ・ 構上導体 | ・ 笠木（別途）など | |
| ・ 引下げ導線 | ・ 構造体利用 | | |
| ※ 接地埋設 | ・ 構造体利用（測定時期 | 回数 | ） |
| ・ 設置 | | | |
| ・ 機器類 | | | |
| ・ 高圧 三相3線式 6 kV 50 Hz | | | |
| ・ 低圧 三相3線式 200 V ・ 低圧 単相3線式 100 V / 200 V | | | |
| ・ EM-CET38 [*] ・ EM-CET60 [*] | | | |
| ・ EM-CE38 [*] -3C ・ EM-CE60 [*] -3C | | | |
| ・ 屋内形 | ・ 屋外形（防塵処理及び結露対策を施す） | | |
| ・ キュピル式配電盤 | ・ 高圧閉鎖配電盤 | | |
| ※ 限流ヒューズ及び高圧負荷開閉器（P-F-S） | ・ 高圧交流遮断器（CB） | | |
| ・ 交流遮断電圧 | ・ モーダ | | |
| ・ 油入式 | ・ 電動 | 電磁 | |
| ・ 単相変圧器 kV・S | ・ 三相変圧器 kVA | | |
| （油入式：JIS C4304-2018適合品 乾式：JIS C4306-2013適合品） | | | |
| ・ 低圧 | ・ 高圧 | | |
| ・ 油入式 | ・ モーダ | ・ ガス | |
| ・ 6% | ・ 1.3% | | |
| ・ 油入式 | ・ モーダ | | |
| ※ マーターリレー形 | ・ 静止形 | | |
| ・ 設置 | | | |

※	非常用照明器具電源、受変電設備制御電源供用	・ 受変電設備制御専用	・ 非常用照明器具専用
蓄電池	・ 鉛蓄電池 (・ HS ・ CS ・ MSE)	・ 長寿命形MSE (・)	
	・ アルカリ蓄電池 (・ AH ・ AMH)		
	・ リチウムイオン電池		
用途 (容量)	kVA		
蓄電池	・ 鉛蓄電池 (・ HS ・ CS ・ MSE)	・ 長寿命形MSE (・)	
	・ アルカリ蓄電池 (・ AH ・ AMH)		
	・ リチウムイオン電池		
※	機器類		
・ 簡易形	・ キュービクル式	・ オープン形	・
・ 屋内形	・ 屋外形		
電気方式	相 線 式 50 Hz	電圧 V	定格出力 kVA
			運転時間 時間
種類	・ ディーゼル	・ ガスタービン	・
定格出力	kW以上	(B-5以上)	
始動方式	※ 電気式	・ 空気式	
冷却方式	・ ラジエータ式	・ 水冷循環式	

- 燃料小出售
主貯油槽 有・なし
太陽電池アレキ公称出力
パワーコンディショナ
自立運転 有・有
蓄電池 有・有
・有・無
・交換機・有
形式 有・ボタン
回線数 局線
電話機1台につき、下記の
・EM-TIEFO. 6
・EM-EBTO. 4
・ワイヤプロテクタ
※一般電話用
※銅合金製
※本工事

項目	工事		機器類	施工方法		
	配管	配線		合成樹脂管配線	金属管配線	ケーブル配線
・ 構造荷役設備	○	○	○	○	○	○
・ 情報設備	○	○	○	○	○	○
・ 暖房・給湯	○	○	○	○	○	○
・ 給排水	○	○	○	○	○	○
・ 誘導設備	○	○	○	○	○	○
・ テレビ共用設備	○	○	○	○	○	○
・ テレビ電波障害防除設備	○	○	○	○	○	○
・ 監視カメラ	○	○	○	○	○	○
・ 車庫管理設備	○	○	○	○	○	○
・ 防火・入退室管理	○	○	○	○	○	○

- | | | |
|--------------|--------|--------|
| 種類 | 10 B A | 10 B A |
| ・ 親時計 | 同軸 | |
| ・ 増幅器 | V | |
| ・ VTR | (| |
| ・ プロジェクタ | (※ | |
| ・ 音響設備 | (| |
| ・ 一般放送用 | (| |
| ・ 増幅器 | W | |
| ・ インターホン | | |
| ・ テレビアンテナ | | |
| ・ 地上波アンテナマス | | |
| ・ Bアンテナマス | | |
| ・ 電界強度測定及び受信 | | |
| ・ 事前調査 | ・ 検 | |
| ・ 白黒方式 | ※ | |
| ・ 伝送方式 | (| |
| ・ 管制盤 | ・ 検 | |
| ・ 信号丁・警報灯 | | |
| ・ 検出工事 | (※ | |

- ・ 配管
- ・ 壁掛形
- ・ 受信機
- ・ 複合盤
- ・ 副受信機
- ・ 機罩收容箱
- ・ 感知器類
- ・ 非常ベル（自動式サ）
- ・ 連動制御器
- ・ 自動閉鎖装置
- ・ 感知器
- ・ 受信機
- ・ 検知器
- ・ 併設
- ・ 定格電圧
- ・ ガス検知出力倍率
- ・ 消火器

- [illegible]

- ・ 接地極取設
- 本 　　・ 笠木（別途）など
- 全体利用
- 全体利用（測定時期）
- 回数
- 6 kV　50 Hz
200 V　・ 低圧　単相3線式　100 V／200 V
　　・ EM-CET 60°
　　・ EM-CE 60° - 3 C
防塵処理及び結露対策を施す
・ 高圧閉鎖配電盤
時間開閉器（PFF-S）　・ 高圧交流遮断器（CB）
k A
下　・ 電磁
　　・ 三相変圧器　k V A
組合 乾式：JIS C4306-2013適合品）
下　・ ガス式
下
下　・ 静止形

電機設備制御電源用	受変電設備制御専用					非常用照明器具専用	
・ HS ・ CS ・ MSE	・ MSE					・ 長寿形 MSE	
電池 (・ AH ・ AMH)							
オン電機							
・ HS ・ CS ・ MSE	・ MSE					・ 長寿形 MSE	
電池 (・ AH ・ AMH)							
オン電機							
ビュル式	・ オープン形						
Hz	電圧	V	定格出力	kVA	運転時間	時間	
レ	・ ガスタービン						
以上	・ B-6以上						
・ 空気圧							
・ 水冷循環式							

- ・あり (・別送)
kW
相 線式 定格電圧
・無
各容量 kWh
-
- ・配線 (・
装置 デジタルP
回線 内線
-
- のを見込む。
-2C (・20m
P (・20m
(樹脂製 外形寸法
-
- ・納入する
アルミ製
・別送工事

[illegible]

- E-SR
- ※ 壁掛形 ・ 自立形
・ 電子式チャイルドロック
- V/D BD
前段射式 背面段射式
取込用 オーディオ
- ※ 卓上形 ・ キヤ
ンイル等呼出装置
- AU- CSBASA
※ 壁面取付形 ・ 自
立形 壁面取付形 ・ 自立
型 (※ 全チャンネル)
- 音
- 一方式
ログ ・ ネットワーク
- (・ 光線式 ・ ルー
・ 発券機 ・ カード
- (・ 別巻)

- | | |
|-----------|--------|
| ・ 機器類 | |
| 回線 (| アドレス |
| 回線 (火報 | 回線 |
| 回線 | |
| 形 (| ・ 雲 |
| 埋込形 | ・ 自動計 |
| 個 (| |
| ンを含む) | ・ 非常放 |
| 防火戸用 | ・ 防煙ダン |
| | |
| 都市ガス用 | ・ 液化石油 |
| ・ 自立形) | |
| | |
| 運動 | |
| ・ AC100V | ・ |
| ・ 有電圧出力方式 | |
| 数量 | 本 |

-

- | | |
|----------|-------------------|
| 中央監視制御設備 | 1. 工事範囲 |
| | 2. 監視制御対象設備 |
| | 3. 表示操作盤 |
| | 4. 監視制御装置 |
| 構内配線 | 1. 工事範囲 |
| | 2. 電気方式 |
| | 3. 布設方法 |
| | 4. 柱上機器 |
| | 5. 高圧ケーブルの
端処理 |
| | 6. その他 |
| | 7. 外灯設備 |

	9. 構造シールド	※ 高圧ケーブル ・ 低圧ケーブル
	10. 予備配管	屋外キュービクルから第1ハンドホールまでの予備配管（FEP10：1本）を設ける。 配管、動力線から建物へのハンドホールまでの予備配管（FEP80：2本）を設ける。
構内通信回路	1. 工事範囲	※ 管路 ・ 配線
	2. 用途	※ 電話用 ・ 時計、拡声用 ・ 火災報知器用
	3. 施工方法	※ 地中埋設方式（ FEP ・ GLT ・ 厚膜電線管 ） ・ 架空様式
	4. 構造シールド	※ 弱電管
解体工事 解体事業	1. 特約事項	① 設計計画書には産業廃棄物処理計画を記載するとともに、解体作業計画に事前調査を行い、その結果をも「指定様式2-3 建設別産物処理履歴表（施工前調査）」としてあらかじめ監督職員へ提出することとし、解体作業の開始については、有害物質等の含有率の有無その他の可能性のある事項について改めて調査を行い、その結果をも「指定様式2-7 建設別産物処理履歴表（解体後事後確認）」として監督職員へ提出し、また監督職員より指示を受けることとし、速やかに監督職員と協議することをもって「産業廃棄物処理設計計画」の実施を行い、監督職員の確認を得たうえで処理、処分することとする。
	解体工事のとり直し 工事の適用とは、適用 等の改修工事に係る適用	② 撤去品の取扱いについては、関係法令等に従い適切な処理、処分を行うとともに、その結果を「指定様式2-3 建設別産物処理履歴表（最終）」として監督職員へ提出することとする。


- | 電 称 | |
|----------|-------------|
| | 名 |
| 電力
共通 | 取引用計器 |
| | 引込開閉器 |
| | 分電盤 |
| 電 | スイッチ (一 般) |
| | 〃 (和 室) |
| | コンセント(一 般) |
| | 〃 (和 室) |
| | 〃 (台 上) |
| | 〃 (フ ァ ン) |
| | 〃 (厨 房) |
| 電 | 〃 (車 庫) |
| | 〃 (機 械 室) |
| | 〃 (土 間) |
| | ブラケット (一 般) |


	「 <u>上</u> 」	床下へ中心	150	銅	管付発光管	1,300
	湿熱口換気扇	床下へ下通	1,500以上	銅	ベイル・ブザー・チーム	2,300
	床下通風換気扇	床下へ上通	1,000以下	銅	ベイル・ブザー・チーム	1,300
				表示等	「 <u>床下へ中心</u> 」	900
					「 <u>(身体障害者専用)</u> 」	900
電	壁掛け形制御盤	床下へ中心	1,500以上2,000以下	変換機	床下へ中心	800~1,500
	開閉器箱	「 <u>上</u> 」	1,500	変換機	「 <u>上</u> 」	800~1,500
力	電線用開閉器用箱式 形分岐器(タ) (両用形)	床下へ中心	400~1,300	火災警報機	「 <u>上</u> 」	800~1,500
	電圧インシュレーター(線橋)	「 <u>上</u> 」	1,300	表示灯	床下へ中心	2,100
	（圧着型）	「 <u>上</u> 」	1,100	電石石油ガス用接線箱	床下へ上通	2,500
	地下表示灯(電灯付タ)	「 <u>上</u> 」	1,300			

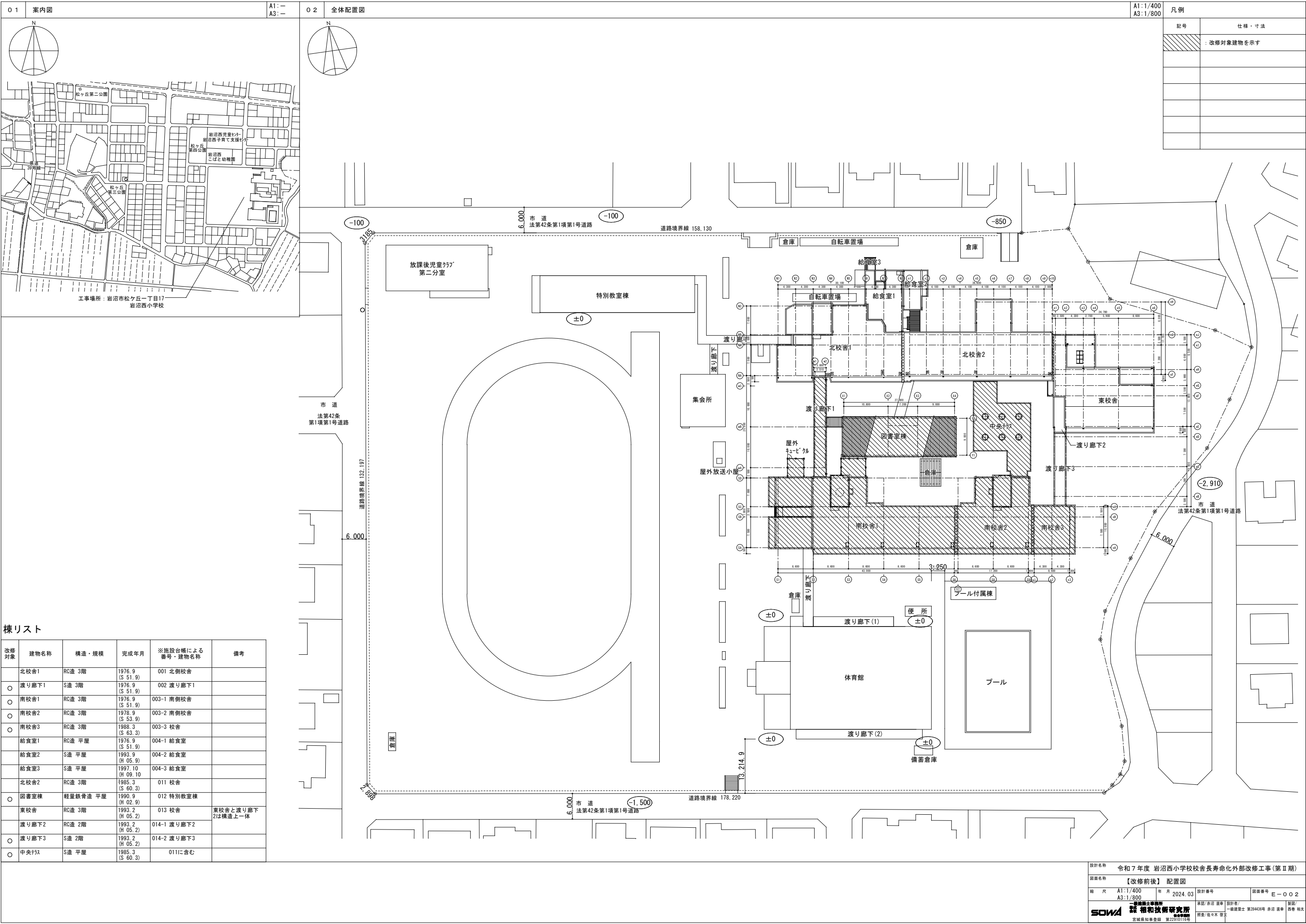
- | 名 称 | |
|-----|---|
| 1 | 完成調書 |
| 2 | 完成図書 |
| 3 | 完成図 (縮小) |
| 4 | 完成図・施工図
(電子データ) |
| 5 | 機器完成図
①機器材料完成図
②機材材質証明書
③機材検査成績書
④工場製造成績書 |

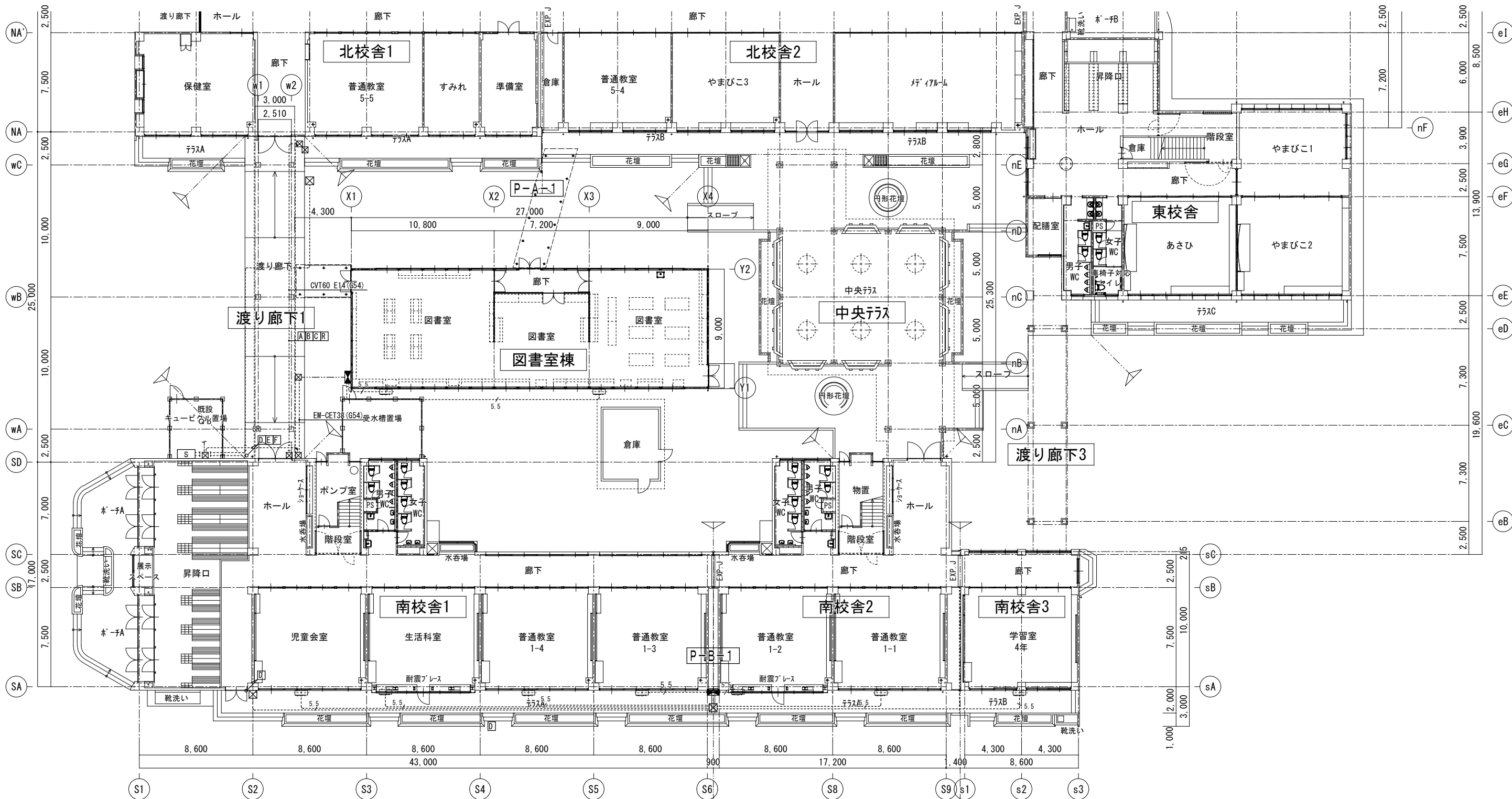
- 工事概要
今回壁・天井及び
行う。取外し配管
行う。
但し既設プルボッ

- 注記：機器参考
本図面中で
参考図として
これらのも
ものを使用す

設計名稱		令和 7 年度 岩沼西小学校校舎長寿命化外部改		
図面名称		電気設備改修工事仕様仕様書		
縮 尺	A1:N.S A3:N.S	年 月 日	2024. 03	設計番号
 一般建築士事務所 相 和 技 術 研 究 所 <small>定 規 規 則 知 事 登 録 第 2231311 号</small>		承認/市居 直孝		設計者/ 一般建築士 第 1 号
		監査/佐々木 智文		

設計名稱	令和7年度 岩沼西小学校校舎長寿命化外部改修工事(Ⅱ期)				
図面名称	電気設備改修工事設計仕様書				
縮 尺	A1:N.S A3:N.S	年 月	2024.03	設計番号	図面番号 E-001
 一般建築士事務所 森 和哉 研究所 宮城県黒川郡 宮229(01)16号	承認/ 赤沼 浩二		設計者/	一般建築士 第3436号 赤沼 浩二	
	監査/ 佐々木 馨二				製図/ 西巻 精大



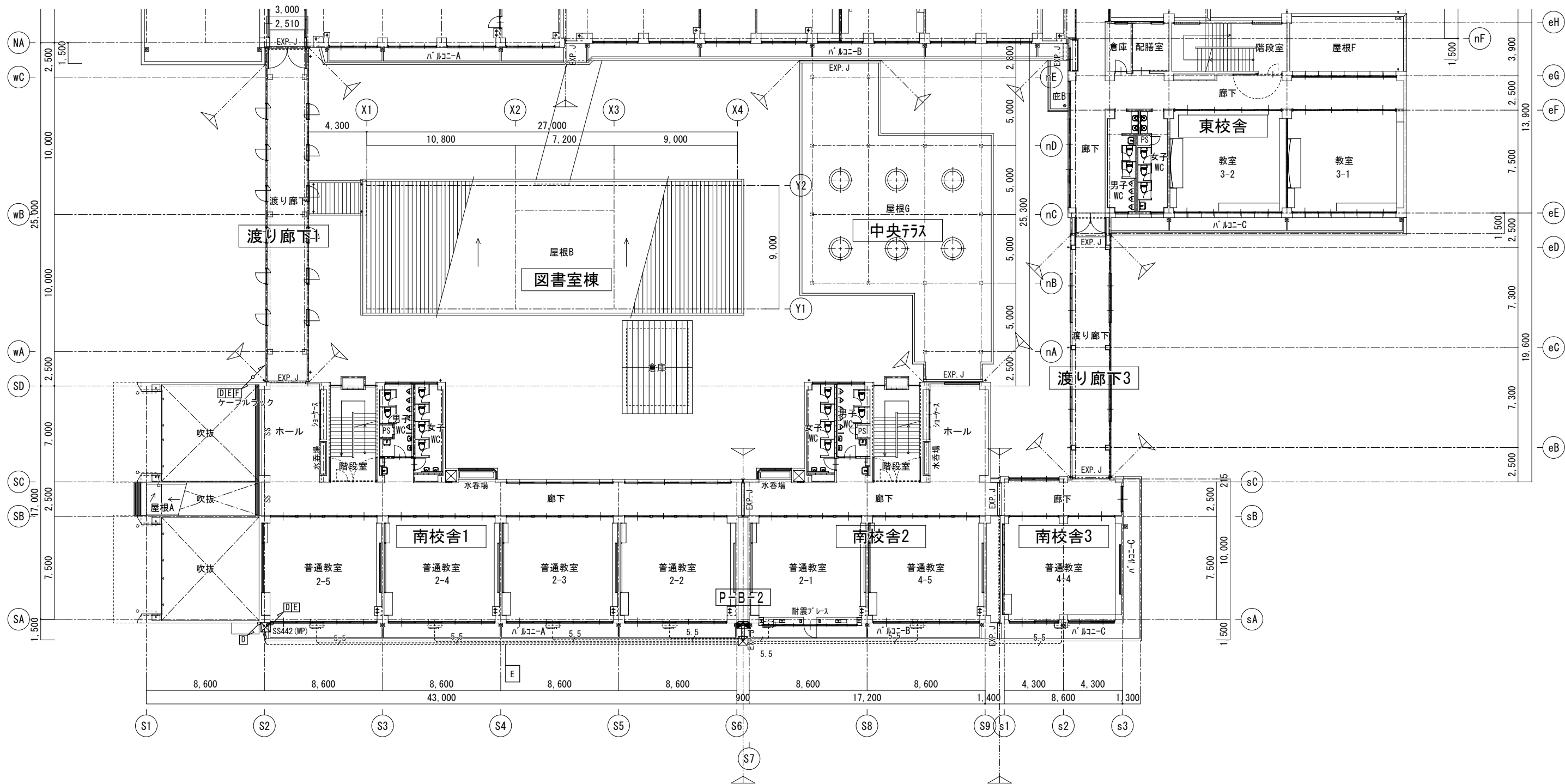



特記事項
1. 特記なき既設配線サイズは下記の通り
..... 3.5 EM-CE3, 5-3C+EM-1E2mm (G22)
..... 5.5 EM-CE5, 5-3C+EM-1E2mm (G22)

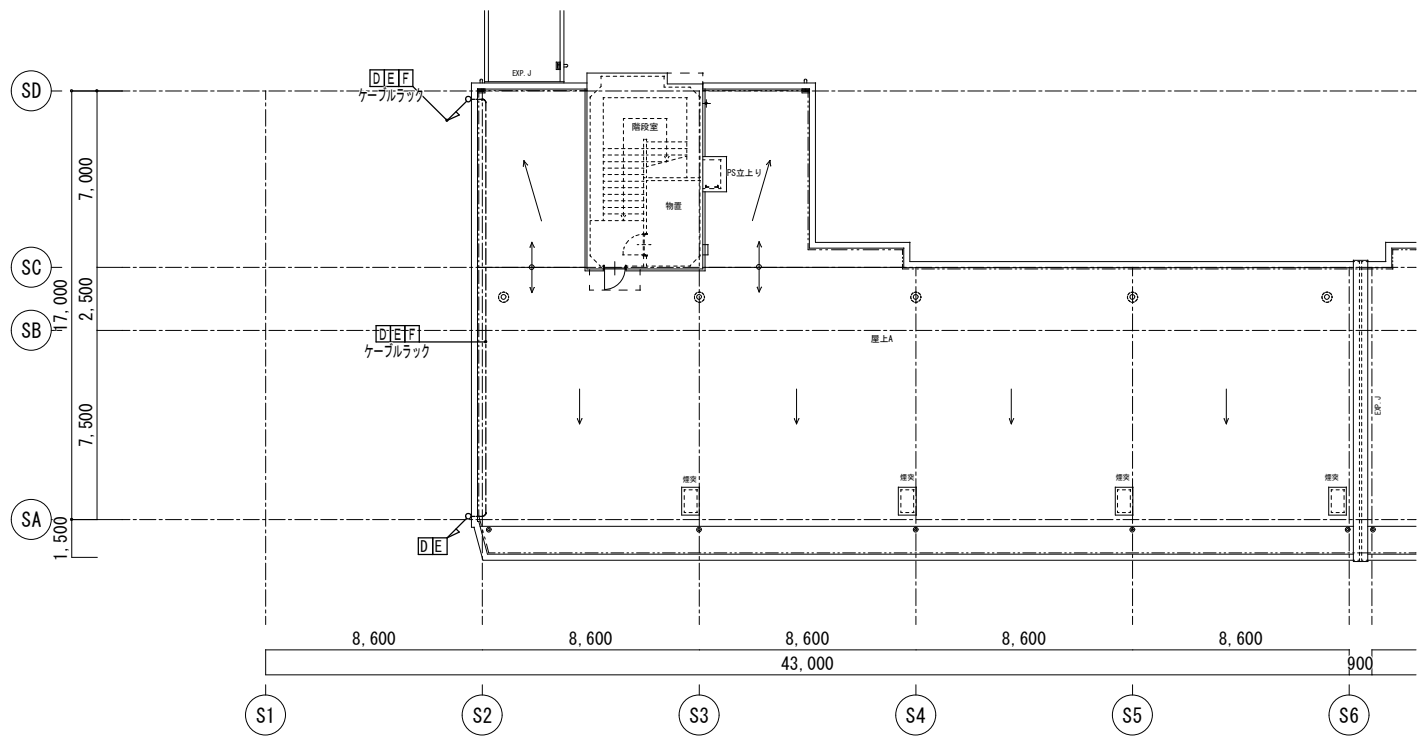
幹線・動力設備 凡例		
図記号	名称	仕様
	動力分電盤	既設
	ブルボックス	既設
	屋外空調機	電源切離し・再接続
	配管配線	露出配管配線 取外し・再取付

既設幹線サイズ表		
幹線No	配線サイズ	供給先
A	EM-CET22 E5. 5x2 (G36)	P-A-1
B	EM-CET100 E22x2 (G70)	P-A-2
C	EM-CET60 E14x2 (G54)	P-A-3
D	EM-CET60 E14x2 (G54)	P-B-1
E	EM-CET60 E14x2 (G54)	P-B-2
F	EM-CET60 E14x2 (G54)	P-B-3
R	EM-CPEVS1. 25-5P (G22)	デマンド

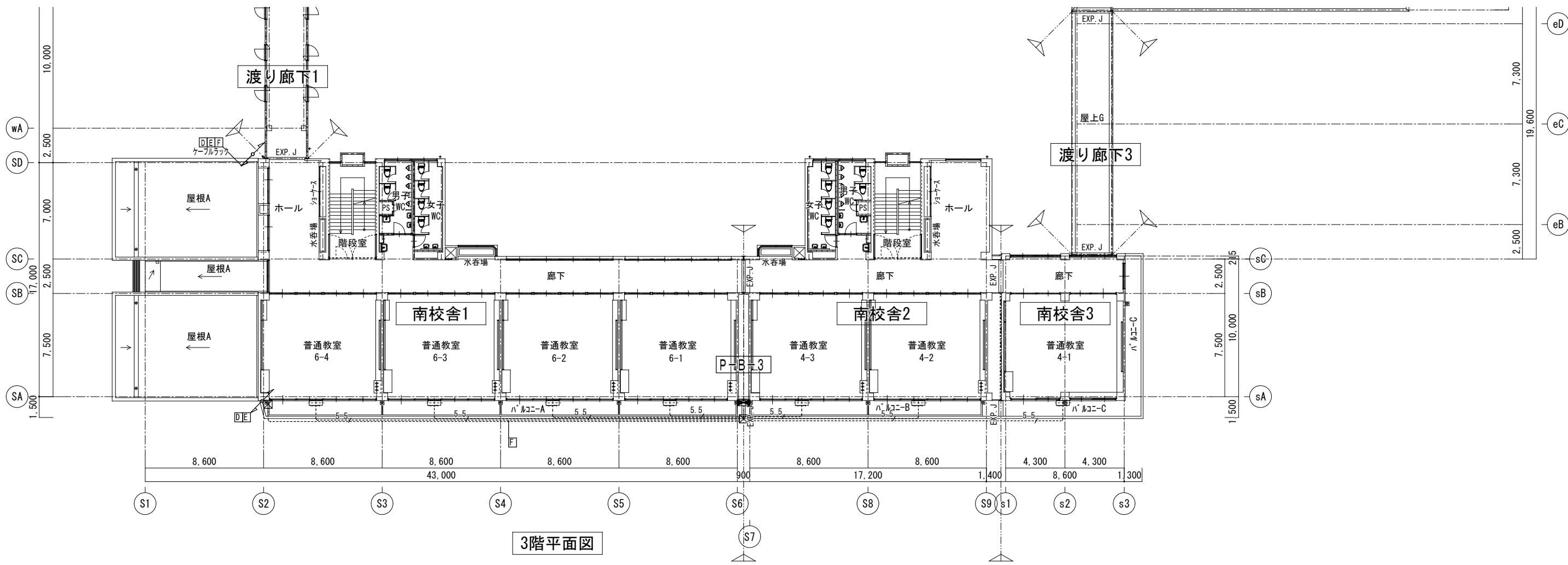
設計名称 令和7年度 岩沼西小学校校舎長寿命化外部改修工事(第Ⅱ期)			
図面名称 【改修前後】 1階平面図			
縮 尺 A1:1/150 A3:1/300	年 月 2024. 03	設計番号	図面番号 E-003
一級建築士事務所 SOWA 相模技術研究所		承認/発行 設計者/ 一級建築士 第204436号 赤田 晋幸	製図/ 西巻 祐太
宮城県知事登録 第22910116号		監査/佐々木 啓文	



設計名称 令和7年度 岩沼西小学校校舎長寿命化外部改修工事(第Ⅱ期)					
図面名称 【改修前後】2階平面図					
縮 尺 A1:1/150 A3:1/300		年 月 2024. 03		設計番号	
 一級建築士事務所 相和技術研究所 宮城県知事登録 第22910116号		承認/ 非承認		図面番号 E-004	
		設計者 一級建築士 岩沼4436号 非承認 直幸		製図/ 西巻 祐太	
		照査/ 佐々木 啓文			

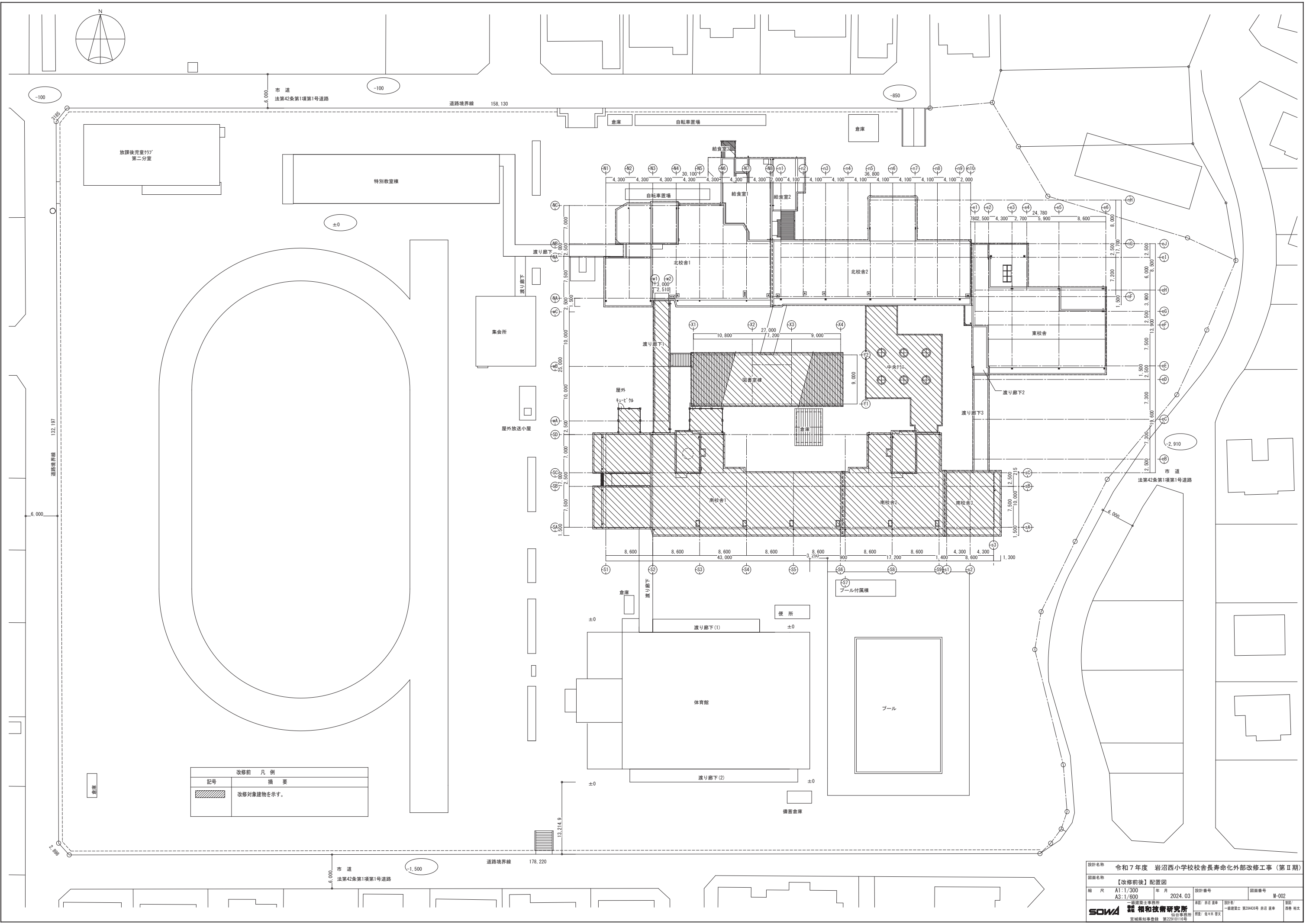


屋上平面図



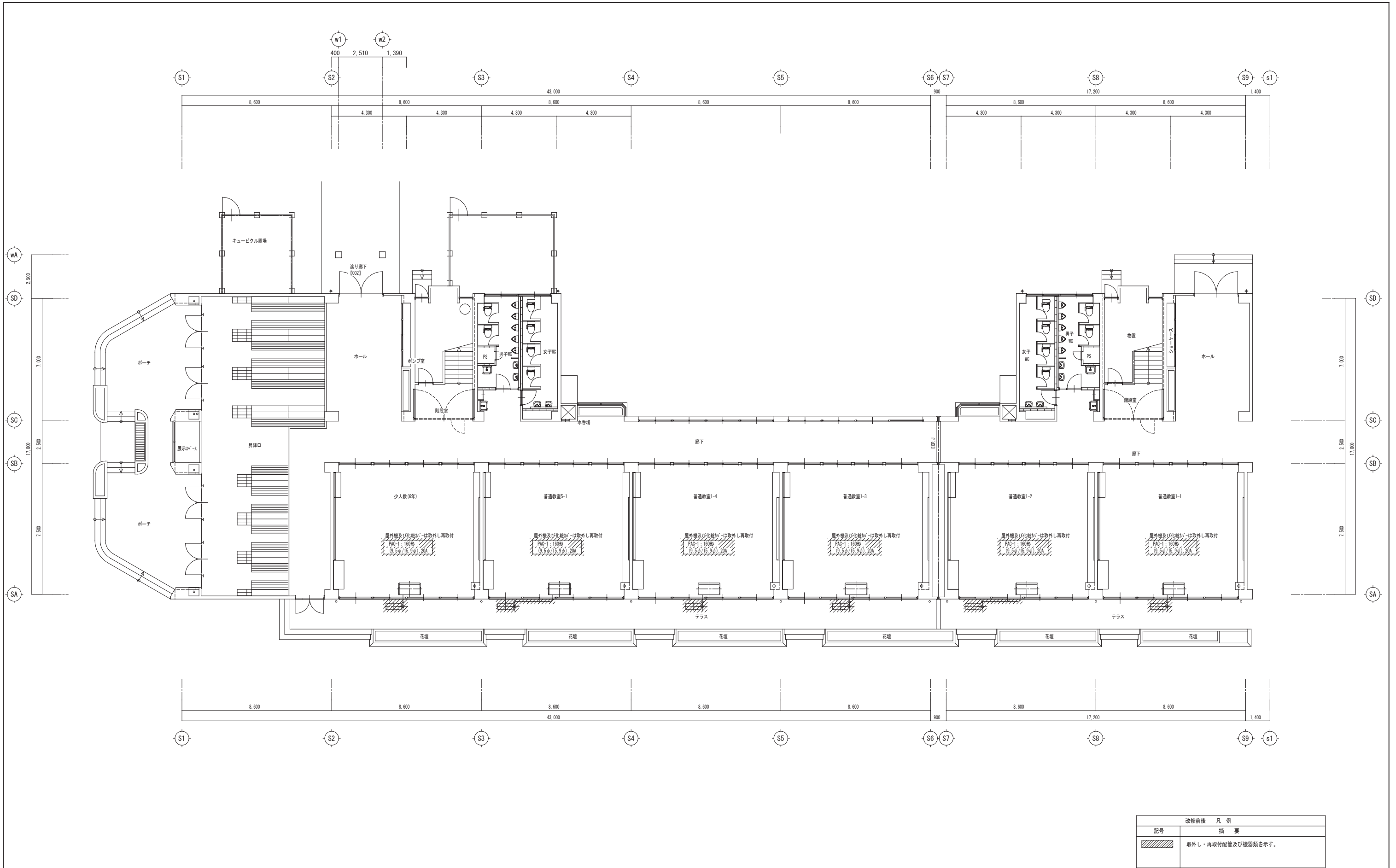
3階平面図

設計名称 令和7年度 岩沼西小学校校舎長寿命化外部改修工事(第Ⅱ期)				
図面名称 【改修前後】 3階・屋上平面図				
縮 尺	A1:1/150 A3:1/300	年 月	2024. 03	設計番号
				図面番号
				E-005
	一級建築士事務所 相和技術研究所		承認/承認	設計者/
			一級建築士 第204436号 承認	
			監理/佐々木 啓文	
		宮城県知事登録 第22910116号		



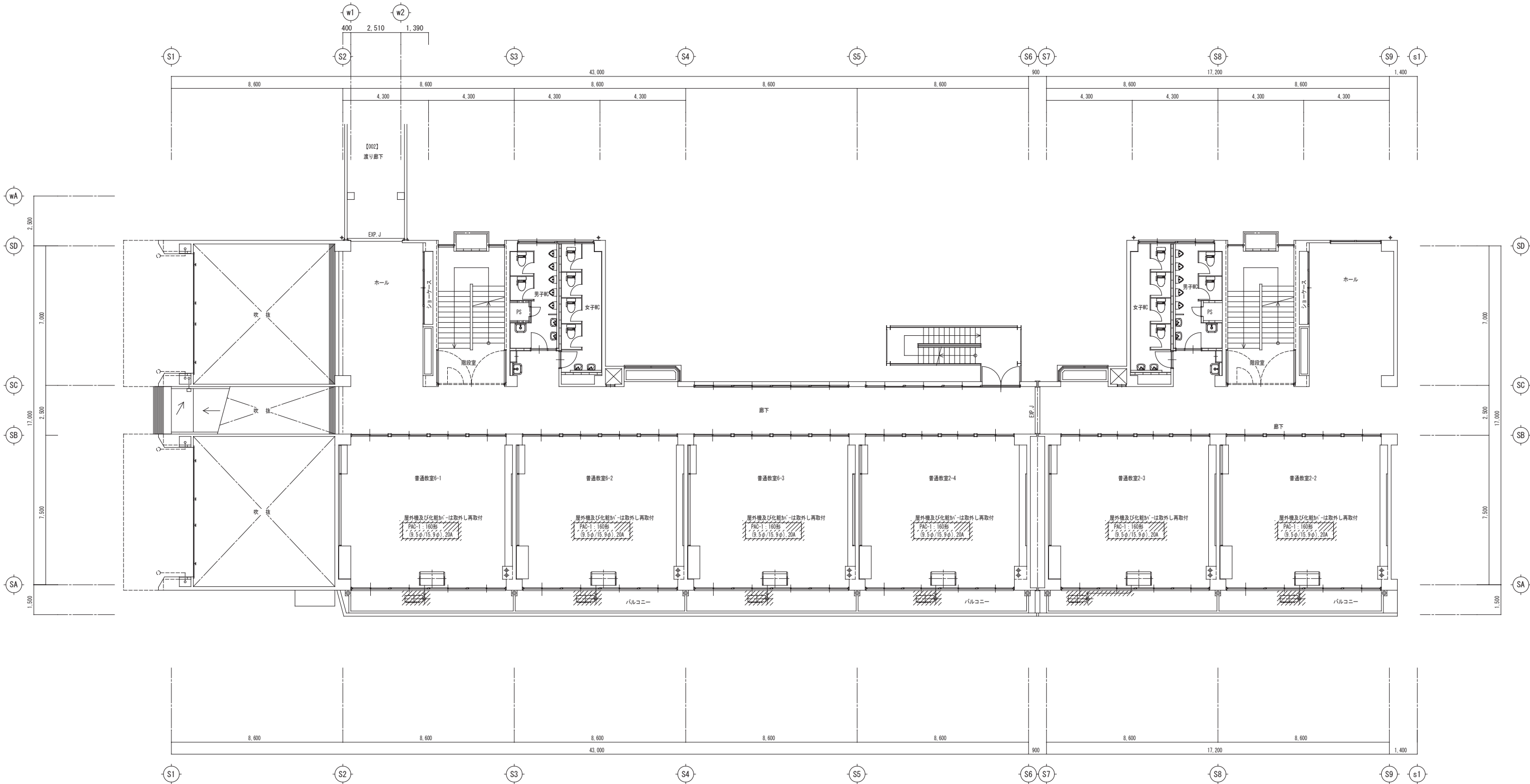
改修前 凡 例	
記号	摘 要
<div></div>	改修対象建物を示す。

設計名称 令和7年度 岩沼西小学校校舎長寿命化外部改修工事（第Ⅱ期）			
図面名称 【改修前後】配置図			
縮 尺 A1:1/300 A3:1/600	年 月 2024. 03	設計番号	図面番号 M-002
一般建築士事務所 岩 沼 和 技 術 研 究 所 仙台事務所 岩城県知事登録 第22910116号		委託/ 承認 済 監理/ 役々本 置文	設計者/ 一般建築士 第284036号 承認 済 西巻 祐太



【改修前後】1階平面図（南校舎1・2） S=1/100

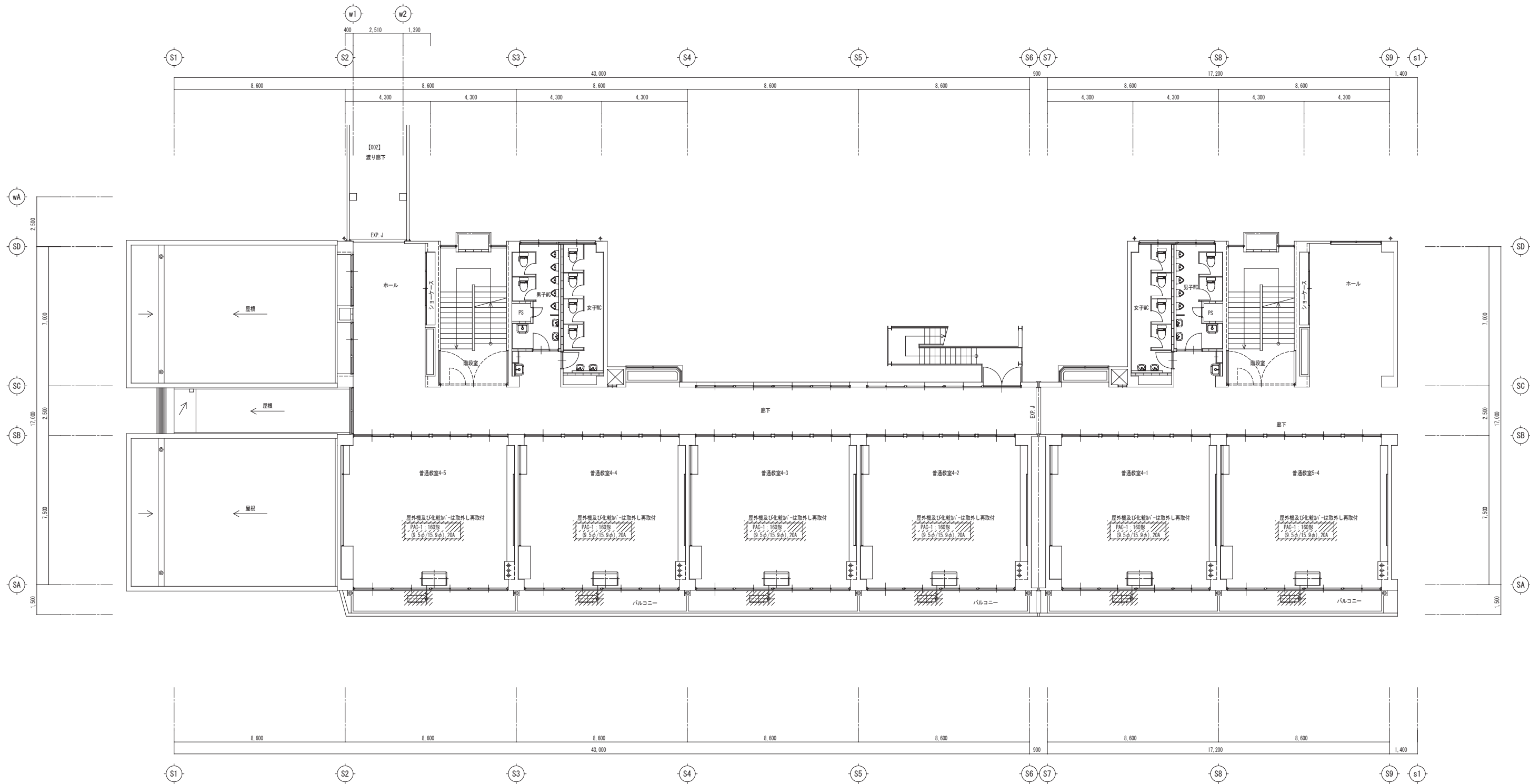
設計名称 令和7年度 岩沼西小学校校長寿命化外部改修工事（第Ⅱ期）			
図面名称 【改修前後】1階平面図（南校舎1・2）			
縮 尺 A1:1/100 A3:1/200	年 月 2024.03	設計番号 図面番号 M-003	図面番号 M-003
一級建築士事務所 岩沼市 SOWA 鋭 相和技術研究所		設計者/ 一級建築士 第284426号 赤沼 直幸	監修/ 西巻 祐太
定城規知事登録 第22912116号		調査/ 佐々木 智太	



【改修前後】2階平面図（南校舎1・2） S=1/100

改修前後 凡 例	
記号	摘 要
	取外し・再取付配管及び機器類を示す。

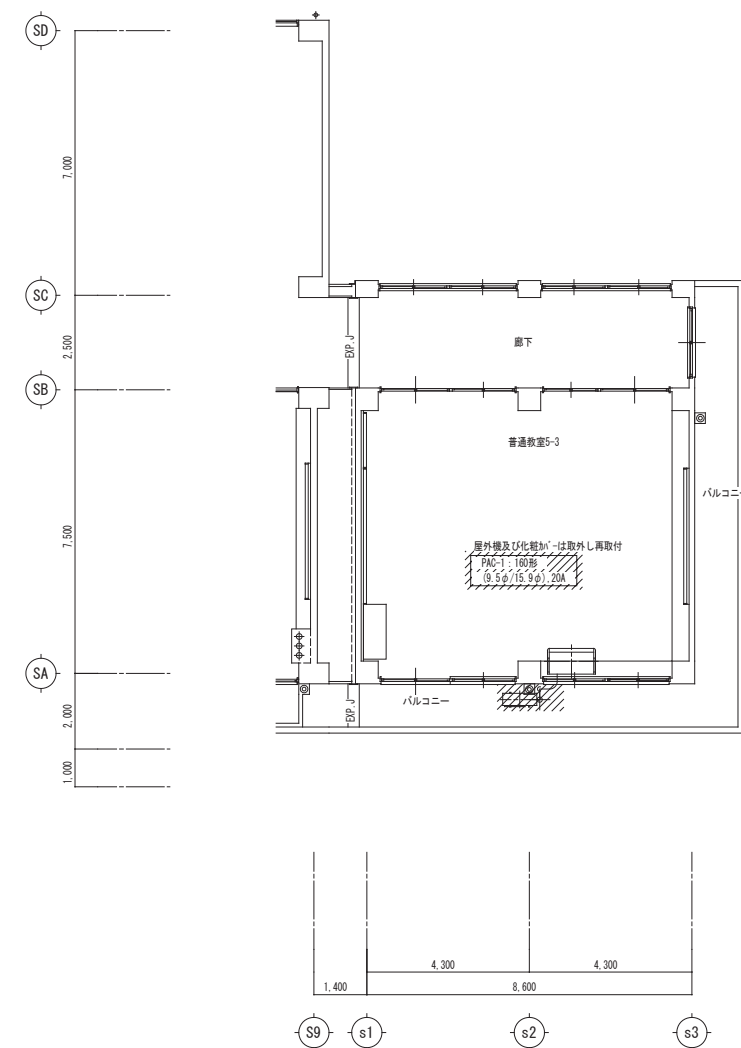
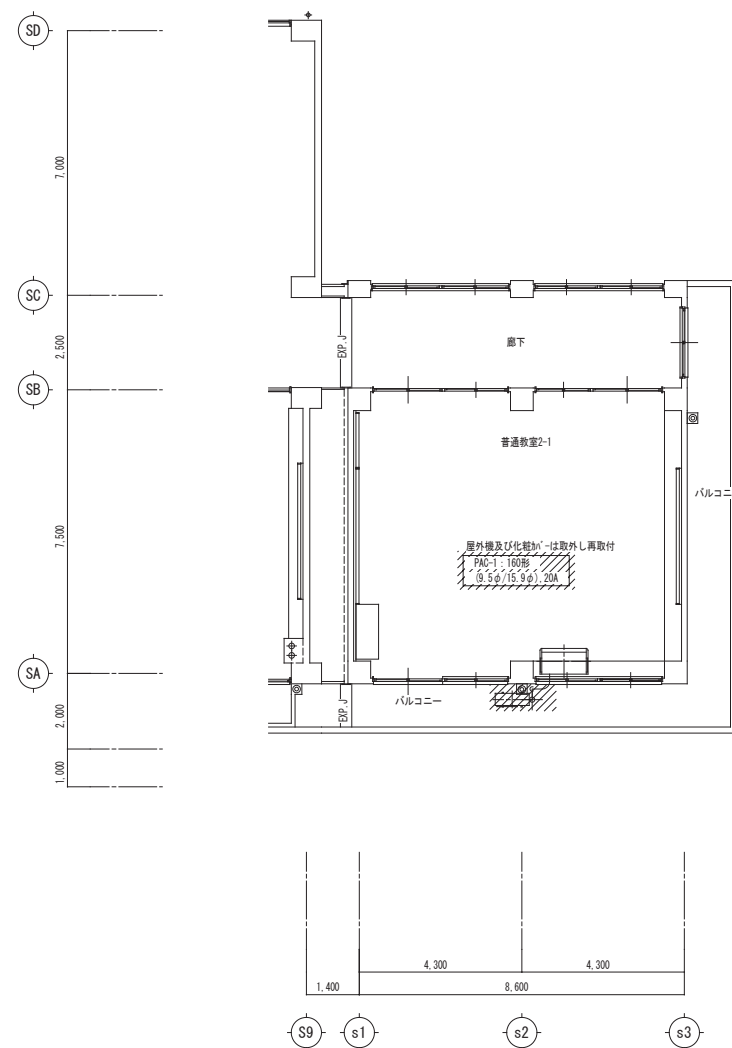
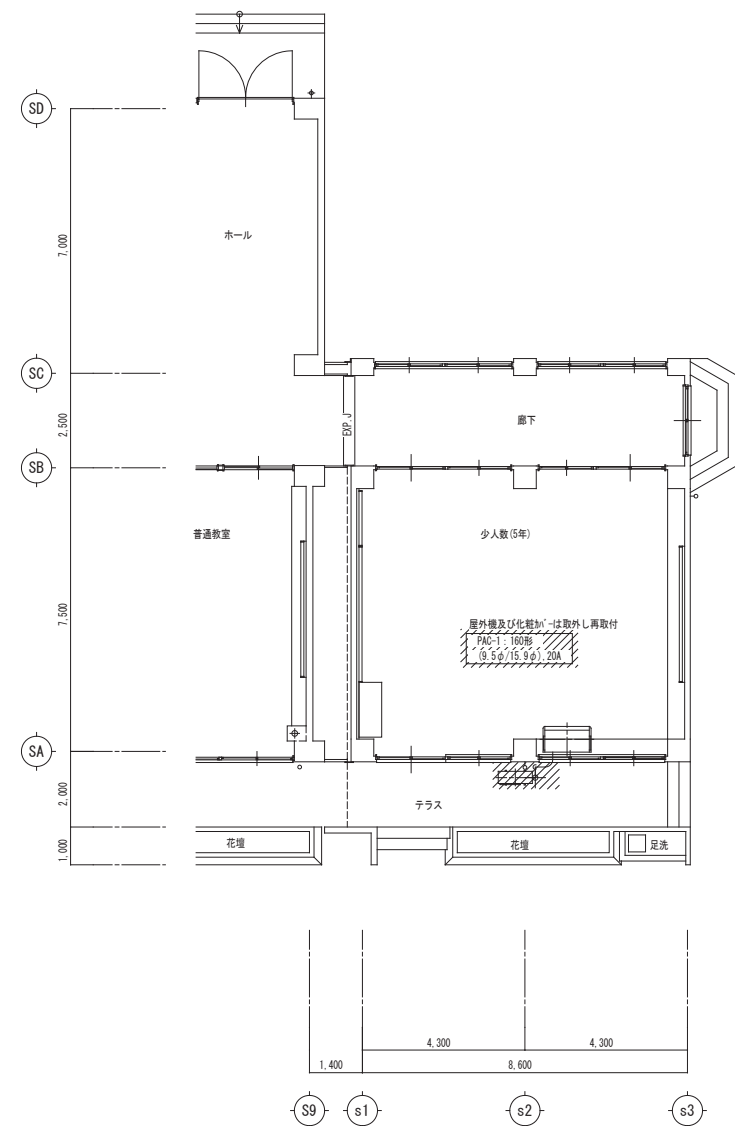
設計名称 令和7年度 岩沼西小学校校舎長寿命化外部改修工事（第Ⅱ期）			
図面名称 【改修前後】2階平面図（南校舎1・2）			
縮 尺 A1:1/100 A3:1/200	年 月 2024.03	設計番号	図面番号 M-004
一級建築士事務所 SOWA 相和技術研究所 宮城県知事登録 第2210116号		承認/ 岩沼 直幸 一級建築士 第284426号	設計者/ 岩沼 直幸 西巻 祐太





【改修前後】3階平面図（南校舎1・2） S=1/100

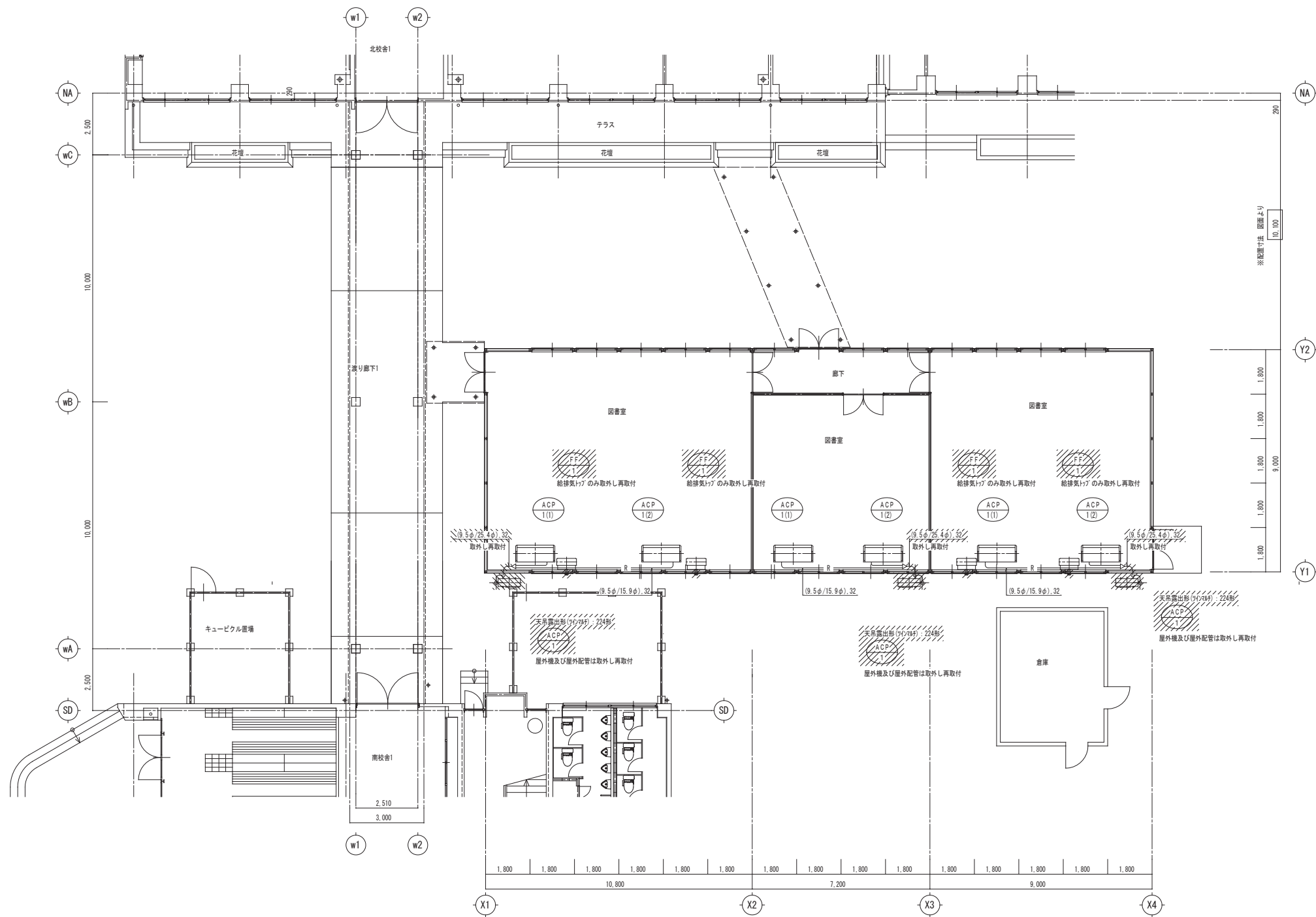
改修前後 凡 例	
記号	摘 要
	取外し・再取付配管及び機器類を示す。

設計名称 令和7年度 岩沼西小学校校舎長寿命化外部改修工事（第Ⅱ期）			
図面名称 【改修前後】3階平面図（南校舎1・2）			
縮 尺 A1:1/100 A3:1/200	年 月 2024.03	設計番号 M-005	図面番号 M-005
SOWA 相和技術研究所 岩城順知事務録 第22010116号		承認/ 岩沼 直幸 設計者/ 岩沼 直幸 図面/ 佐々木 智太	版数/ 西巻 祐太



改修前後 凡 例	
記号	摘 要
	取外し・再取付配管及び機器類を示す。

設計名称				令和7年度 岩沼西小学校校舎長寿命化外部改修工事（第二期）			
図面名称				【改修前後】1～3階平面図（南校舎3）			
種 別	A1:1/100 A3:1/200	年 月	2024.03	図面番号	M-006		
 一級建築士事務所 相和技術研究所 宮城県仙台市青葉区大森1-1-14 宮城県仙台市青葉区大森1-1-14				設計者 赤尾 浩二 建築士 監理者 阪本 大文 建築士 一級建築士 第38443号 赤尾 浩二 監理者 相和 大文			



【改修前後】1階平面図（図書室棟） S=1/100

改修前後 凡 例	
記号	摘 要
<div></div>	取外し・再取付配管及び機器類を示す。

設計名称 令和7年度 岩沼西小学校校長舎寿命化外部改修工事（第Ⅱ期）			
図面名称 【改修前後】1階平面図（図書室棟）			
縮 尺 A1:1/100 A3:1/200	年 月 2024. 03	設計番号	図面番号 M-007
SOWA 総 相和技術研究所 定城前知事登録 第229121116号		承認/ 岩沼 直幸 照査/ 佐々木 智太	設計者/ 一級建築士 第284426号 岩沼 直幸 監修/ 西巻 祐太